

令和6年度
和光市男女共同参画意識調査

報告書

令和7年2月

埼玉県和光市

目次

第1章 調査の概要	1
1 計画策定の背景と目的	1
2 調査の種類	1
3 調査方法と回収結果	1
4 調査項目	3
5 報告書の見方	3
第2章 市民意識調査	4
1 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢別	4
(3) 居住地区	4
(4) 居住年数	5
(5) 結婚の有無	5
(6) 共働きの有無	5
(7) 子どもの有無	6
(8) 一番下の子どもの状況	6
2 男女共同参画に関する意識について	7
(1) 男女の地位の平等感 [SA]	7
(2) 性別役割分担意識 [SA]	22
(3) 性別役割分担意識に同感する理由 [MA]	24
(4) 性別役割分担意識に同感しない理由 [MA]	26
3 家庭生活について	29
(1) 家庭生活での役割分担 [SA]	29
4 配偶者や恋人からの暴力について	47
(1) 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為 [SA]	47
(2) 配偶者・恋人からの被害経験の有無 [SA]	54
(3) 暴力被害に関する相談有無 [SA]	60
(4) 相談した人（場所）[MA]	62
(5) 相談しなかった理由 [MA]	64

5 ワーク・ライフ・バランスについて	66
6 性の多様性について	69
(1) 言葉の認知度 [S A]	69
(2) 性自認や性的指向に悩む人の有無 [S A]	71
(3) 性自認や性的指向に悩む人への心情 [S A]	72
(4) 自身の悩みの有無 [S A]	73
(5) 悩み始めた時期 [S A]	74
(6) 悩み相談の有無 [S A]	74
(7) 悩み相談できなかった理由 [MA]	75
(8) 多様性社会づくりに必要な取組 [MA]	76
7 男女共同参画の取り組みについて	78
(1) 男女共同参画に関する社会の動きや言葉の認知度 [S A]	78
(2) 男女共同参画の推進で市に期待すること [MA]	89
8 自由意見	91

第3章 小学生調査の結果	95
(1) 回答者の性別 [S A]	95
(2) 性別役割について注意された経験 [S A]	95
(3) 性別役割について注意されたきっかけ [MA]	97
(4) 性別役割について注意されたときの心情 [S A]	99
(5) 家事の役割分担 [S A]	100
(6) 子育ての役割分担 [S A]	100
(7) 性別役割分担の意識 [S A]	101
(8) 将来の働き方 [S A]	102
(9) 希望する職業(職種) [MA]	103
(10) 男女共同参画に関する言葉の理解度 [S A]	106
(11) 言葉の認知度 [S A]	111
(12) 性自認の悩みの有無 [S A]	112
(13) 自由記述 (男女平等について日頃感じていることや疑問に思うこと)	113

第4章 中学生調査の結果	117
(1) 回答者の性別 [S A]	117
(2) 性別役割について注意された経験 [S A]	117
(3) 性別役割について注意されたきっかけ [MA]	119
(4) 性別役割について注意されたときの心情 [S A]	121
(5) 男女の地位の平等感 [S A]	122
(6) 家事の役割分担 [S A]	125
(7) 子育ての役割分担 [S A]	125
(8) 性別役割分担の意識 [S A]	126
(9) 性別役割分担意識の理由 [MA]	127
(10) 将来の働き方 [S A]	129
(11) 希望する職業(職種) [MA]	131
(12) 男女共同参画に関する言葉の理解度 [S A]	134
(13) 言葉の認知度 [S A]	139
(14) 性自認の悩みの有無 [S A]	140
(15) 性自認や性的指向に悩む人の有無 [S A]	140
(16) 性自認や性的指向に悩む人への心情 [S A]	141
(17) 自由記述 (男女平等について日頃感じていることや疑問に思うこと)	142

第1章 調査の概要

1 計画策定の背景と目的

和光市では、「第4次男女共同参画わこうプラン（令和3年度～令和12年度）」を策定し、取り組んでいます。男女共同参画に関する実態を調査するため、「和光市男女共同参画意識調査」を実施しました。また、和光市の子どもにおける男女共同参画にかかわる意識・意向と実態を把握するために、「小学生意識調査」及び「中生意識調査」を併せて実施しました。

2 調査の種類

調査名	調査対象
1. 市民意識調査	和光市内に在住する満18歳以上の男女 3,000人
2. 小学生意識調査	和光市立の全小学校に通う小学4年生 705人
3. 中生意識調査	和光市立の全中学校に通う中学2年生 627人

3 調査方法と回収結果

◎市民意識調査

調査期間：令和6年9月2日（月）～9月30日（月）

調査方法：郵送による配布、郵送回答又はWeb回答のいずれか

<回収結果>

標本数	有効回収数	有効回収率
3,000件	1,209件 うち郵送回答 758件 うちWeb回答 451件	40.3%

◎小生意識調査及び中生意識調査

調査期間：令和6年9月2日（月）～9月30日（月）

調査方法：小学生・中学生は各学校において授業、朝会、ホームルーム等で実施
Webによる回答

<小生意識調査 回収結果>

標本数	標本数	有効回収数	有効回収率
白子小学校	79件	67件	84.8%
新倉小学校	89件	75件	84.3%
第三小学校	73件	71件	97.3%
第四小学校	73件	69件	94.5%
第五小学校	105件	98件	93.3%
広沢小学校	58件	50件	86.2%
北原小学校	79件	78件	98.7%
本町小学校	67件	61件	91.0%
下新倉小学校	82件	64件	78.0%
無回答		6件	0.9%
合計	705件	639件	90.6%

標本数は令和6年9月現在の小学4年生児童数（特別支援学級は含まない）

<中生意識調査 回収結果>

標本数	標本数	有効回収数	有効回収率
大和中学校	280件	250件	89.3%
第二中学校	174件	157件	90.2%
第三中学校	173件	150件	86.7%
合計	627件	557件	88.8%

標本数は令和6年9月現在の中学2年生生徒数（特別支援学級は含まない）

4 調査項目

調査名	調査項目
1. 市民意識調査	<ul style="list-style-type: none">・男女共同参画に関する意識について・家庭生活について・配偶者や恋人からの暴力について・ワーク・ライフ・バランスについて・性の多様性について・男女共同参画の取り組みについて・あなたご自身のことについて
2. 小意思識調査	<ul style="list-style-type: none">・男女の性差についての意識・性別役割を大人から注意された経験・家事の手伝い状況・食事のしたくや家事の役割分担・性別役割分担意識・希望する将来の働き方・家庭での役割分担・男女共同参画に関する言葉の理解度
3. 中意思識調査	<ul style="list-style-type: none">・男女の性差についての意識・性別役割を大人から注意された経験・男女の地位の平等感・家事の手伝い状況・食事のしたくや家事の役割分担・家庭での役割分担・性別役割分担意識・希望する将来の働き方・男女共同参画に関する言葉の理解度

5 報告書の見方

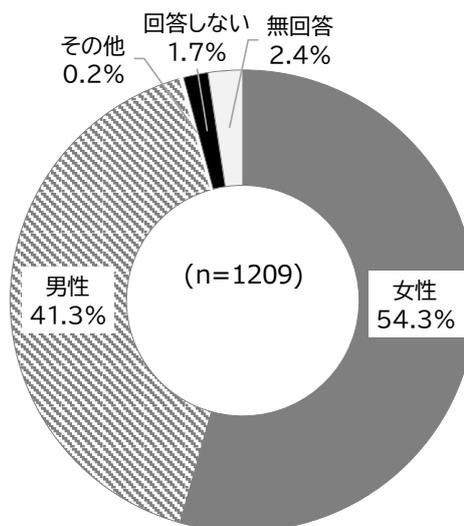
- (1) 各設問が単回答の場合は「SA」、複数回答の場合は「MA」と表記している。
- (2) 調査結果の数値は原則として回答率(%)で表記している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、(n=〇〇)と表記している。また、複数回答についても「回答者の数」としている。
- (3) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、各数値を足し上げても、100.0%にならない場合がある。
- (4) 複数回答可の質問では、母数(回答者数)に対する回答率のため、各回答率の足し上げは100.0%を超える場合がある。
- (5) 「前回調査との比較」を行っている部分は、和光市が令和元年度に実施した調査結果を用いている。
- (6) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

第2章 市民意識調査

1 回答者の属性

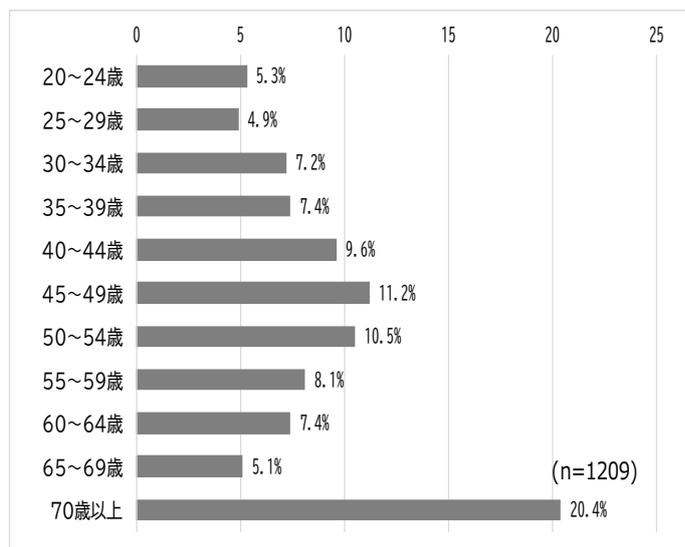
(1) 性別

	回答数	構成比(%)
女性	657	54.3
男性	499	41.3
その他	3	0.2
回答しない	21	1.7
無回答	29	2.4
計	1209	100



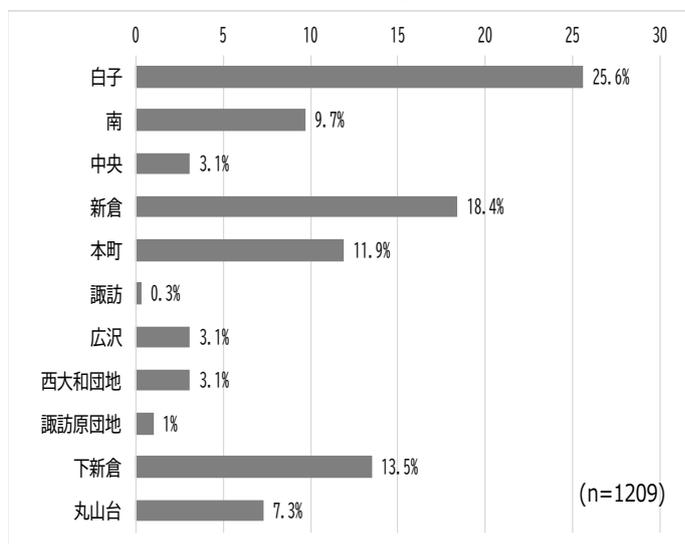
(2) 年齢別

	回答数	構成比(%)
20~24歳	64	5.3
25~29歳	59	4.9
30~34歳	87	7.2
35~39歳	89	7.4
40~44歳	116	9.6
45~49歳	135	11.2
50~54歳	127	10.5
55~59歳	98	8.1
60~64歳	89	7.4
65~69歳	62	5.1
70歳以上	247	20.4
無回答	36	3.0
計	1209	100



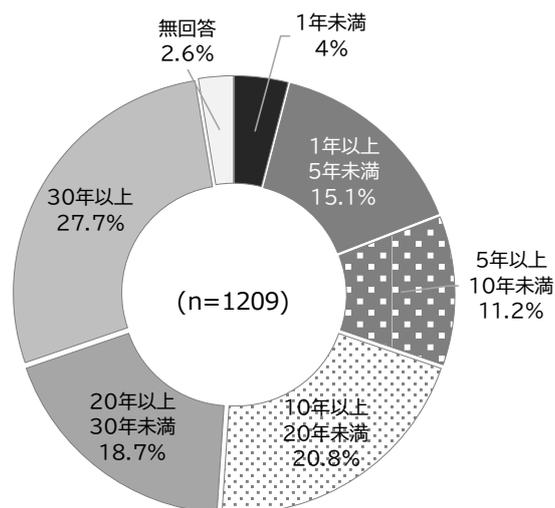
(3) 居住地区

	回答数	構成比(%)
白子	309	25.6
南	117	9.7
中央	37	3.1
新倉	222	18.4
本町	144	11.9
諏訪	4	0.3
広沢	37	3.1
西大和団地	38	3.1
諏訪原団地	12	1.0
下新倉	163	13.5
丸山台	88	7.3
無回答	38	3.1
計	1209	100



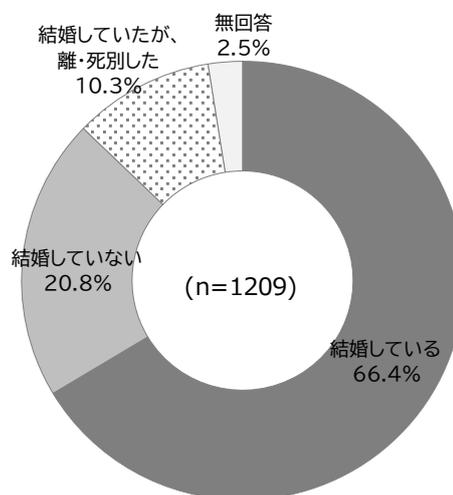
(4) 居住年数

	回答数	構成比(%)
1年未満	48	4.0
1年以上5年未満	182	15.1
5年以上10年未満	136	11.2
10年以上20年未満	251	20.8
20年以上30年未満	226	18.7
30年以上	335	27.7
無回答	31	2.6
計	1209	100



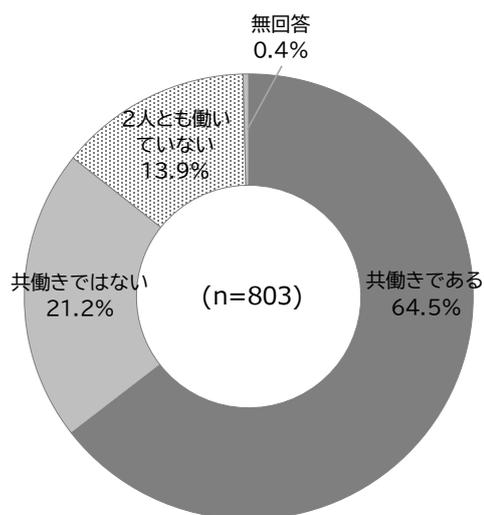
(5) 結婚の有無

	回答数	構成比(%)
結婚している	803	66.4
結婚していない	251	20.8
結婚していたが、離・死別した	125	10.3
無回答	30	2.5
計	1209	100



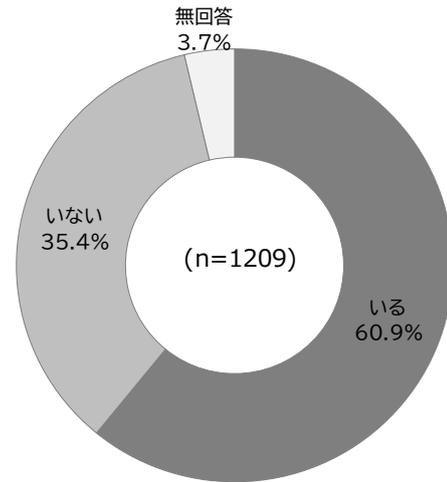
(6) 共働きの有無

	回答数	構成比(%)
共働きである	518	64.5
共働きではない	170	21.2
2人とも働いていない	112	13.9
無回答	3	0.4
計	803	100



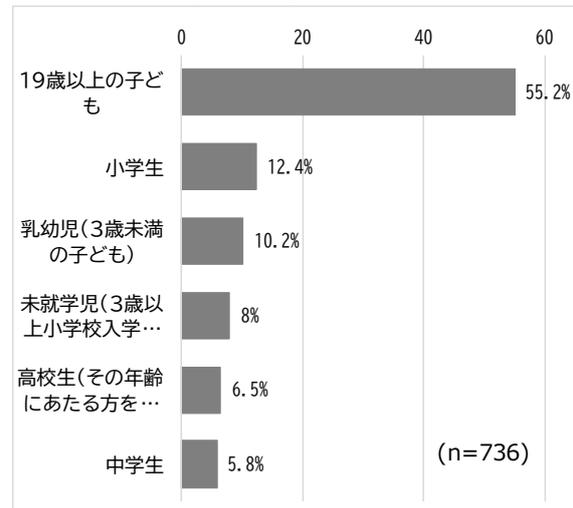
(7) 子どもの有無

	回答数	構成比(%)
いる	736	60.9
いない	428	35.4
無回答	45	3.7
計	1209	100



(8) 一番下の子どもの状況

	回答数	構成比(%)
19歳以上の子ども	406	55.2
小学生	91	12.4
乳幼児 (3歳未満の子ども)	75	10.2
未就学児 (3歳以上小学校入学前の子ども)	59	8.0
高校生 (その年齢にあたる方を含む)	48	6.5
中学生	43	5.8
無回答	14	1.9
計	736	100



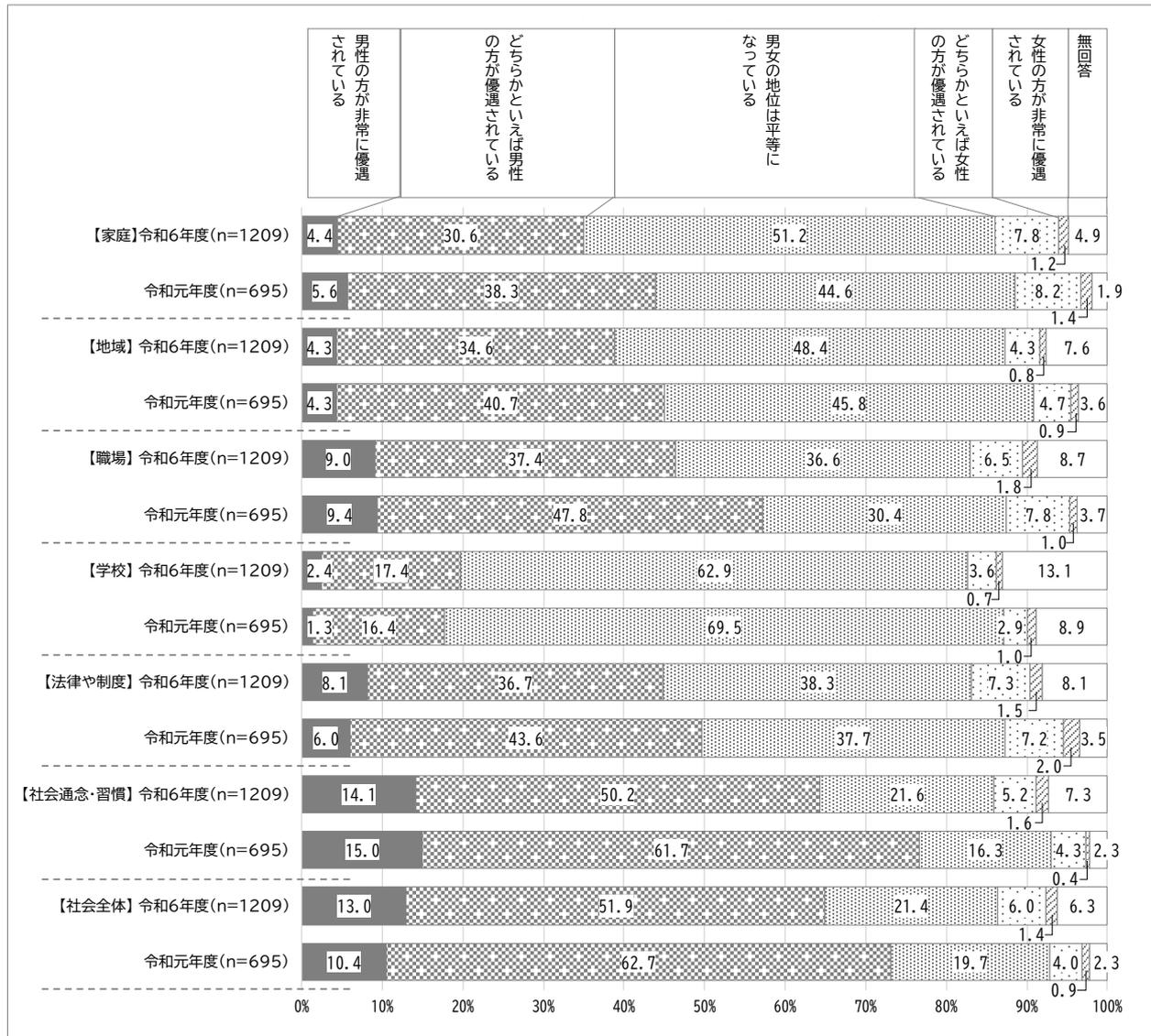
2 男女共同参画に関する意識について

(1) 男女の地位の平等感 [SA]

問1 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

全体で見ると、「男女の地位は平等になっている」は「学校で」が62.9%で最も高く、次いで「家庭で」が51.2%、「地域で」が48.4%となっています。

「男性が優遇（合計）」をみると、「社会全体で」が64.9%、「社会通念・習慣などで」が64.3%で最も高くなっています。



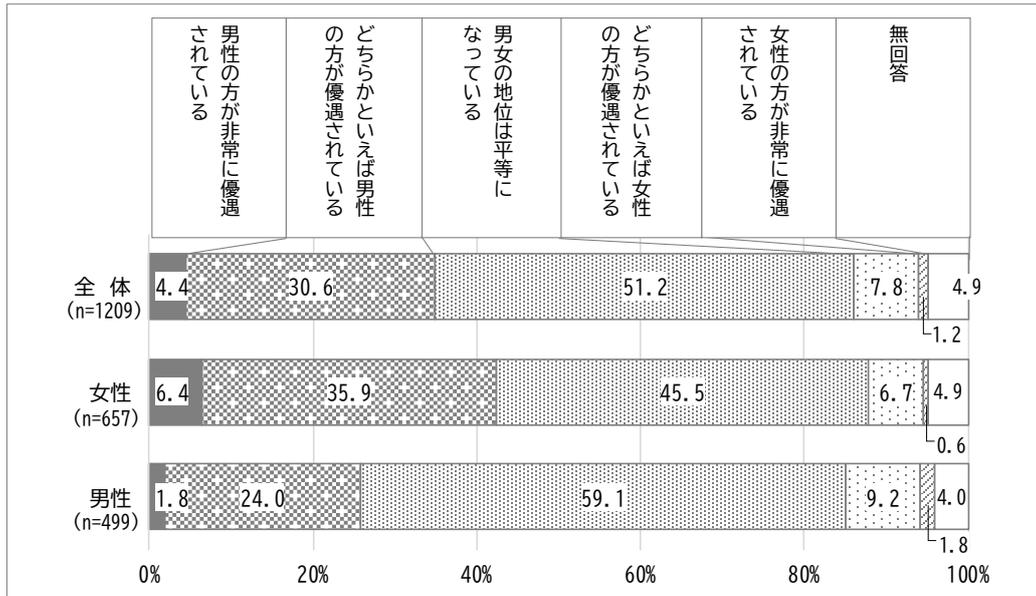
① 家庭で [S A]

全体でみると、「男女の地位は平等になっている」が51.2%で約半数を占めているものの、「男性が優遇（合計）」が35.0%あり、まだ男性優位の意識も高い傾向となっています。

性別でみると、「男女の地位は平等になっている」は「女性」が45.5%、「男性」が59.1%で男性の意識が高くなっています。

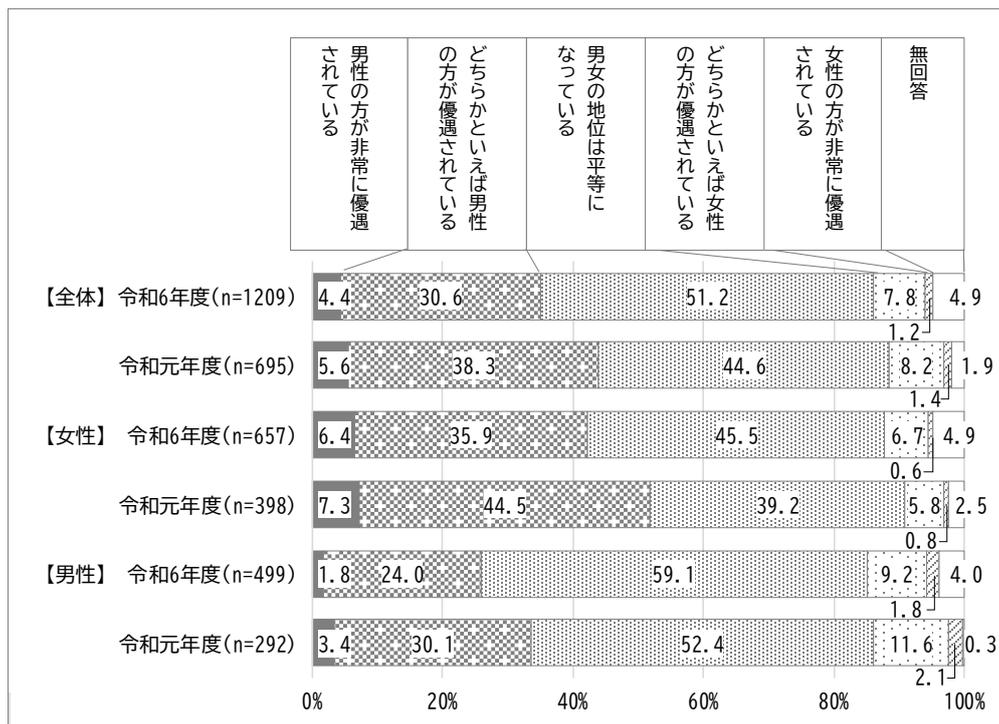
また「男性が優遇（合計）」をみると「女性」が42.3%、「男性」が25.8%で女性の意識が高い傾向となっています。

女性は男性に比べて、「男性優位」の意識が高い傾向となっています。



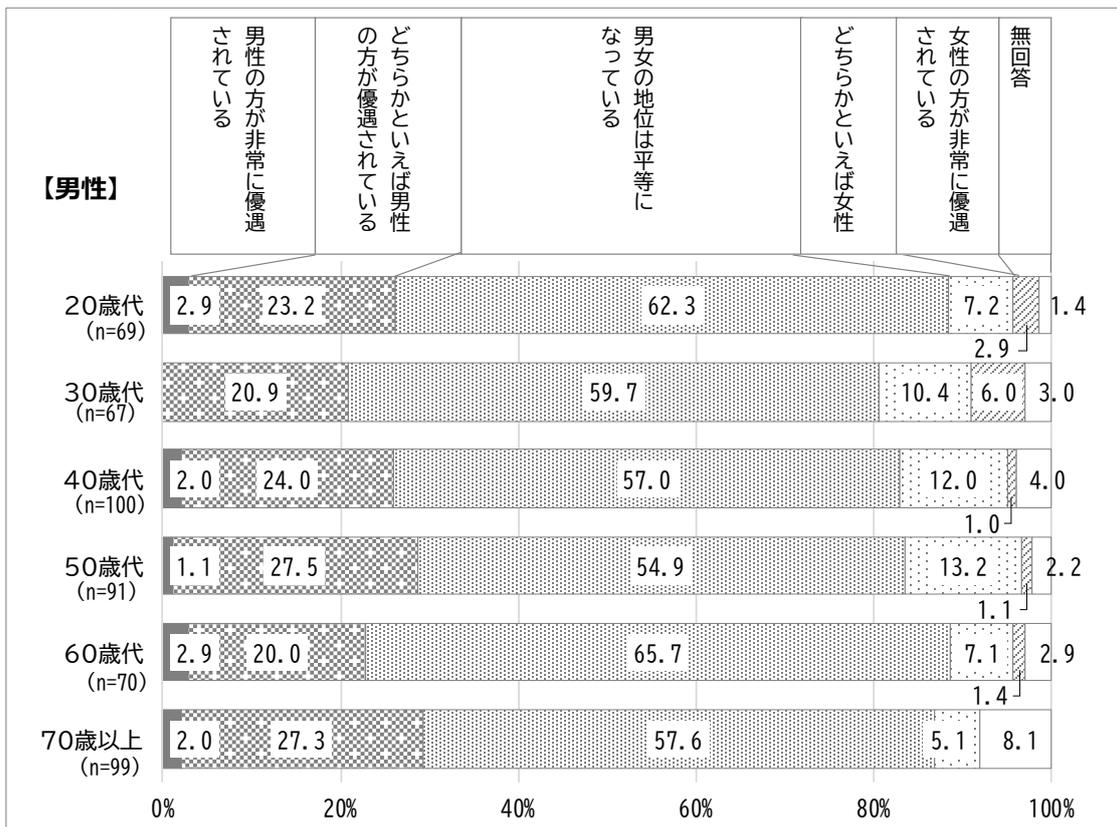
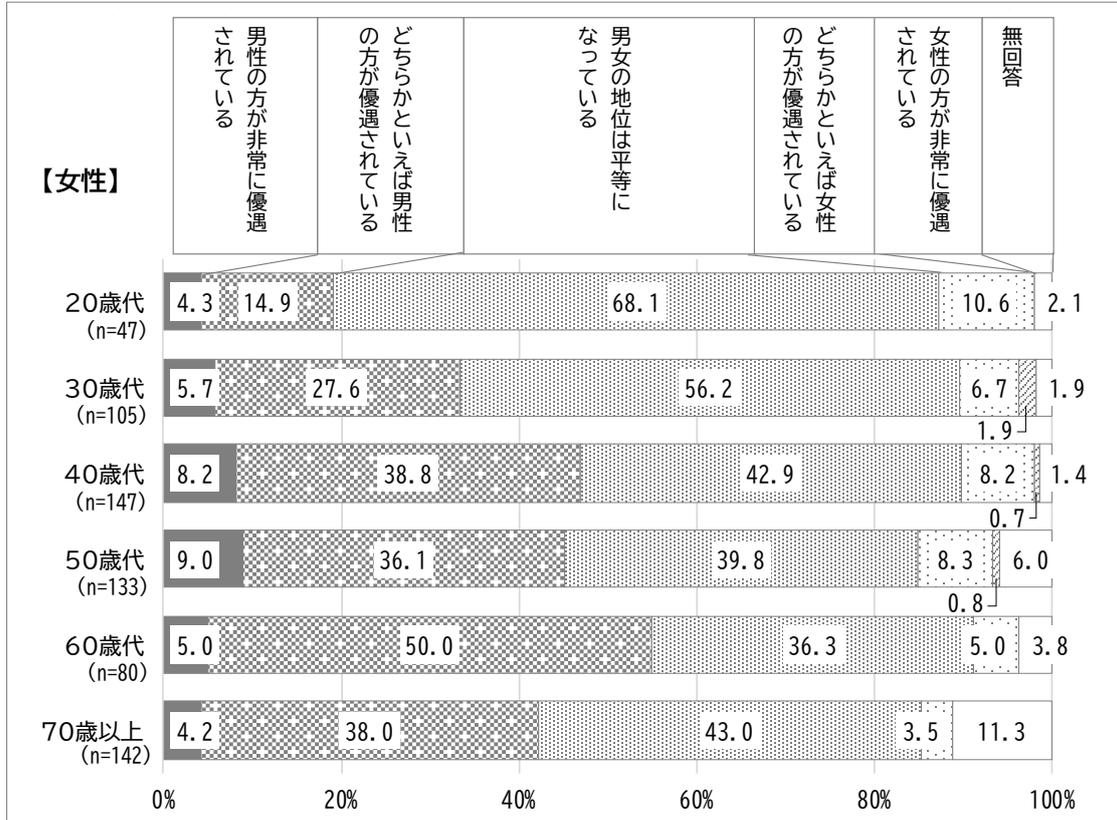
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が44.6%から51.2%となり、女性と男性ともに前回調査より高くなっています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性の「男性が優位（合計）」の意識が高い傾向となっていますが、女性の20歳代、30歳代では「男女の地位は平等になっている」がそれぞれ50%を超えており、他の年代と意識が異なります。



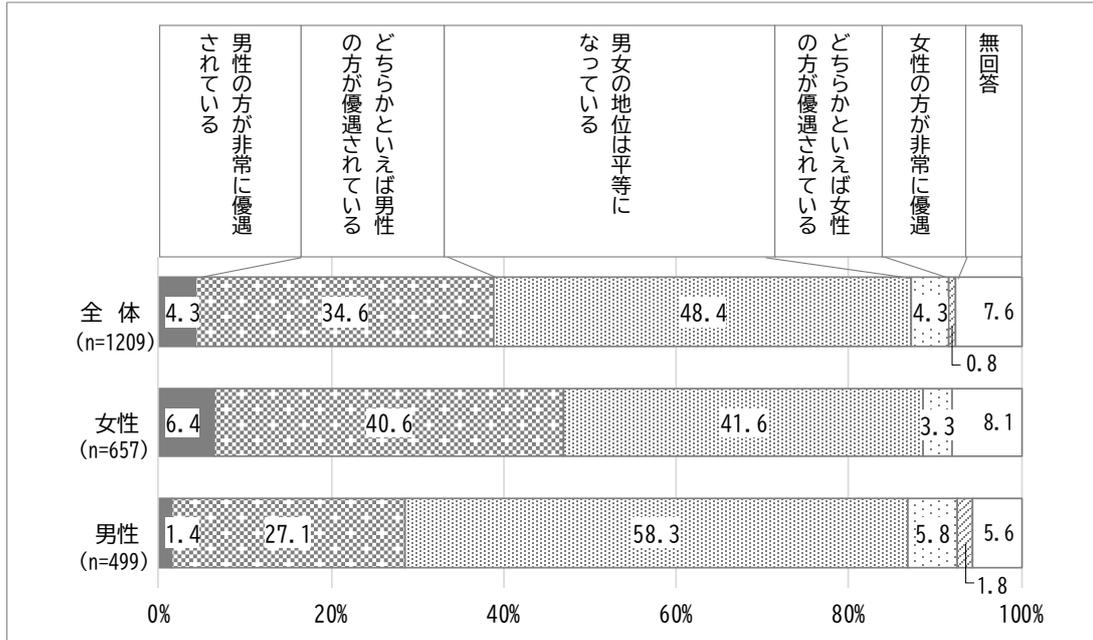
② 地域で [S A]

全体でみると、「男女の地位は平等になっている」が 48.4%で約半数近い意識があるものの、「男性が優遇（合計）」も 38.9%あり、男性優位の意識も高い傾向となっています。

性別でみると、「男女の地位は平等になっている」は「男性」が 58.3%、「女性」が 41.6%で男性の意識が高くなっています。

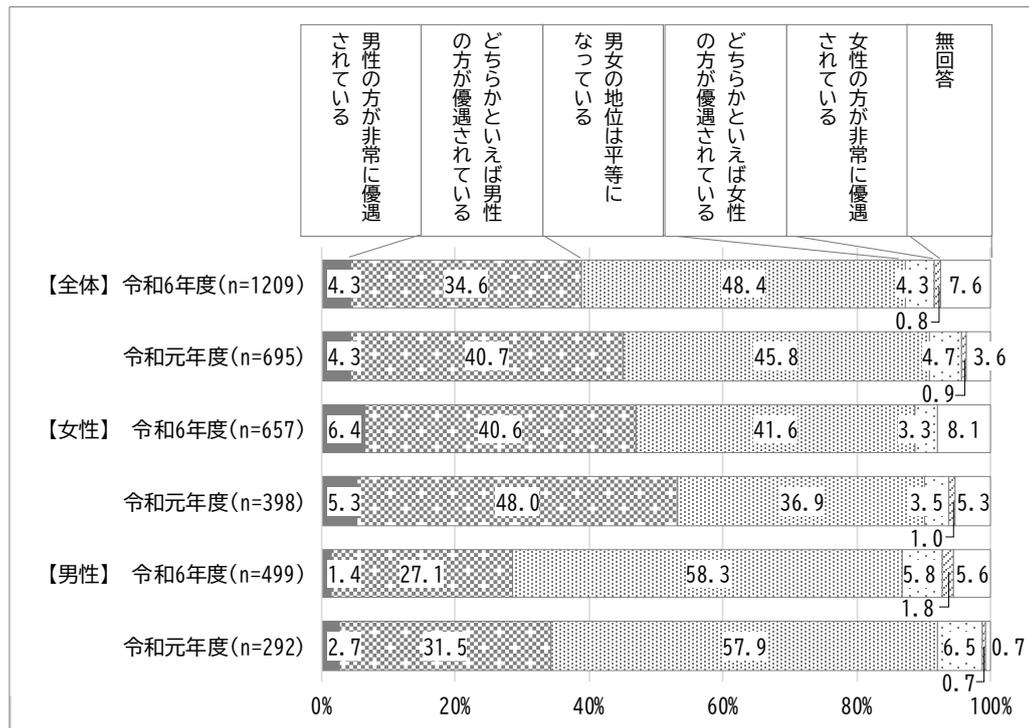
「男性が優遇（合計）」は「女性」が 47.0%、「男性」が 28.5%で女性の意識が高い傾向となっています。

女性は男性に比べて、「男性優位」の意識が高い傾向となっています。



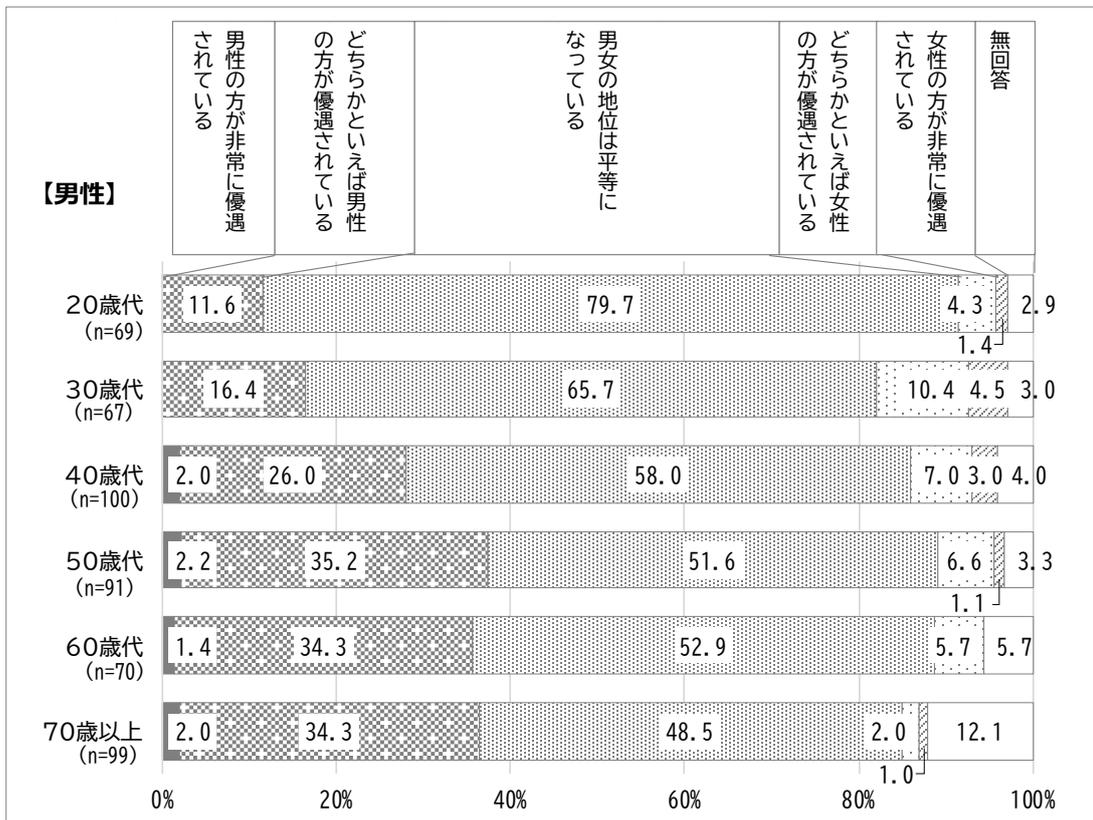
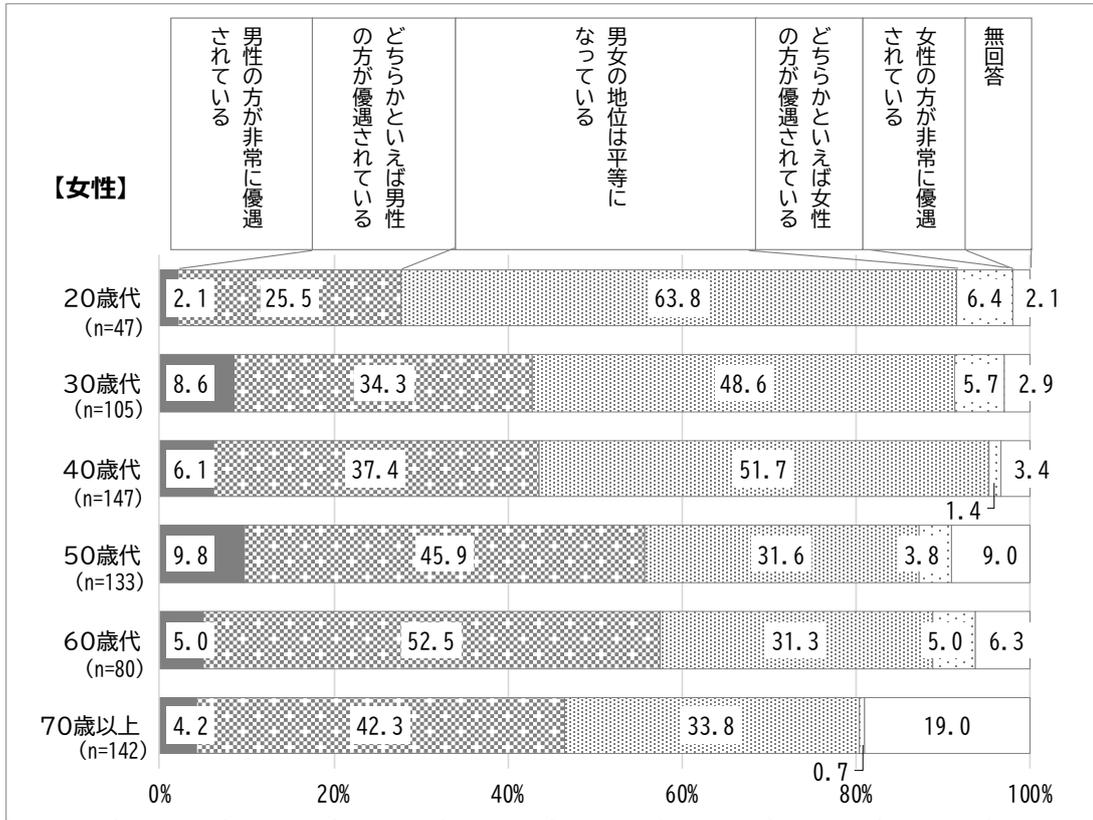
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が 45.8%から 48.4%とわずかに増加しています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性は「20歳代」、男性は「20歳代」「30歳代」で、「男女の地位は平等になっている」との回答が多く、若い年代ほど平等感の意識が高い傾向となっています。

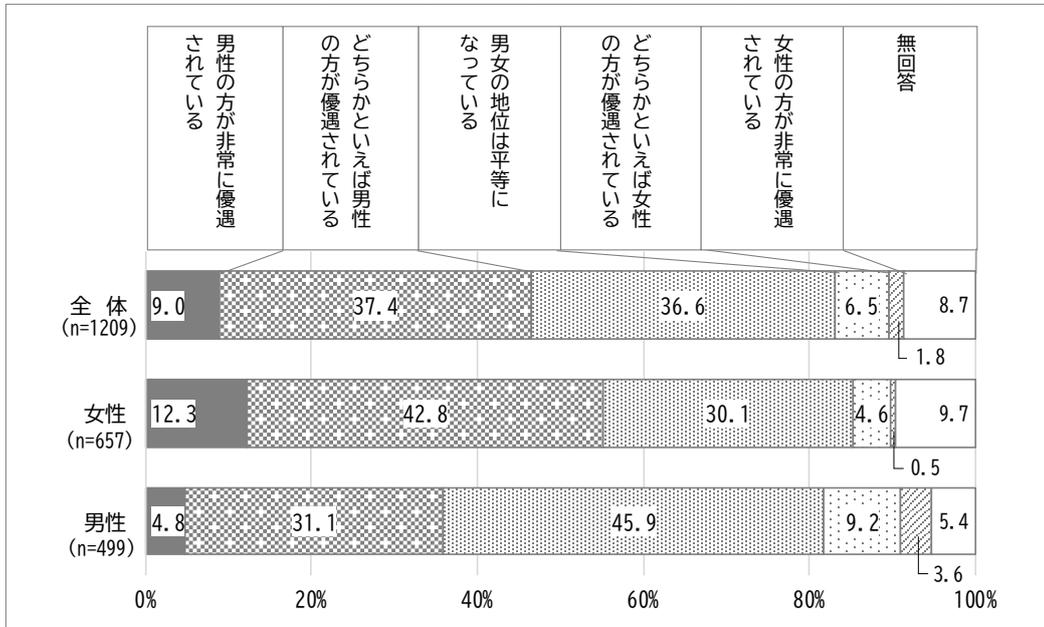


③ 職場で [SA]

全体でみると、「男女の地位は平等になっている」は36.6%で、「男性が優遇（合計）」は46.4%あり、まだ平等感は低く、男性優位の意識が高い傾向となっています。

性別でみると、「男女の地位は平等になっている」は「男性」が45.9%、「女性」が30.1%で平等の意識は低い傾向となっています。

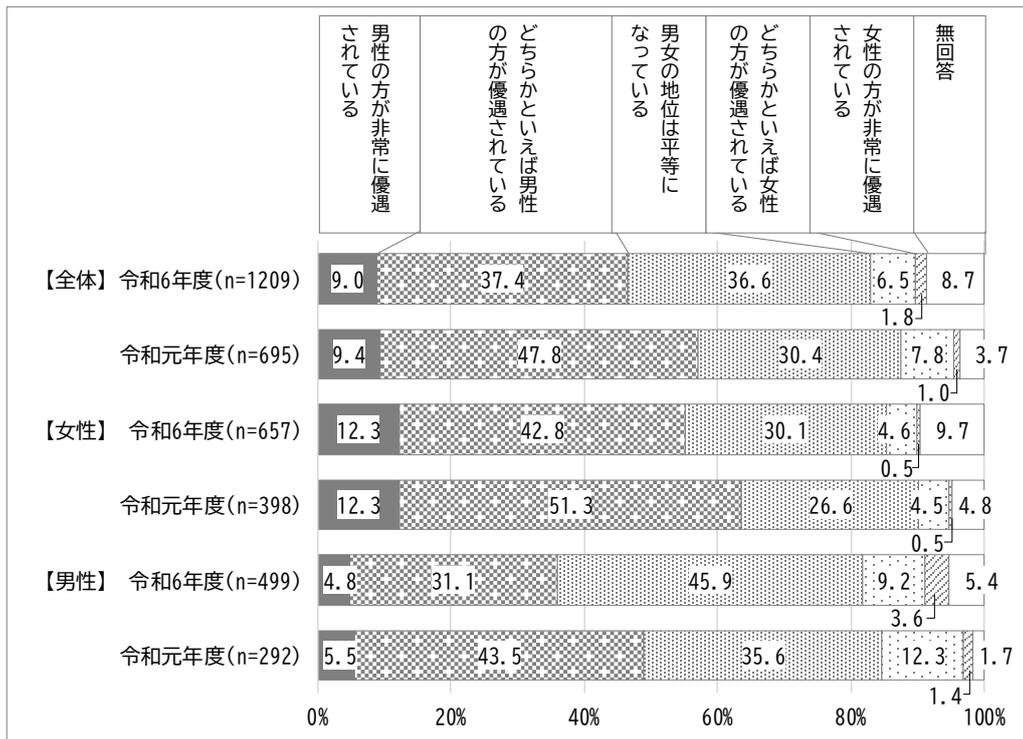
「男性が優遇（合計）」は「女性」が55.1%、「男性」が35.9%で女性の意識が高い傾向となっています。



【前回調査との比較】

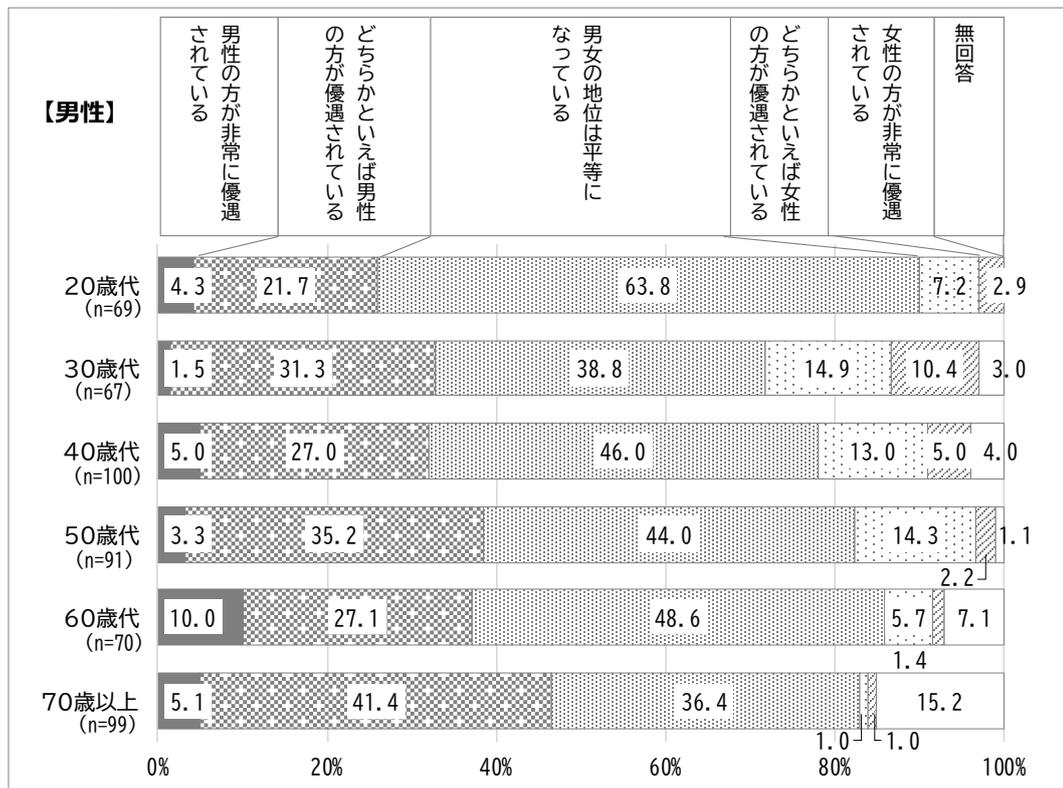
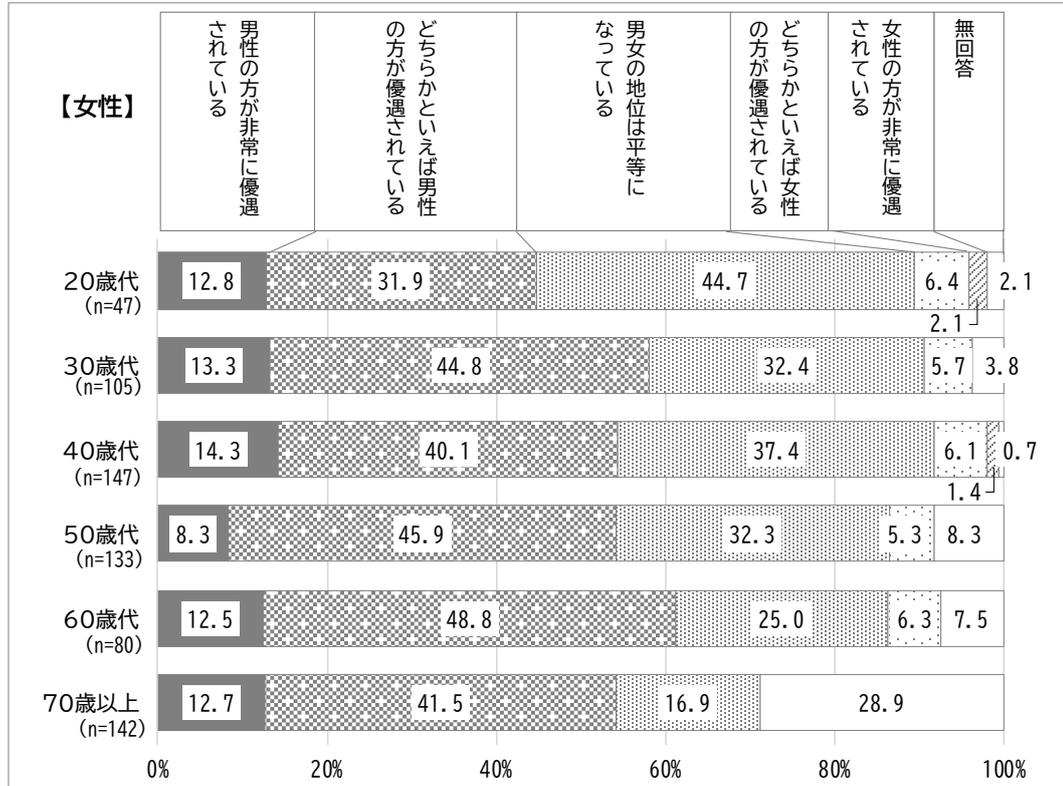
前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が30.4%から36.6%とわずかに増加しています。男性優位の意識は57.2%から46.4%と減少しています。

女性は「男性優位」の意識が以前として高いですが、男性は「男女の地位は平等になっている」の意識が高く、性別間の意識の差が大きくなっています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性では20歳代と他の年代で差があるものの「男性が優遇（合計）」の意識が高くなっています。男性は若い年代ほど「男女の地位は平等になっている」の意識が高くなっています。

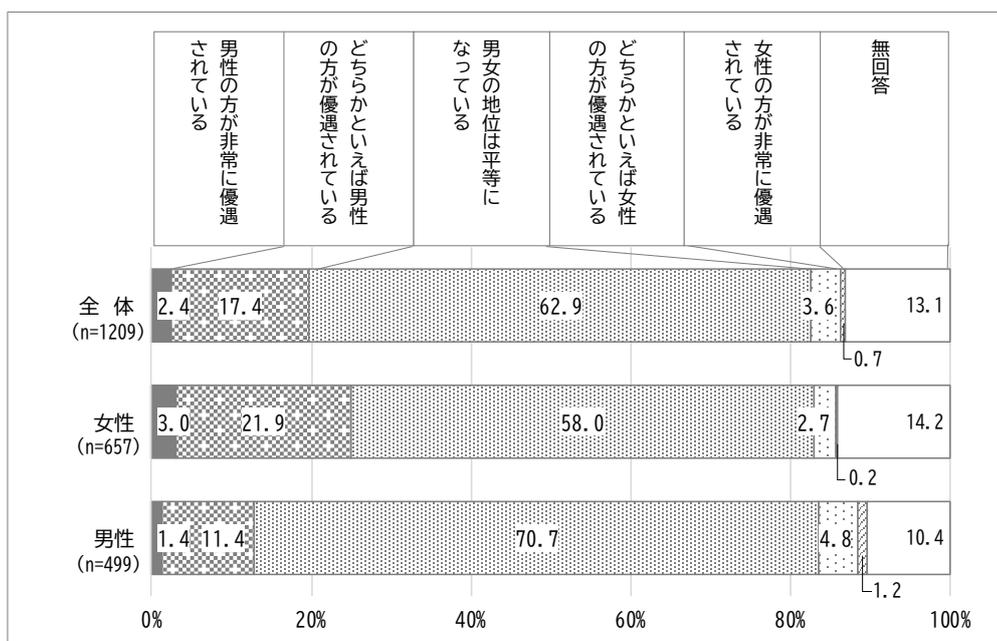


④ 学校で [S A]

全体でみると、「男女の地位は平等になっている」は62.9%で平等感が高い傾向となっています。一方、「男性が優遇（合計）」は19.8%あり、女性より男性優位の意識がまだ残っています。

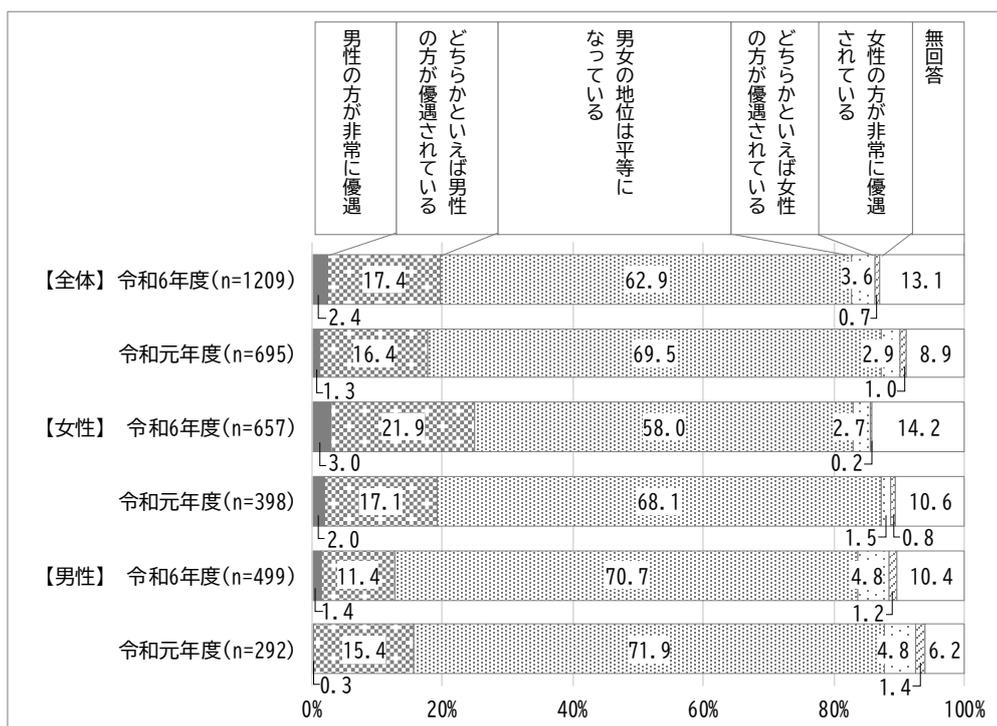
性別でみると、「男女の地位は平等になっている」は「女性」が58.0%、「男性」が70.7%で男性の意識が高い傾向となっています。

「男性が優遇（合計）」は「女性」が24.9%、「男性」が12.8%で女性の意識がやや高い傾向となっています。



【前回調査との比較】

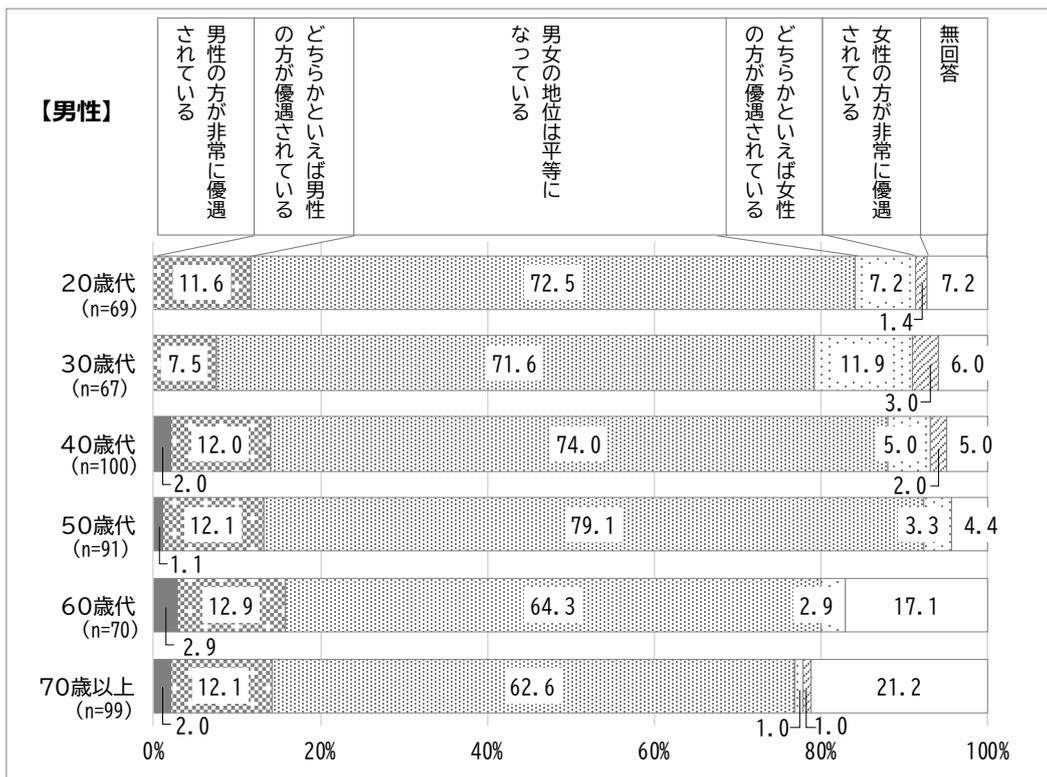
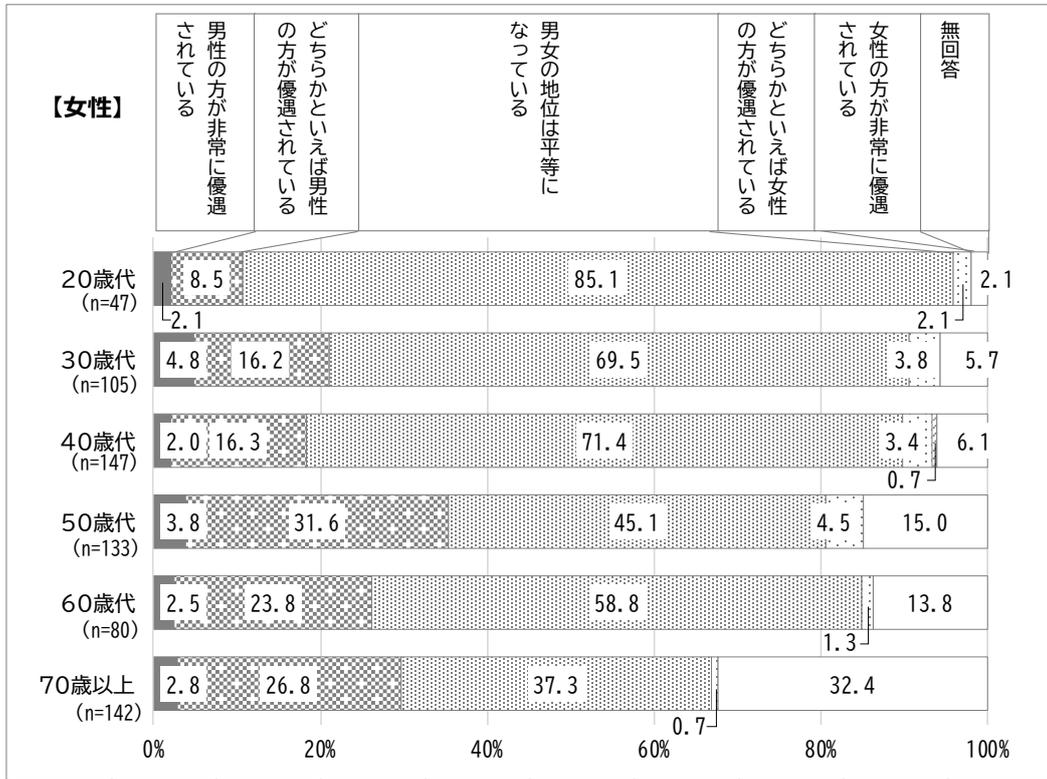
前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が69.5%から62.9%と減少しています。特に女性の「男性が優遇（合計）」の意識が19.1%から24.9%と高くなっています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性は50歳以上では「男性が優遇（合計）」の割合が高く、20歳代は「男女の地位は平等になっている」の割合が高くなっています。

男性は「男女の地位は平等になっている」が全ての年代で最も多い回答ですが、20歳代、30歳代は「男性の方が非常に優遇されている」の回答がありませんでした。

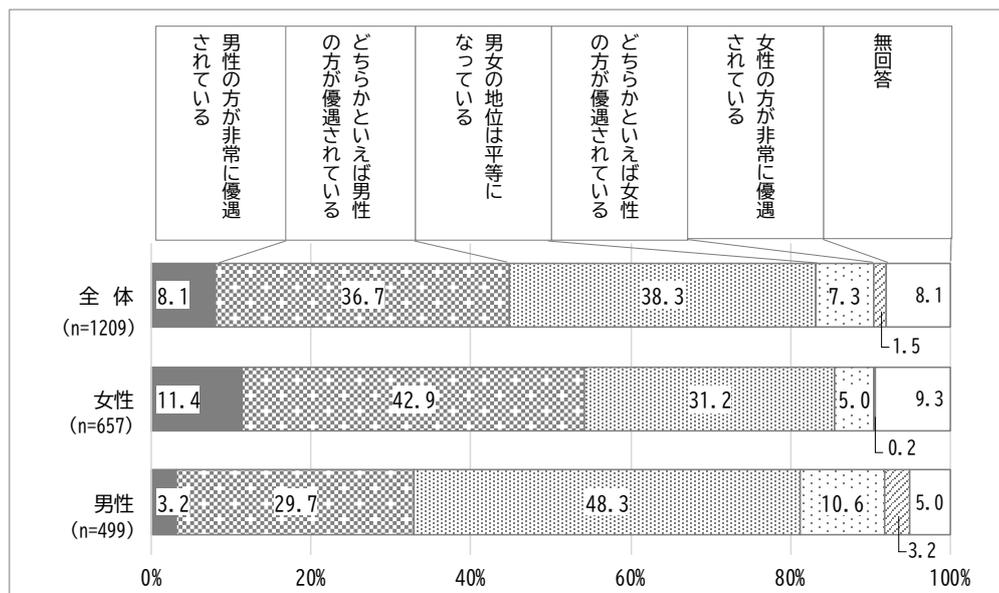


⑤ 法律や制度で [S A]

全体でみると、「男女の地位は平等になっている」は38.3%で、「男性が優遇（合計）」は44.8%あり、まだ平等感は低く、男性優位の意識が高い傾向となっています。

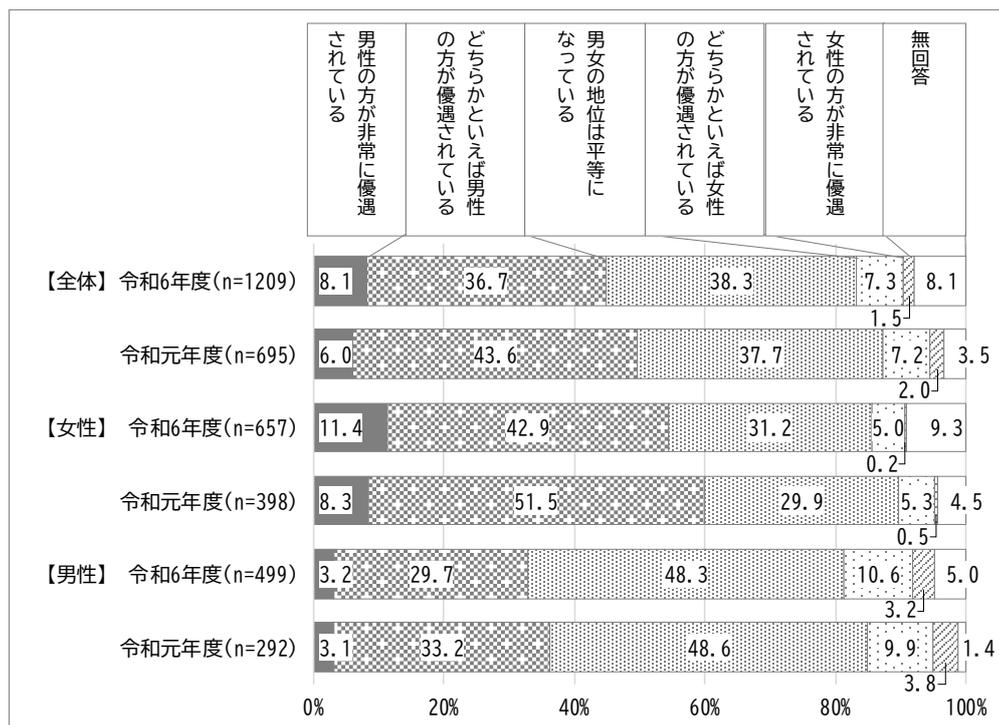
性別でみると、「男女の地位は平等になっている」は「女性」が31.2%、「男性」が48.3%とともに平等の意識は低い傾向となっています。

「男性が優遇（合計）」は「女性」が54.3%、「男性」が32.9%で、女性の男性優位の意識が高い傾向となっています。



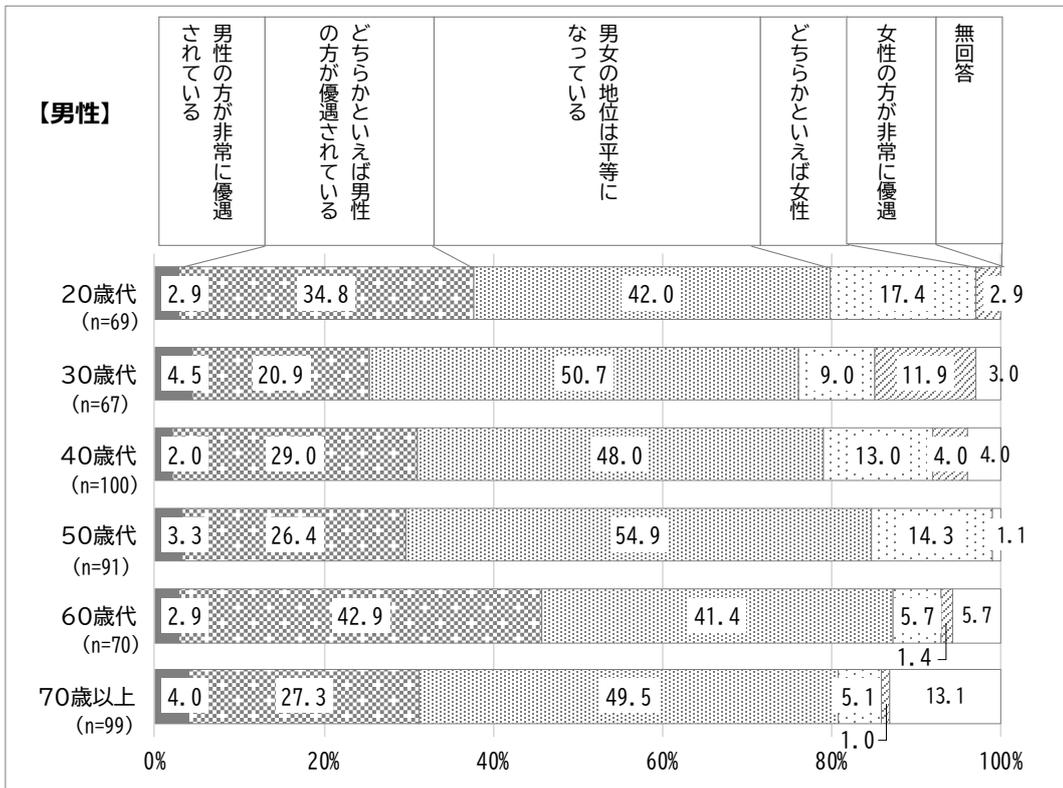
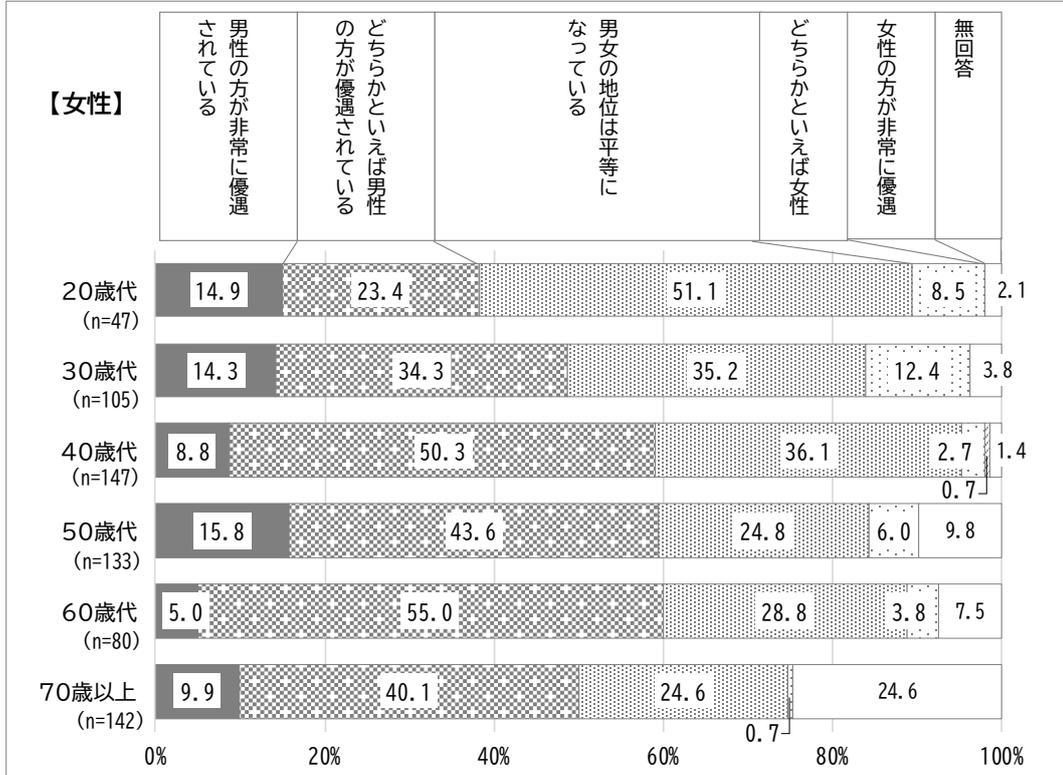
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が37.7%から38.3%とわずかに増加していますが、女性は「男性が優遇（合計）」が42.9%で意識が高くなっています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性は40歳代以上で「男性が優遇（合計）」の割合が高く50%以上を占めていますが、20歳代は「男女の地位は平等になっている」が51.1%と平等の意識が高くなっています。男性は女性と比べて各年代とも「男女の地位は平等になっている」の割合が高くなっています。

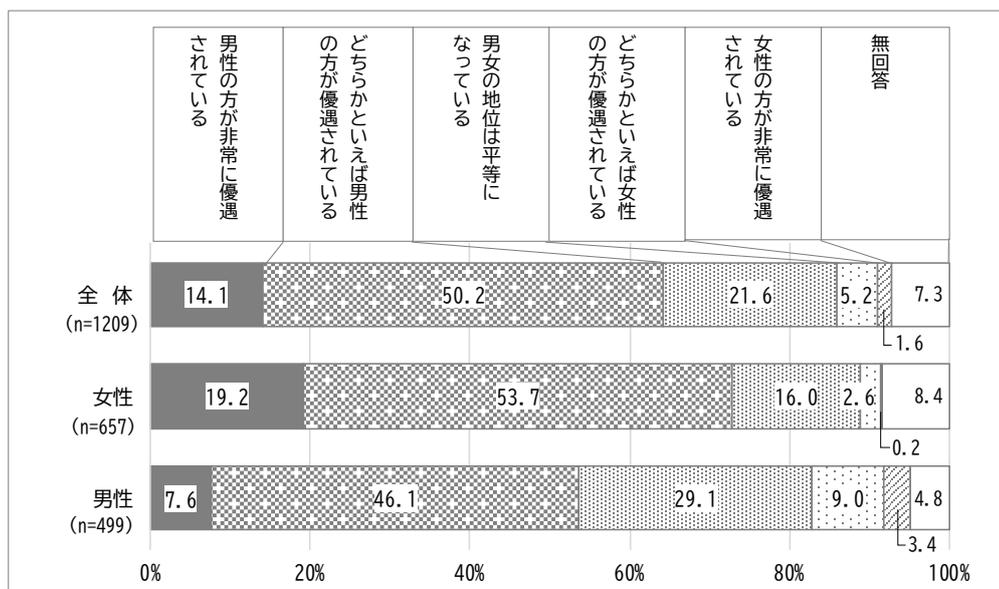


⑥ 社会通念・慣習などで [S A]

全体でみると、「男女の地位は平等になっている」は21.6%で、「男性が優遇（合計）」は64.3%あり、平等感は低く、男性優位の意識が高い傾向となっています。

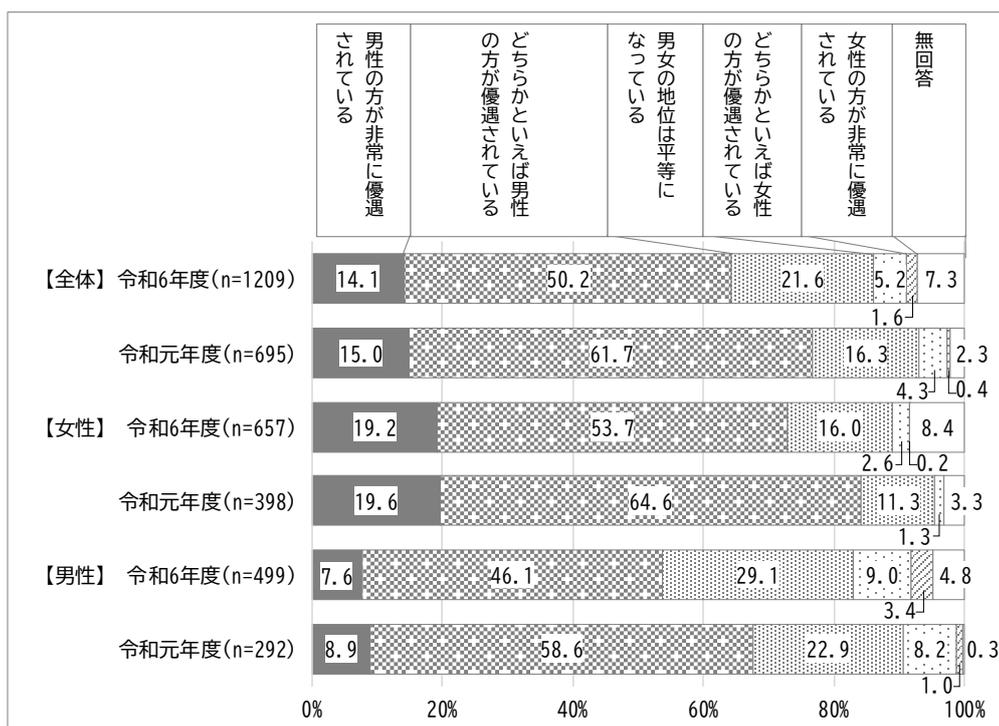
性別でみると、「男女の地位は平等になっている」は「女性」が16.0%、「男性」が29.1%とともに平等の意識は低い傾向となっています。

「男性が優遇（合計）」は「女性」が72.9%、「男性」が53.7%で、どちらも男性優位の意識ですが、女性の意識が男性より高い傾向となっています。



【前回調査との比較】

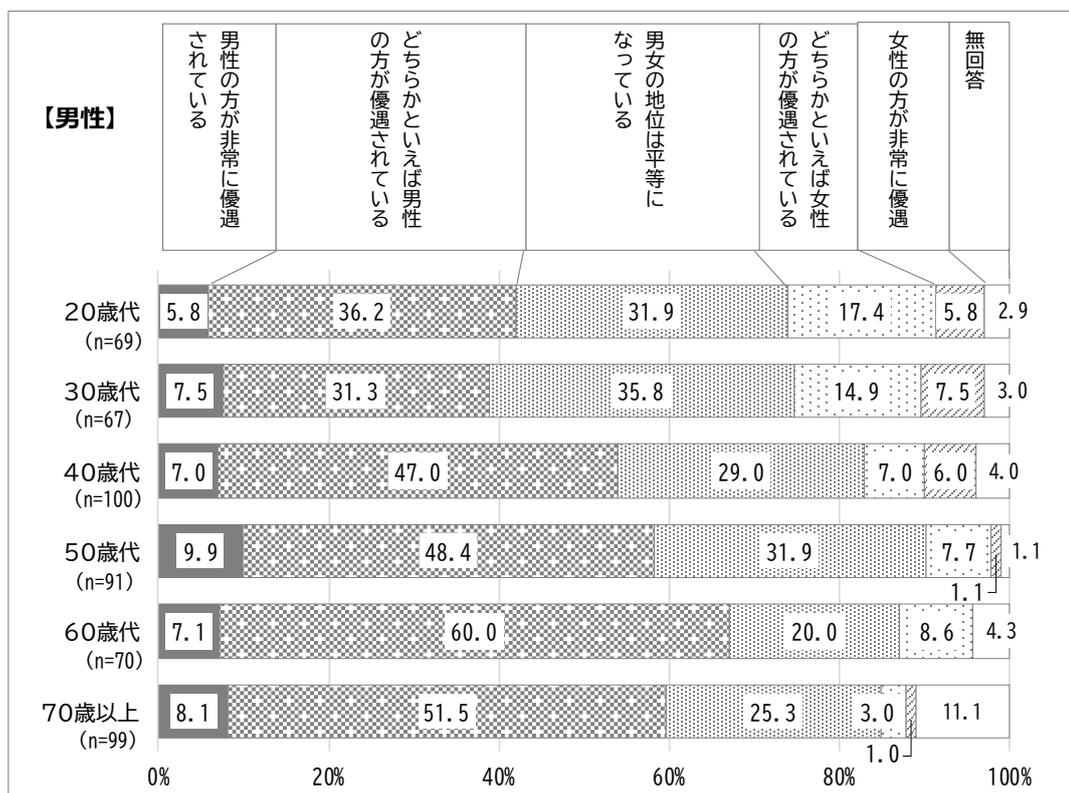
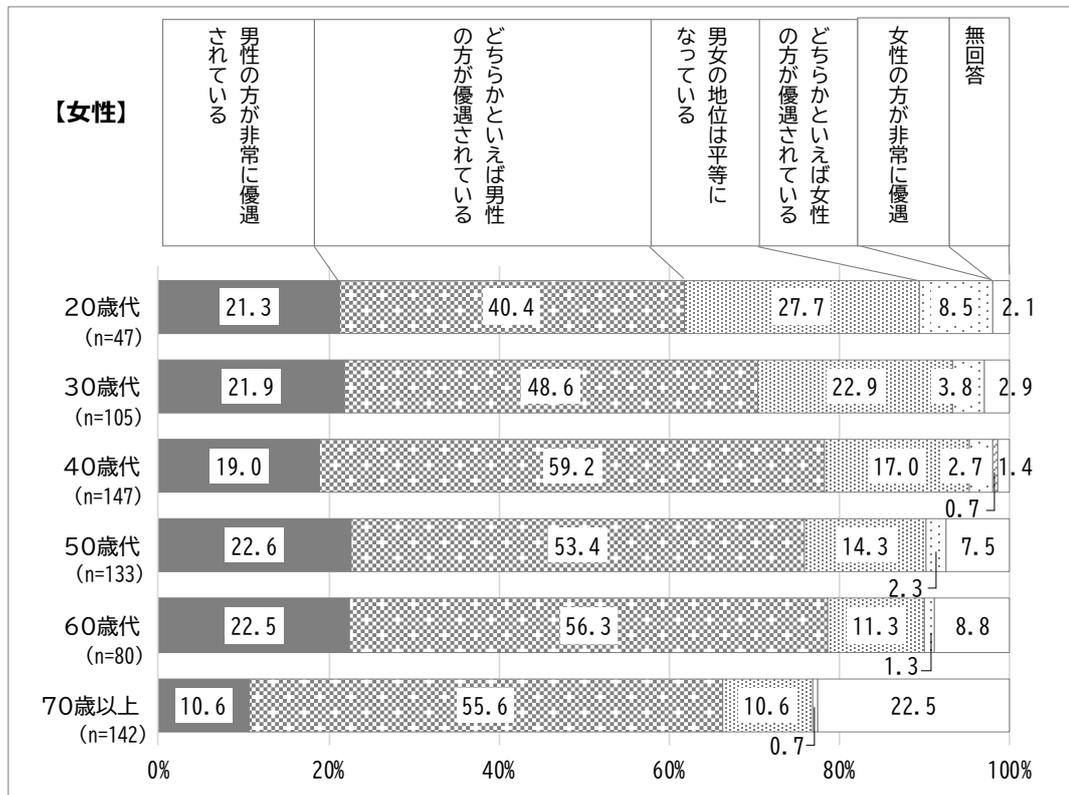
前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が16.3%から21.6%とわずかに増加していますが、「男性優位」の意識が依然として高い傾向となっています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性は40歳代から60歳代にかけて「男性が優遇（合計）」の意識が高く、20歳代、30歳代は他の年代に比べ「男女の地位は平等になっている」の割合がやや高くなっています。

男性は60歳代以上で「男性が優遇（合計）」の割合が高く、20歳代、30歳代、50歳代は「男女の地位は平等になっている」もやや高い傾向となっています。

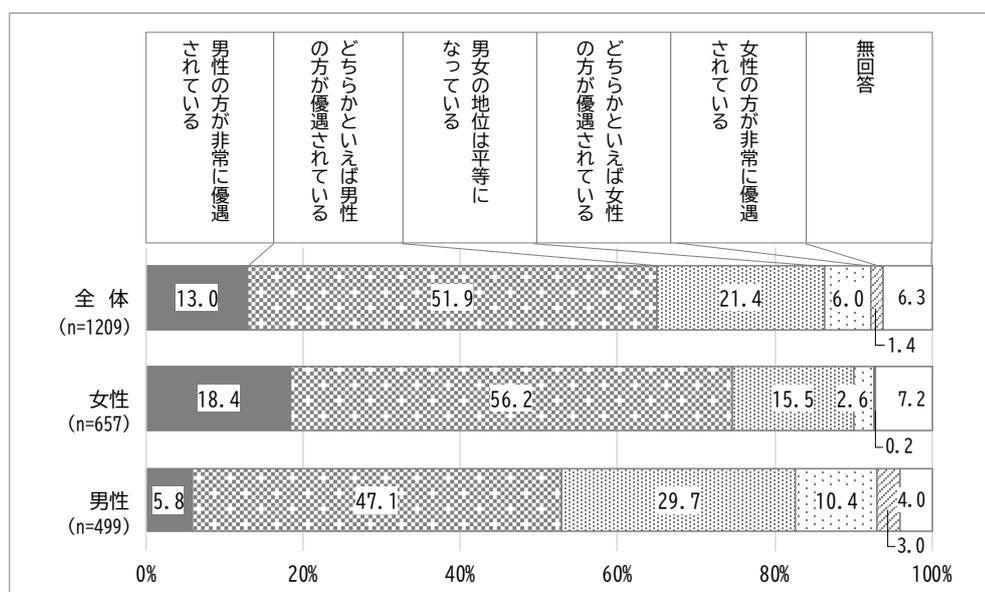


⑦ 社会全体で [S A]

全体で見ると、「男女の地位は平等になっている」は21.4%で、「男性が優遇（合計）」は64.9%あり、平等感は低く、男性優位の意識が高い傾向となっています。

性別で見ると、「男女の地位は平等になっている」は「女性」が15.5%、「男性」が29.7%とともに平等の意識は低い傾向となっています。

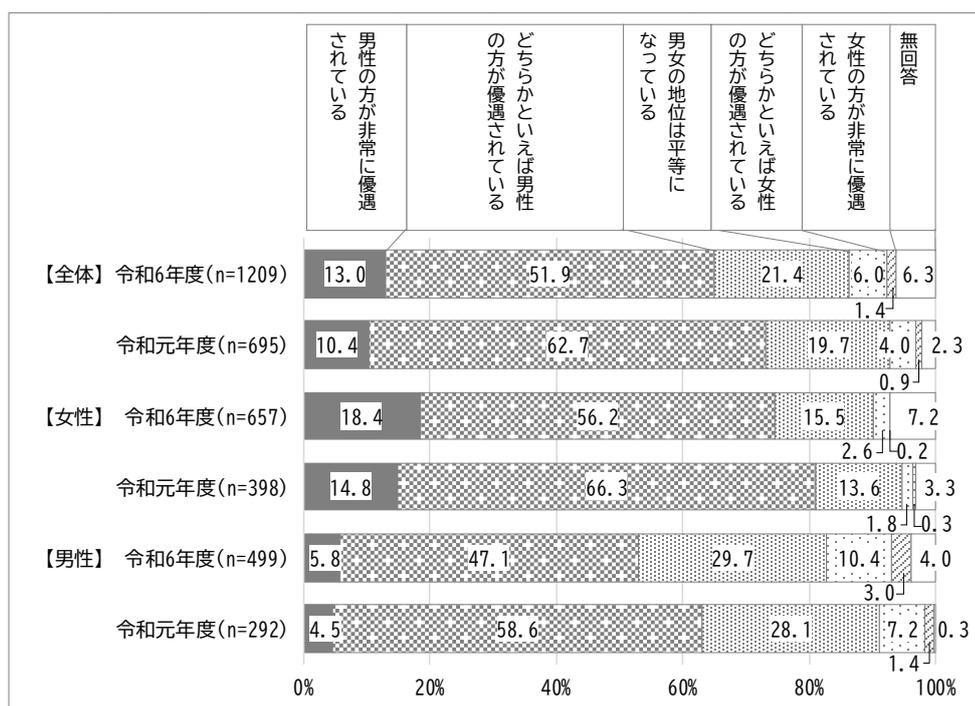
「男性が優遇（合計）」は「女性」が74.6%、「男性」が52.9%で、特に女性は男性優位の意識が高い傾向となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「男女の地位は平等になっている」が19.7%から21.4%とわずかに増加していますが、「男性優位」の意識が依然として高くなっています。

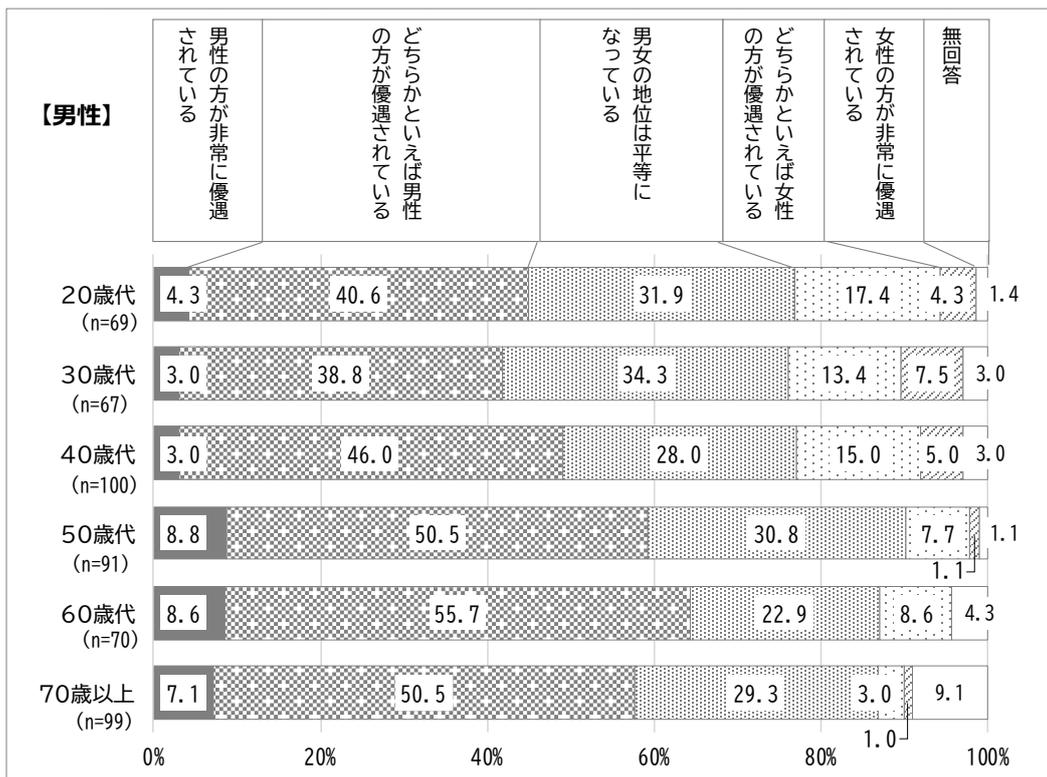
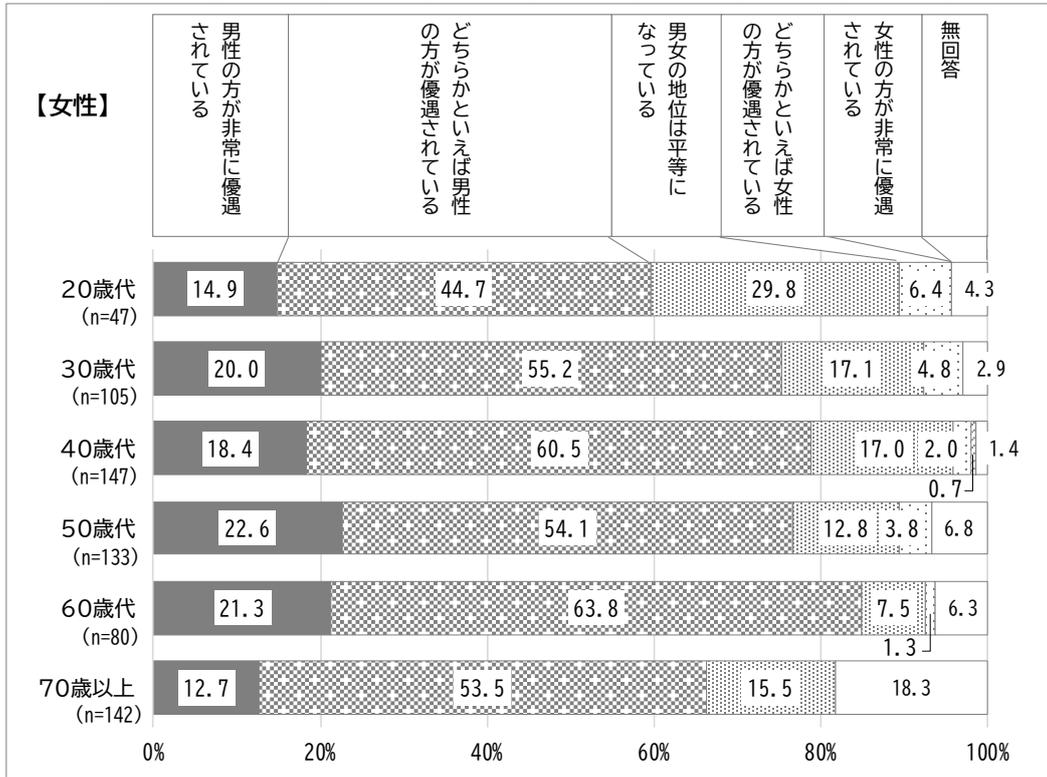
女性は「男性の方が非常に優遇されている」が14.8%から18.4%に増えており、男性に比べて「男性優位」意識が高くなっています。



【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性は20歳代が「男女の地位は平等になっている」が29.8%で他の年代よりやや高いものの、男性優位の意識が高い傾向となっています。

男性も「男性が優遇（合計）」の意識が各年代とも高いですが、20歳代から40歳代にかけては「男性の方が非常に優遇されている」の割合が3~4%程度と優位の意識がやや弱い傾向となっています。

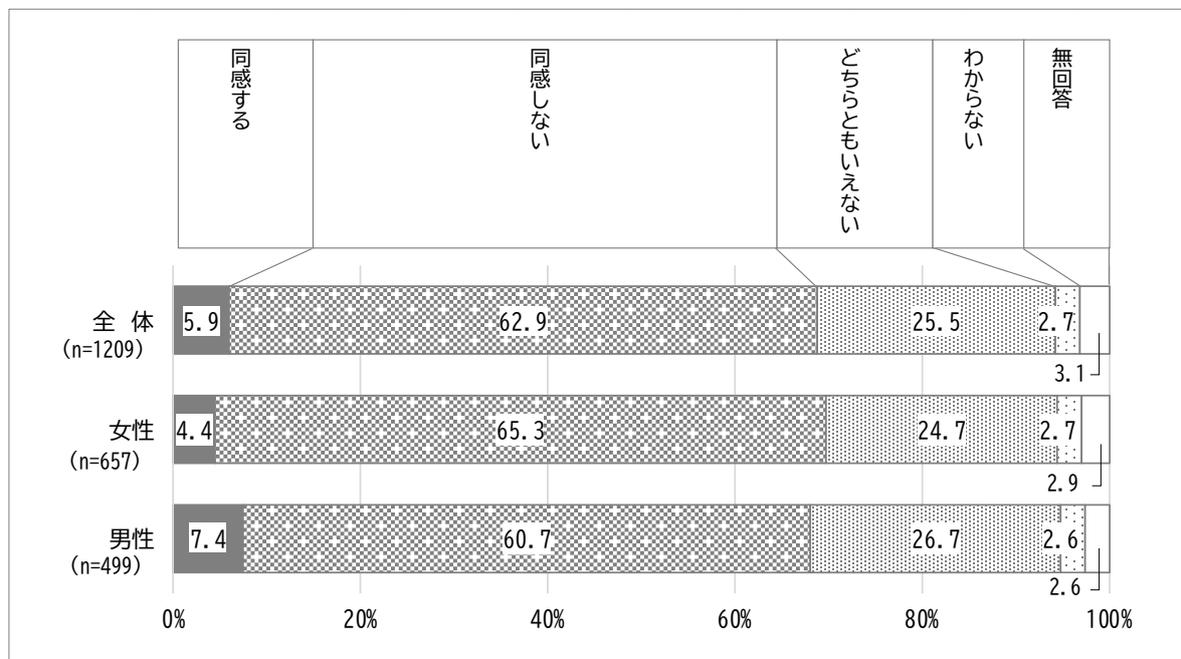


(2) 性別役割分担意識 [S A]

問2 「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識に同感しますか。(○は1つ)

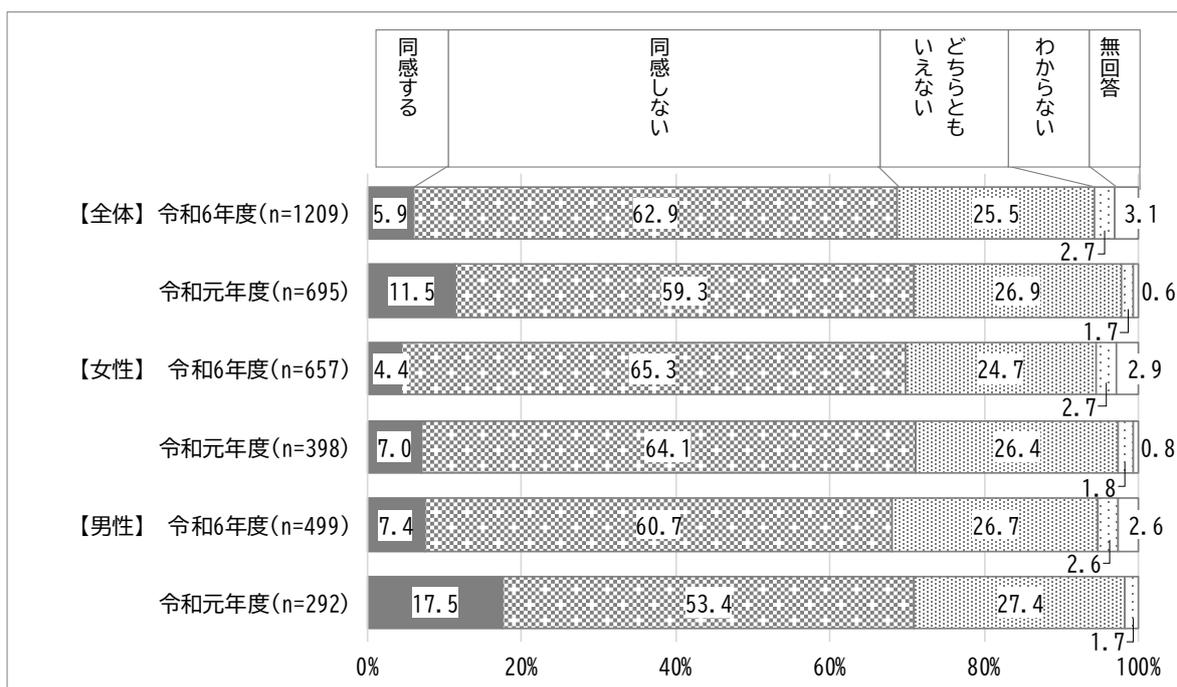
全体でみると、「同感しない」が62.9%で固定的な意識は低くなっています。

性別でみると、「同感しない」は「女性」が65.3%、「男性」が60.7%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「同感しない」が59.3%から62.9%に増加しています。特に男性は、「同感する」が17.5%から7.4%に減少しており、男性の意識が変わりつつある傾向となっています。

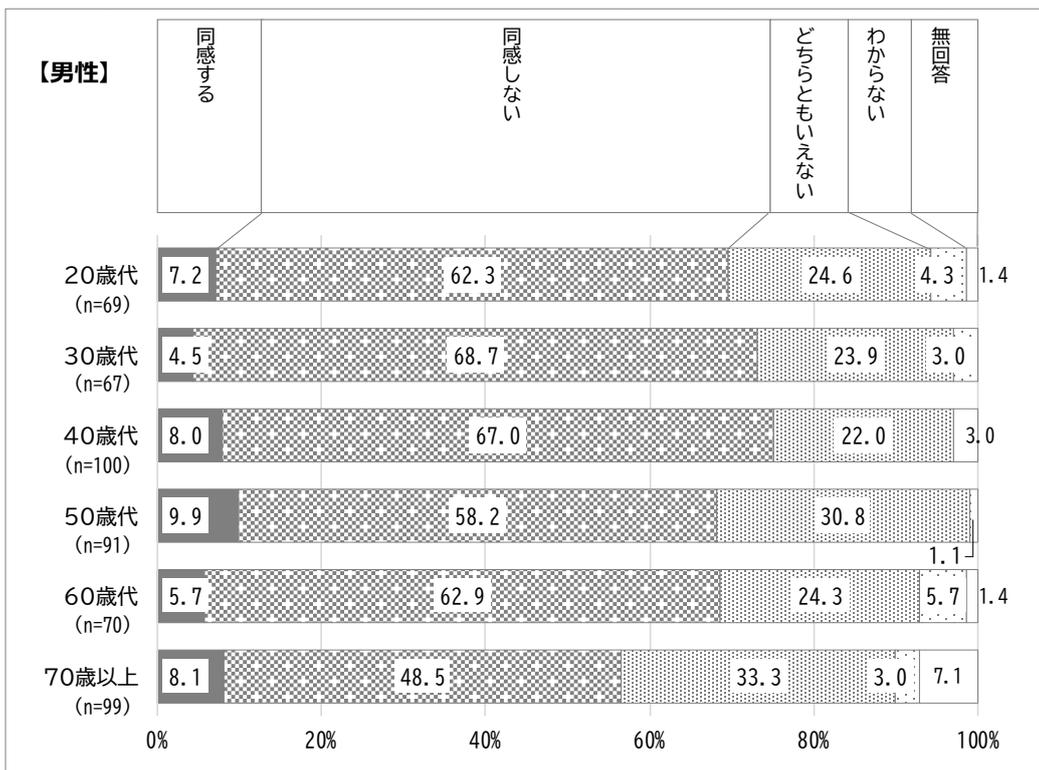
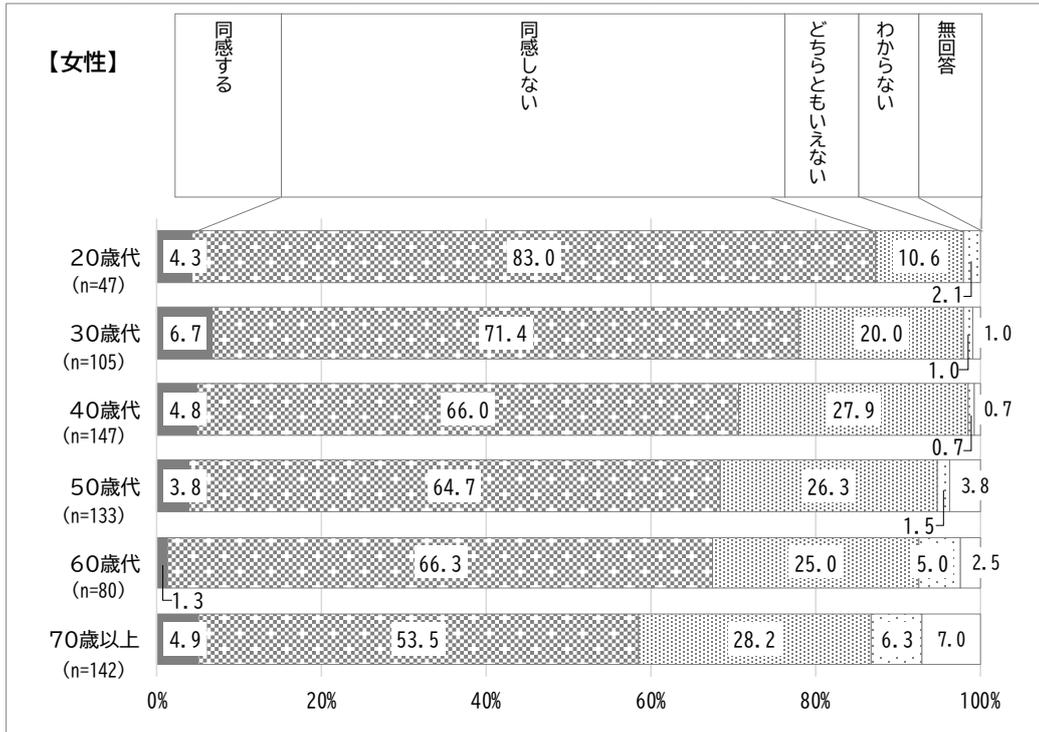


【性別・年代別比較】

年代別にみると、女性は「同感しない」が各年代とも50%以上を占め、若い年代ほど割合が高く20歳代では83.0%となっています。

男性は70歳代で「同感しない」が48.5%とやや低いです、その他各年代で50~70%程度となっています。

また男性では「同感する」が、女性の各年代と比べるとやや高い傾向となっています。



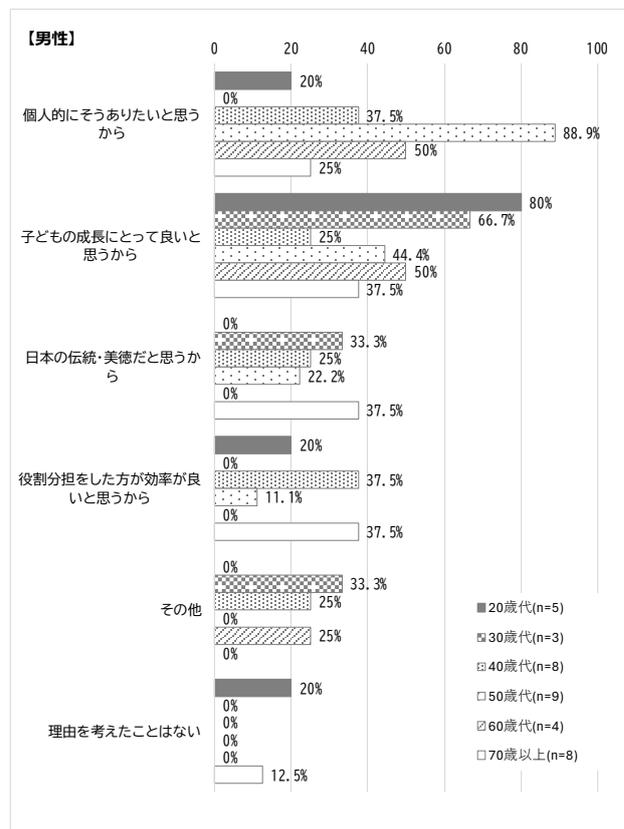
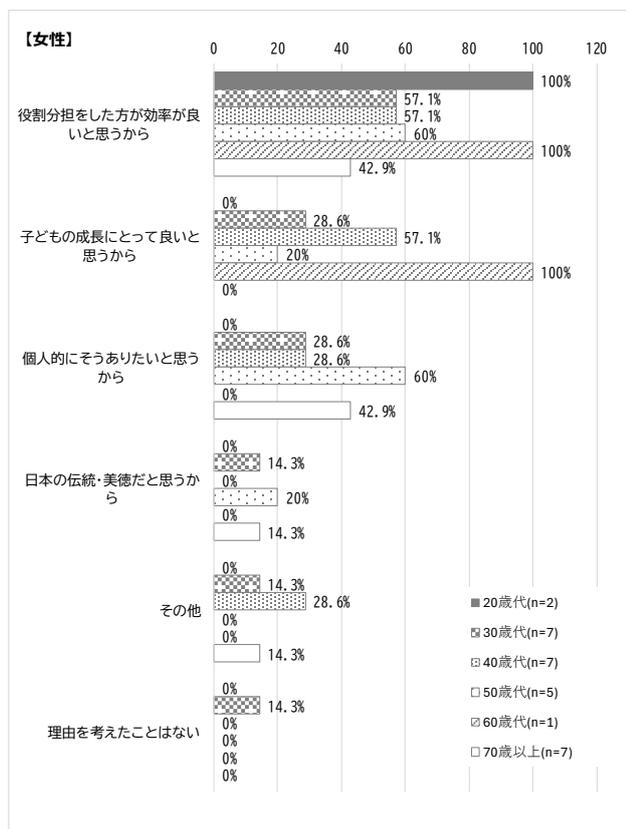
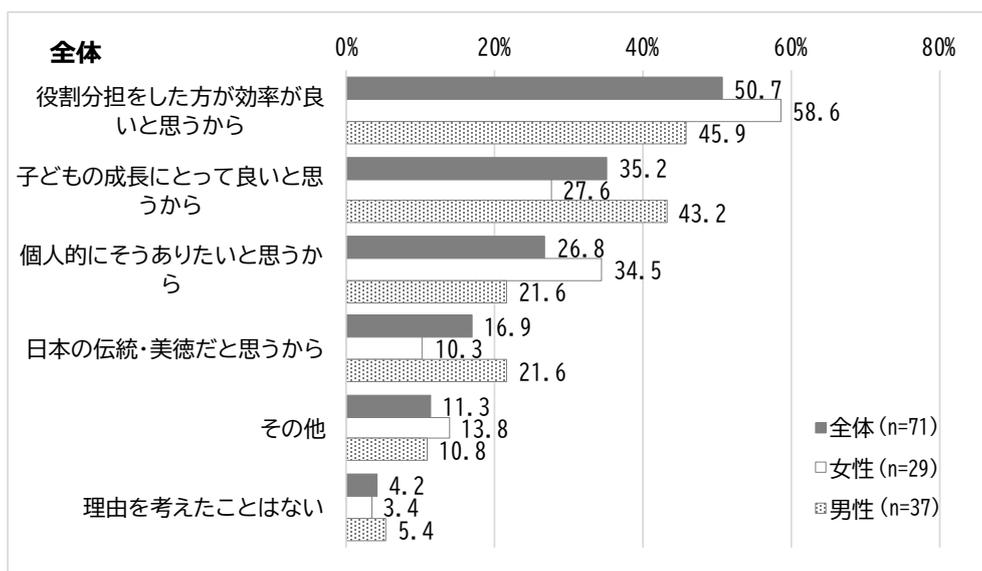
(3) 性別役割分担意識に同感する理由 [MA]

問3 (問2で「同感する」と回答した方にお聞きします。)
同感する理由は何ですか。(〇は2つまで)

全体でみると、「役割分担をした方が効率が良いと思うから」が50.7%、「子どもの成長にとって良いと思うから」が35.2%となっています。

性別でみると、女性は「役割分担をした方が効率が良いから」が58.6%、「個人的にそうありたいと思うから」が34.5%、男性は「役割分担をした方が効率が良いから」が45.9%、「子どもの成長にとって良いと思うから」が43.2%となっています。

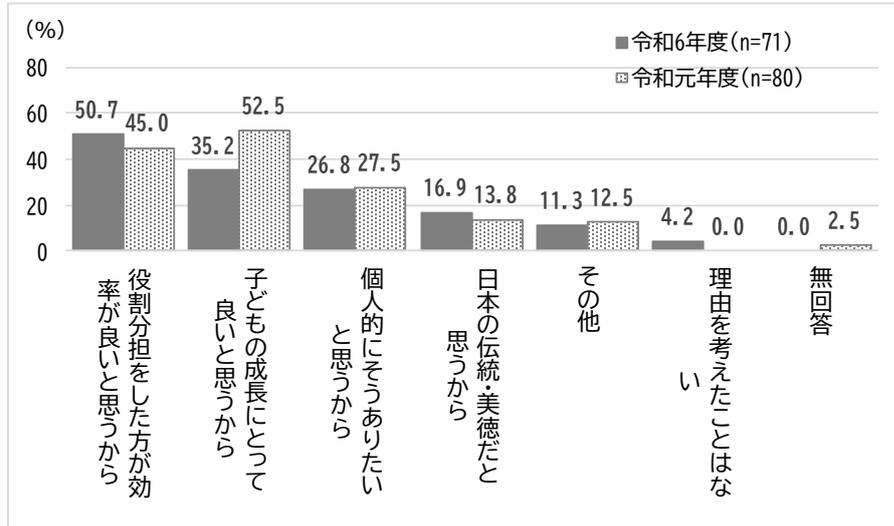
「役割分担をした方が効率が良いと思うから」は男女ともに最も多い理由ですが、2番目の理由では異なる意識がみられます。



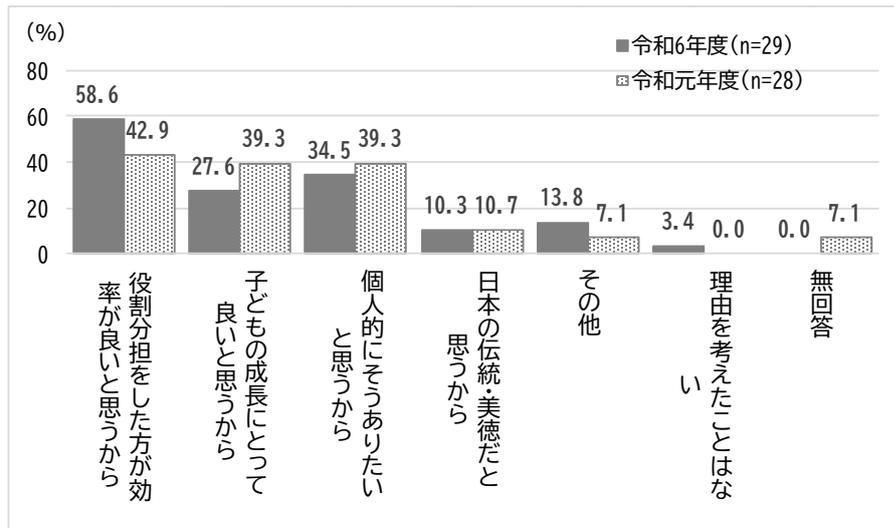
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「役割分担をした方が効率が良いと思うから」が45.0%から50.7%に増加しています。反対に「子どもの成長にとって良いと思うから」は52.5%から35.2%に減少しています。

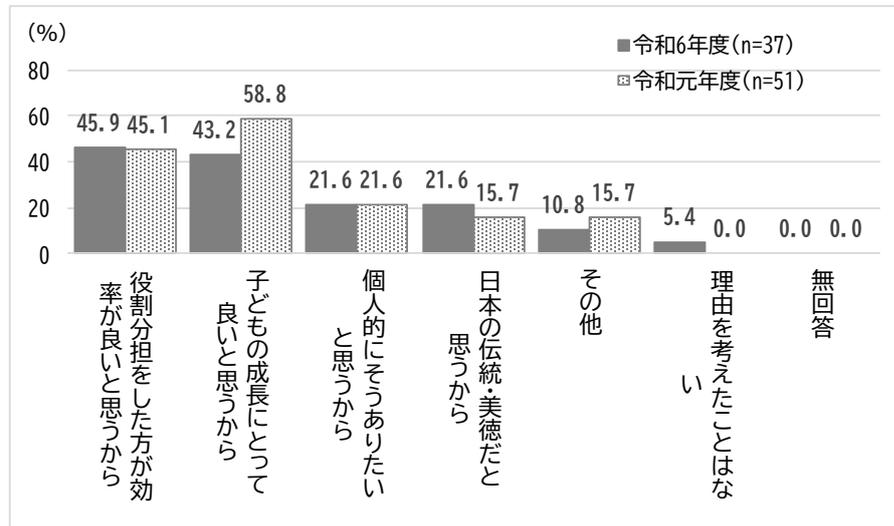
[全体]



[女性]



[男性]

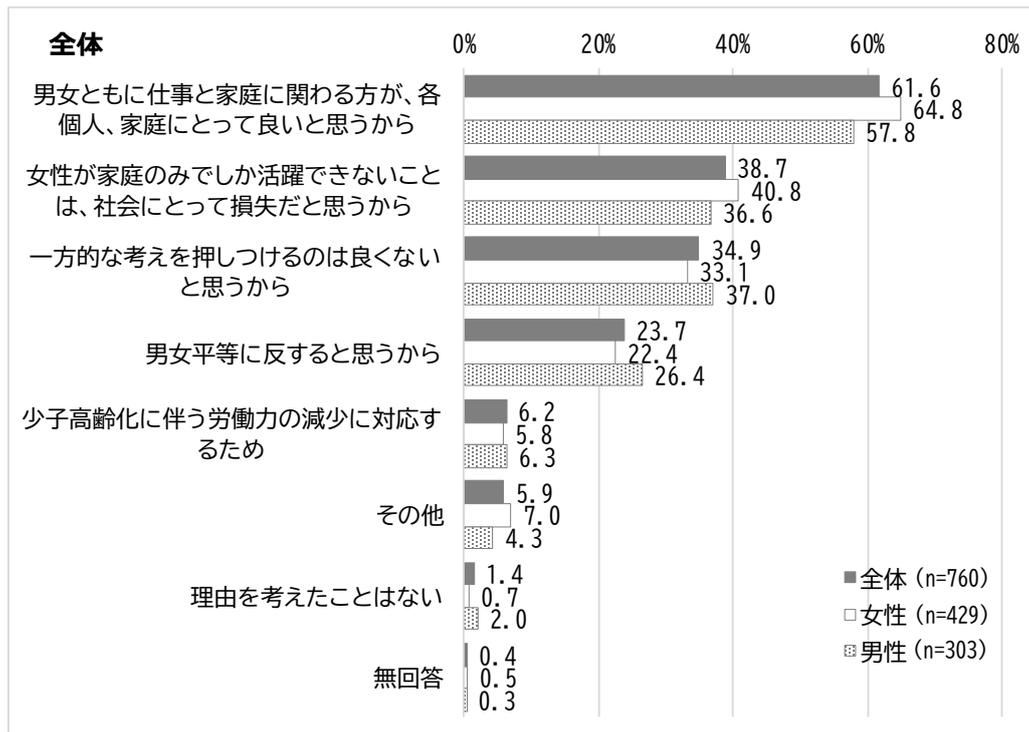


(4) 性別役割分担意識に同感しない理由 [MA]

問4 (問2で「同感しない」と回答した方にお聞きします。)
同感しない理由は何ですか。(〇は2つまで)

全体で見ると、「男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が61.6%となっています。

性別で見ても「男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が最も多く、女性が64.8%、57.8%となっています。

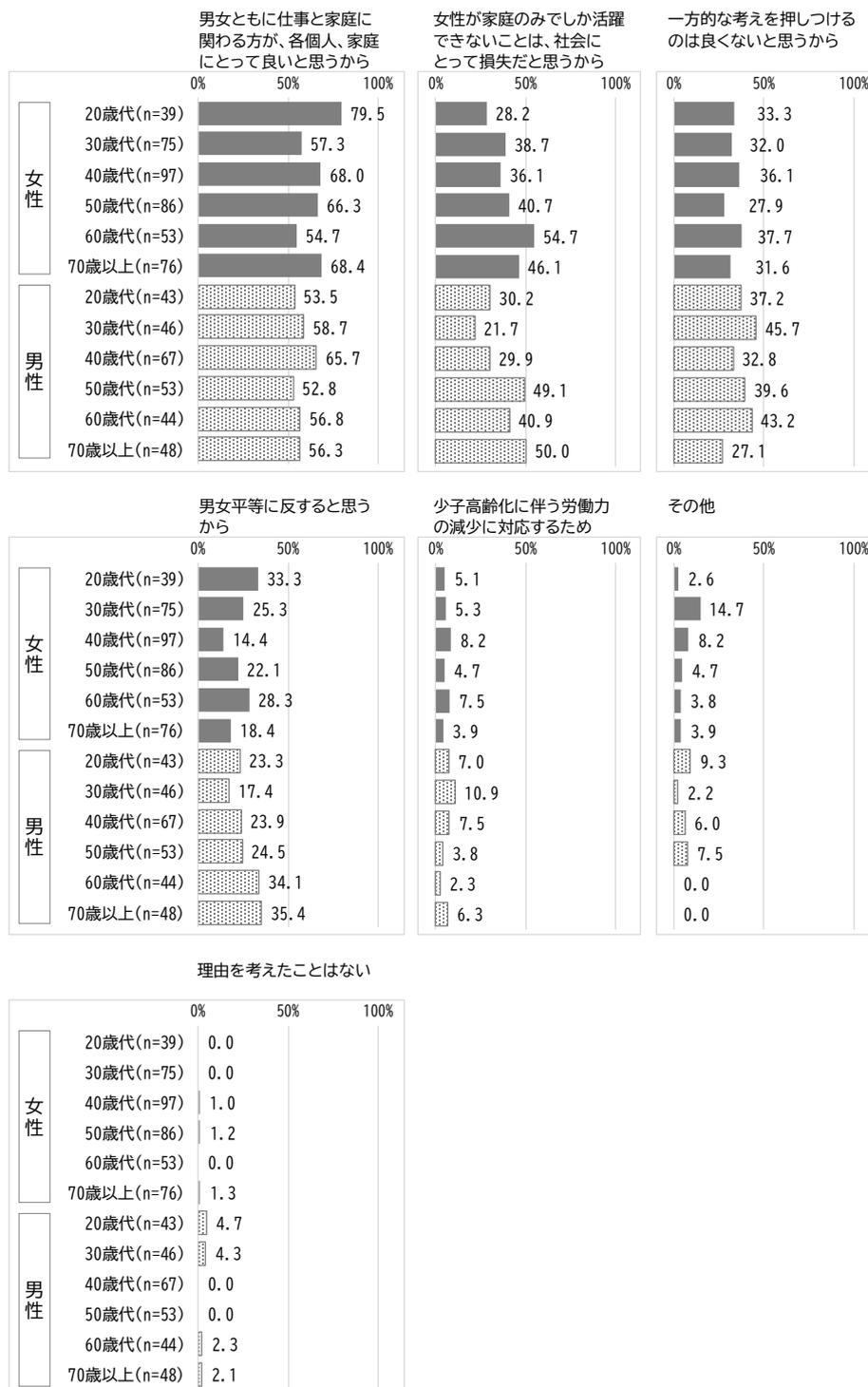


[性別・年代別比較]

年代別でみると、「男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」は、女性では30歳代、60歳代が50%台、その他の年代は60%を超えています。男性では40歳代のみ60%を超えています。

「女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから」は、女性では60歳代で半数を超えています。

「一方的な考えを押しつけるのは良くないと思うから」は、女性では60歳代、男性では70歳以上がそれぞれ50%を超えています。男性の若い世代は20~30%台と低い傾向となっています。

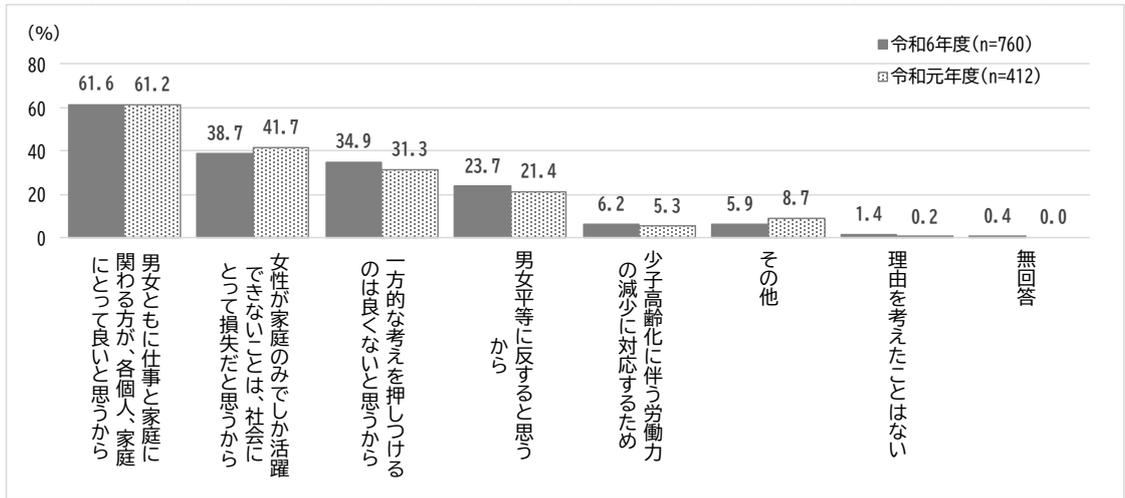


【前回調査との比較】

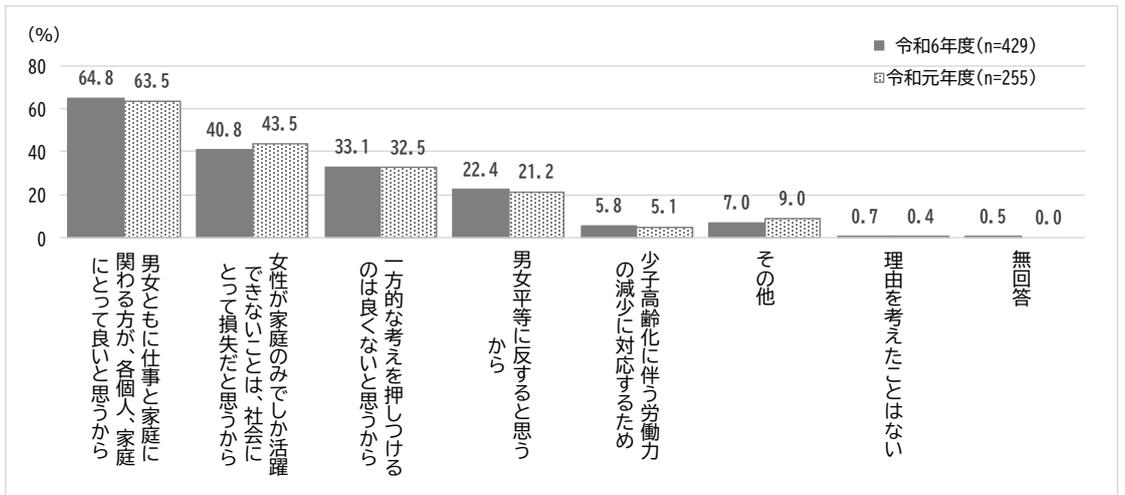
前回調査と比較すると、「男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が最も多いですが、61.2%から61.6%と概ね横ばいです。

「女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから」が41.7%から38.7%に減少しています。

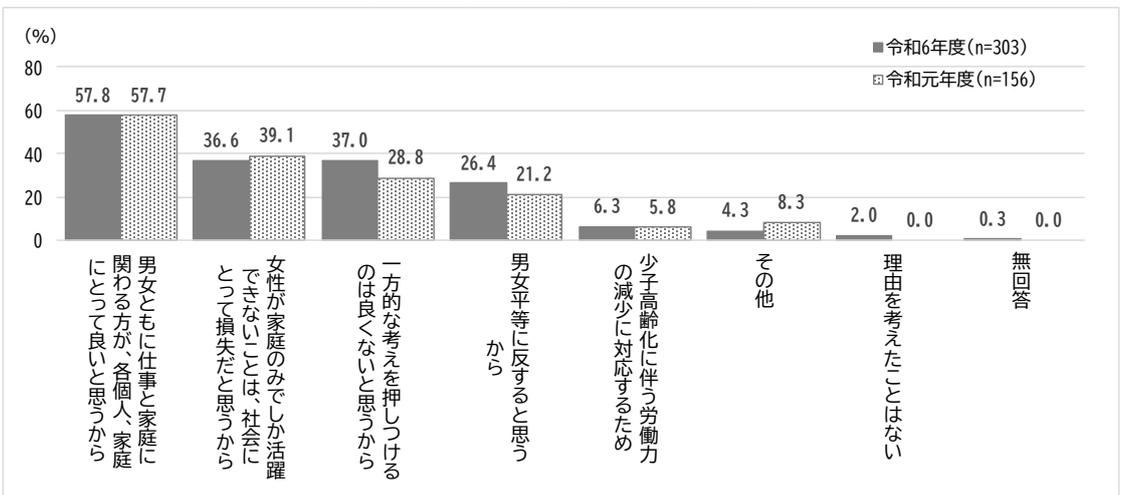
[全体]



[女性]



[男性]



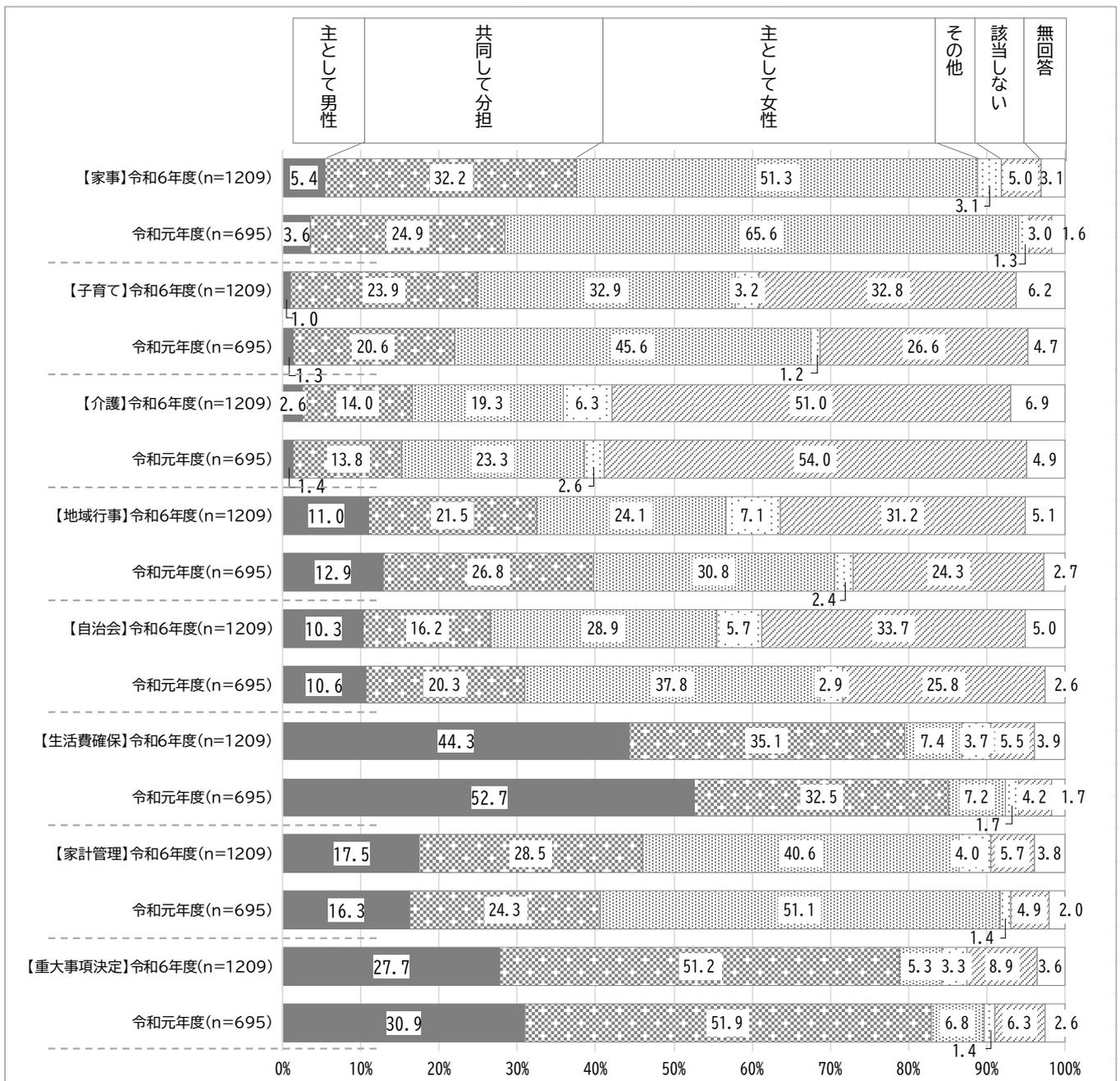
3 家庭生活について

(1) 家庭生活での役割分担 [SA]

問5 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

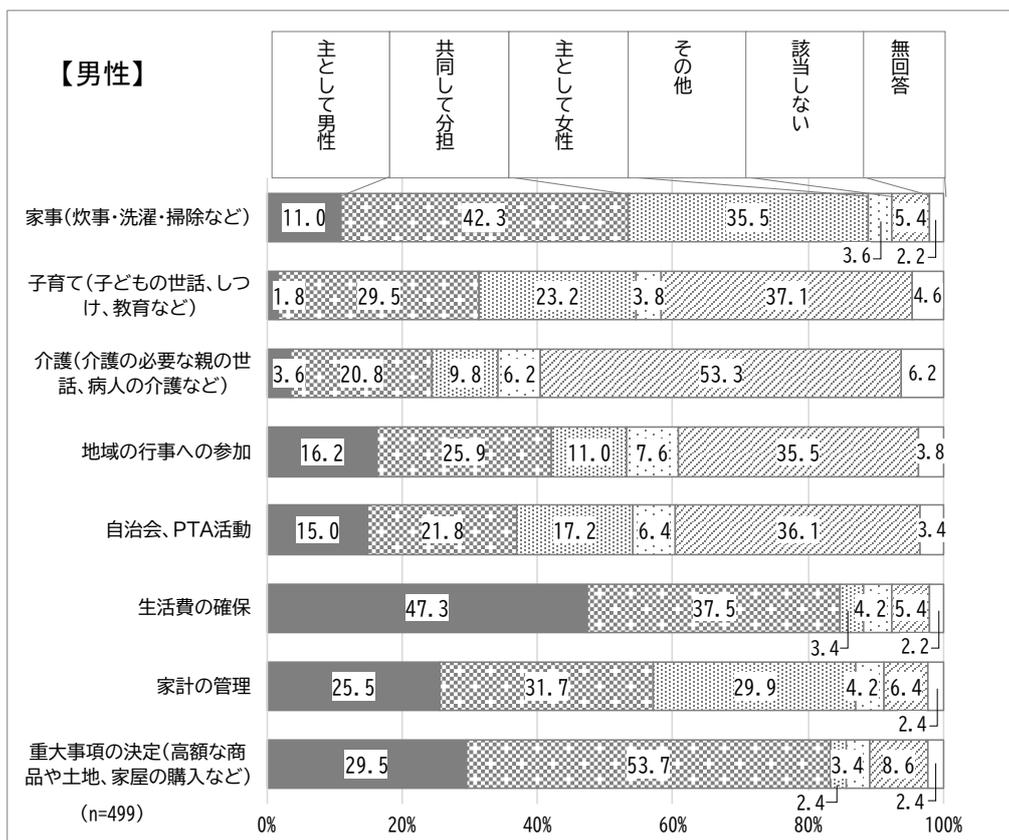
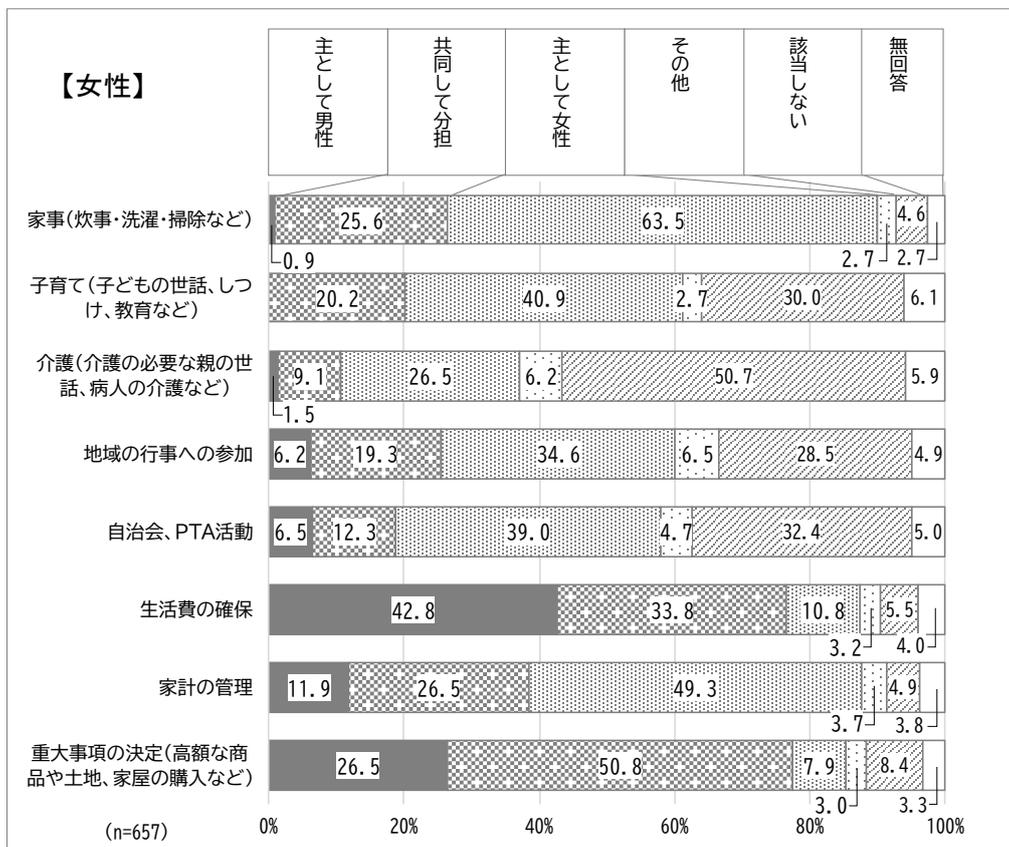
全体で見ると、主として女性の分担は「家事(炊事・洗濯・掃除など)」が51.3%、「家計の管理」が40.7%で、主として男性の分担は「生活費の確保」が44.3%となっています。

また、共同して分担は「重大事項の決定(高額な商品や土地、家屋の購入など)」が51.2%となっています。



性別でみると、女性では主として女性の分担は「家事（炊事・洗濯・掃除など）」が63.5%、「家計の管理」が49.3%、「子育て」が40.9%など、多くの項目で女性の役割との意識が高くなっています。

男性では、「生活費の確保」が47.3%で主に男性の分担との意識があり、「家事（42.3%）」や「子育て（29.5%）」など多くの項目で共同分担との意識がみられます。

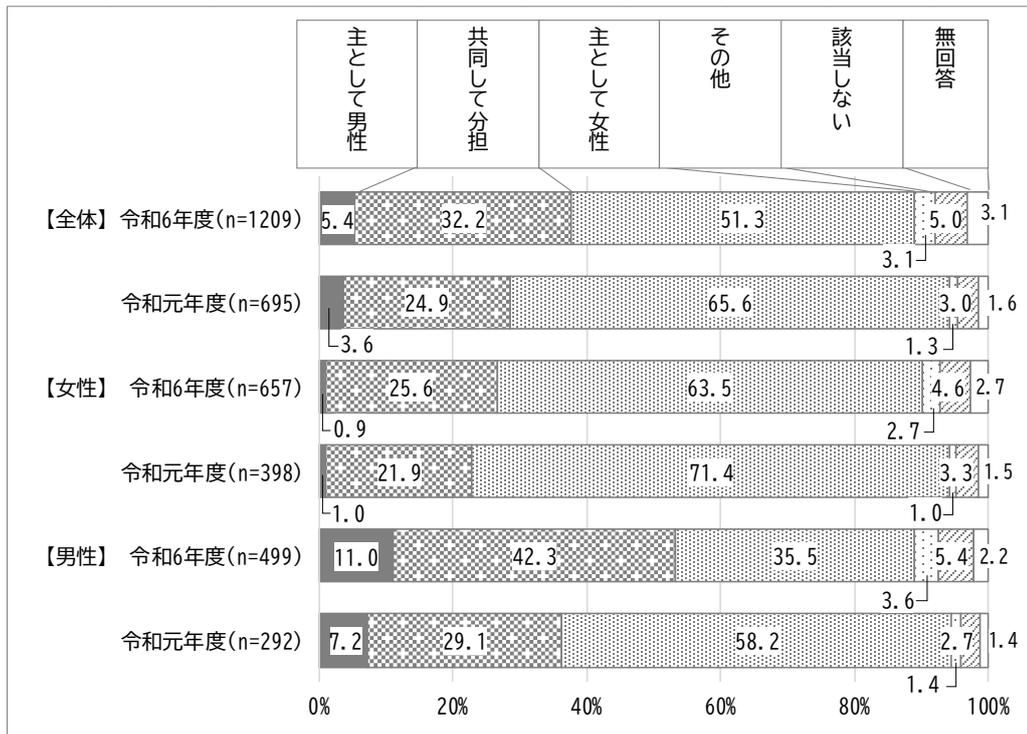


① 家事（炊事・洗濯・掃除など）[SA]

前回調査と比較すると、「共同して分担」が24.9%から32.2%に増加していますが、まだ「主として女性」が65.6%から51.3%と半数を占めており、依然として女性が主な分担との意識が高い傾向となっています。

男性は「共同して分担」が42.3%と高い意識ですが、女性は「主として女性」の意識が63.5%と高く、性別による意識の違いが顕著となっています。

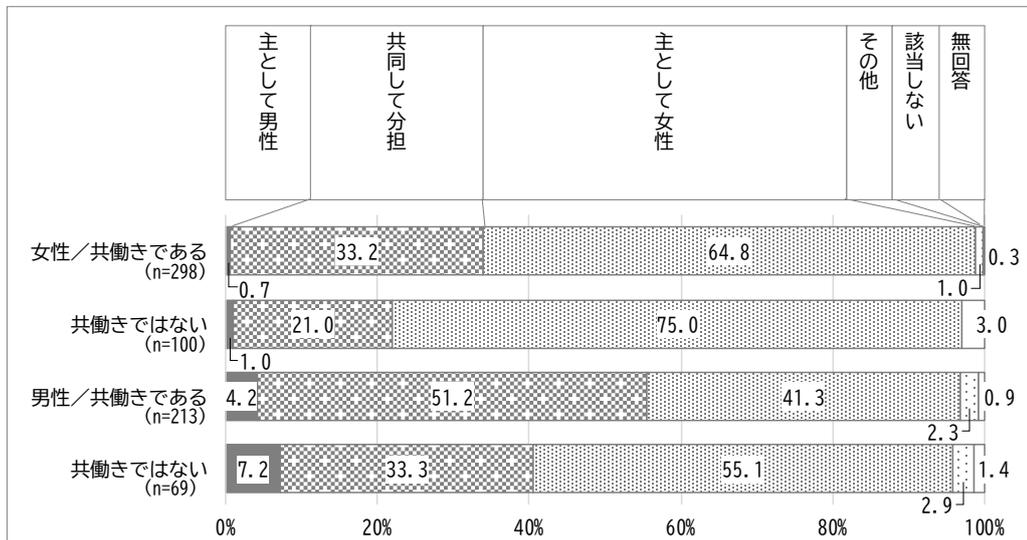
【前回調査との比較】



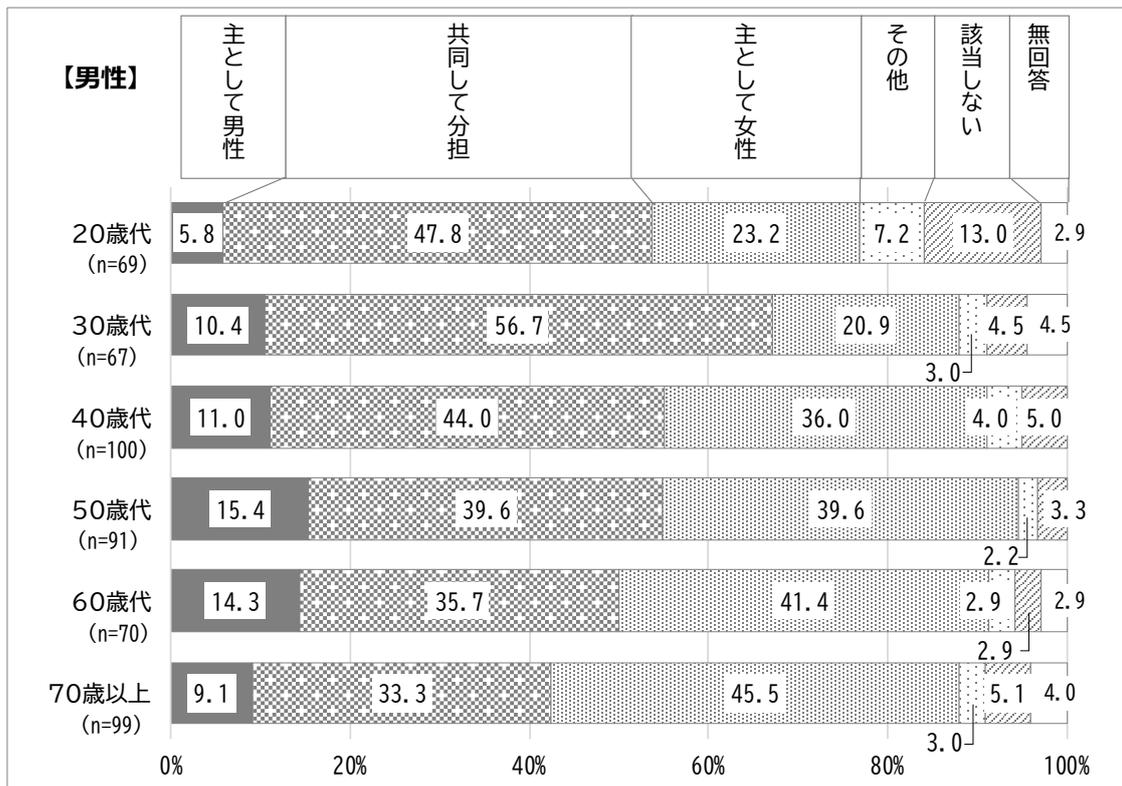
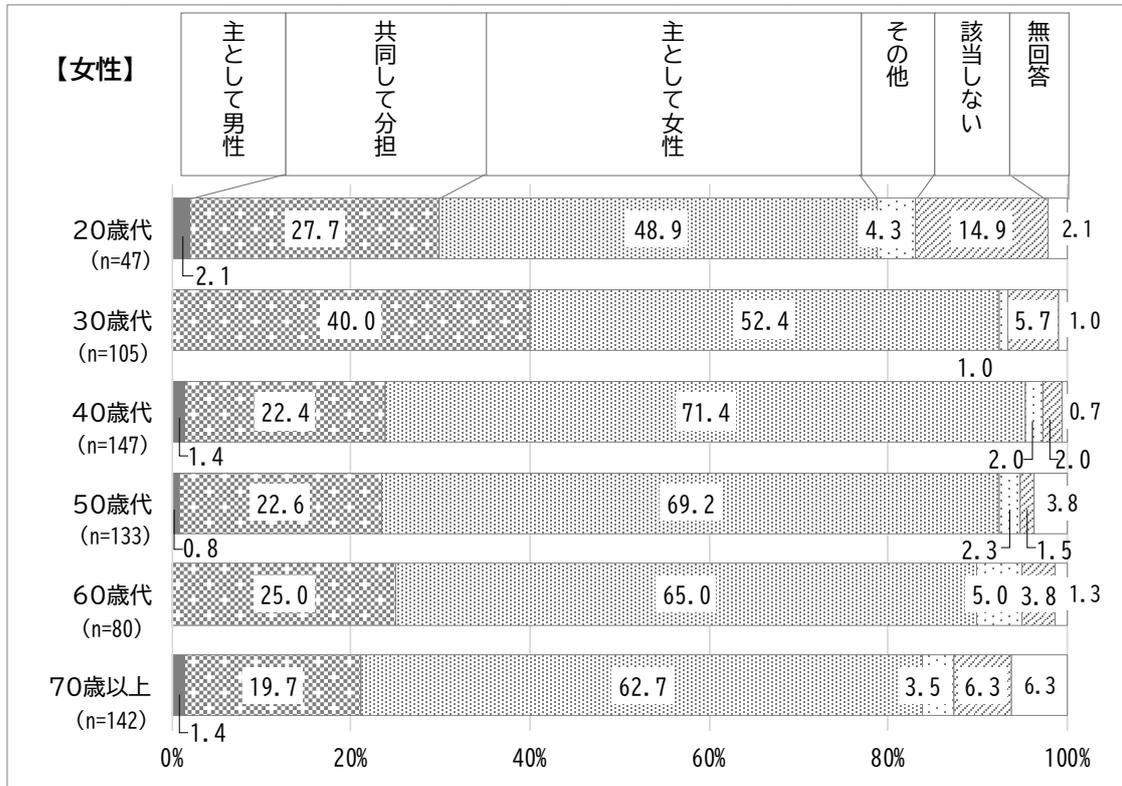
【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は共働きの有無ともに「主として女性」が60%を超えています。男性の「共働きである」では、「共同して分担」が51.2%、「共働きではない」は「主として女性」が55.1%となっています。

共働きの場合の女性と男性の意識の差は大きく、共働きでない場合では、男女ともに「主として女性」の意識が高くなっています。



年代別でみると、女性は全ての年代で「主として女性」の割合が高くなっています。
 男性は、「共同して分担」について30歳代が56.7%、20歳代が47.7%割合が高い傾向となっています。

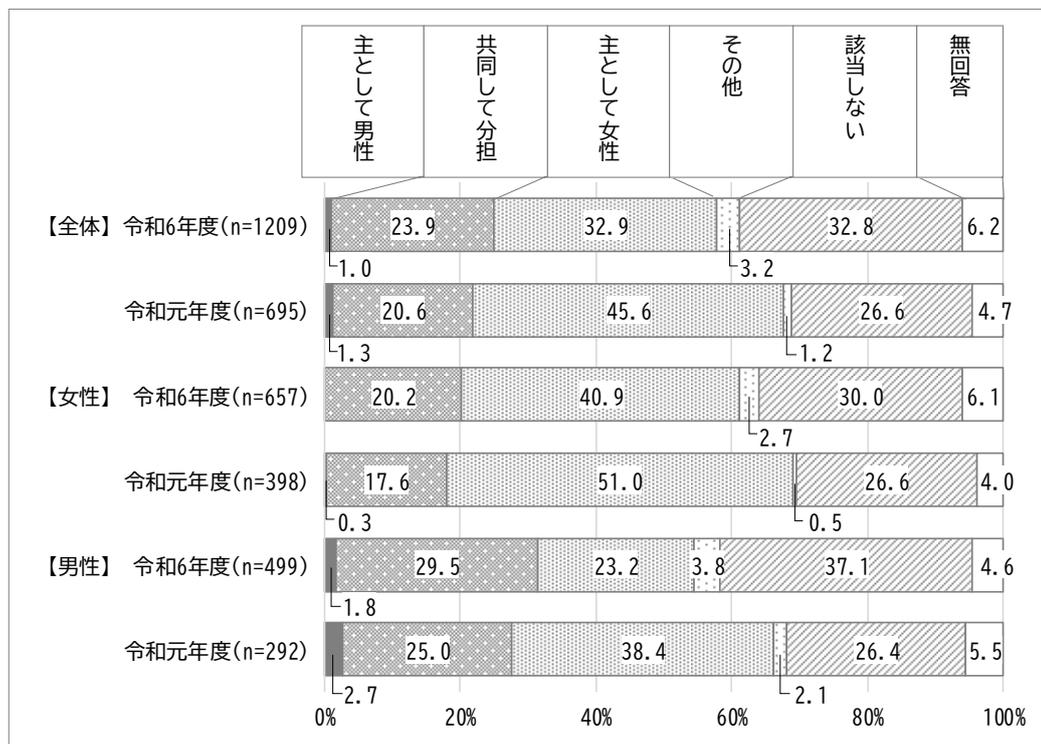


② 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）[SA]

前回調査と比較すると、「共同して分担」が20.6%から23.9%に増加するとともに、「主として女性」は45.6%から32.9%に減少しており、共同分担の意識が少しずつ拡大している傾向となっています。

男性も「共同して分担」が25.0%から29.5%、「主として女性」が38.4%から23.2%となり共同して分担する意識が増えています。

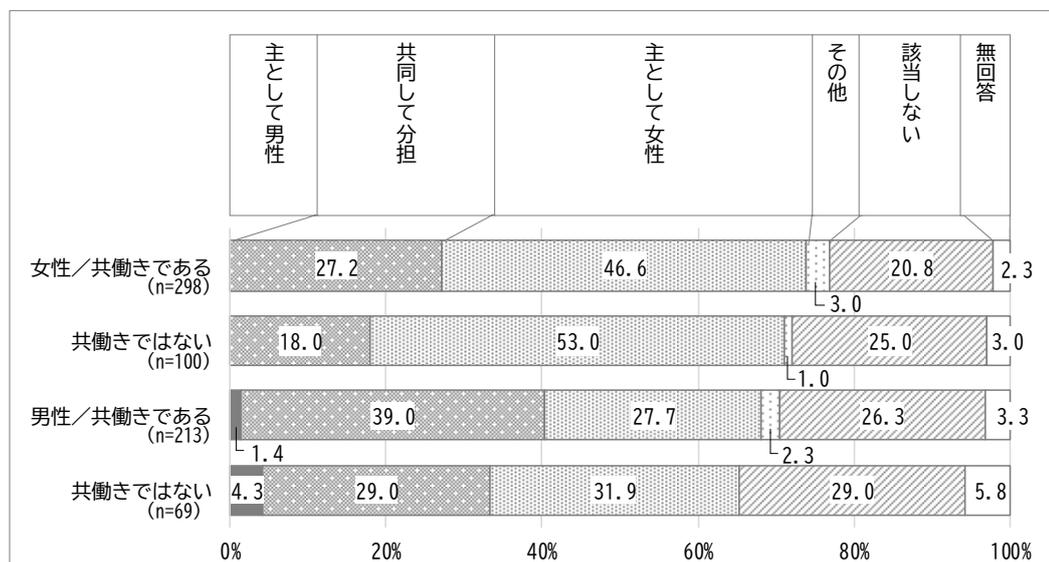
【前回調査との比較】



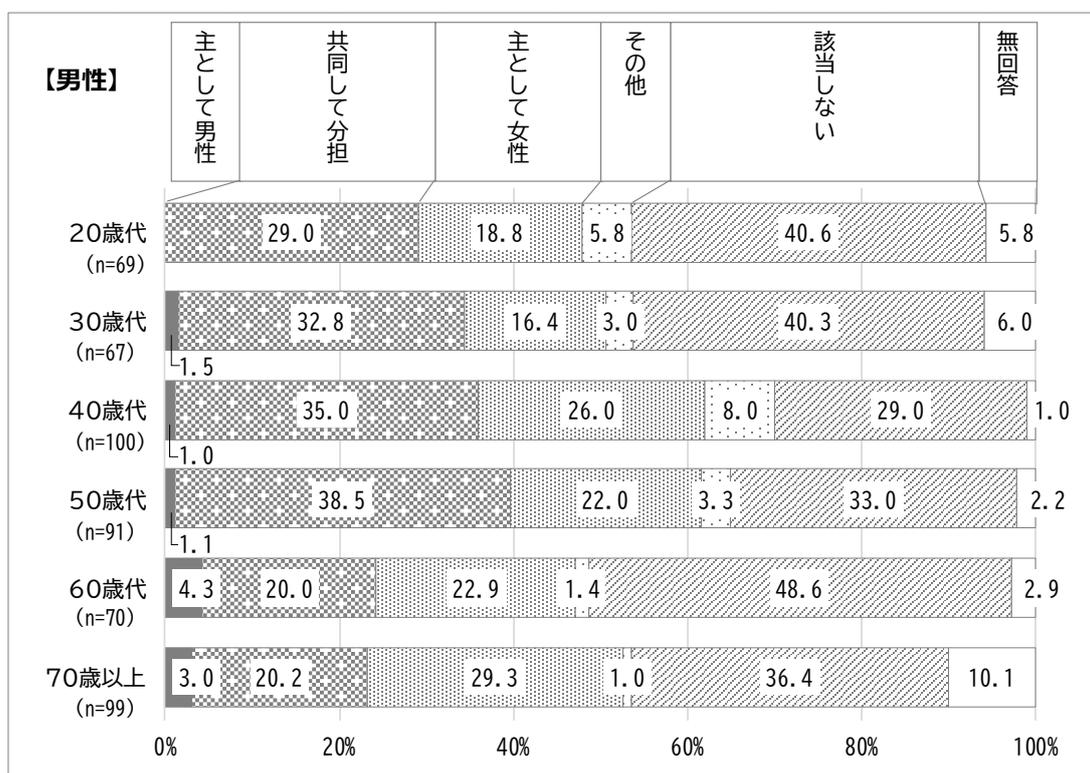
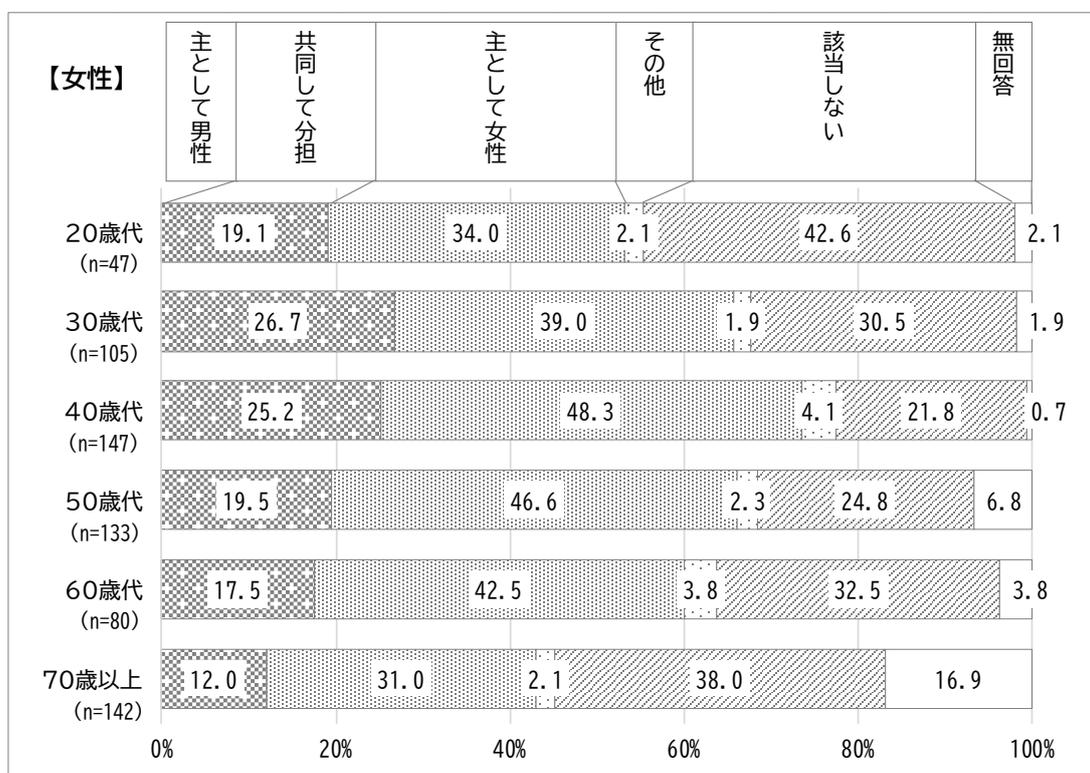
【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は共働きの有無ともに「主として女性」が40%を超えています。男性は「共働きである」は「共同して分担」が39.0%、「共働きではない」は「主として女性」が31.9%となっています。

共働きの有無に関わらず、男女間で役割分担の認識にずれが生じています。



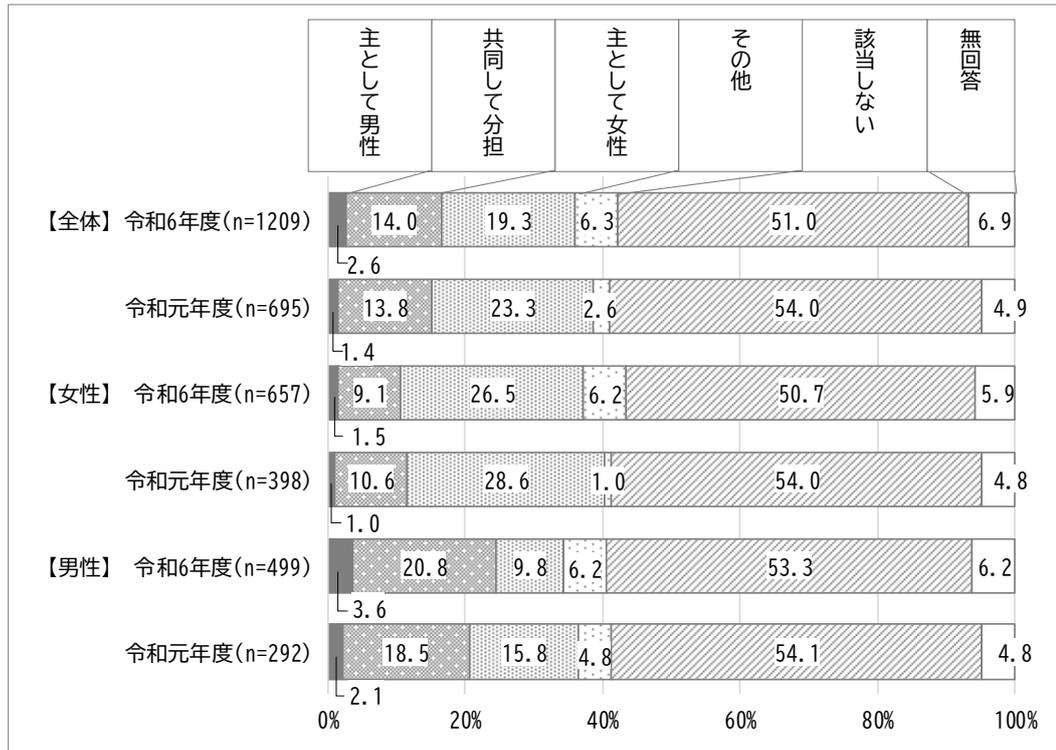
年代別でみると、女性は全ての年代で「主として女性」の割合が高くなっています。
 男性は、「共同して分担」について50歳代が38.5%、40歳代が35.0%、30歳代が32.8%で割合が高い傾向で60歳代以上では、「主として女性」の割合が高くなっています。



③ 介護（介護の必要な親の世話、病人の介護など）[SA]

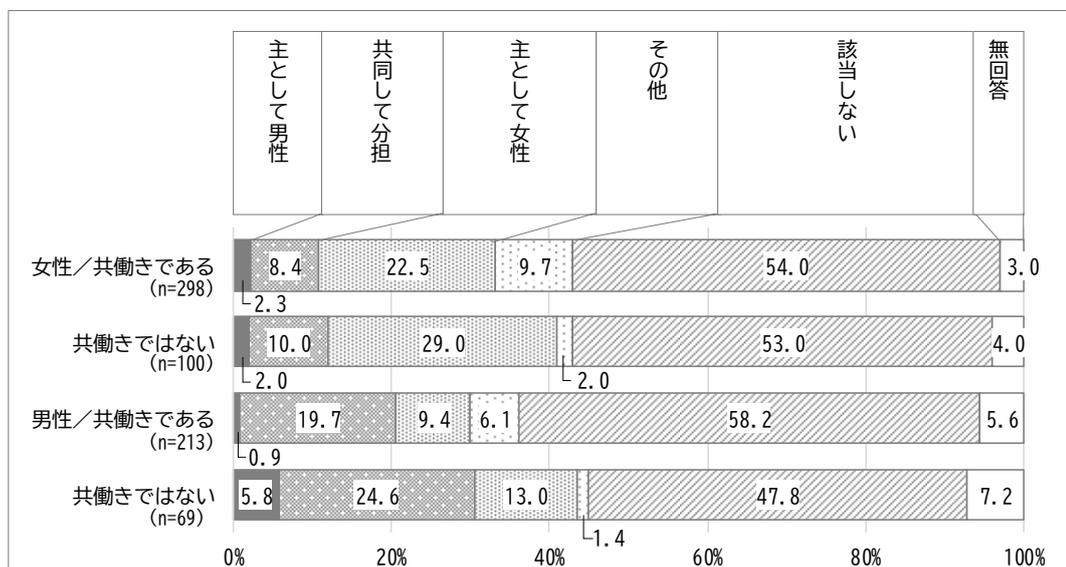
前回調査と比較すると、「共同して分担」は13.8%から14.0%とほとんど変化がみられません。しかし、「主として女性」は23.3%から19.3%へ低下し、「主として男性」は1.4%から2.6%へ上昇となっています。このため、共同分担の意識が拡大しているとは言えないものの、役割分担の認識に変化が生じています。

【前回調査との比較】



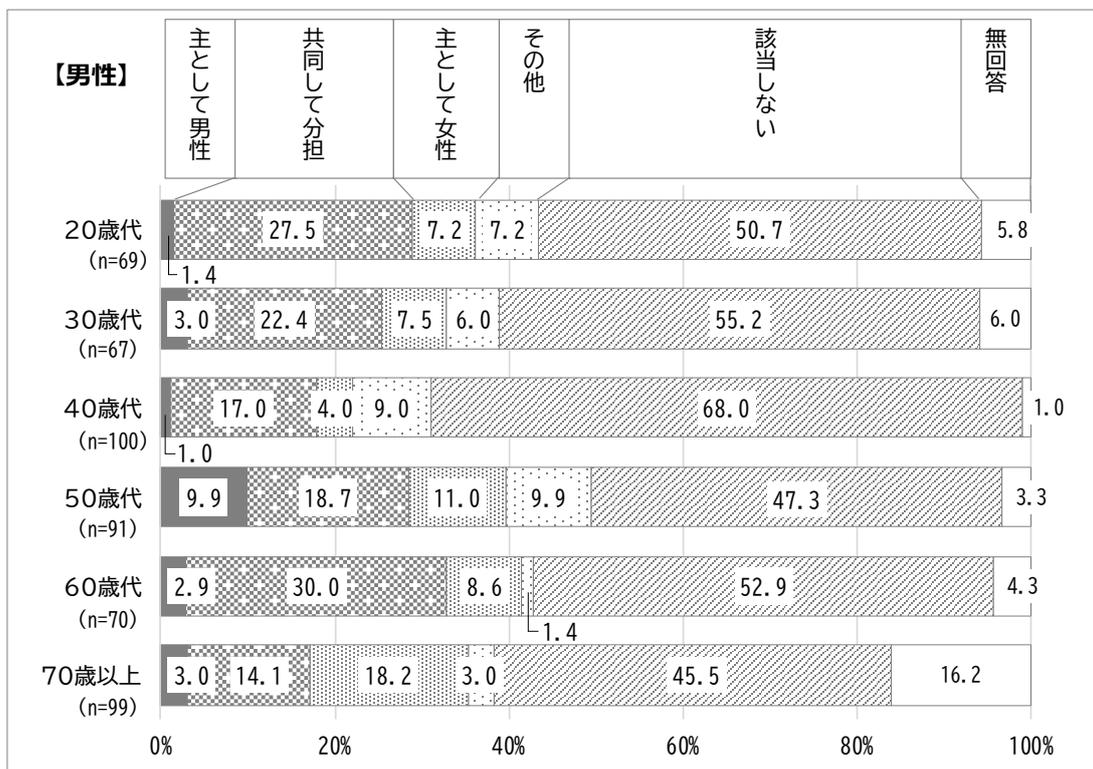
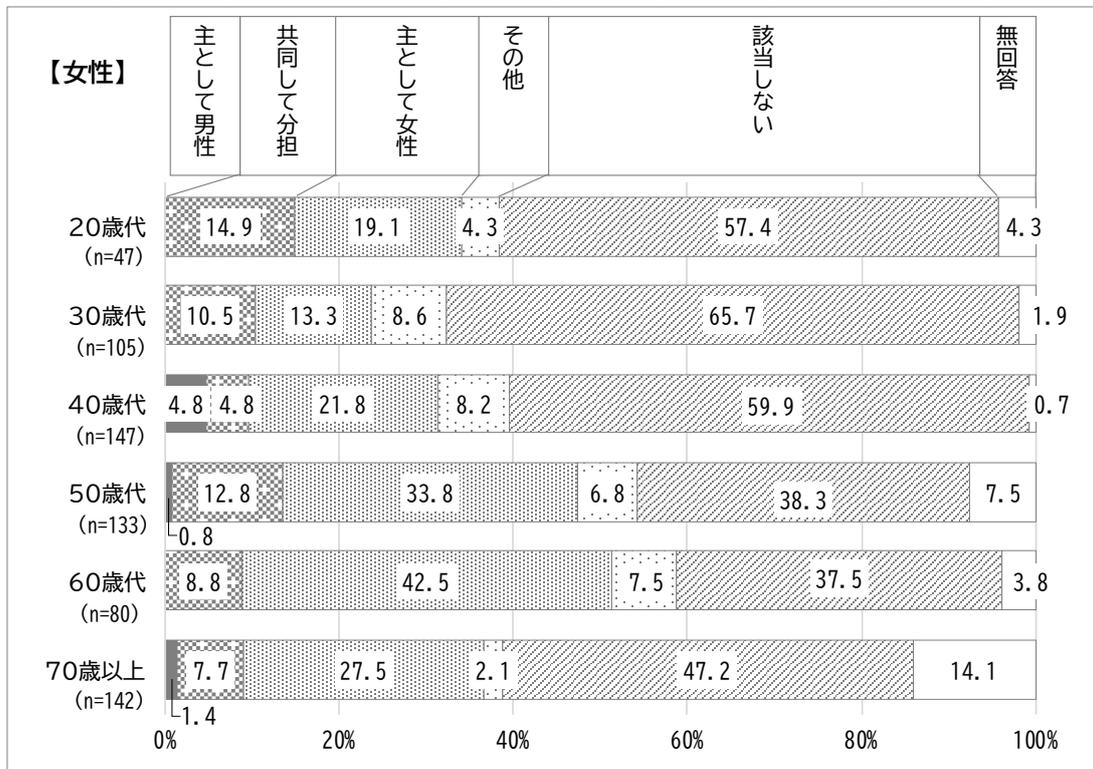
【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は共働きの有無ともに「主として女性」の割合が高くなっています。男性は共働きの有無ともに「共同して分担」の割合が高い傾向となっています。共働きの有無に関わらず、男女間で役割分担の認識にずれが生じています。



年代別でみると、女性は全ての年代で「主として女性」の割合が高くなっており、50歳代と60歳代では30%を超える割合となっています。

男性は、「共同して分担」が全ての年代で高くなっていきます。

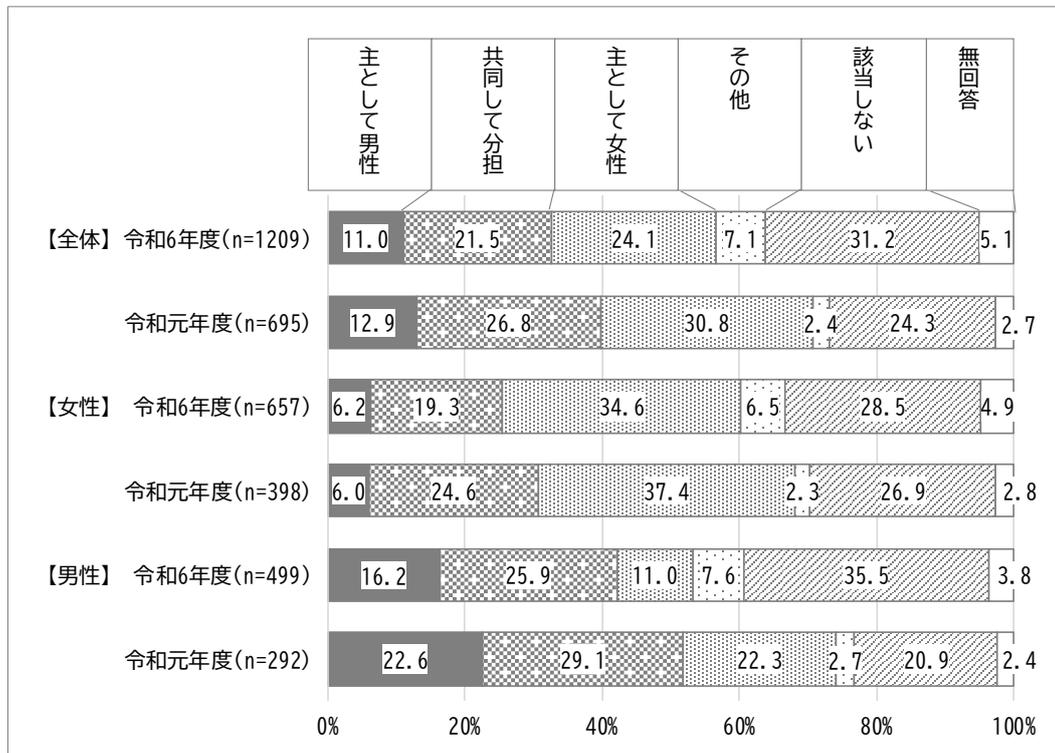


④ 地域の行事への参加 [S A]

前回調査と比較すると、「共同して分担」が26.8%から21.5%と減少しています。

この他、「主として男性」「主として女性」とともに減少しており、役割分担以前に地域行事への参加意識が低下している傾向となっています。

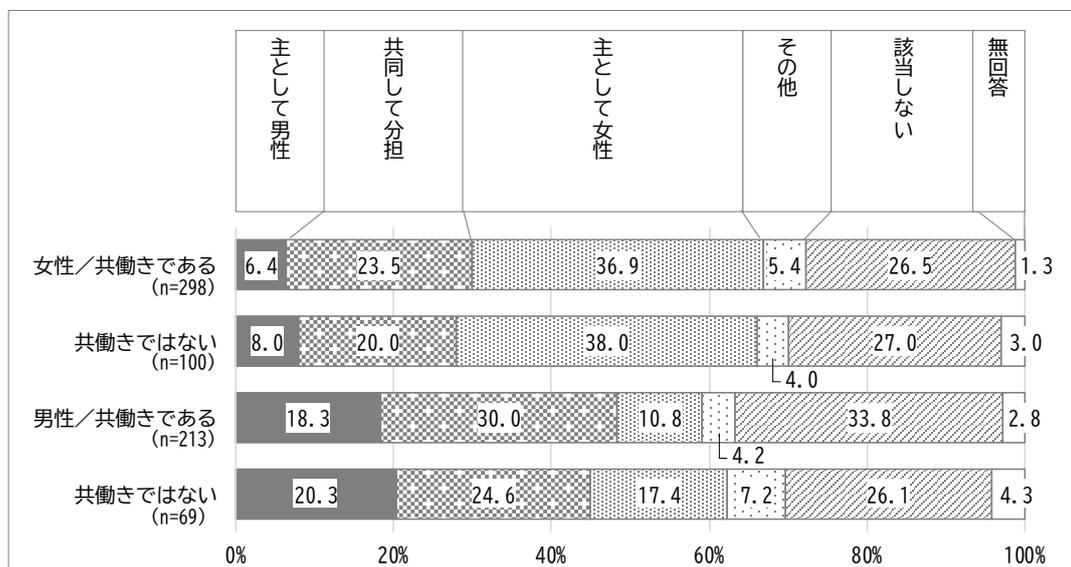
【前回調査との比較】



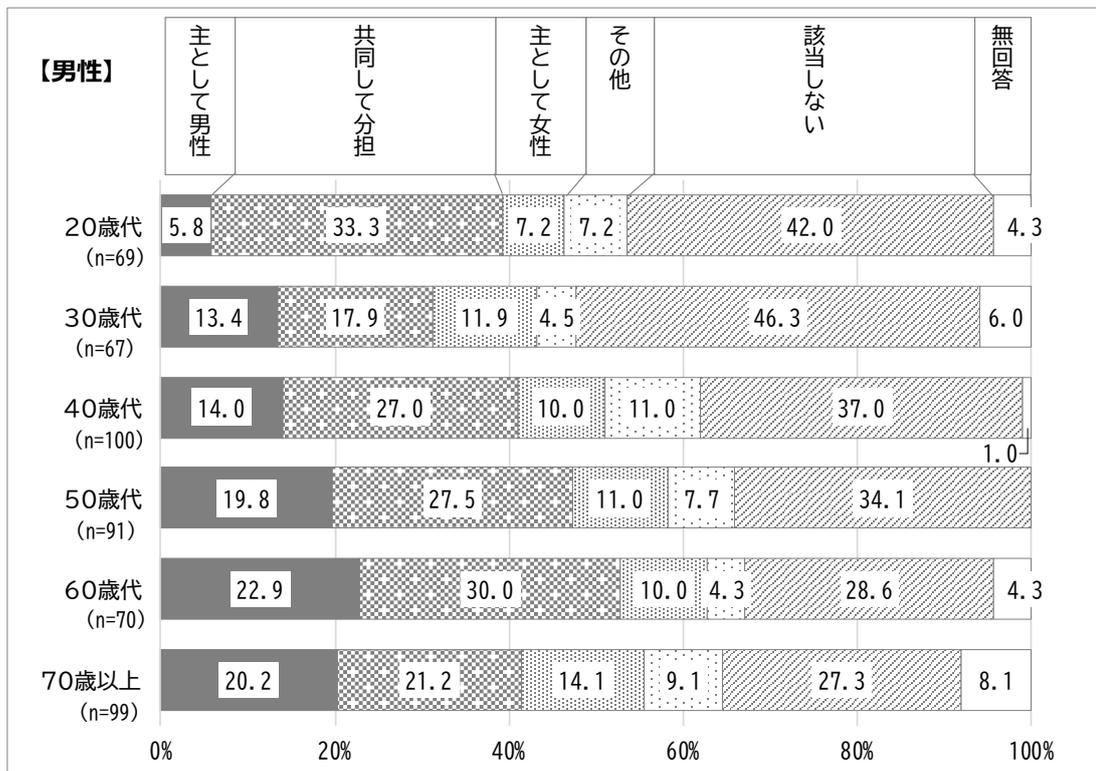
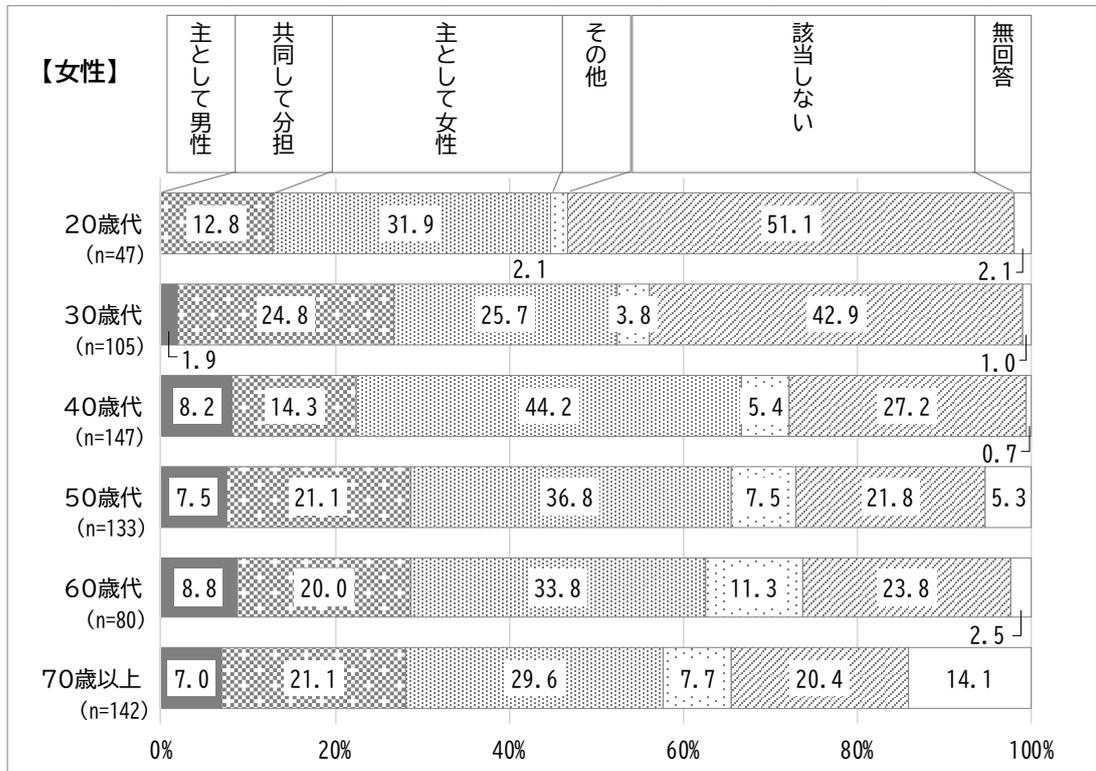
【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は共働きの有無ともに「主として女性」が30%を超えています。男性は共働きの有無ともに「共同して分担」が30.0%、24.6%で多いほか、「主として男性」もともに20%程度あります。

共働きの有無に関わらず、男女間で役割分担の認識にずれが生じています。



年代別でみると、女性は全ての年代で「主として女性」の割合が高くなっています。
 男性は、「共同して分担」が全ての年代で高くなっていますが、50歳以上の年代では「主として男性」の割合も20%程度で高くなっています。

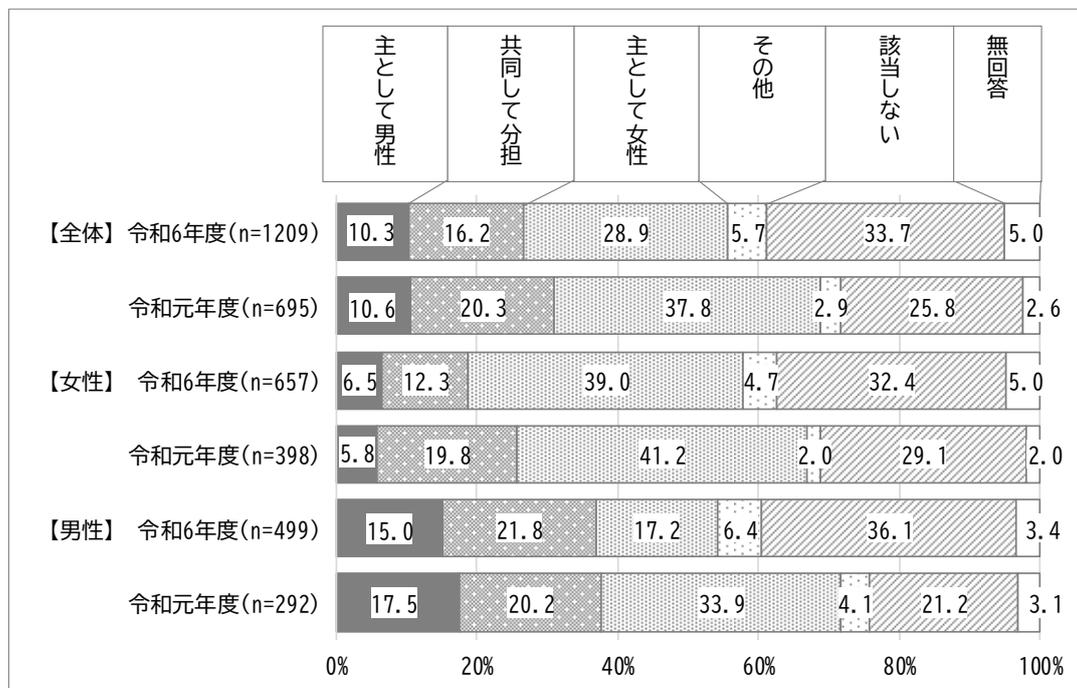


⑤ 自治会、PTA活動 [SA]

前回調査と比較すると、「共同して分担」が20.3%から16.2%と減少しています。

この他、「主として男性」「主として女性」とともに減少しており、「該当しない」が25.8%から33.7%と増加しています。自治会やPTAの加入減少が要因と推測されます。

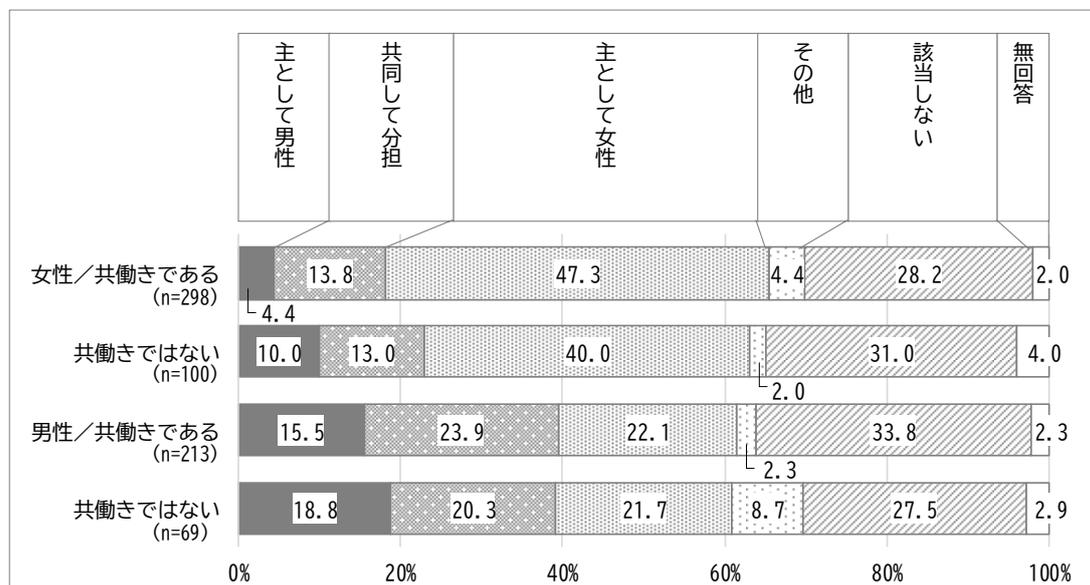
【前回調査との比較】



【性/共働きの有無別】

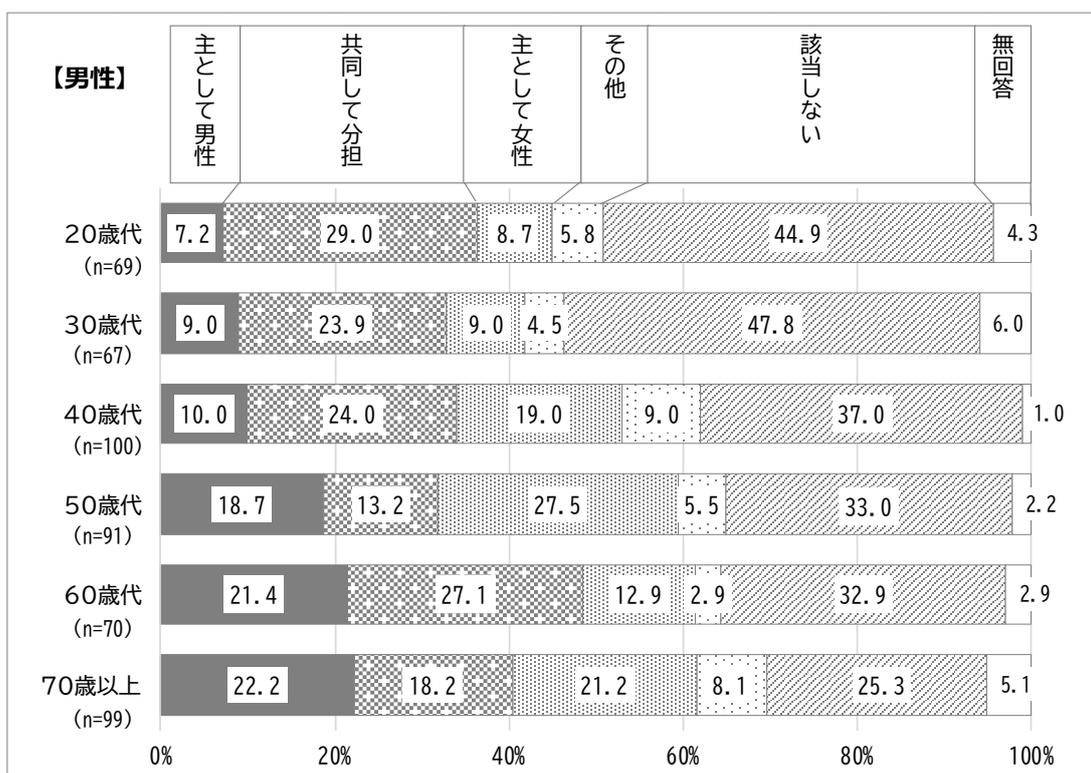
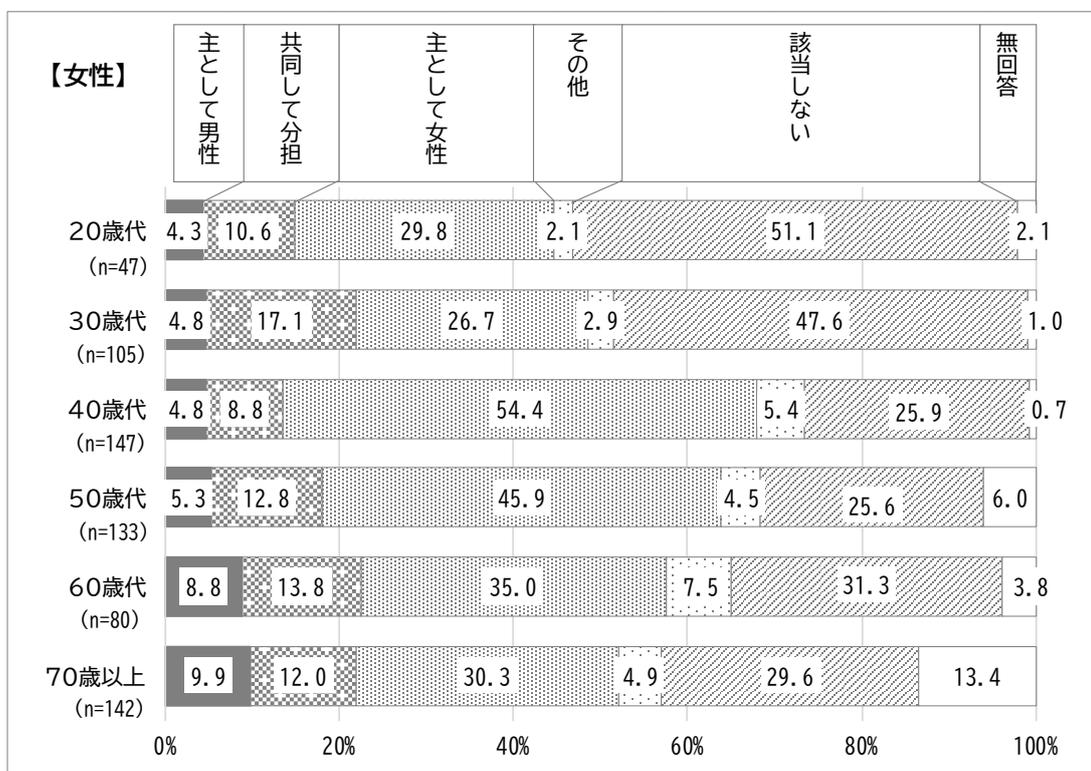
性/共働きの有無別でみると、女性は共働きの有無ともに「主として女性」が40%を超えています。男性は共働きの有無ともに「共同して分担」と「主として女性」がそれぞれ20.0%を超えており、「主として男性」が20.0%未満とそれほど高くないものの、共働きの有無にかかわらず、男女間で役割分担の認識にずれが生じています。

共働きの有無に関わらず、男女間で役割分担の認識にずれが生じています。



年代別でみると、女性は全ての年代で「主として女性」の割合が高くなっています。

男性は、「共同して分担」が20～40歳代と60歳代で高くなっていますが、50歳代は「主として女性」が27.5%、「主として男性」が18.7%、70歳代は「主として男性」が22.2%、「主として女性」が21.2%となっています。



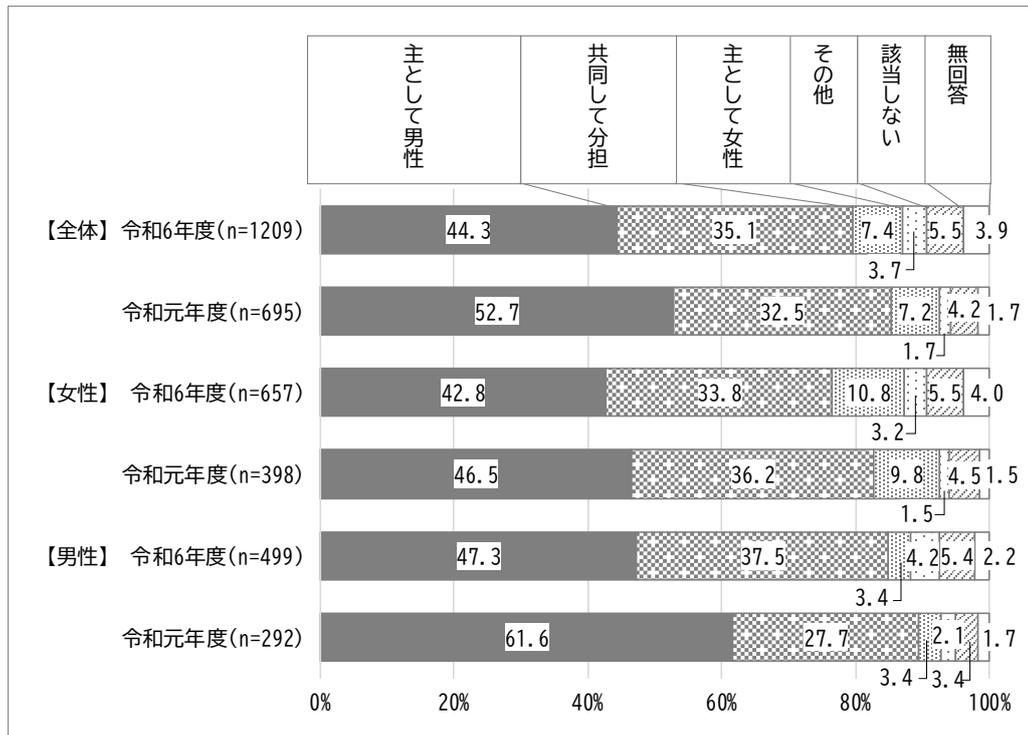
⑥ 生活費の確保 [SA]

前回調査と比較すると、「共同して分担」が32.5%から35.1%に増加しています。

一方で、「主として男性」は52.7%から44.3%に減少しており、やや共同分担の意識が高くなっています。

男性は「主として男性」が61.6%から47.3%と大きく減少し、「共同して分担」が27.7%から37.5%に増えています。

【前回調査との比較】

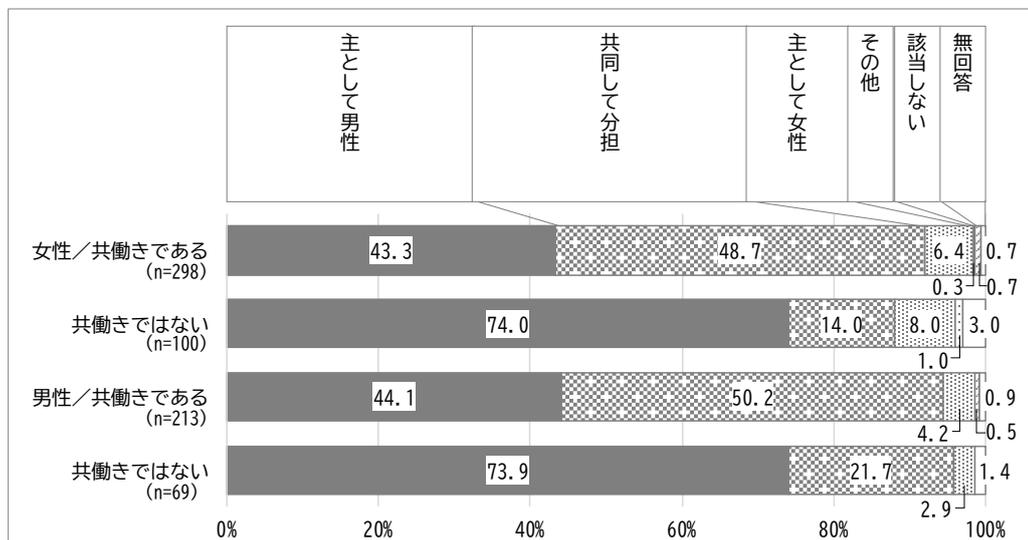


【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は「共働きである」は「主として男性」と「共同して分担」がそれぞれ40%を超えおり、「共働きではない」は「主として男性」が70%を超えています。

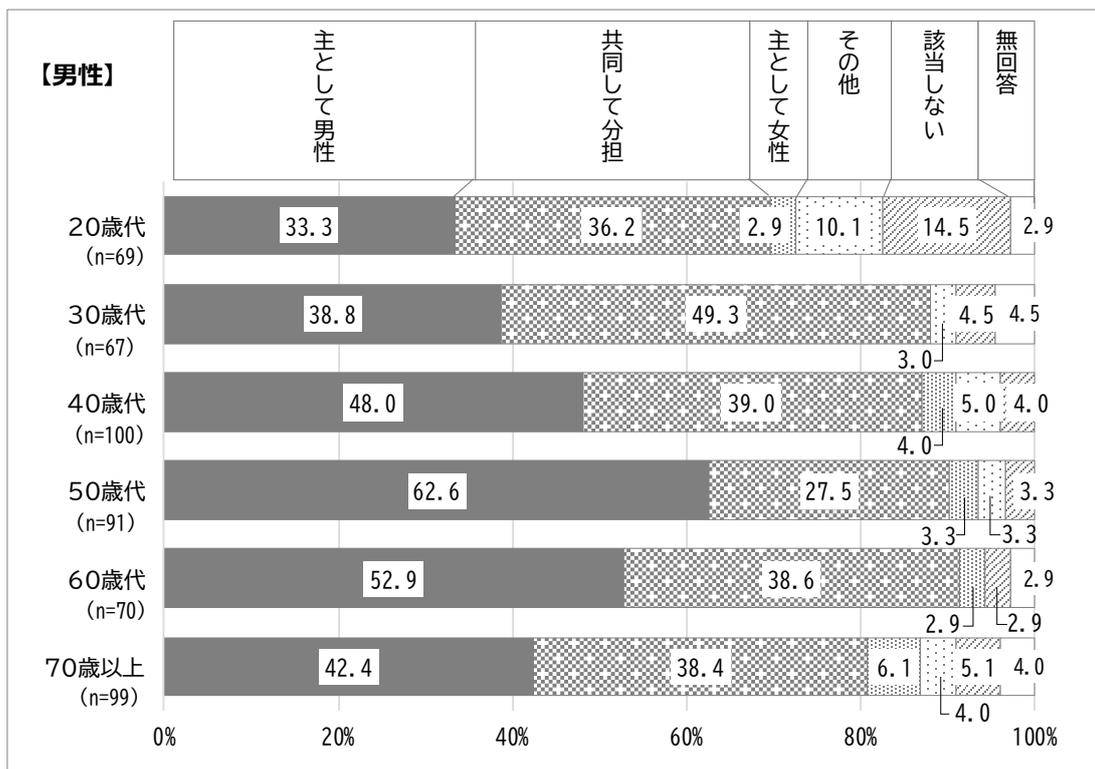
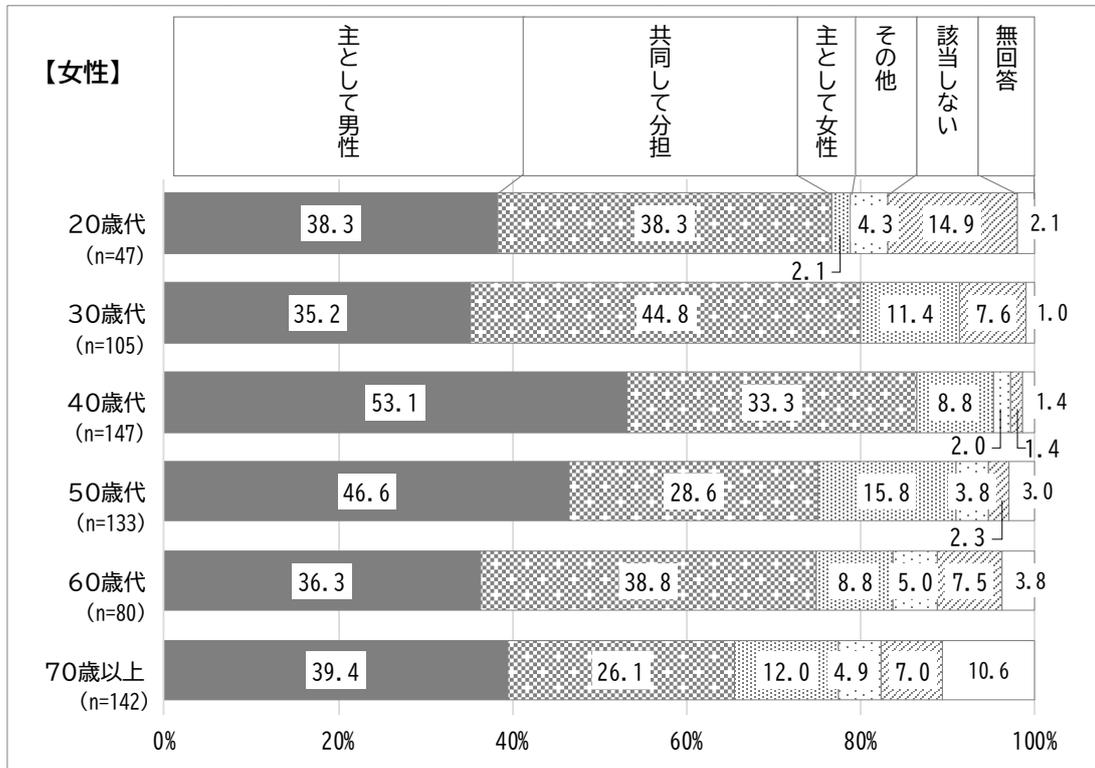
男性は「共働きである」は「共同して分担」が50.2%で約半数を占め、「共働きではない」は「主として男性」が70%を超えています。

男女ともに共働きの有無でそれぞれ同様の傾向となっています。



年代別でみると、女性は40歳代と50歳代、70歳代が「主として男性」の割合が高く、20歳代と30歳代、60歳代では「共同して分担」も高くなっています。

男性は、20歳代と30歳代で「共同して分担」の割合が高く、40歳以上では「主として男性」の割合が高くなっており、若い年代は「共同して分担」の割合が高くなっています。

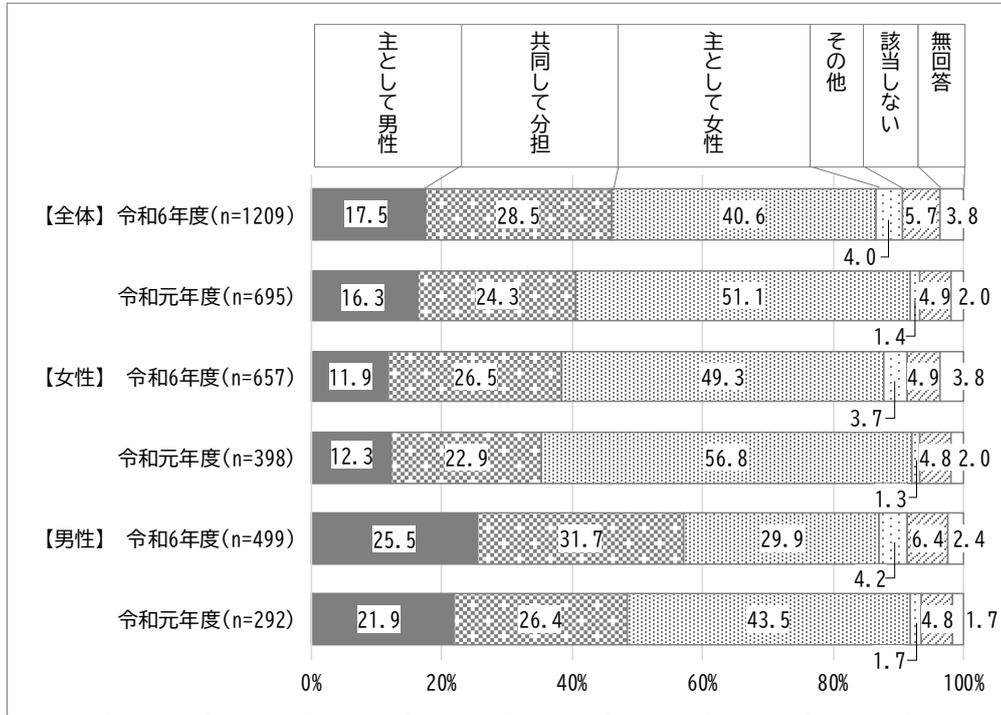


⑦ 家計の管理 [SA]

前回調査と比較すると、「共同して分担」が24.3%から28.5%と増加しています。

「主として女性」は51.1%から40.6%に減少、「主として男性」は16.3%から17.5%に増えていますが、依然として女性の役割との意識が高い傾向となっています。

【前回調査との比較】

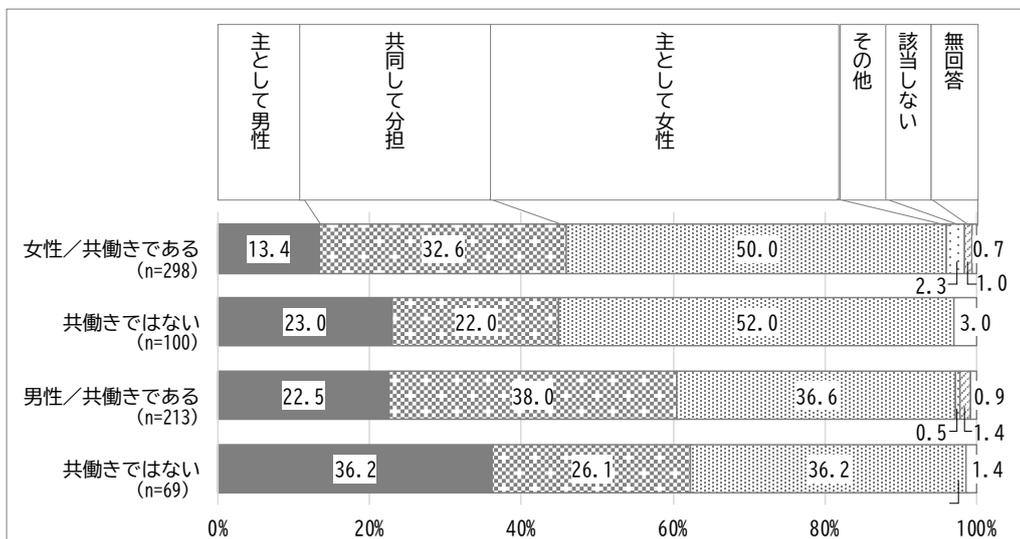


【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は「共働きである」は「主として女性」が50.0%、「共同して分担」が32.6%となっています。また「共働きではない」は「主として女性」が52.0%、「共同して分担」は22.0%となっています。

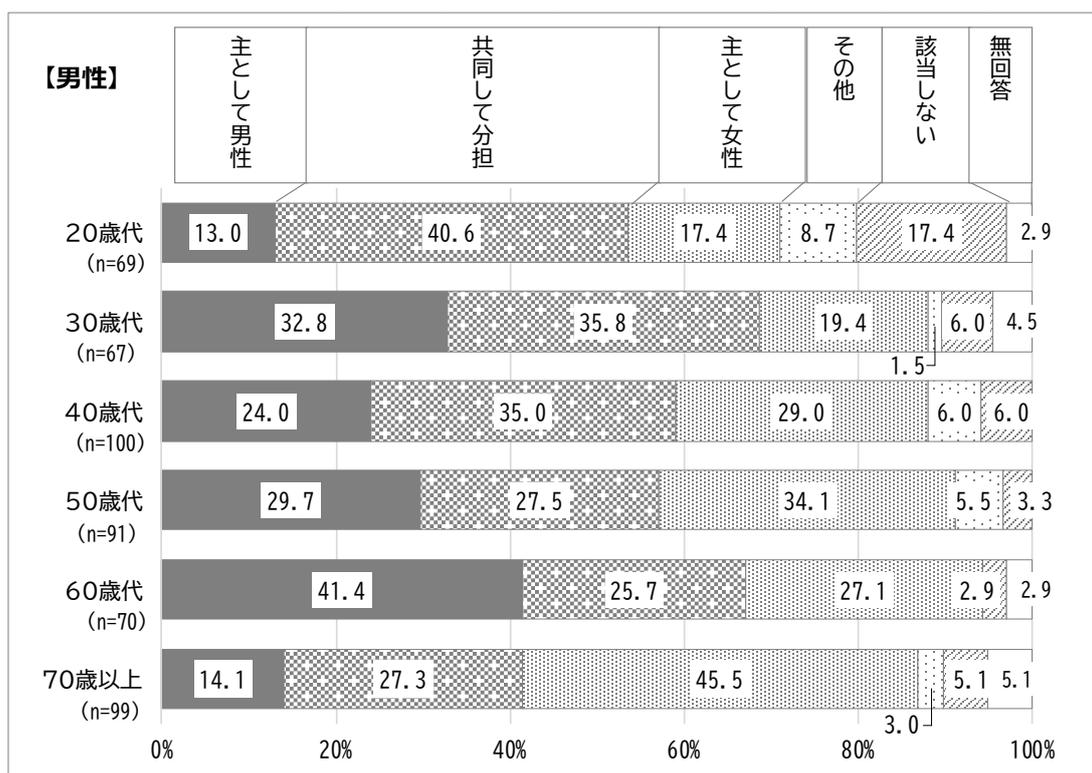
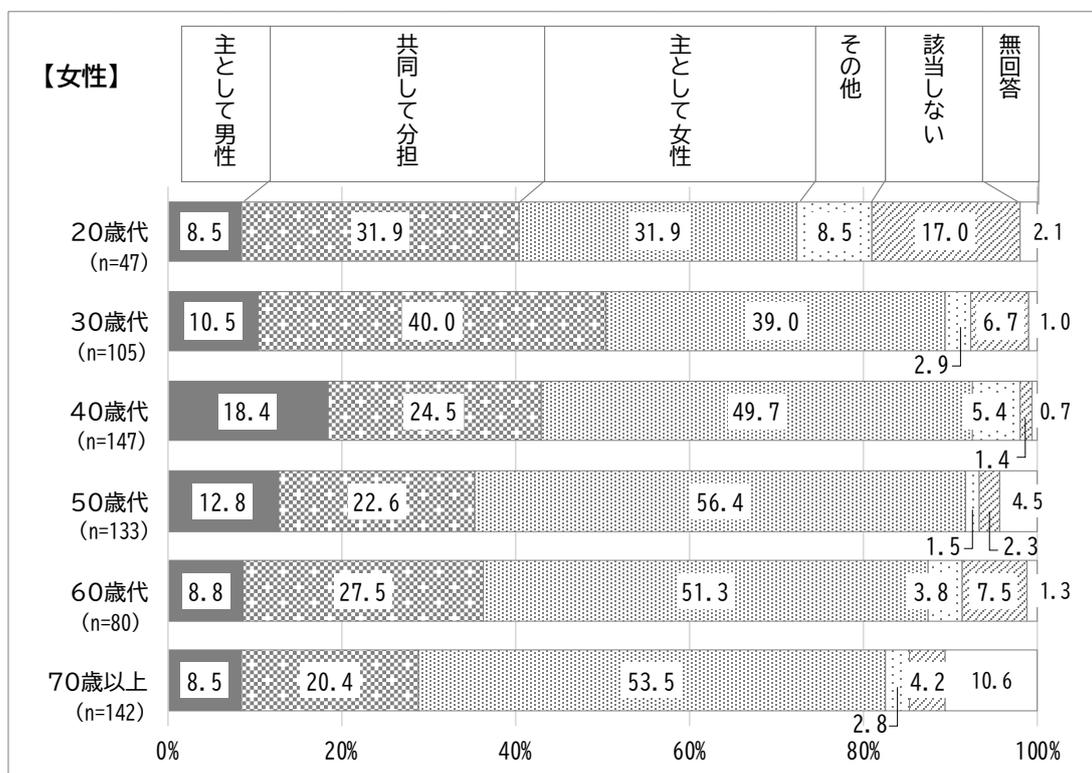
男性は「共働きである」は「共同して分担」が38.0%、「主として女性」が36.6%、「共働きではない」は「主として男性」と「主として女性」がともに36.2%となっています。

女性は共働きの有無ではともに「主として女性」の意識が多く、男性は共働きの有無で「共同して分担」と「主として男性」の意識が異なっています。



年代別でみると、女性は20歳代と30歳代は「共同して分担」と「主として女性」の割合が高く、40歳以上では「主として女性」の割合が高くなっています。

男性は、20歳から40歳代で「共同して分担」の割合が高く、30歳代と60歳代は「主として男性」の割合も高くなっています。50歳代と70歳以上では「主として女性」の割合が高くなっています。

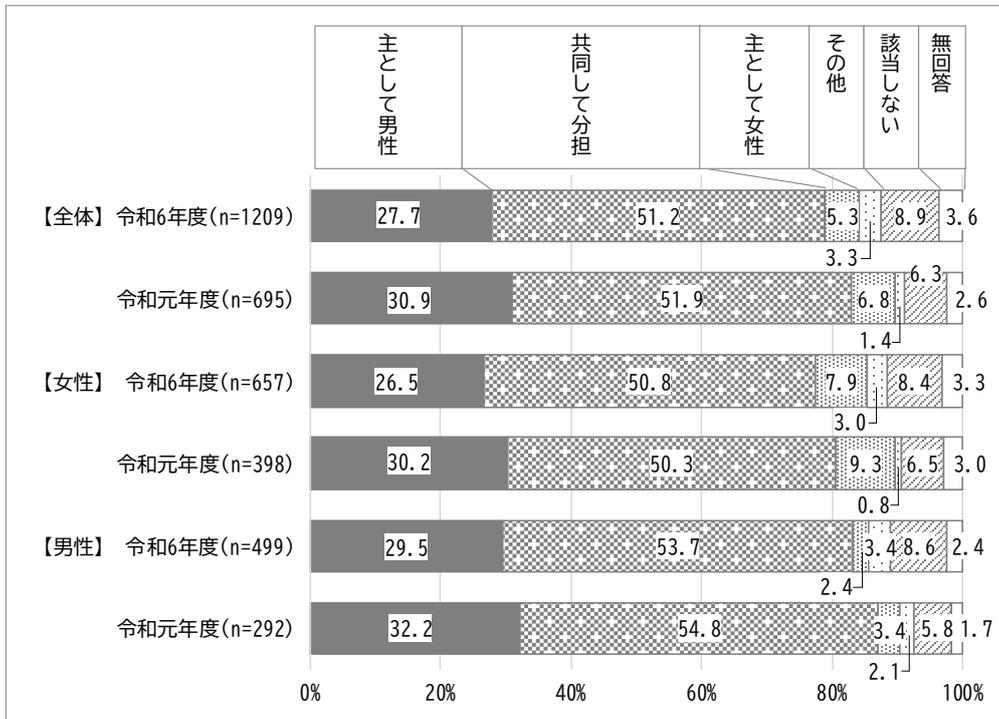


⑧ 重大事項の決定（高額な商品や土地、家屋の購入など）[SA]

前回調査と比較すると、「共同して分担」、「主として男性」、「主として女性」の割合が低下し、「該当しない」の割合が上昇しています。

男女ともに重大事項の決定機会が減少しているものと推測されます。

【前回調査との比較】

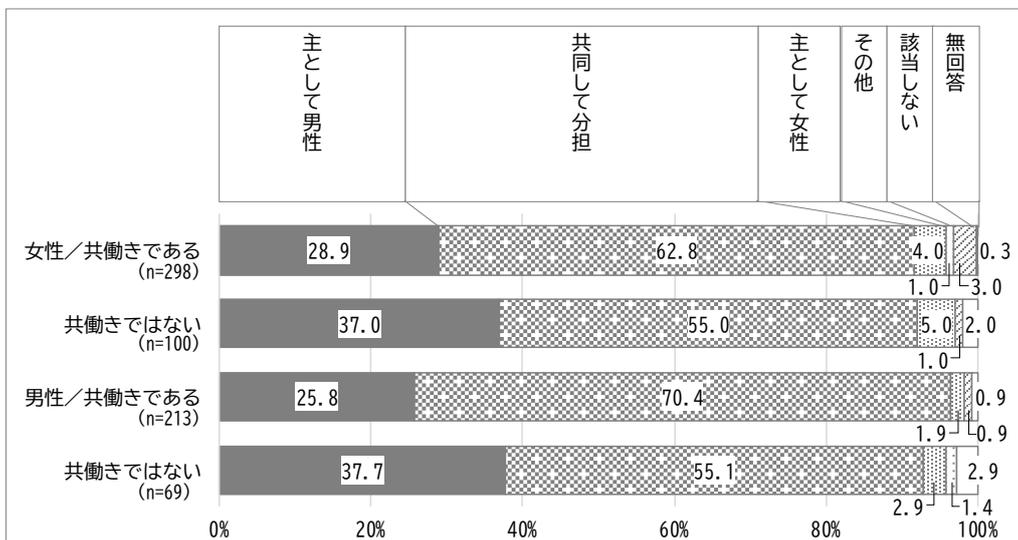


【性/共働きの有無別】

性/共働きの有無別でみると、女性は「共働きである」は「共同して分担」が62.8%です。また「共働きではない」は「共同して分担」が55.0%、「主として男性」が37.0%となっています。

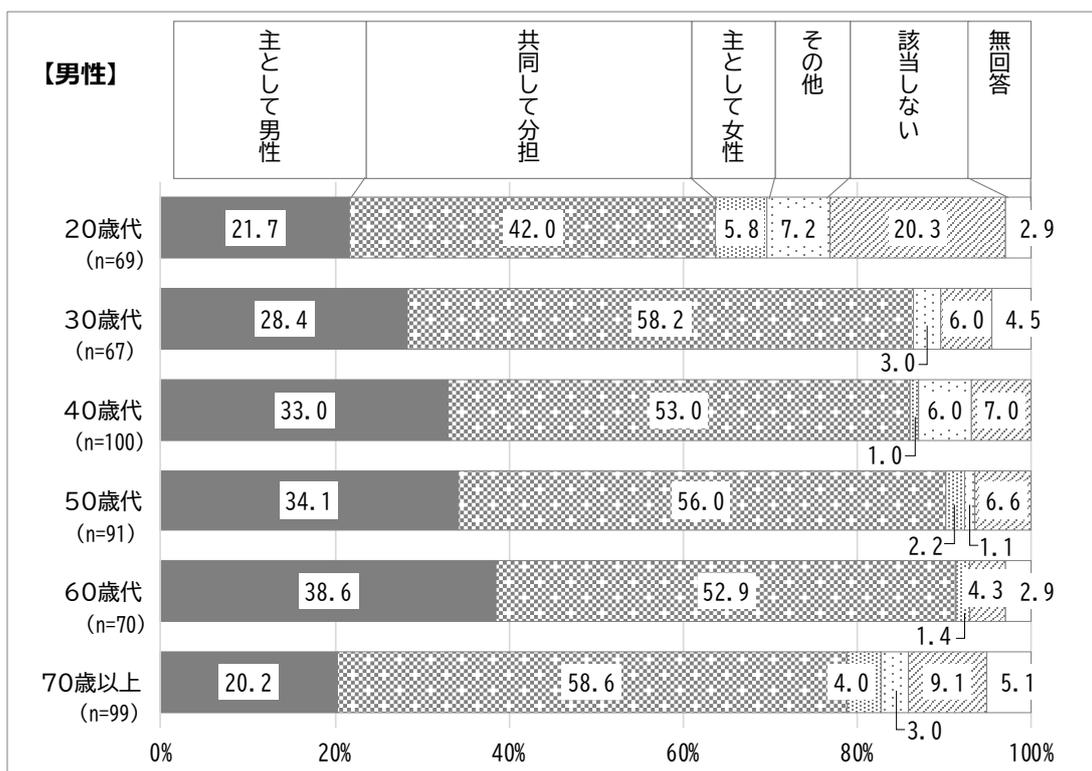
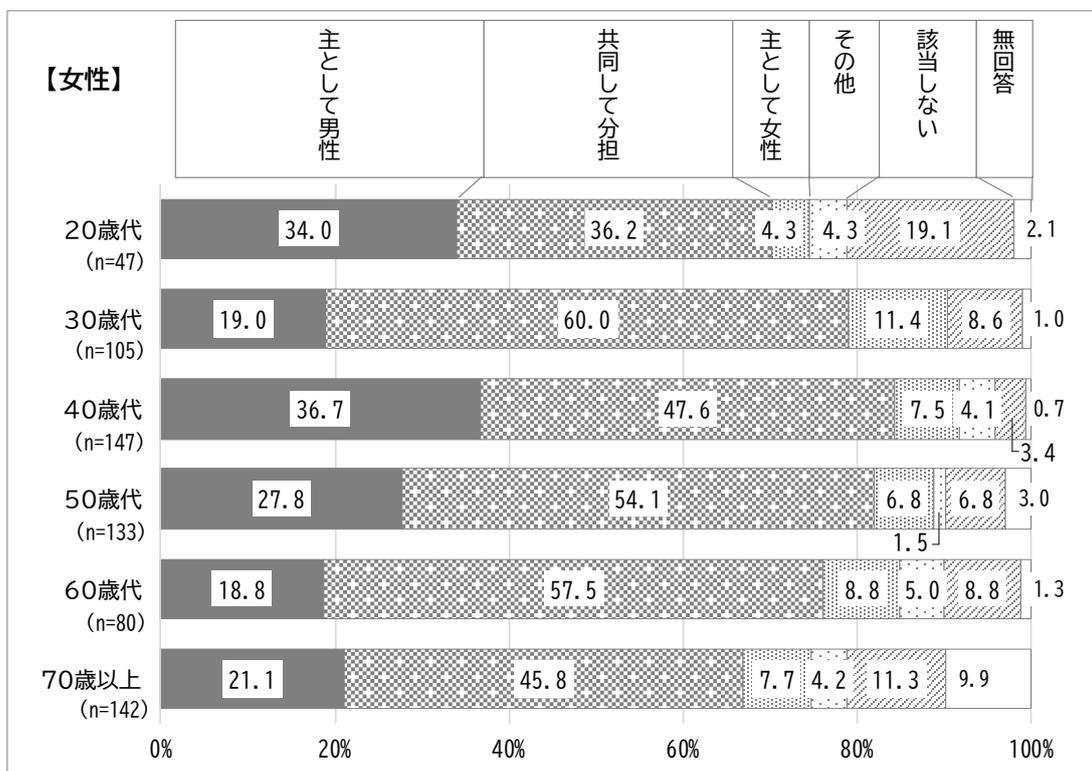
男性は「共働きである」は「共同して分担」が70.4%で、「共働きではない」は「共同して分担」が55.1%、「主として男性」が37.7%となっています。

いずれも「共同して分担」が最も多いですが、女性、男性とも「共働きではない」場合は、「主として男性」が多い傾向となっています。



年代別でみると、女性は20歳代と40歳代が、「共同して分担」と「主として男性」の割合が高く、30歳代と50歳以上では「共同して分担」の割合が高くなっています。

男性は、全ての年代で「共同して分担」の割合が高くなっていますが、40～60歳代では「主として男性」の割合も高くなっています。



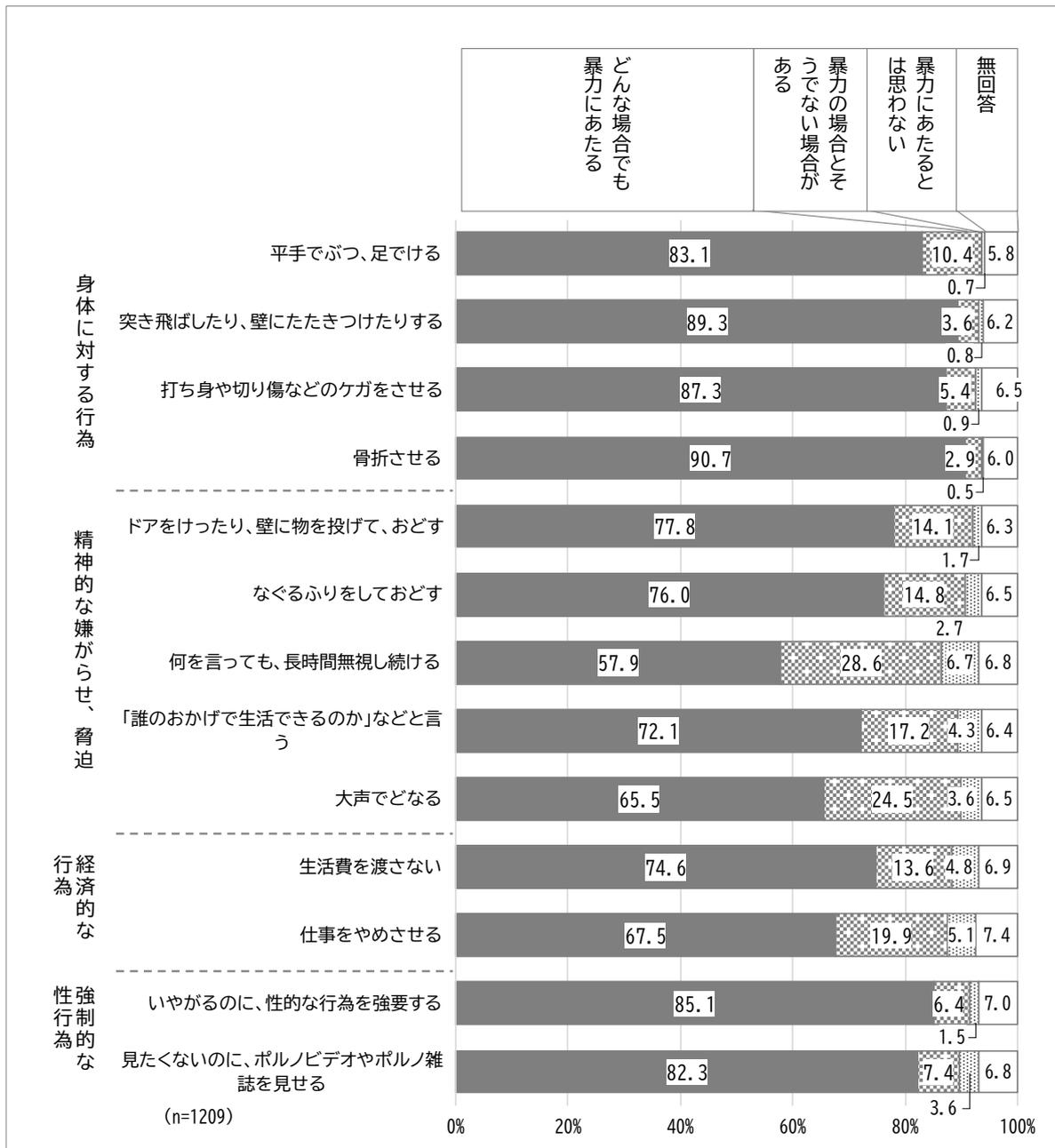
4 配偶者や恋人からの暴力について

(1) 夫婦・恋人間の暴力と認識される行為 [SA]

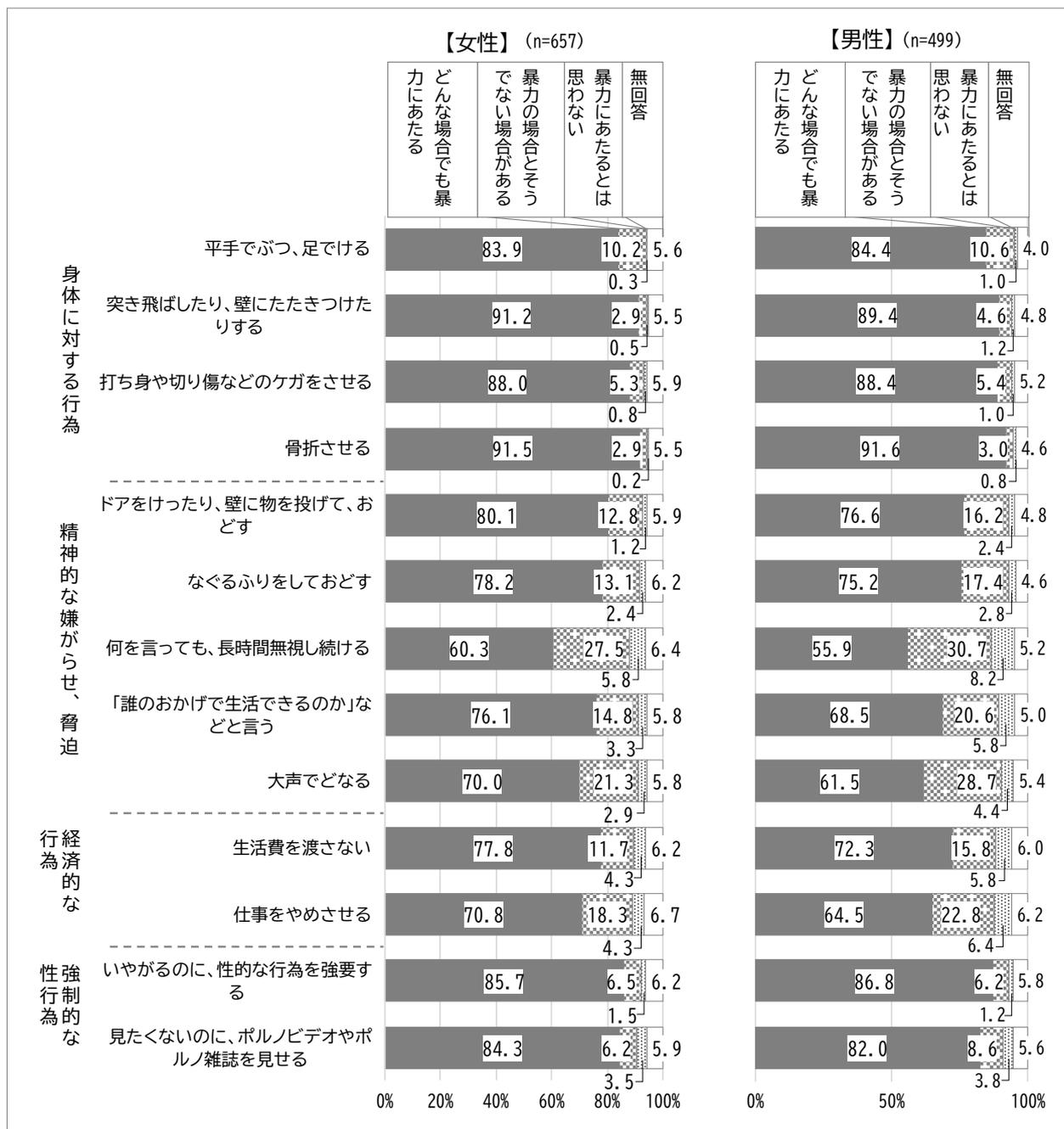
問6 あなたは、次のようなことが配偶者（事実婚、パートナーを含む）や恋人の間で行われた場合、それを暴力であると思いますか。（○はそれぞれの数字に1つずつ）

全体でみると、全ての項目で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高く、暴力行為に相当すると認識されています。

「精神的な嫌がらせ、脅迫」や「経済的な行為」では、「暴力の場合とそうでない場合がある」の回答もみられ、状況や事由によっては認識が変わる可能性もみられます。



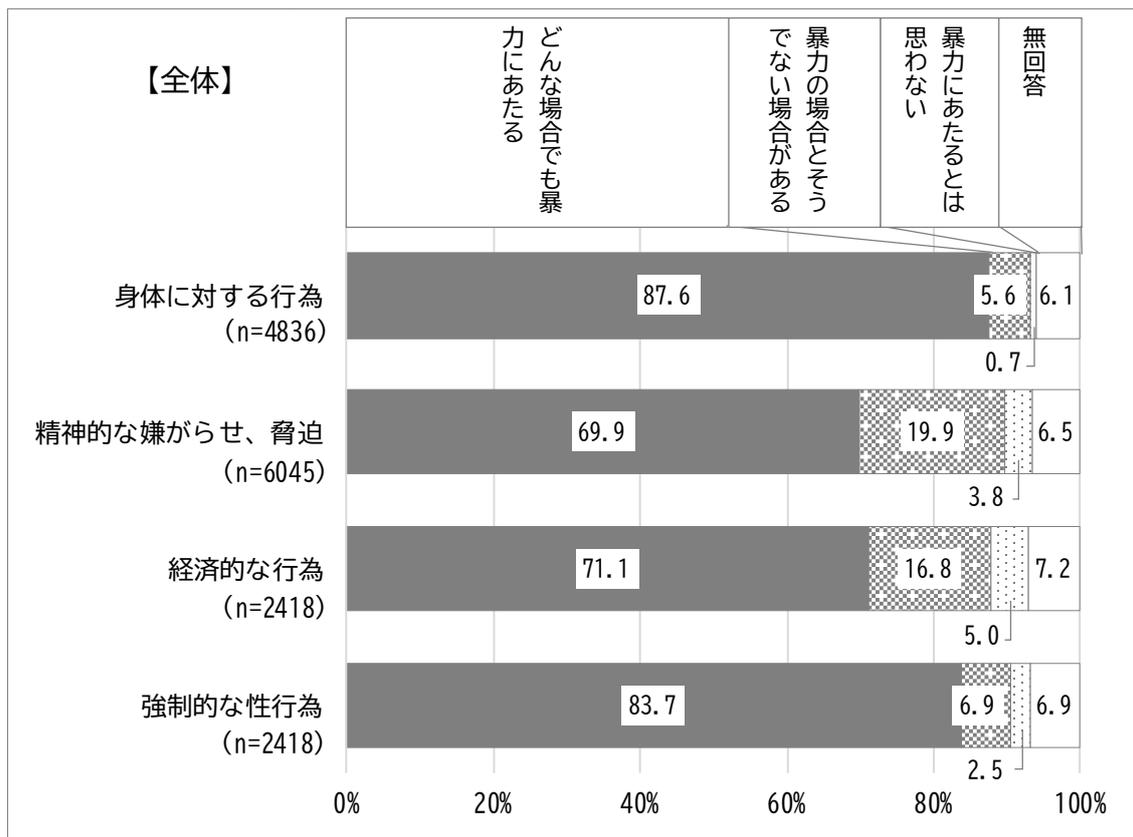
性別でみると、おおむね同様の傾向で「どんな場合でも暴力にあたる」との認識が高い傾向ですが、「精神的な嫌がらせ、脅迫」や「経済的な行為」の中には、「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合に差があり、女性と男性で認識に差があります。



【夫婦・恋人間の暴力と認識される行為（まとめ）】

夫婦・恋人間の暴力と認識される行為について、「身体に対する行為」、「精神的な嫌がらせ、脅迫」、「経済的な行為」、「強制的な性行為」の4つの行為にまとめました。

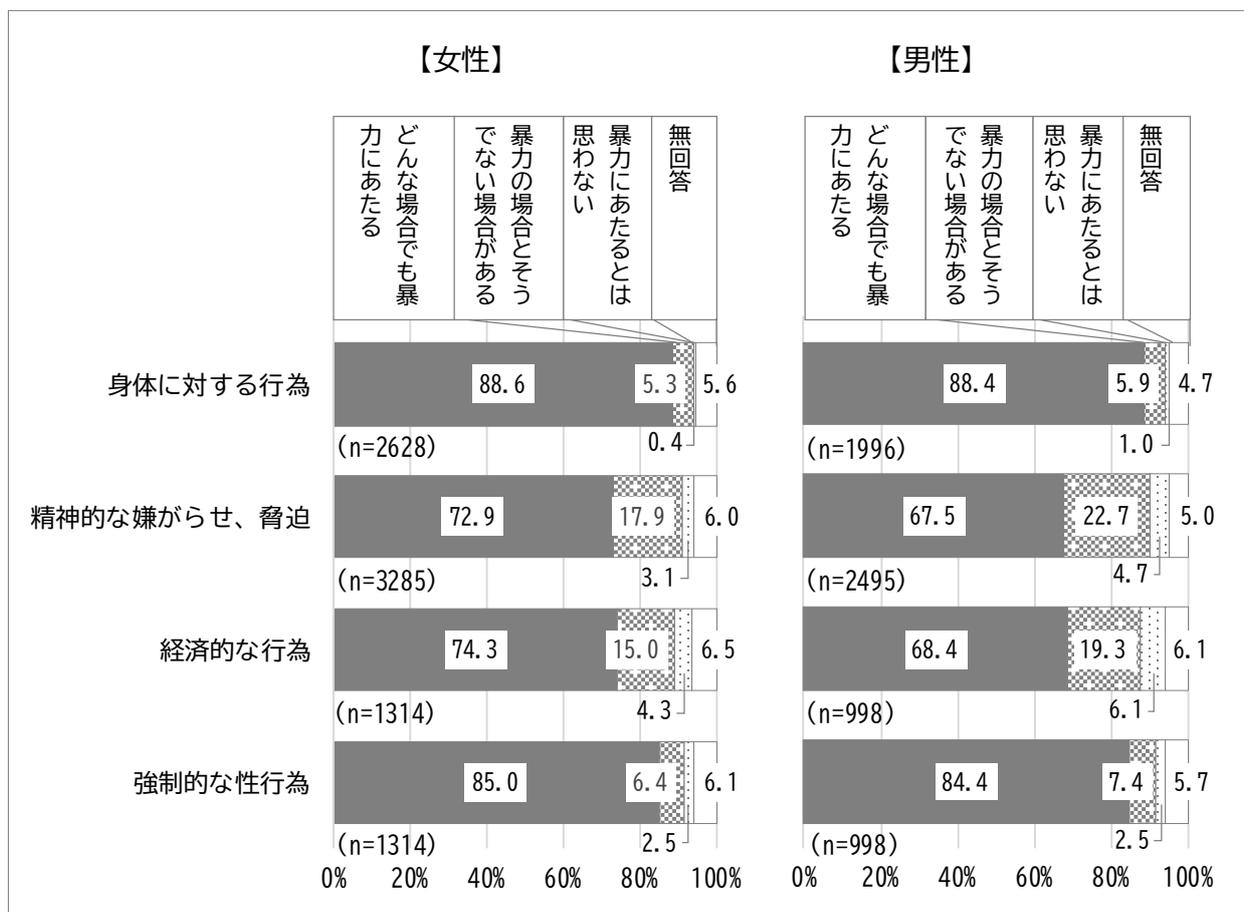
全体でみると、「身体に対する行為」は87.6%、「強制的な性行為」は83.7%、で、暴力行為にあたるとの認識が高くなっています。また、「経済的な行為」は71.1%、「精神的な嫌がらせ、脅迫」は69.9%で先の2つの行為と比較すると認識はやや低くなっています。



性別でみると、「身体に対する行為」と「強制的な性行為」は女性と男性ともに「どんな場合でも暴力にあたる」が80%を超えており、暴力行為との認識が高くなっています。

一方「精神的な嫌がらせ、脅迫」では、「どんな場合でも暴力にあたる」が女性は72.9%、男性は67.5%、「暴力の場合とそうでない場合がある」が女性は17.9%、男性は22.7%で、認識に差がみられます。

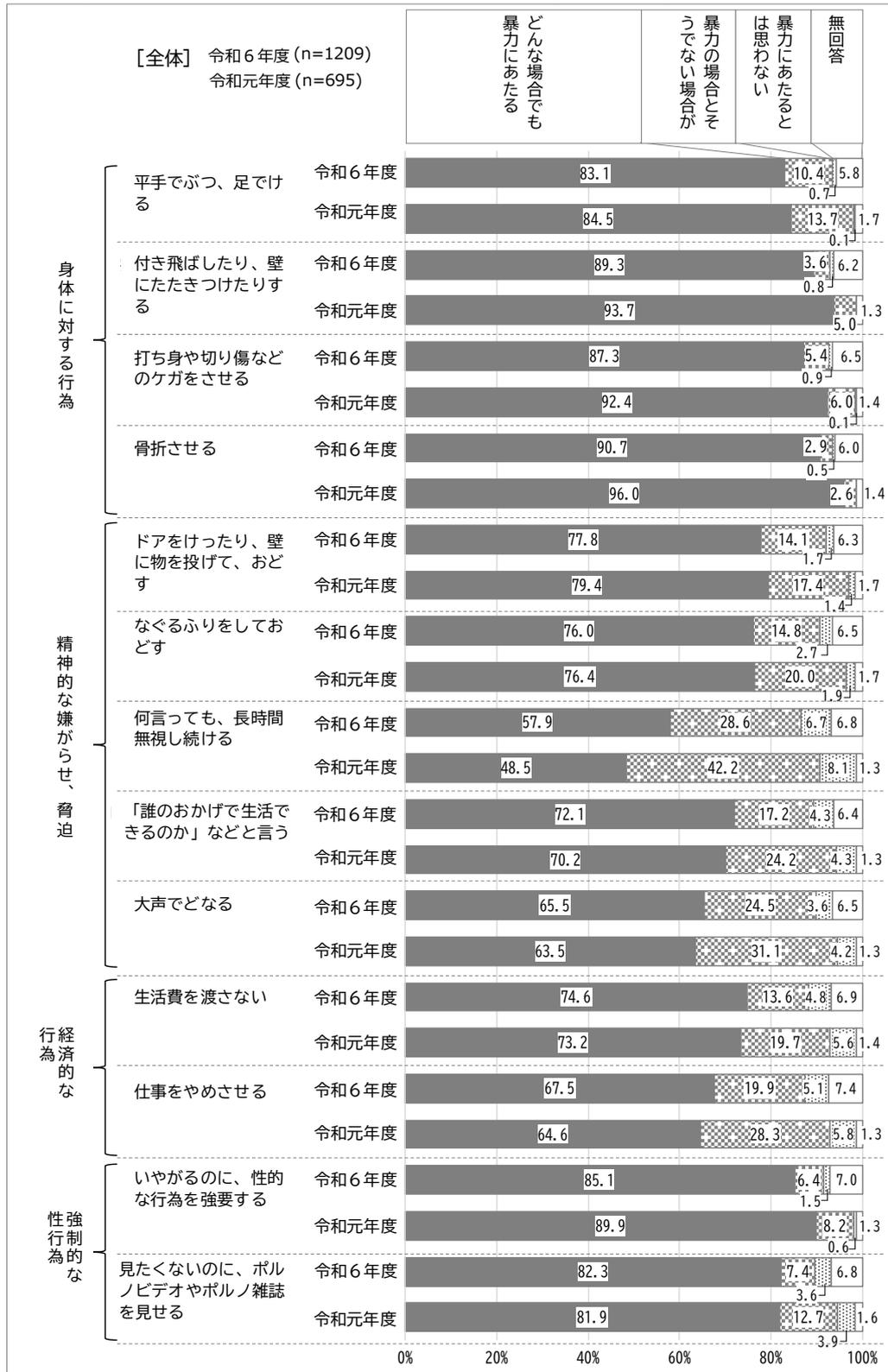
同様に「経済的な行為」も「どんな場合でも暴力にあたる」が女性は74.3%、男性は68.4%、「暴力の場合とそうでない場合がある」が女性は15.0%、男性は19.3%で、認識に差がみられます。



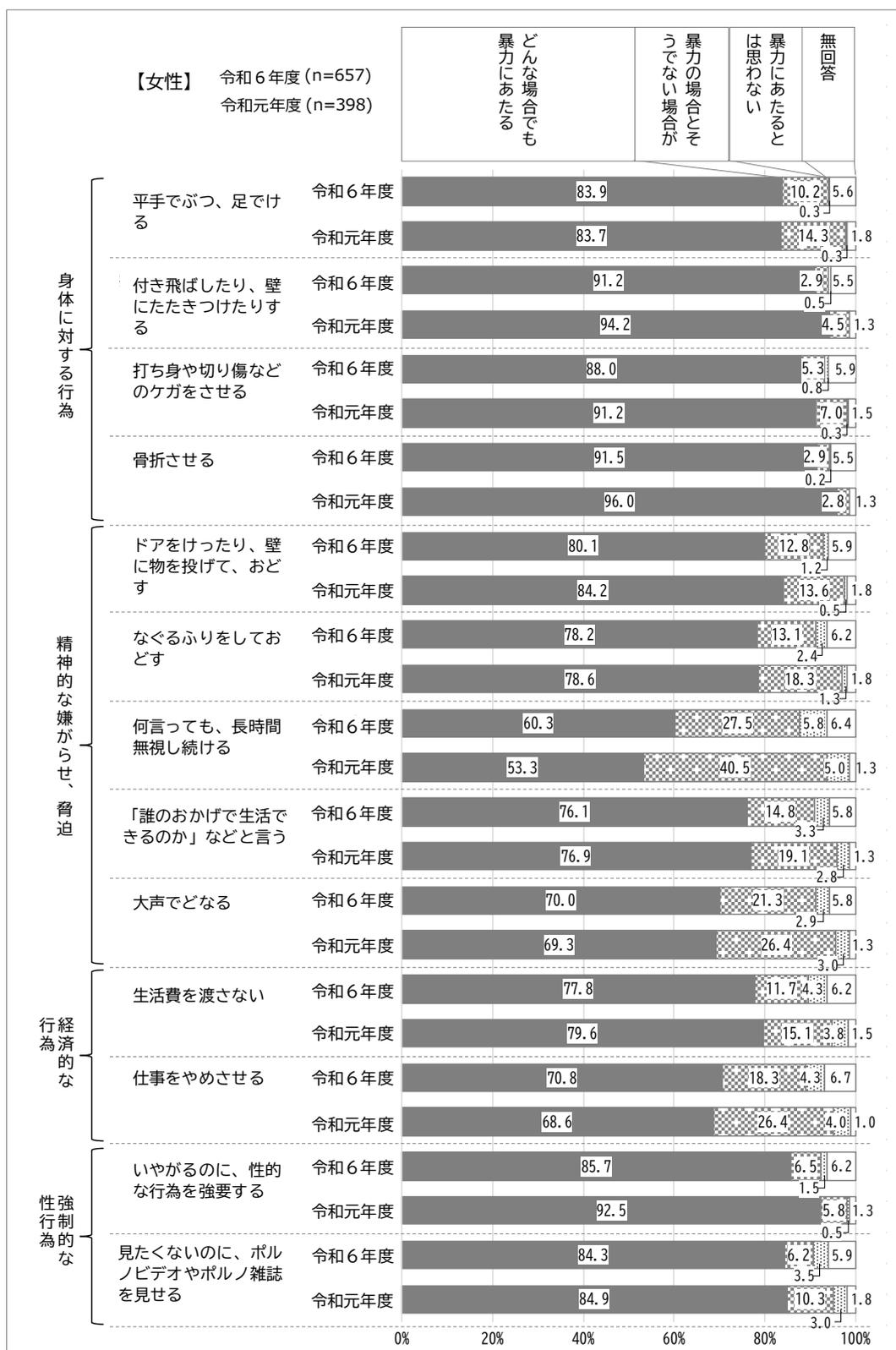
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする（93.7%から 89.3%）」、「打ち身や切り傷などのケガをさせる（92.4%から 87.3%）」、「骨折させる（96.0%から 90.7%）」など暴力に関わる項目は減少しています。

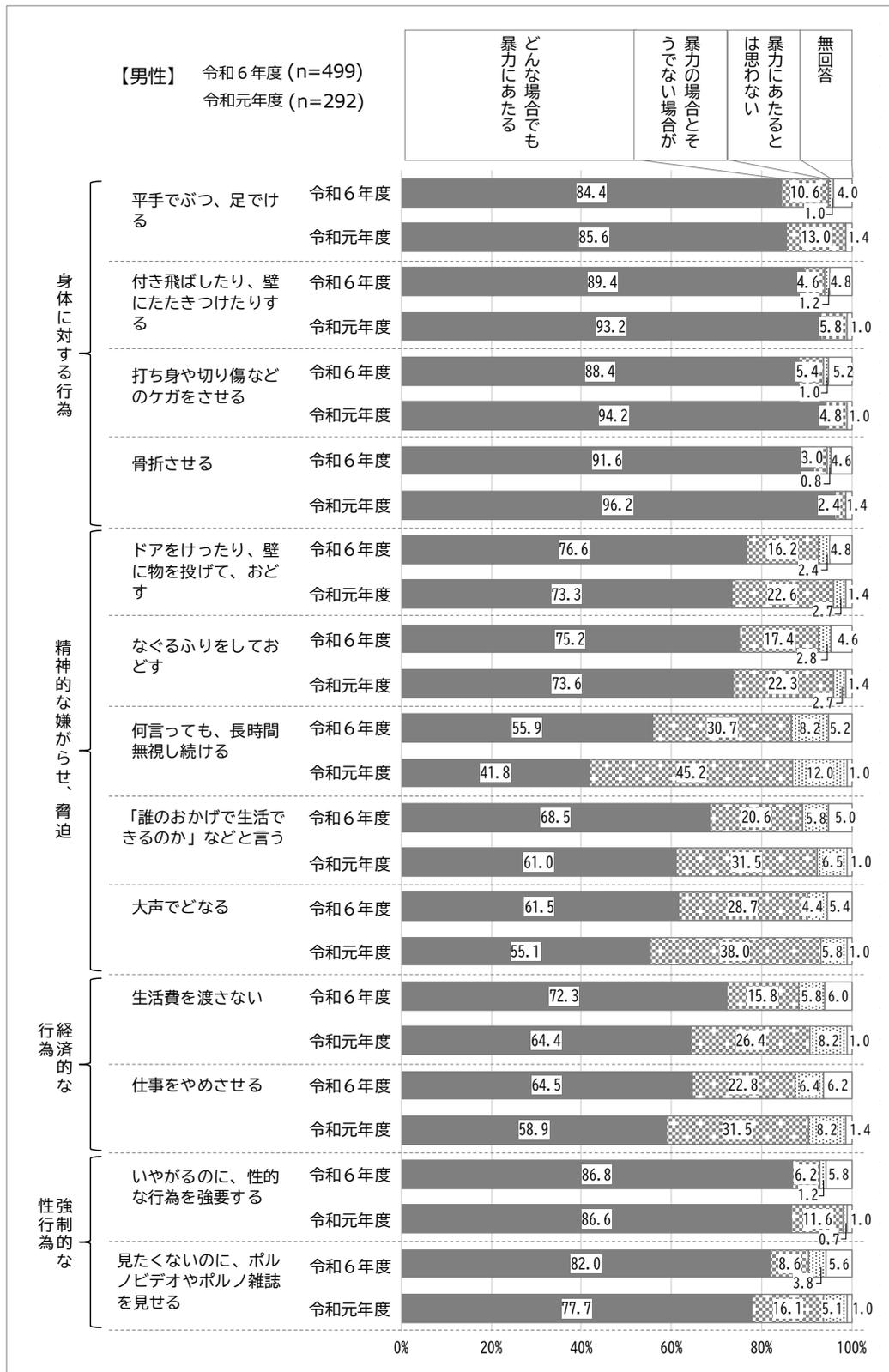
「何を言っても、長時間無視し続ける（48.5%から 57.9%）」は増加しています。



前回調査と比較すると、「打ち身や切り傷などのケガをさせる (91.2%から 88.0%)」、「骨折させる (96.0%から 91.5%)」、「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす (84.2%から 80.1%)」など暴力に関わる項目は減少しています。また、「何を言っても、長時間無視し続ける (53.3%から 60.3%)」は暴力にあたるとの認識が高まっています。



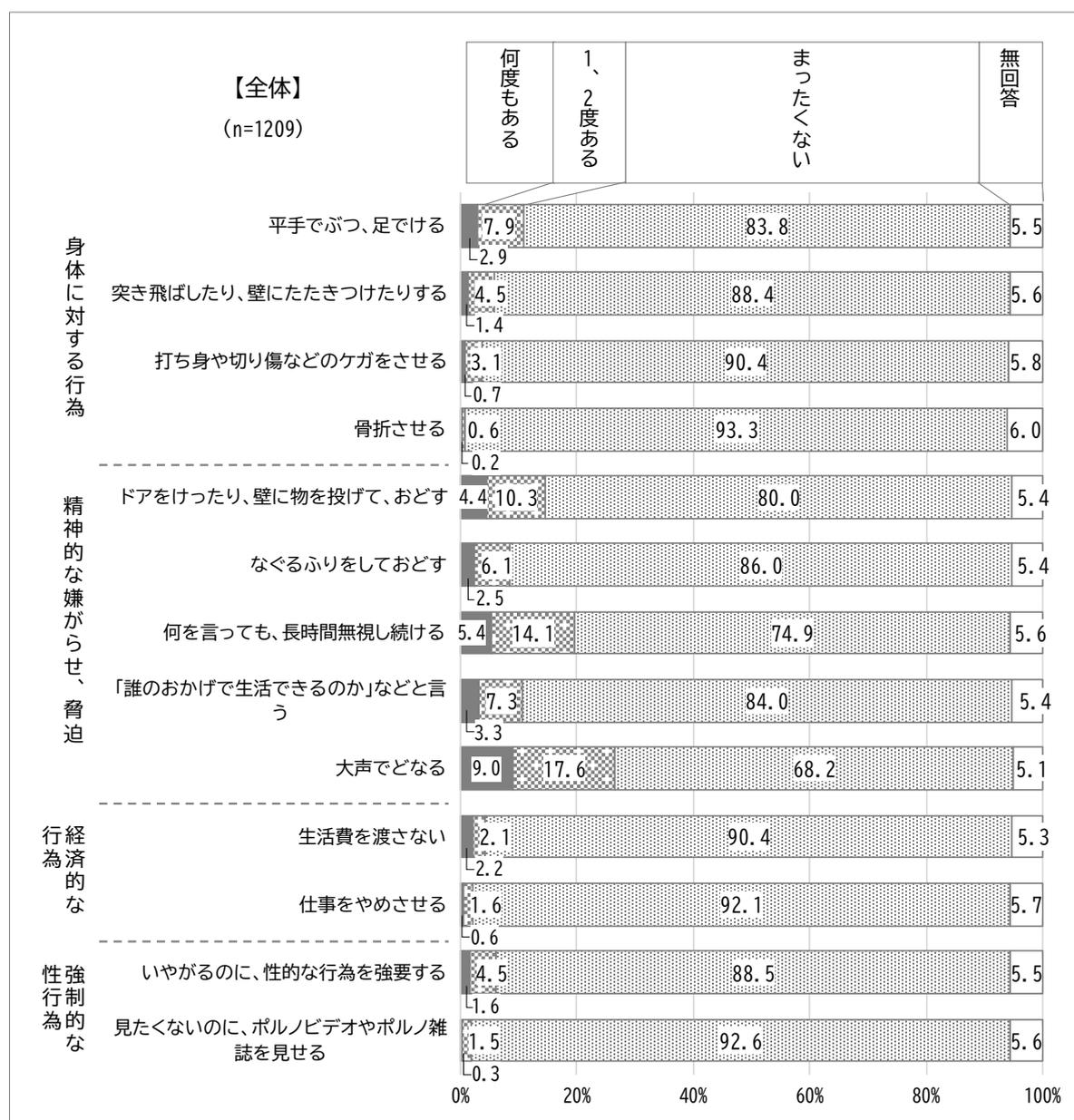
前回調査と比較すると、「突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする (93.2%から 89.4%)」などなど暴力に関わる項目は減少していますが、「何を言っても、長時間無視し続ける (41.8%から 55.9%)」、「生活費を渡さない (64.4%から 72.3%)」などが暴力にあたるとの認識が高まっています。



(2) 配偶者・恋人からの被害経験の有無 [S A]

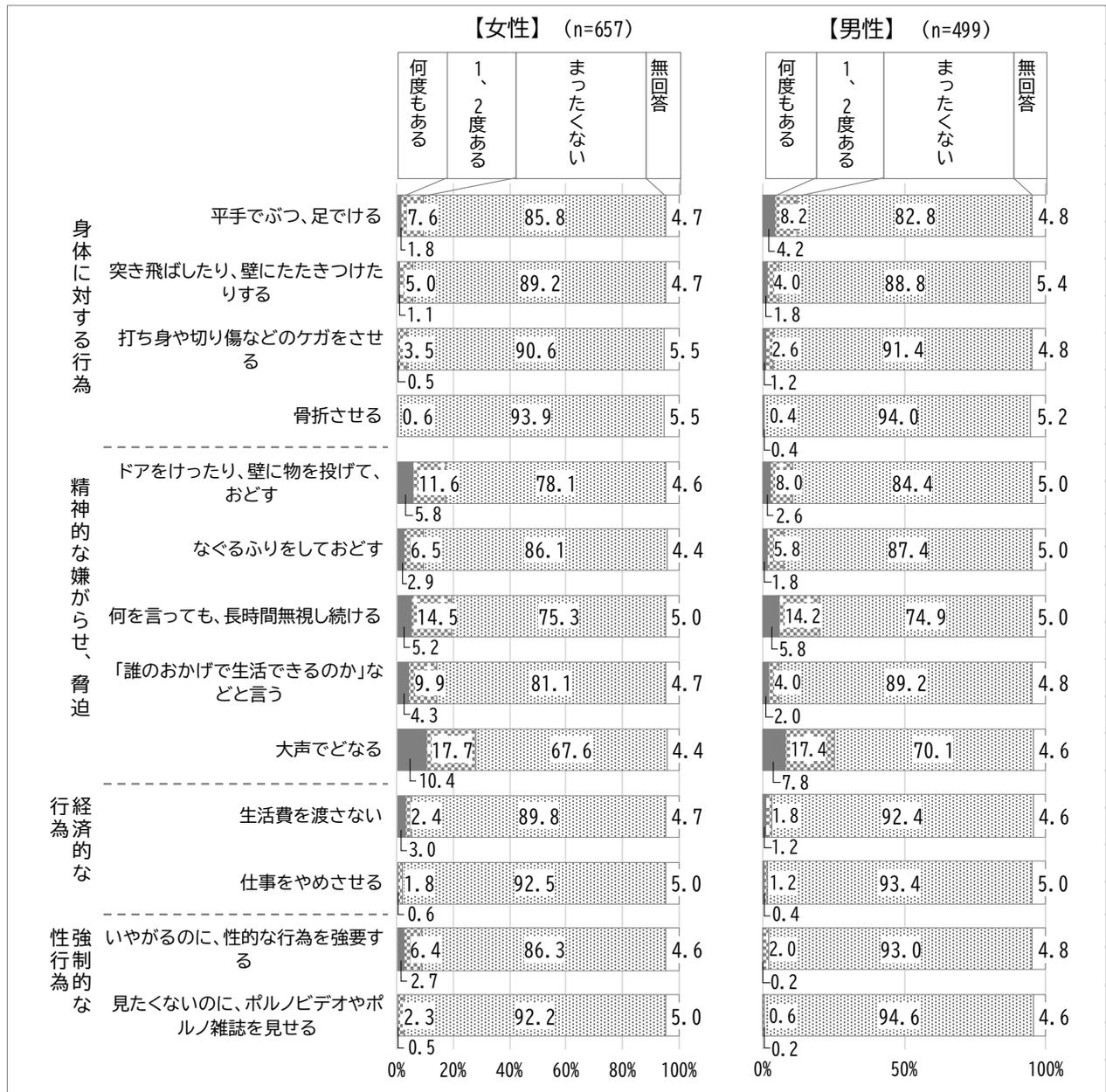
問6 これまでに親密な間柄の人から次のようなことをされたことがありますか。
 (○はそれぞれのアルファベットに1つずつ)

全体でみると、「大声でどなる」が26.6%、「何を言っても、長時間無視し続ける」が19.5%、「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」14.7%などの被害を経験しています。



性別でみると、女性では「大声でどなる」が 28.1%、「何を言っても、長時間無視し続ける」が 19.7%、「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」が 14.4%などで「精神的な嫌がらせ、脅迫」の被害が多くなっています。また、「平手でごつ、足でける」が 9.4%、「いやがるのに、性的な行為を強要する」が 9.1%となっています。

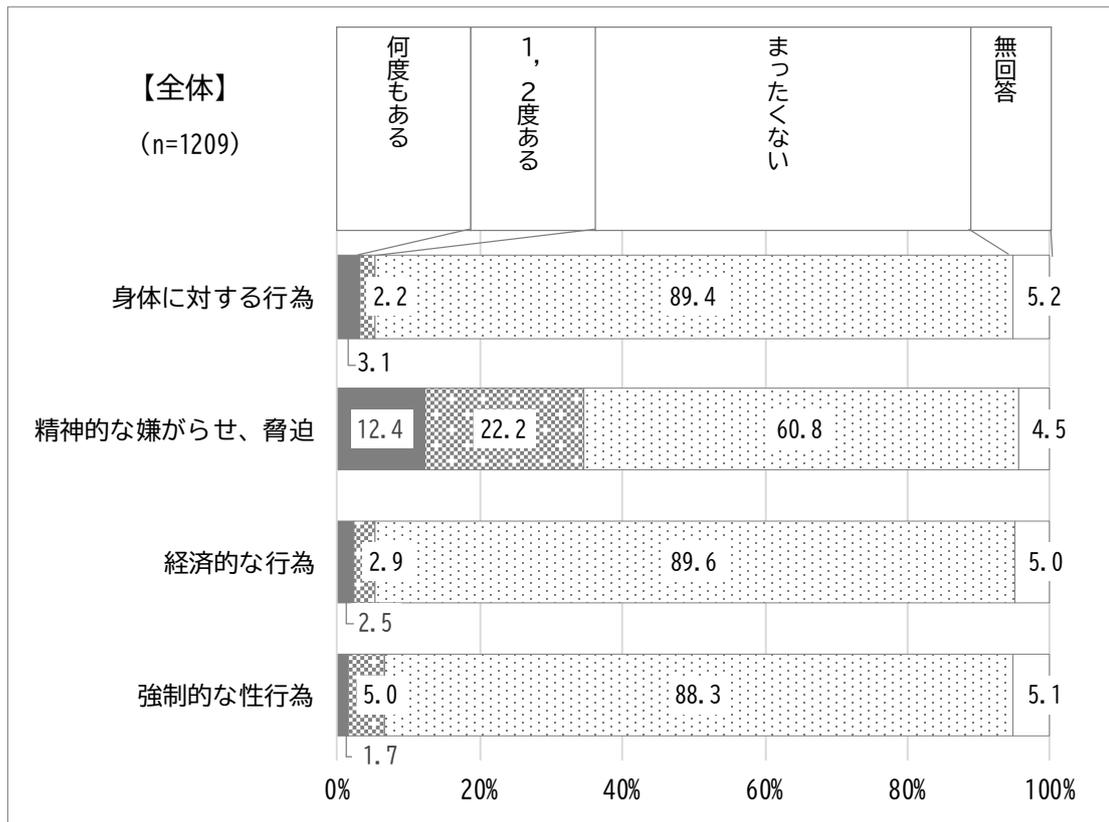
男性では「大声でどなる」が 25.2%、「何を言っても、長時間無視し続ける」が 20.0%で最も多く、次いで「平手でごつ、足でける」が 12.4%、「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」10.6%などの被害を経験しています。



【配偶者・恋人からの被害経験（まとめ）】

夫婦・恋人間の暴力と意識される行為について、「身体に対する行為」、「精神的な嫌がらせ、脅迫」、「経済的な行為」、「強制的な性行為」の4つの行為にまとめました。

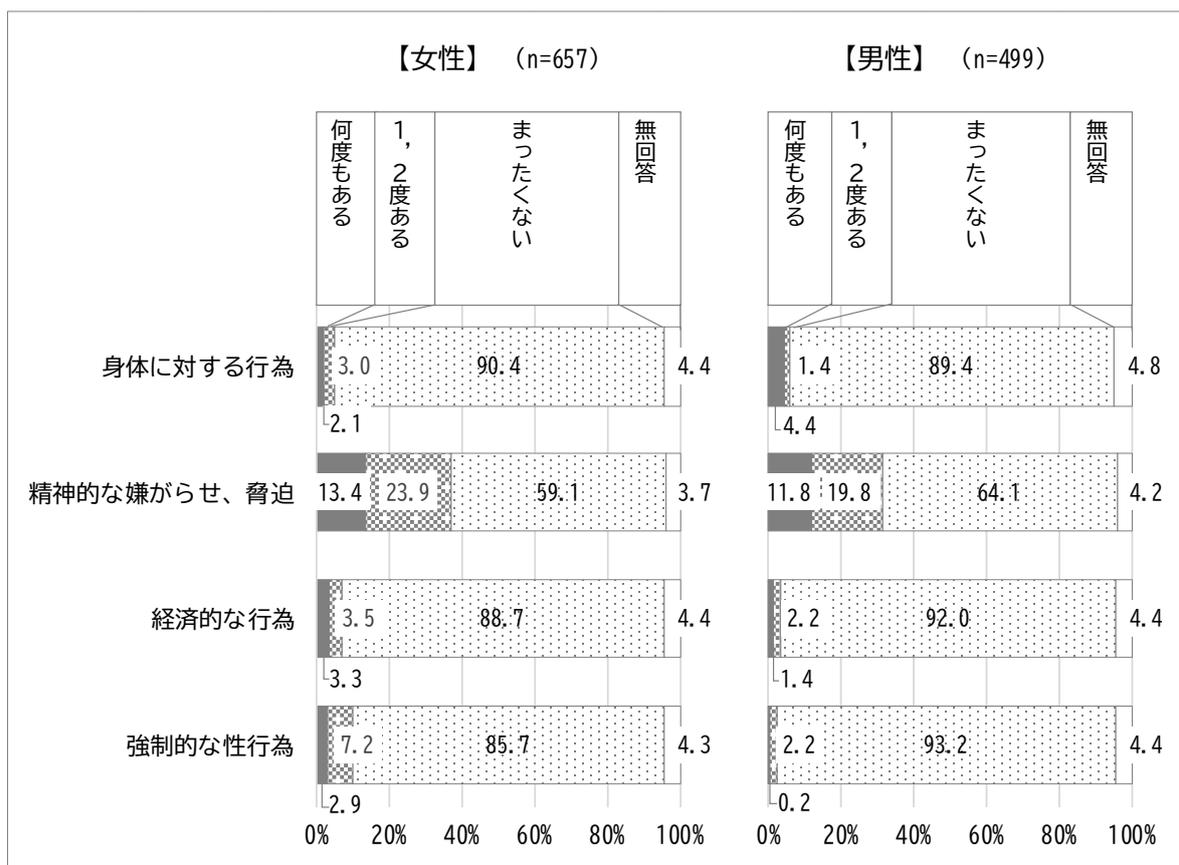
全体で見ると、「精神的な嫌がらせ、脅迫」が最も多く「何度もある（1,2度ある）」が34.6%となっています。また、「強制的な性行為」が6.7%、「経済的な行為」が5.4%、「身体に対する行為」が5.3%などの被害を経験しています。



性別でみると、「精神的な嫌がらせ、脅迫」が女性（37.3%）、男性（31.6%）で最も被害経験の多くなっています。

女性では「強制的な性行為」が10.1%、「経済的な行為」が6.8%、「身体に対する行為」が5.1%で男性より被害経験が多くみられます。

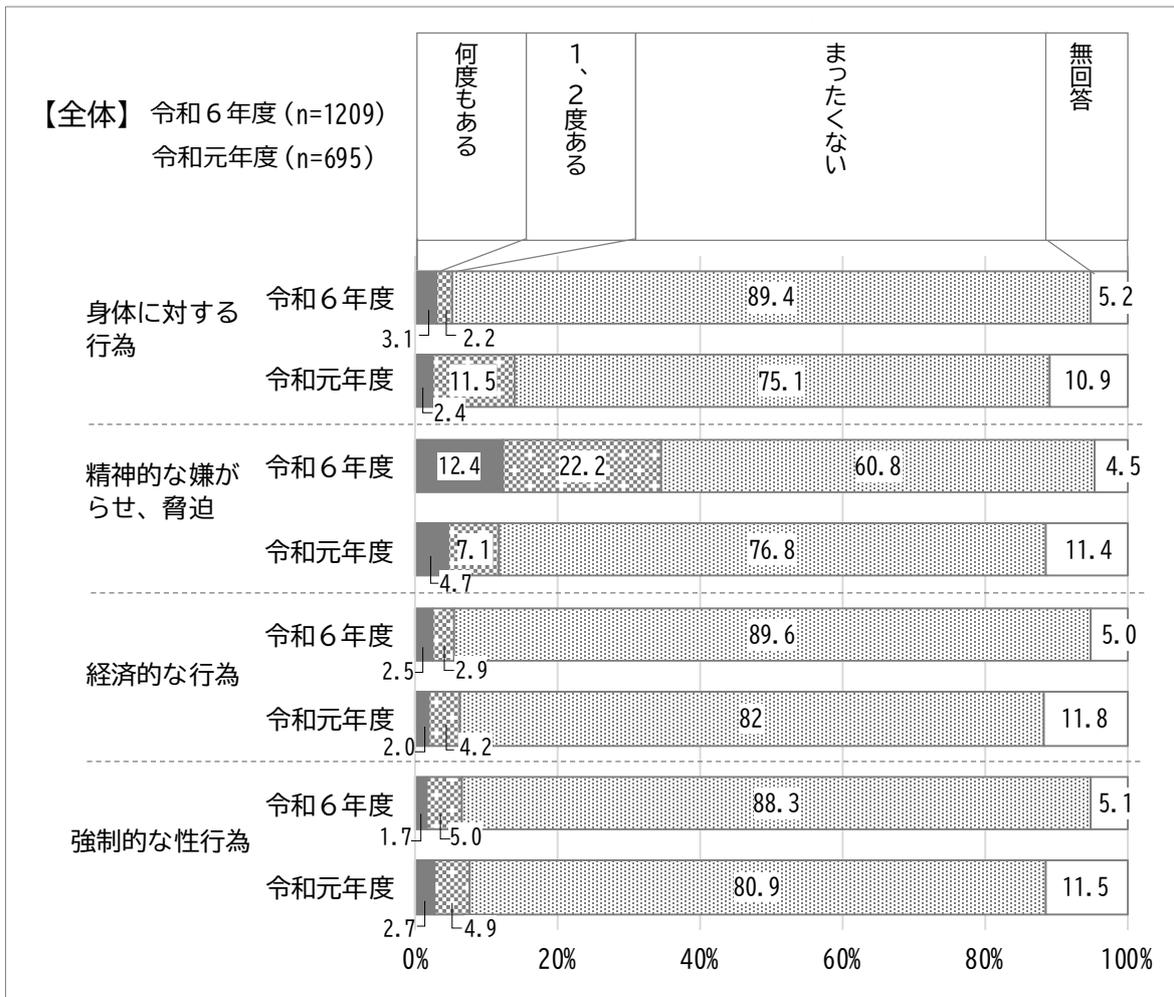
男性では「身体に対する行為」が5.8%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「精神的な嫌がらせ、脅迫」が 11.8%から 34.6%となり被害の経験が増えています。

一方、「身体に対する行為」は 13.9%から 5.3%、「強制的な性行為」は 7.6%から 6.7%などは減少しています。

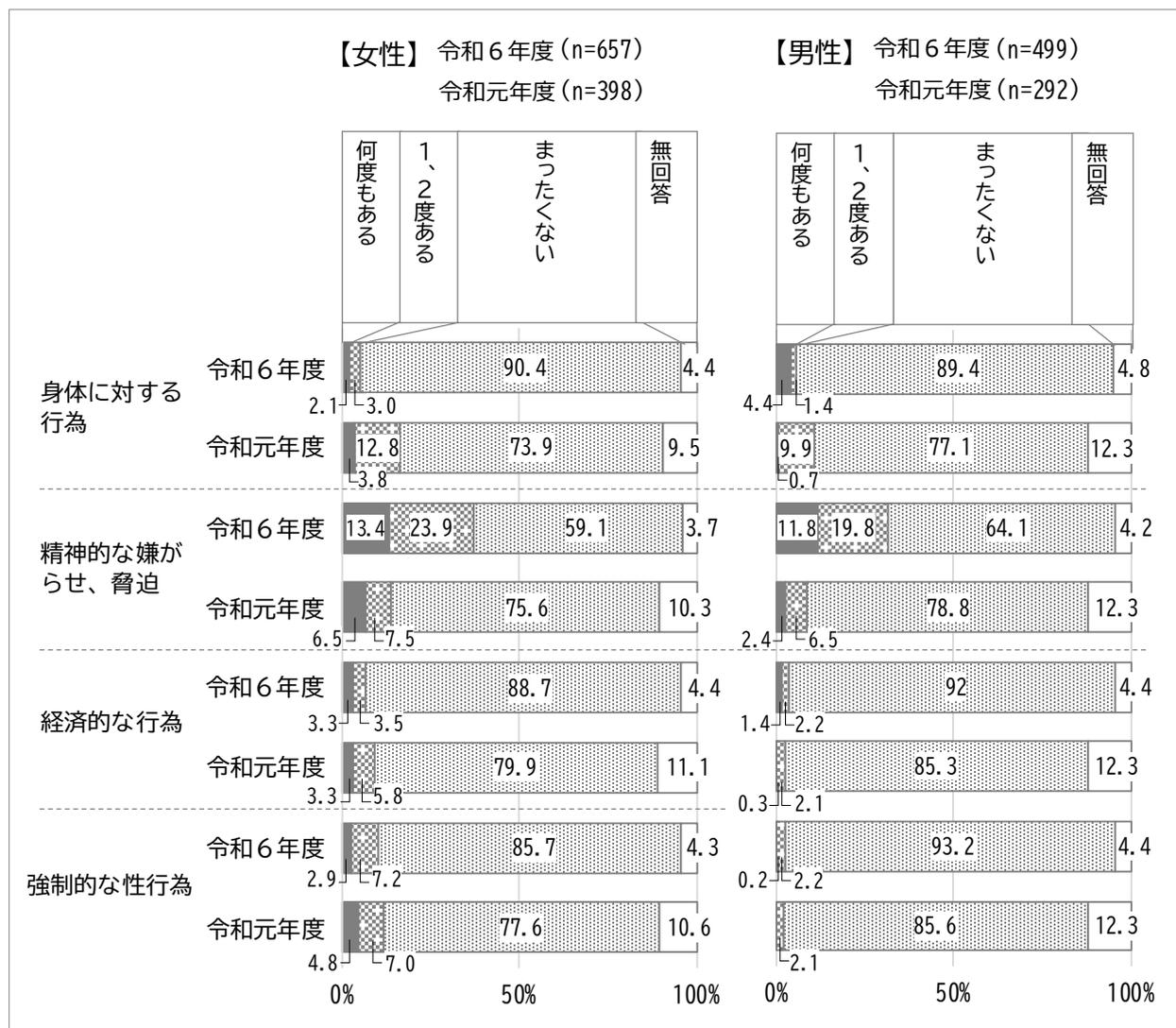


前回調査と性別で比較すると、女性と男性ともに「精神的な嫌がらせ、脅迫」が増えています。

「身体に対する行為」は、女性が16.6%から2.1%、男性は10.6%から4.4%に減少しています。ただ、男性は「何度もある」が0.7%から4.4%に増えています。

「経済的な行為」は、女性が9.1%から6.8%に減少していますが、男性は2.4%から3.6%に増えています。

「強制的な性行為」は女性が11.8%から10.1%、男性は2.1%から2.4%で概ね横ばいの傾向となっています。

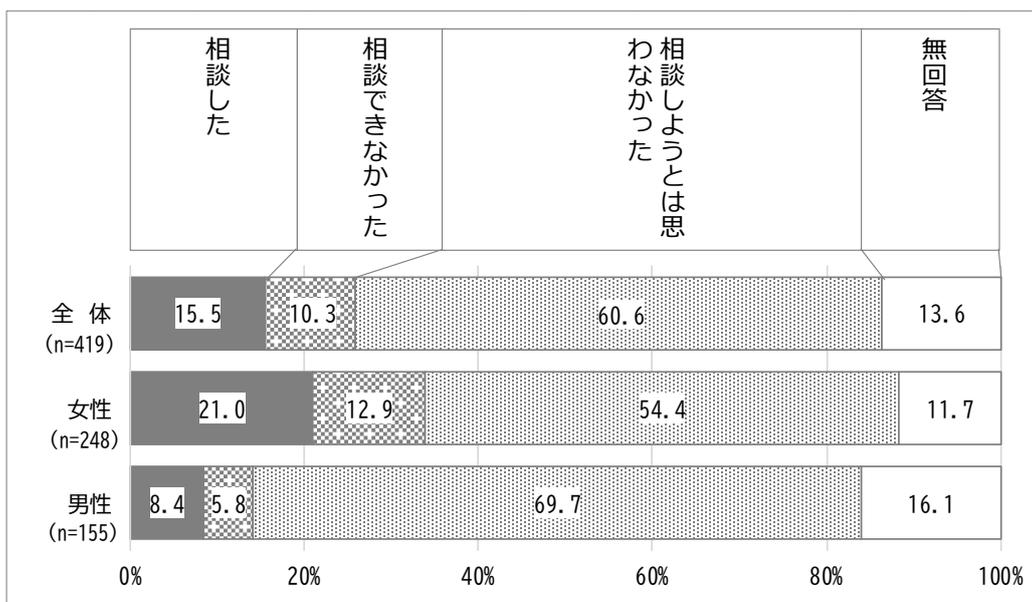


(3) 暴力被害に関する相談有無 [S A]

問7 (問6で「何度もある」または「1,2度ある」といずれかの項目で回答した方にお聞きします。) あなたは問6であげたような行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

全体でみると、「相談した」が15.5%、「相談できなかった」が10.3%となっています。

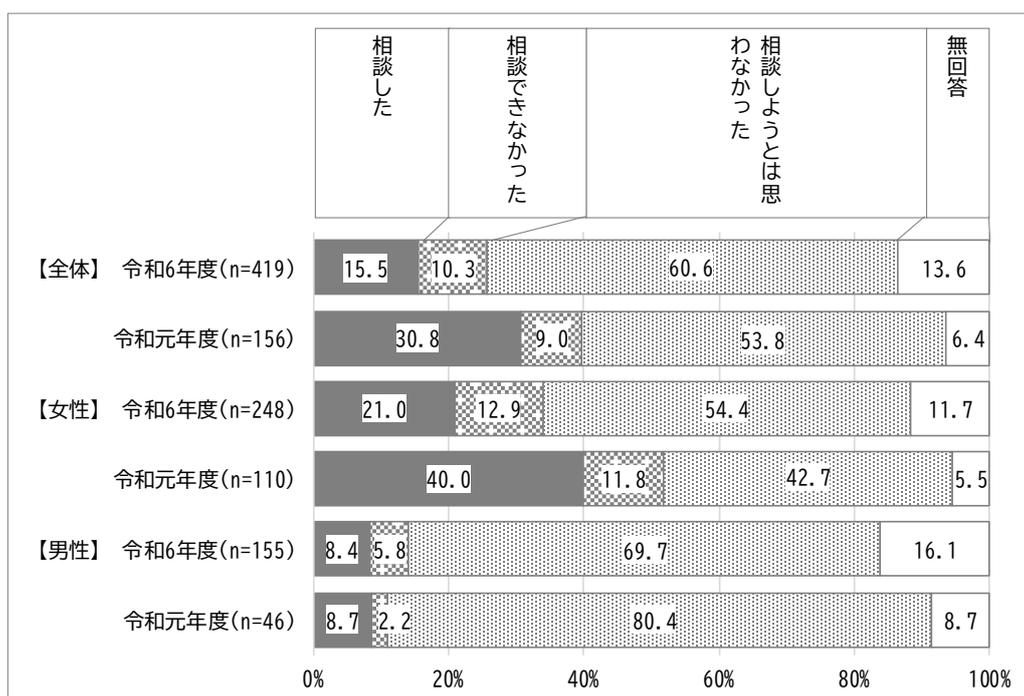
性別でみると、「相談した」は女性が21.0%、男性が8.4%、「相談できなかった」は女性が12.9%、男性が5.8%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「相談した」が30.8%から15.5%に減少しており、特に女性の相談経験が40.0%から21.0%と約半分に減少しています。

一方、「相談しようと思わなかった」は53.8%から60.6%、女性は42.7%から54.4%に増えています。

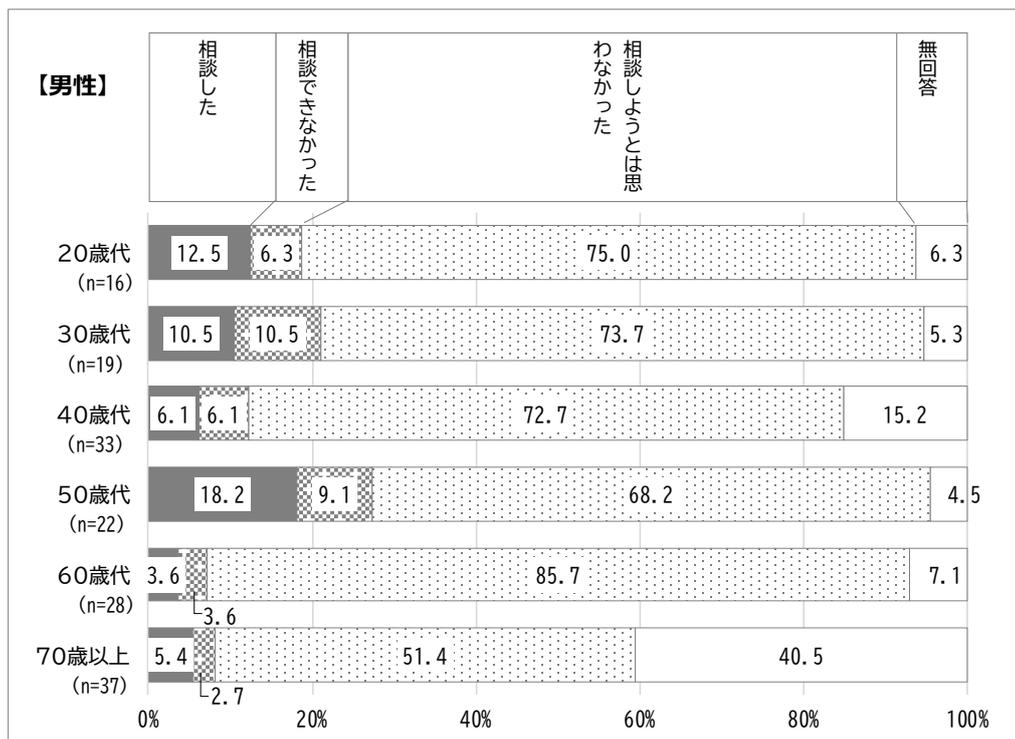
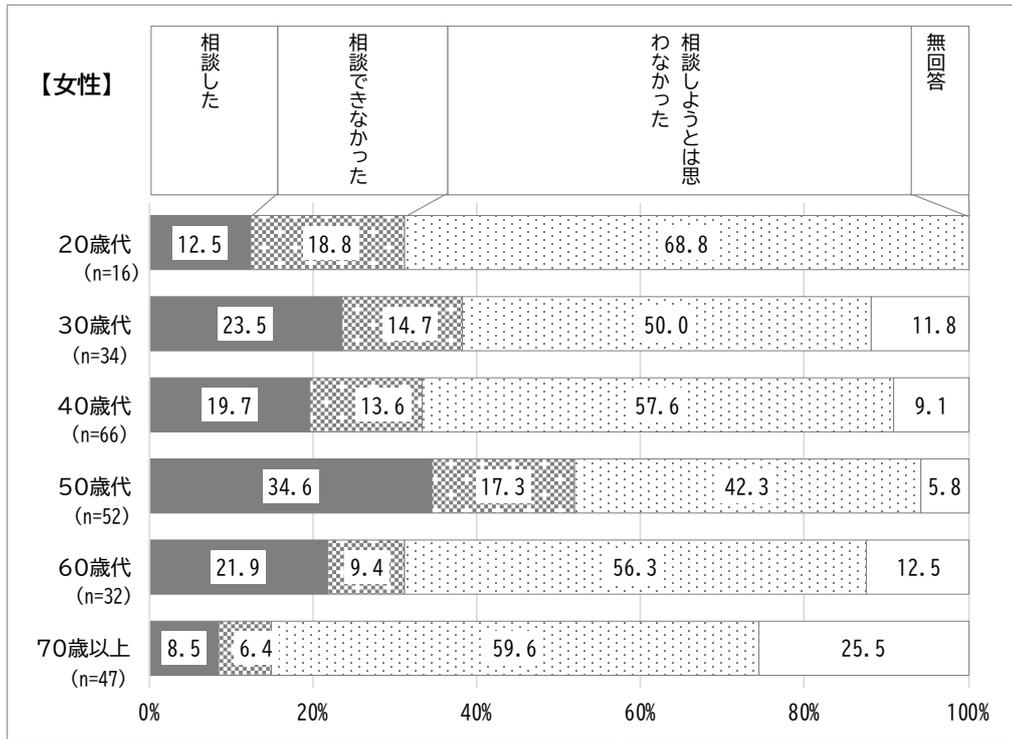


【性別・年代別比較】

年代別にみると、各年代とも「相談しようとは思わなかった」が多くなっていますが、男性の割合が女性より高い傾向です。

「相談した」をみると、女性は50歳代（34.6%）、30歳代（23.5%）など30歳代から60歳代にかけて20%を超えています。

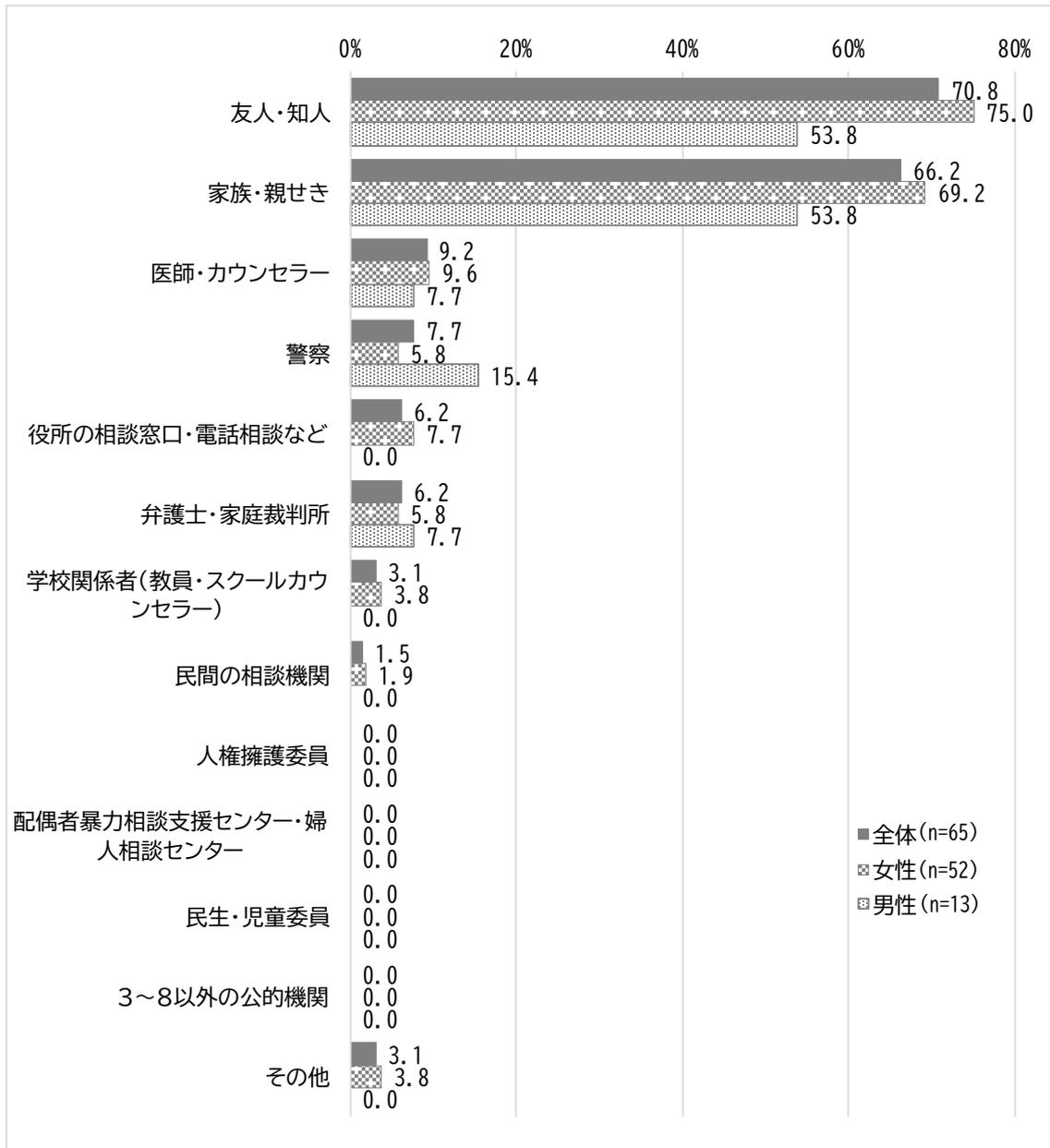
男性では50歳代が18.2%でもっとも多い他、20歳代、30歳代で10%を超えています。



(4) 相談した人（場所） [MA]

問8 (問7で「相談した」と回答された方にお聞きします。)
 あなたが相談した人（場所）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「友人・知人」が70.8%、「家族・親せき」が66.2%となっています。
 性別でも全体と同様の傾向で、「友人・知人」と「家族・親せき」が主な相談相手となっています。

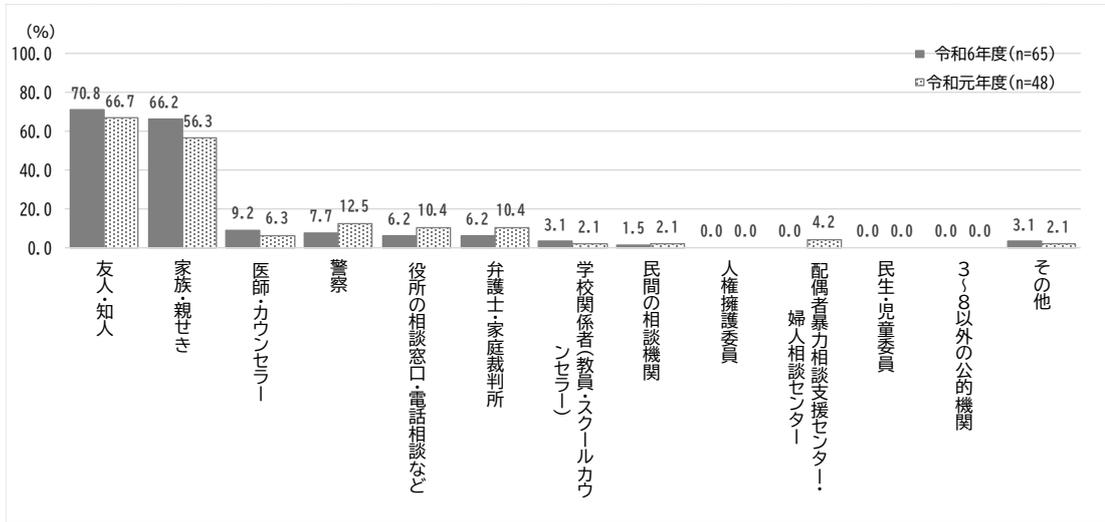


【前回調査との比較】

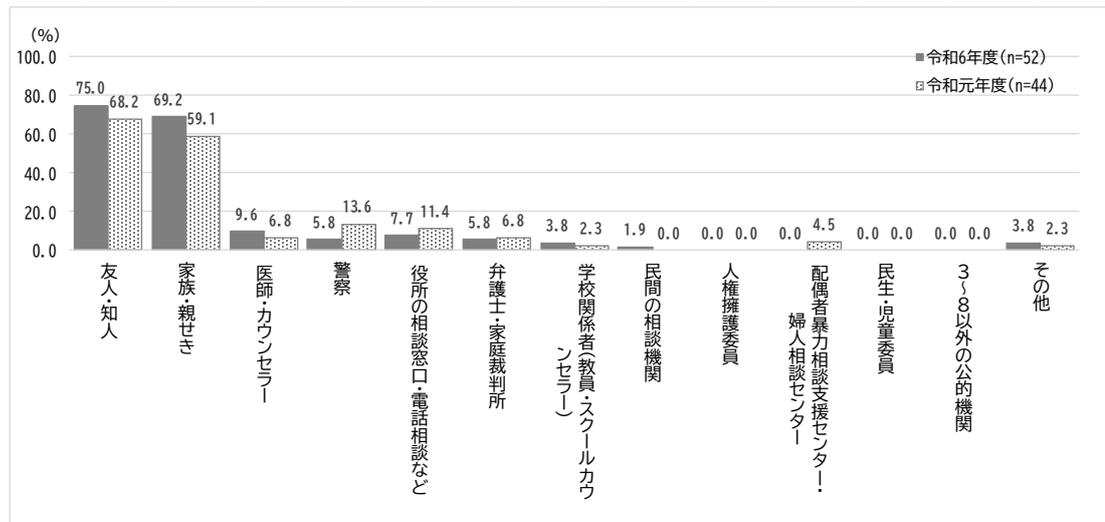
前回調査と比較すると、「友人・知人」が66.7%から70.8%、「家族・親せき」が56.3%から66.2%とそれぞれ増加しており、前回と同様に主な相談相手となっています。

一方、「警察（12.5%から7.7%）」や「役所の相談窓口・電話相談など（10.4%から6.2%）」、「支援・相談センター（4.2から0.0%）」など公的機関での相談は減少しています。

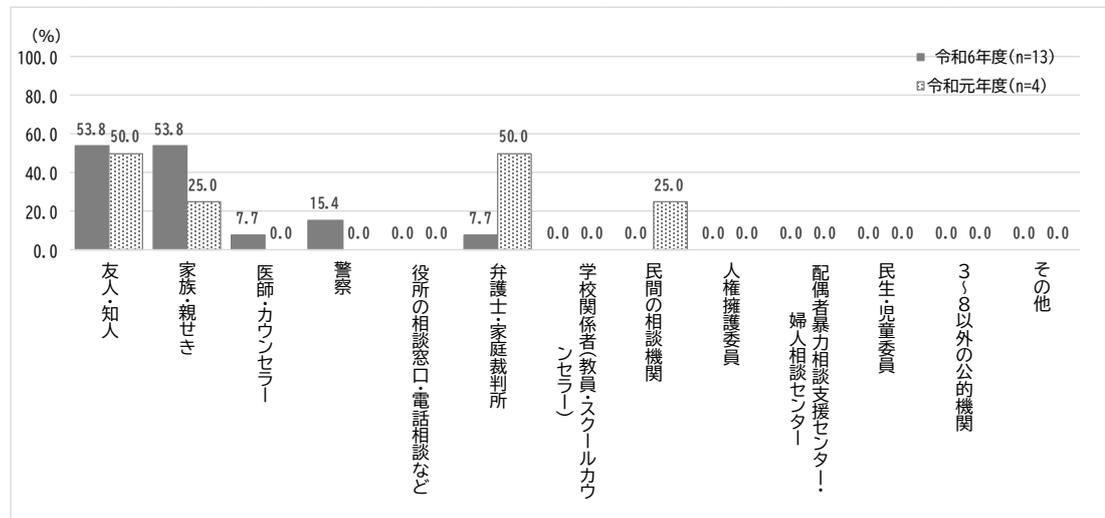
[全体]



[女性]



[男性]

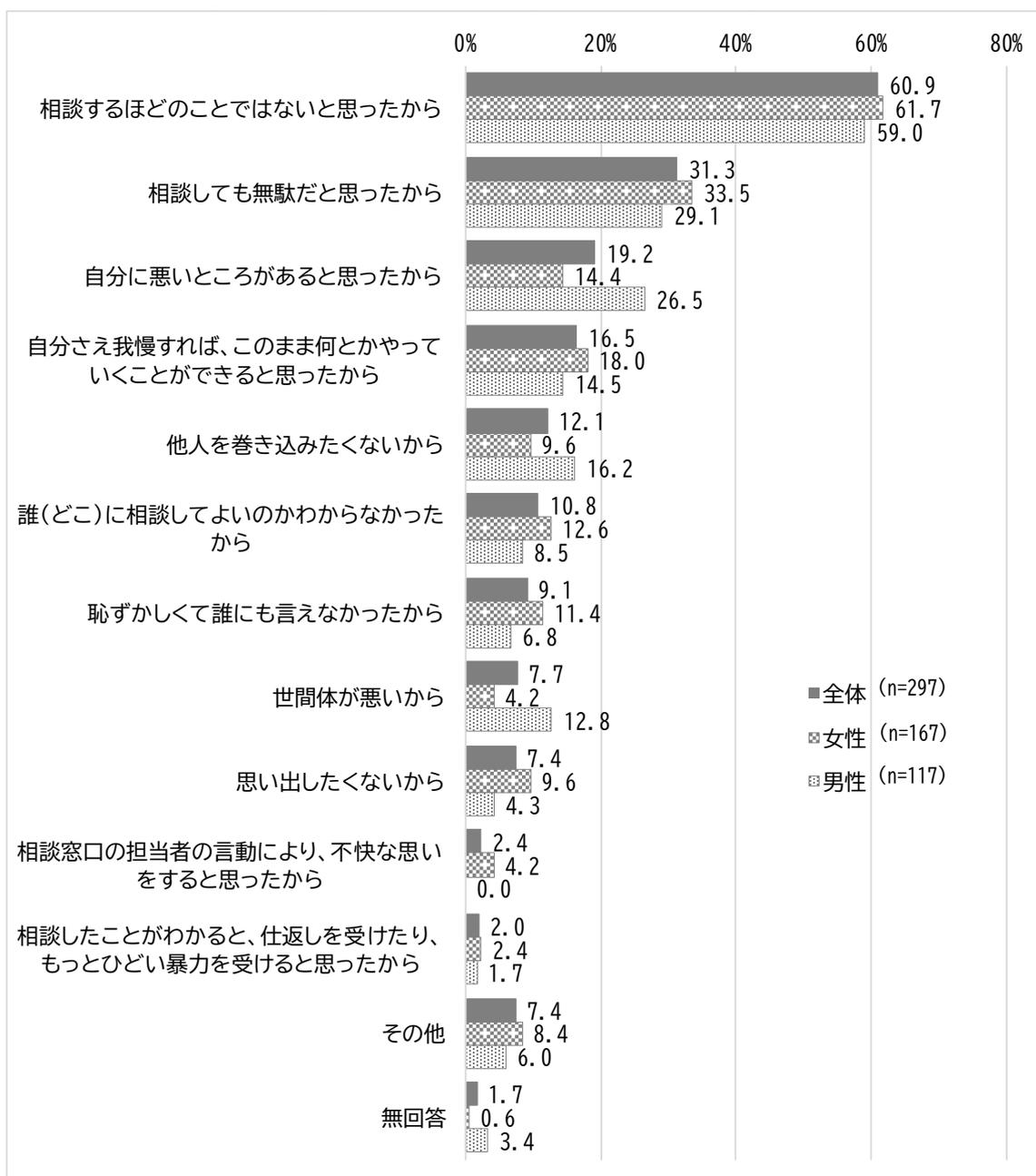


(5) 相談しなかった理由 [MA]

問9 (問7で「相談できなかった」または「相談しようとは思わなかった」と回答された方にお聞きします。)
 誰(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が60.9%、「相談しても無駄だと思ったから」が31.3%となっています。

性別でも全体と同様の傾向で、「相談するほどのことではないと思ったから」「相談しても無駄だと思ったから」が主な理由となっています。

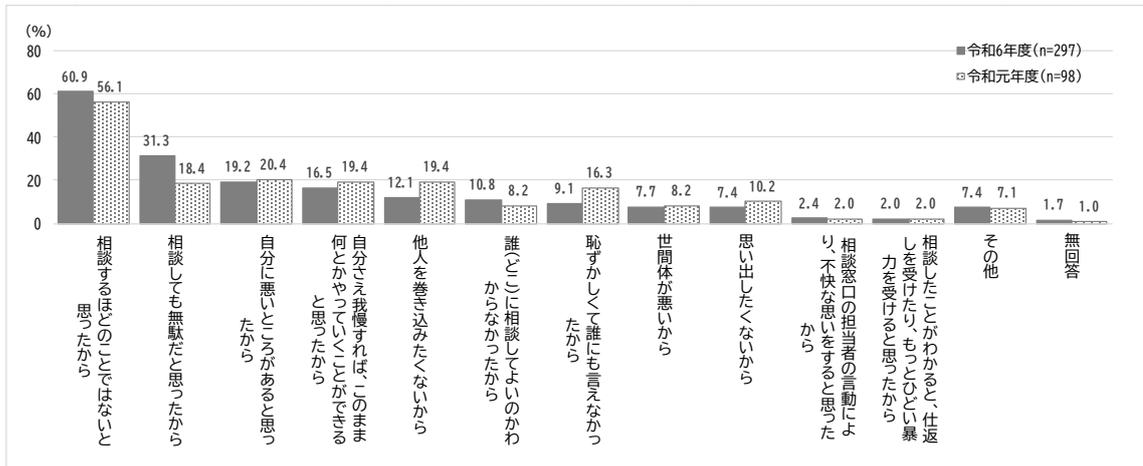


【前回調査との比較】

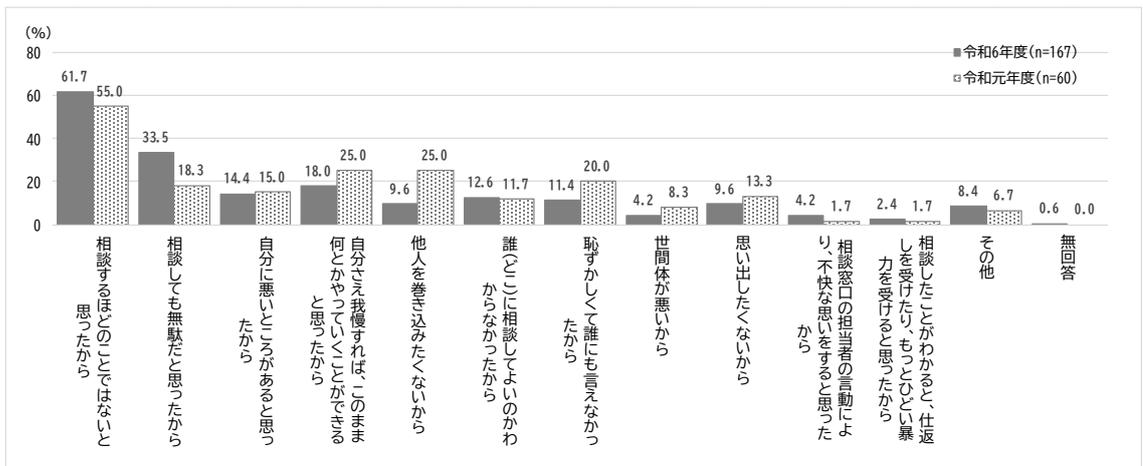
前回調査と比較すると、「相談するほどのことではないと思ったから」が56.1%から60.9%、「相談しても無駄だと思ったから」が18.4%から31.3%とそれぞれ増加しています。

さらに、「誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから」が8.2%から10.8%に増えており、相談の必要性を感じていない又は相談しても解決できないとの意識がみられます。

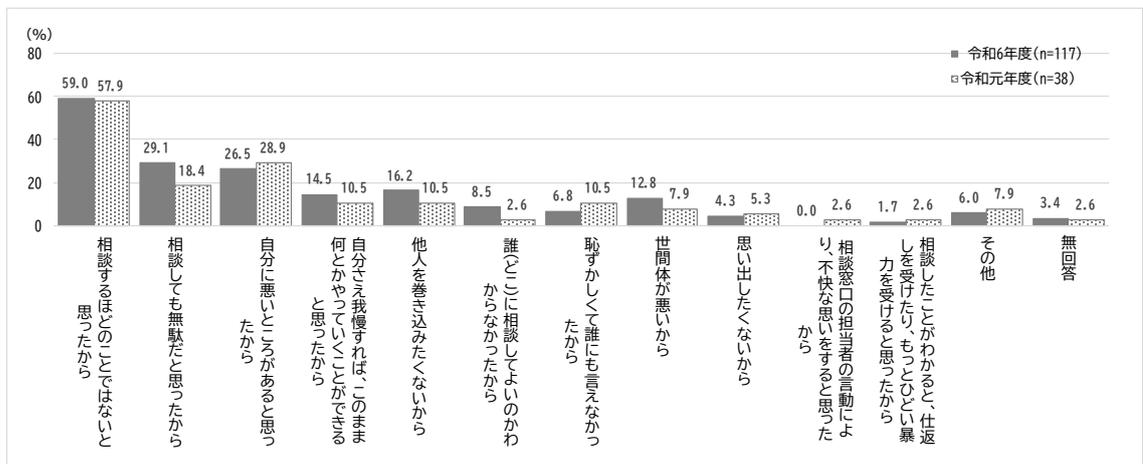
[全体]



[女性]



[男性]



5 ワーク・ライフ・バランスについて

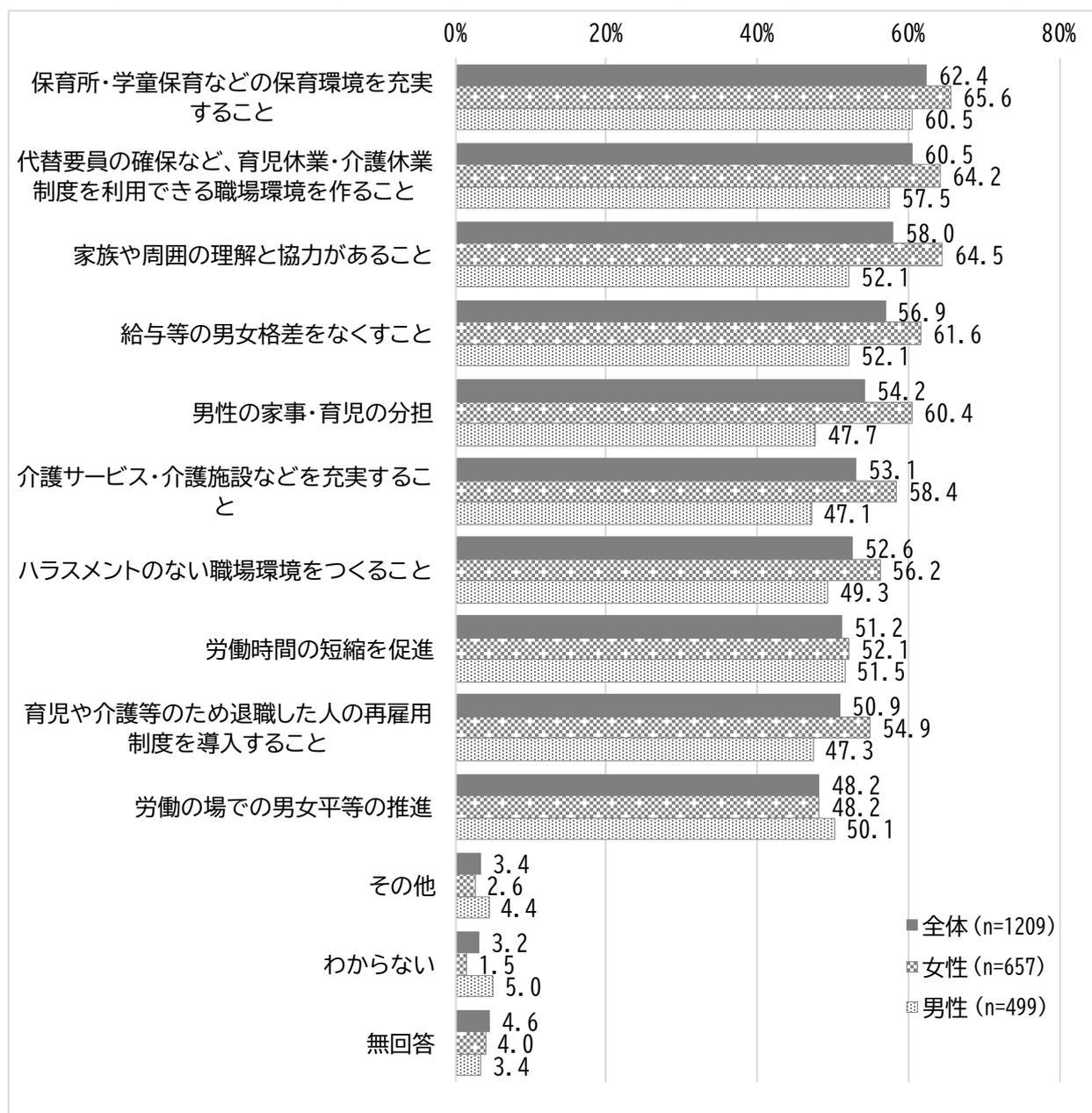
(1) 仕事と家庭を両立するための条件 [MA]

問 10 男女がともに仕事と家庭の両立をしていくためには、どのような条件が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「保育所・学童保育などの保育環境を充実すること」が62.4%、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること」が60.5%となっています。

性別でみると、女性は「保育所・学童保育などの保育環境を充実すること」が65.6%、「家族や周囲の理解と協力があること」が64.5%、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること」が64.2%となっています。

男性は、「保育所・学童保育などの保育環境を充実すること」が60.5%、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること」が57.5%となっています。

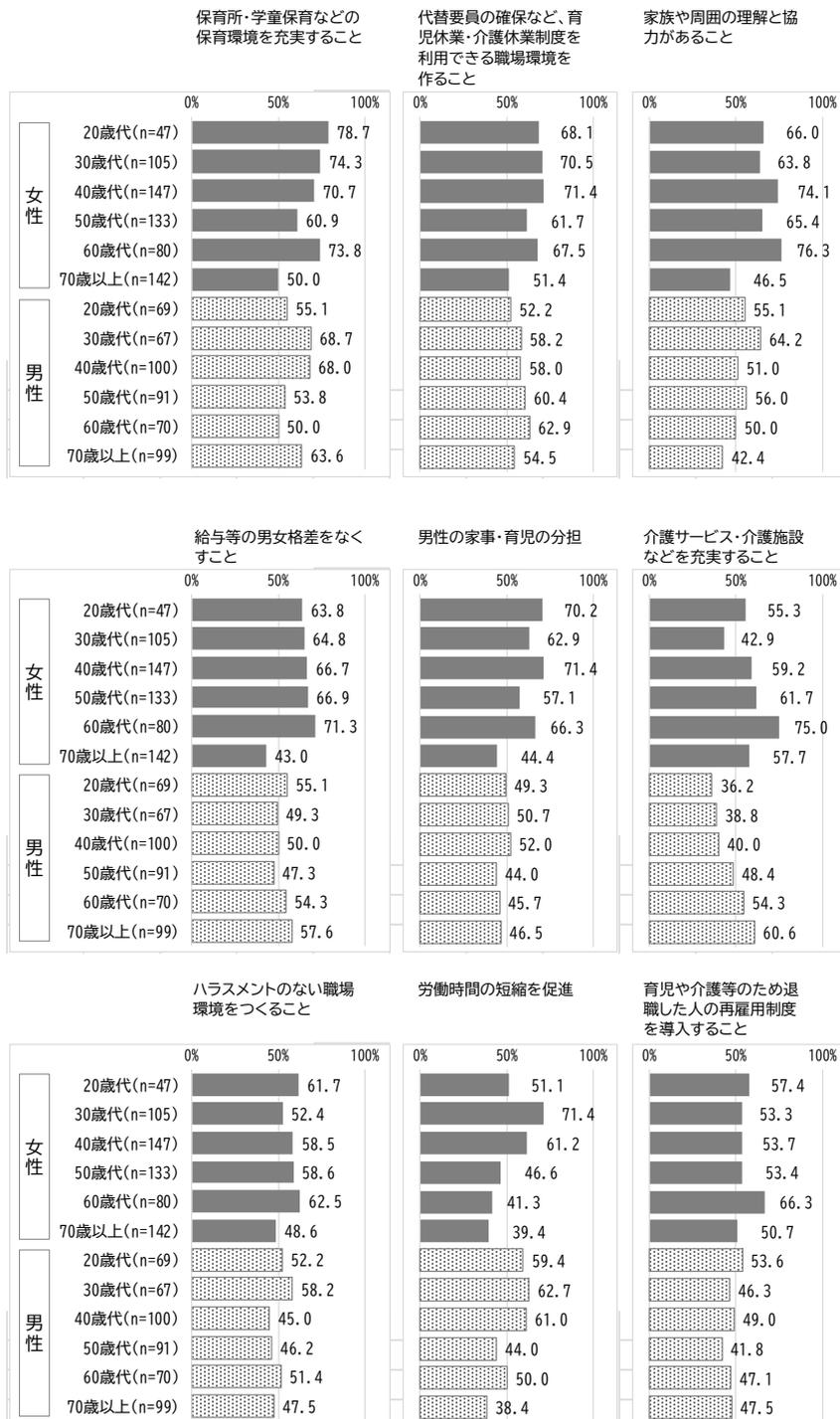


【性別・年代別比較（上位9項目）】

年代別でみると、「保育所・学童保育などの保育環境を充実すること」は、女性では20～40歳代と60歳代で70%を超えています。男性では30～40歳代と70歳以上で60%を超えています。

「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること」は、女性では30～40歳代で70%を超えています。男性では50～60歳代で60%を超えています。

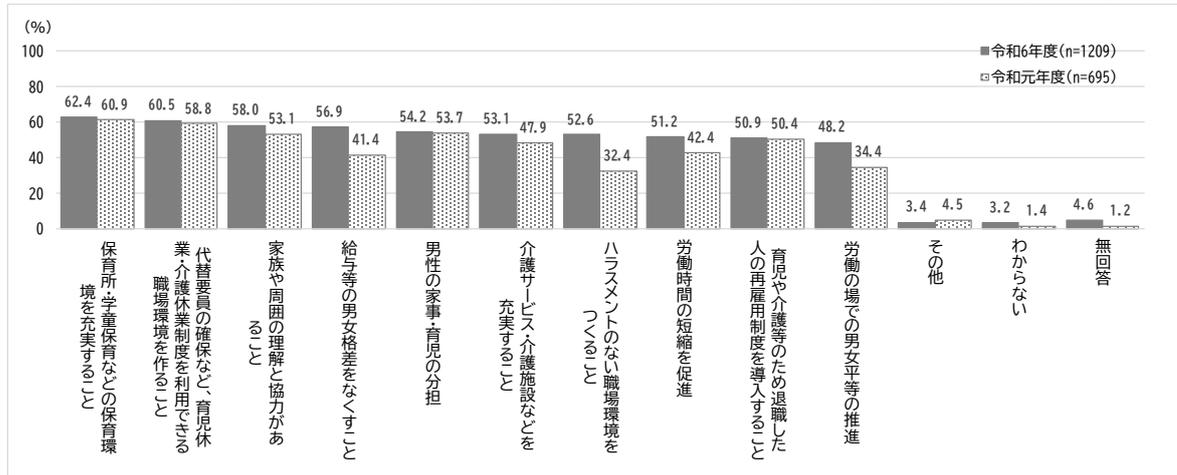
「家族や周囲の理解と協力があること」は、女性では40歳代と60歳代で70%を超え、男性では30歳代が60%を超えています。「給与等の男女格差をなくすこと」は、女性では20～40歳代と60歳代70%を超え、男性では30～40歳代と70歳以上で60%を超えています。「男性の家事・育児の分担」は、女性では20歳代と40歳代で70%を超え、男性では30～40歳代で50%を超えています。



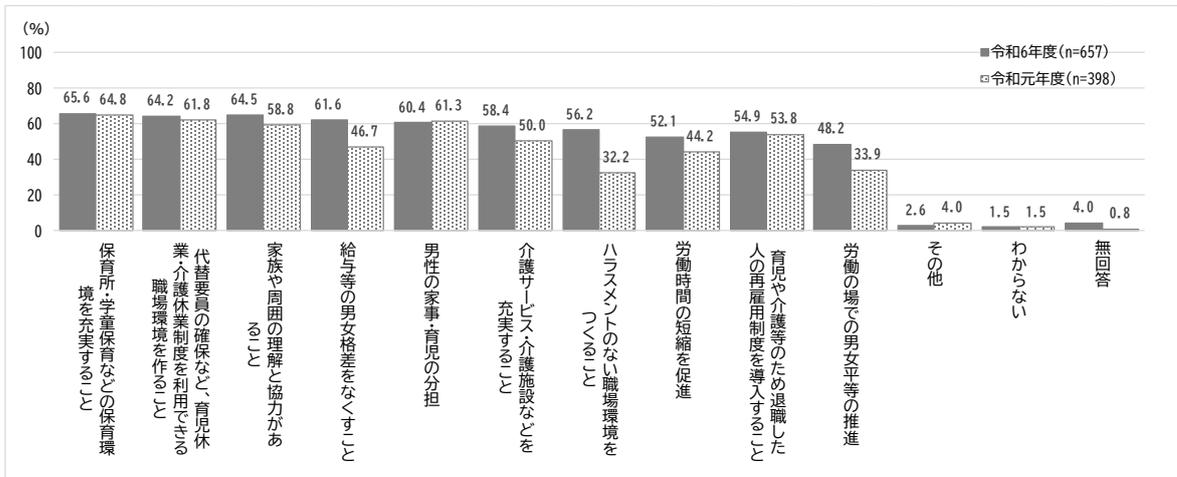
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「保育所・学童保育などの保育環境を充実すること」が60.9%から62.4%で前回と同様に多いほか、「ハラスメントのない職場環境をつくること」が32.4%から52.6%、「労働の場での男女平等の推進」が34.4%から48.2%、「給与等の男女格差をなくすこと」が41.4%から56.9%など前回より増加しており、子育て支援のほか、労働環境の男女平等が求められる傾向となっています。

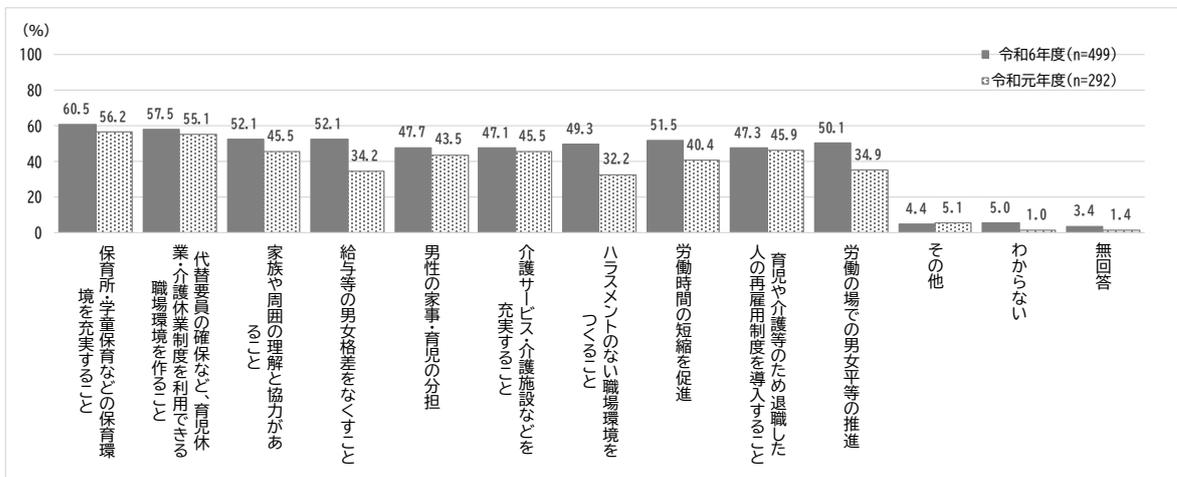
[全体]



[女性]



[男性]

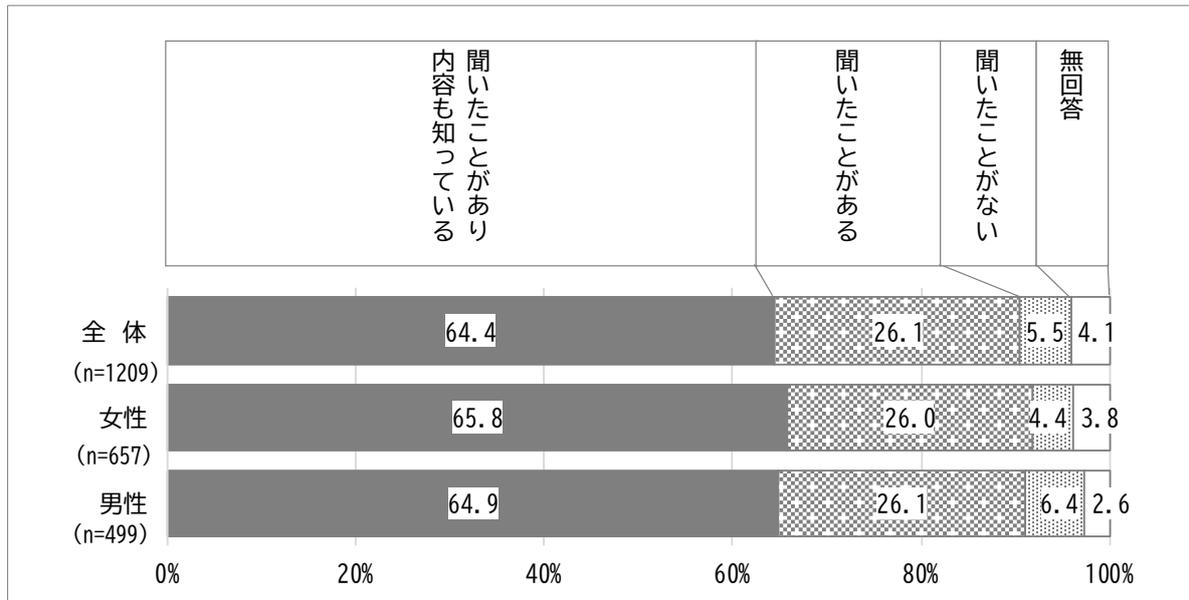


6 性の多様性について

(1) 言葉の認知度 [SA]

問 11 LGBTQ（性的マイノリティの総称）という言葉を知っていますか。（○は1つ）

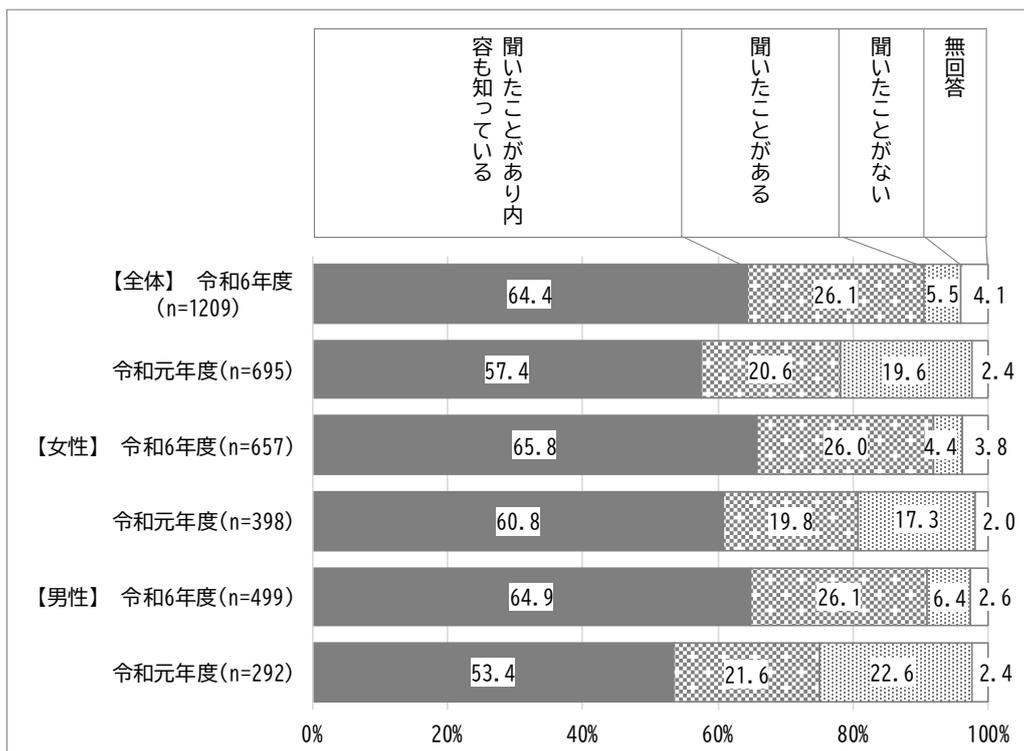
全体では、「聞いたことがあり内容も知っている」が 64.4%、「聞いたことがある」が 26.1%となっており、性別でも同様の傾向で認知度は高くなっています。



【前回調査との比較】

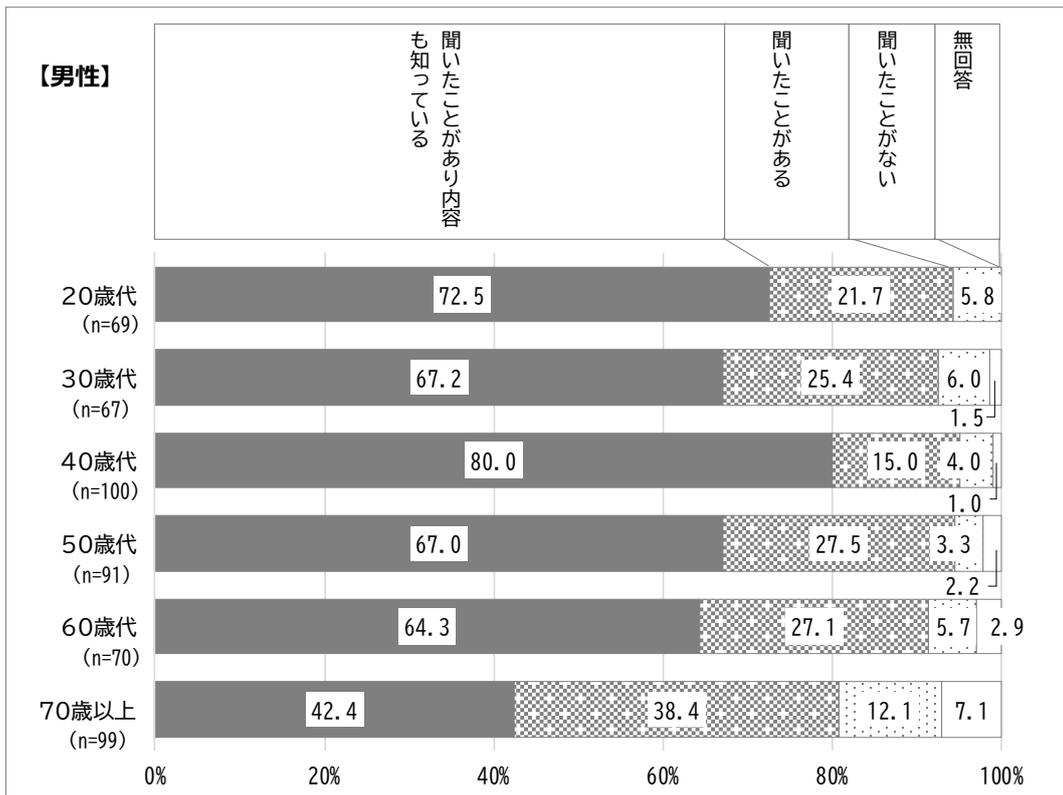
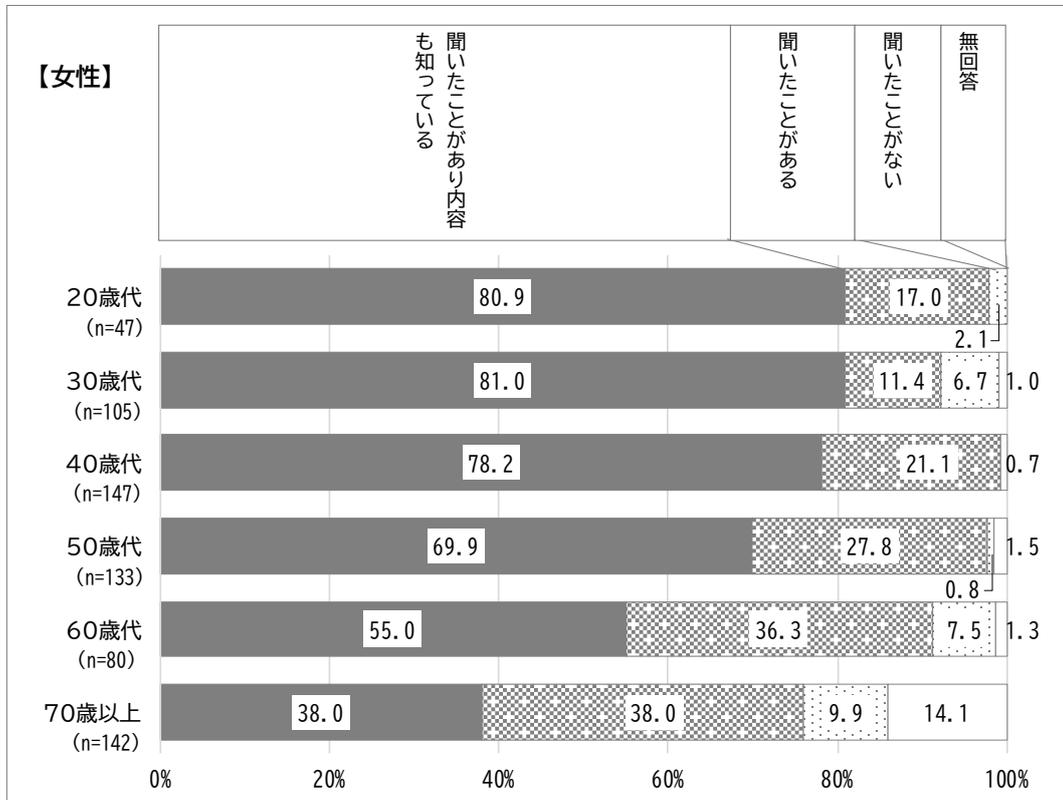
前回調査と比較すると、「聞いたことがあり内容も知っている」が 57.4%から 64.4%、「聞いたことがある」が 20.6%から 26.1%と増加しており、認知度は高くなっています。

性別で見ると、男性の認知度（内容含めて知っている）が 53.4%から 64.9%と女性と同水準に増えています。



年代別にみると、「聞いたことがあり内容も知っている」では女性の20歳代と30歳代が80%を超えており、40歳代と50歳代も約70%以上と認知度は高くなっています。

男性では40歳代が80%、20歳代が72.5%で、60歳代までの年代では60%を超えています。

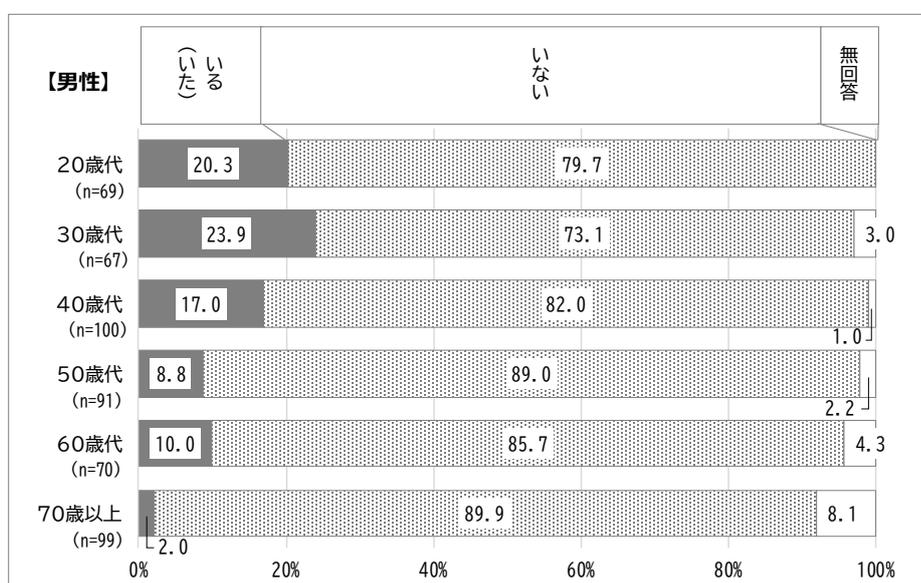
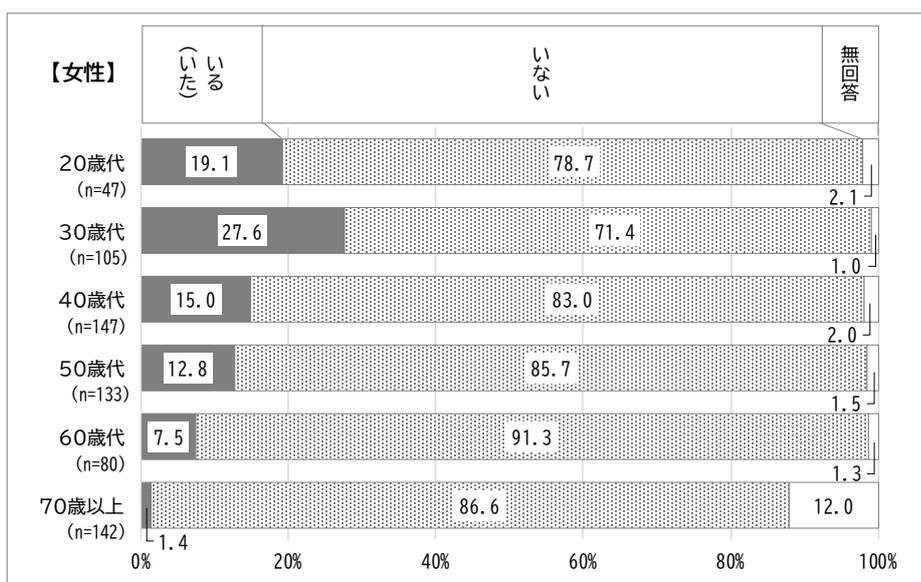
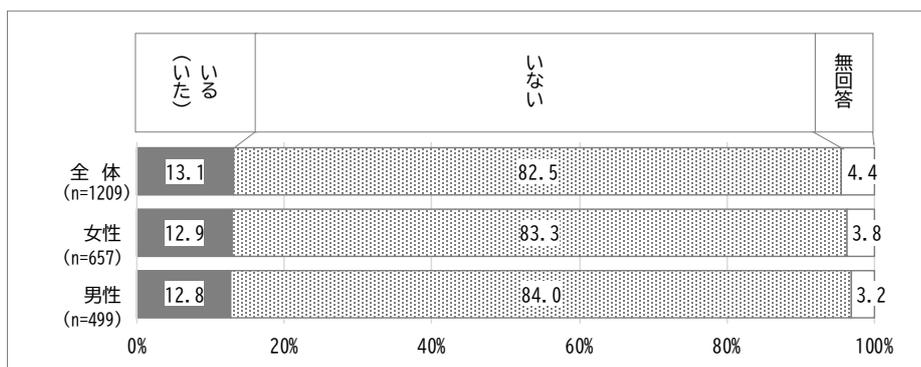


(2) 性自認や性的指向に悩む人の有無 [S A]

問 12 あなたの周りに自分の性自認や性的指向について悩んでいる人はいますか。(○は1つ)

全体では、「(悩んでいる人は) いない」が82.5%、「(悩んでいる人が) いる」が13.1%となっています。性別では、女性は「(悩んでいる人が) いる」が12.9%、男性は12.8%となっています。

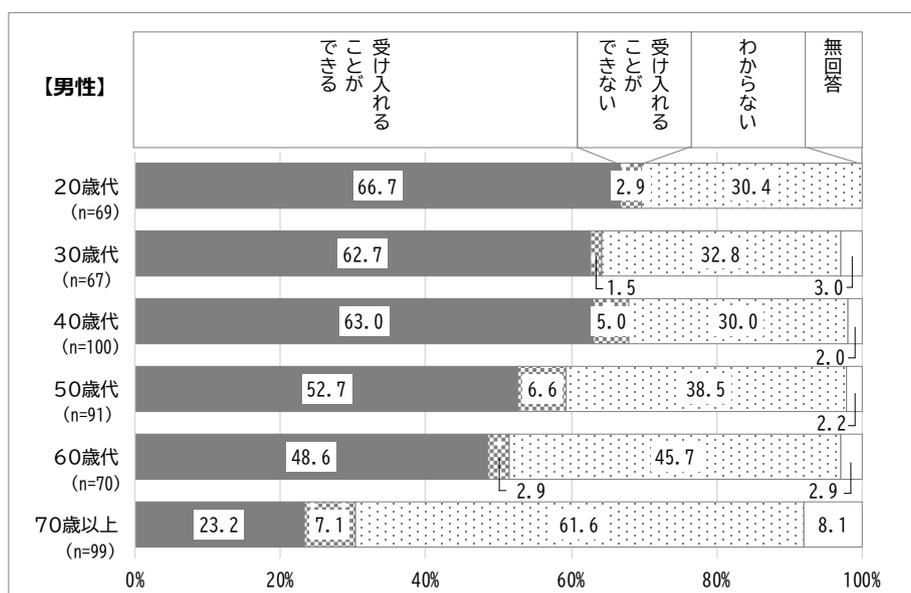
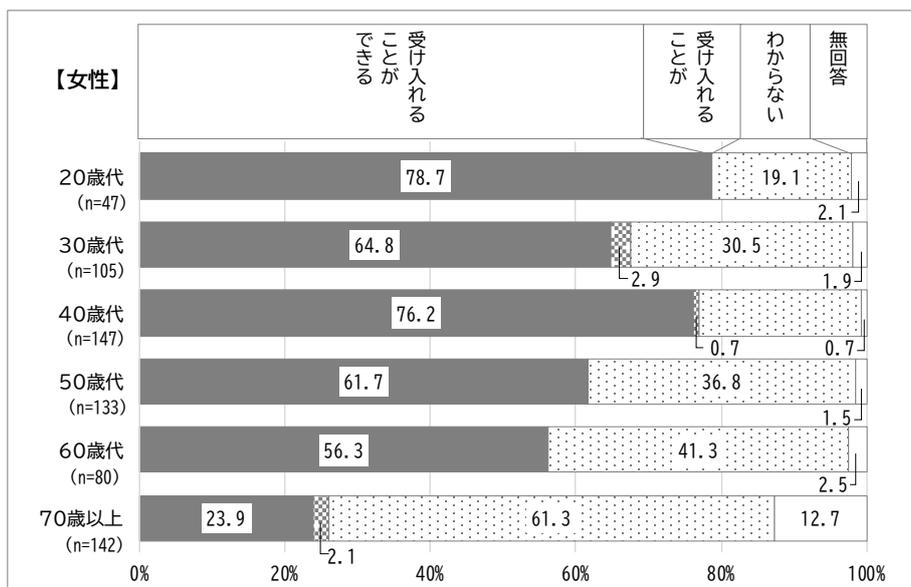
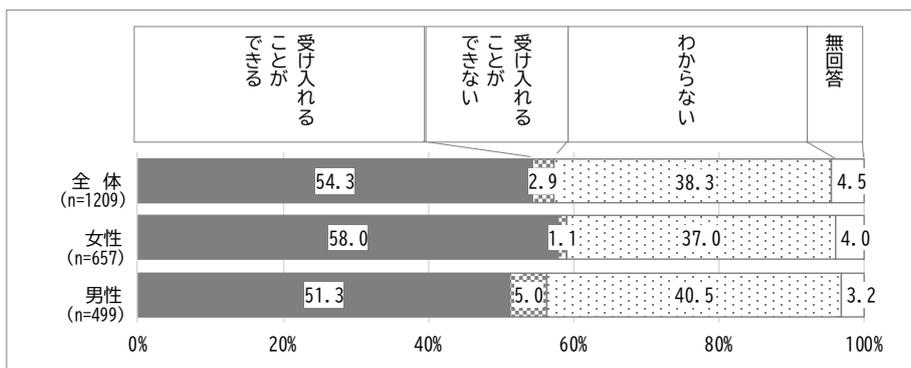
年代別にみると、女性は30歳代が27.6%、20歳代が19.1%、男性は30歳代が23.9%、20歳代が20.3%で若い年代が悩みを抱えている割合が高くなっています。



(3) 性自認や性的指向に悩む人への心情 [SA]

問 13 あなたが周りの人から性自認や性的指向について悩みを打ち明けられたら、どのように感じますか。(○は1つ)

全体では、「受け入れることができる」が54.3%、「受け入れることができない」は2.9%となっています。性別では、女性は「受け入れることができる」が58.0%、「受け入れることができない」は1.1%で、男性は「受け入れることができる」が51.3%、「受け入れることができない」は5.0%となっています。



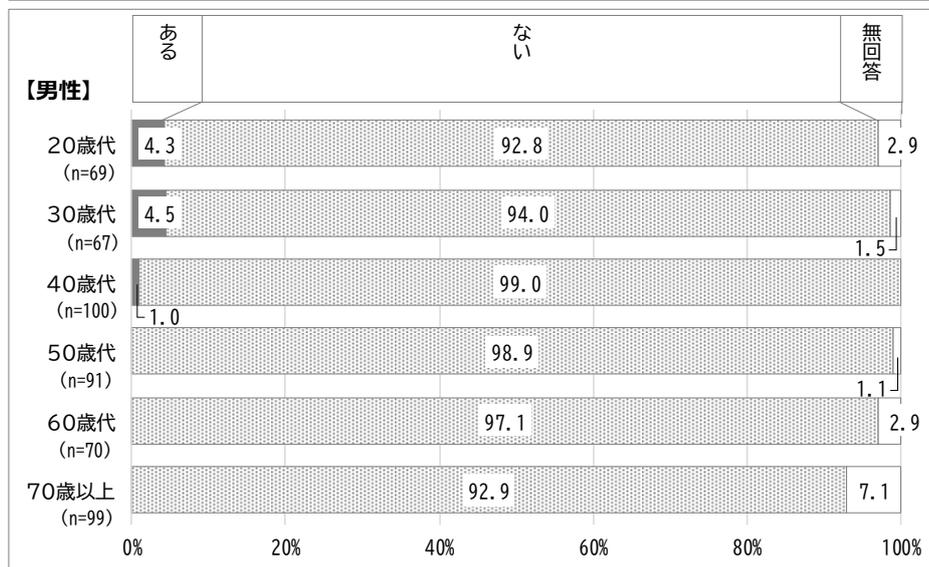
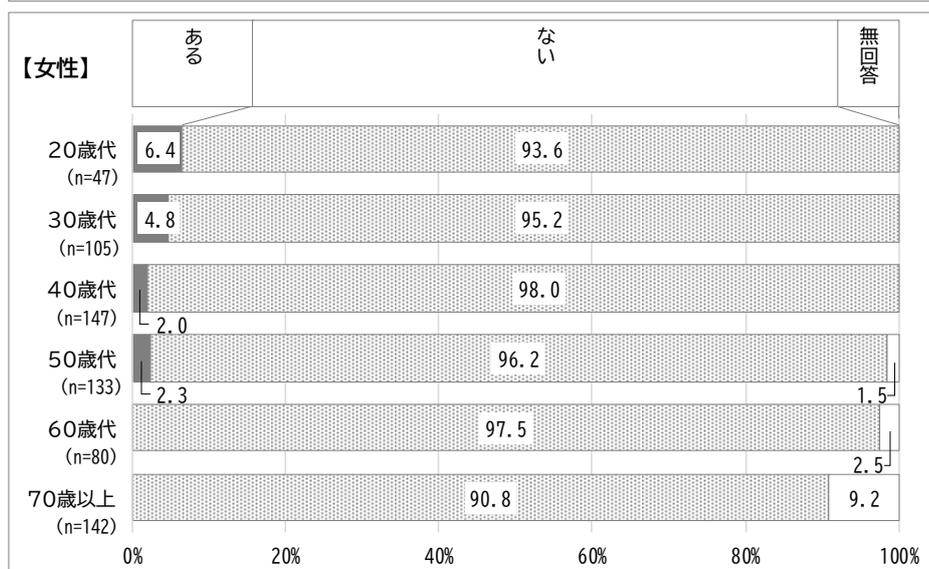
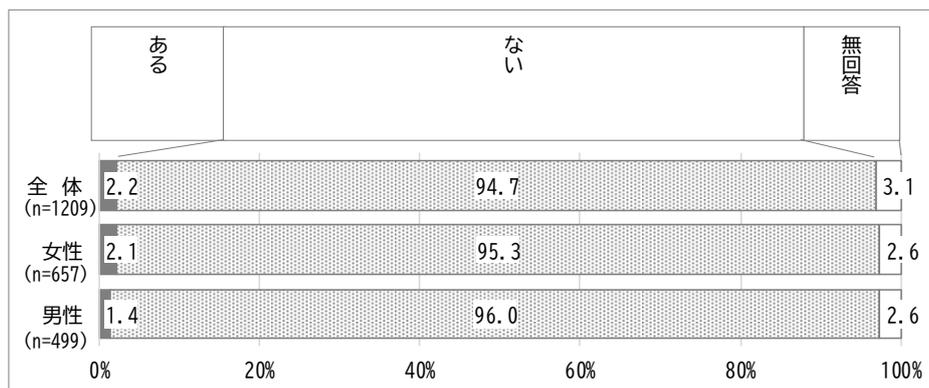
(4) 自身の悩みの有無 [S A]

問 14 あなたは、自分の性別に違和感を覚えたり、恋愛感情が同性に向かうなどで悩んだことはありますか。(○は1つ)

全体では、「(悩みは) ない」が 94.7%、「(悩みは) ある」は 2.2%となっています。

性別では、女性は「(悩みは) ある」が 2.1%、男性は 1.4%となっています。

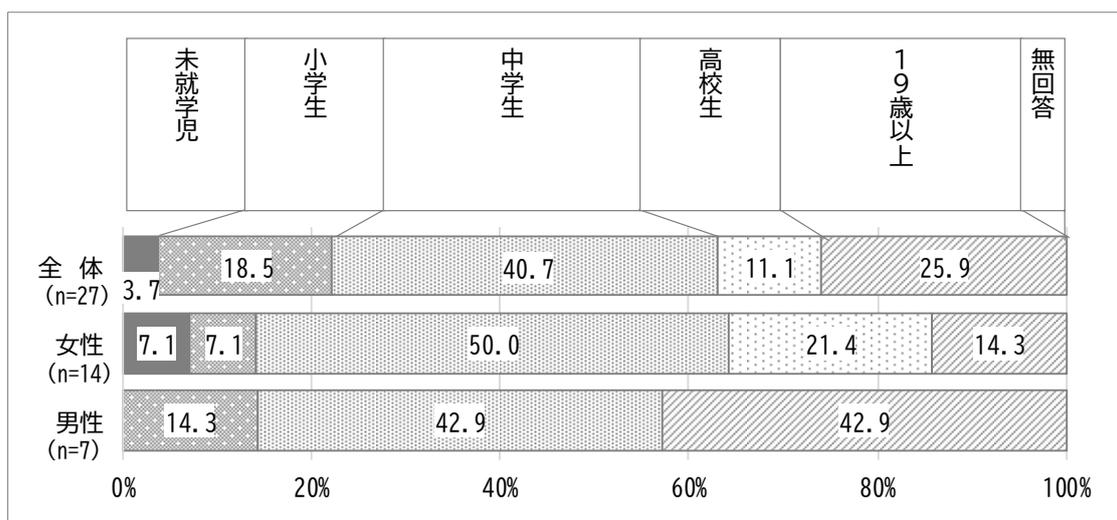
年代別では、女性の悩みを抱えている年代は、「20 歳代」が 6.4%、30 歳代が 4.8%で、男性は「30 歳代」は 4.5%、20 歳代が 4.3%となっています。



(5) 悩み始めた時期 [S A]

問 15 (問 14 で「ある」と回答した方にお聞きします。)
最初に悩み始めたのはいつごろからですか。(○は1つ)

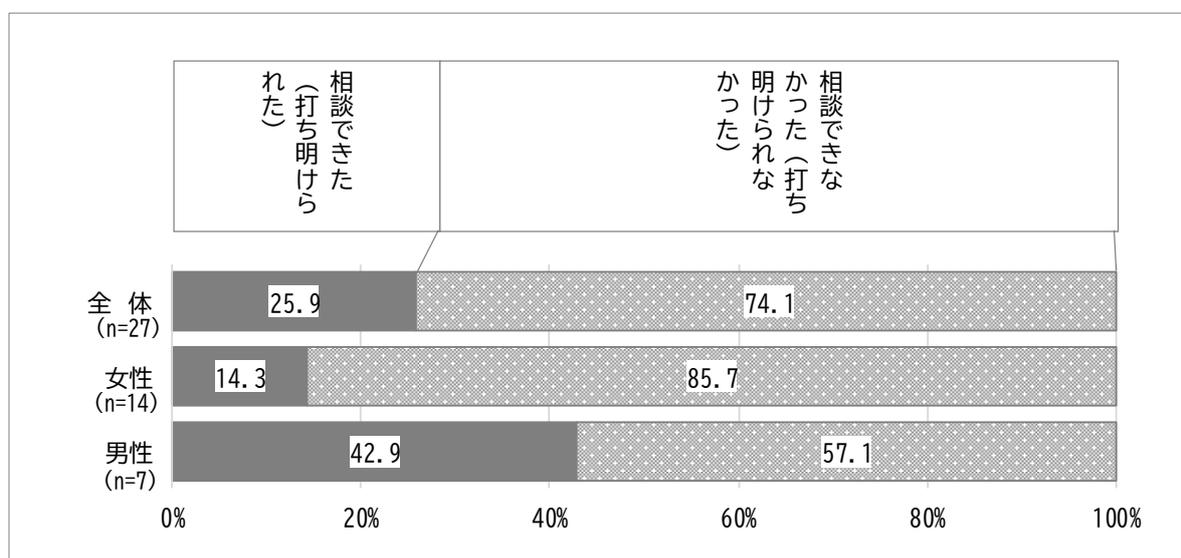
全体では、「中学生」が 40.7%、次いで「19 歳以上」が 25.9%、「小学生」が 18.5%となっています。
性別では、女性は「中学生」が 50.0%、「高校生」が 21.4%、「19 歳以上」が 14.3%で、男性は「中学生」と「19 歳以上」がともに 42.9%となっています。



(6) 悩み相談の有無 [S A]

問 16 (問 14 で「ある」と回答した方にお聞きします。)
悩みを誰かに相談する(打ち明ける)ことはできましたか。(○は1つ)

全体では、「相談できた」が 25.9%、「相談できなかった」が 74.1%となっています。
性別では、女性は「相談できた」が 14.3%に対し、「相談できなかった」が 85.7%で、男性は「相談できた」が 42.9%、「相談できなかった」が 57.1%となっています。

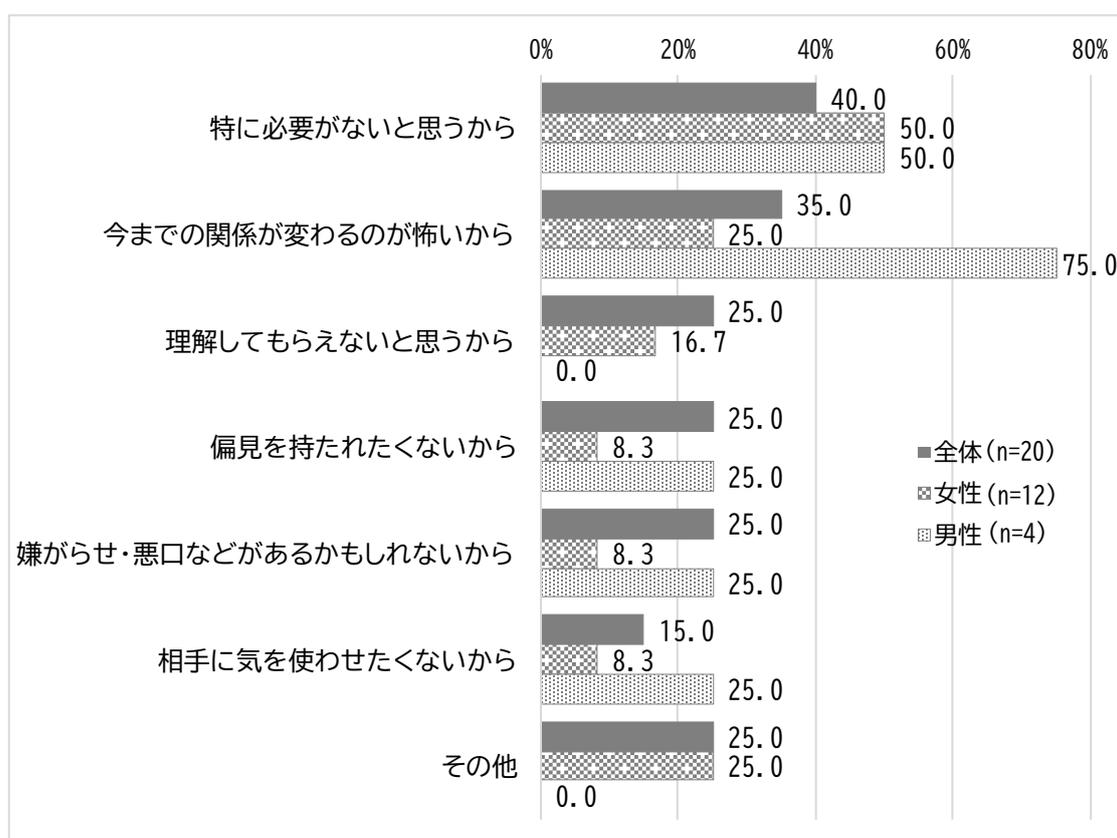


(7) 悩み相談できなかった理由 [MA]

問17 (問16で「相談できなかった(打ち明けられなかった)」と回答した方にお聞きします。) 相談できなかった(打ち明けられなかった)のは、どのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「特に必要がないと思うから」が40.0%、「今までの関係が変わるのが怖いから」が35.0%で主な理由となっています。

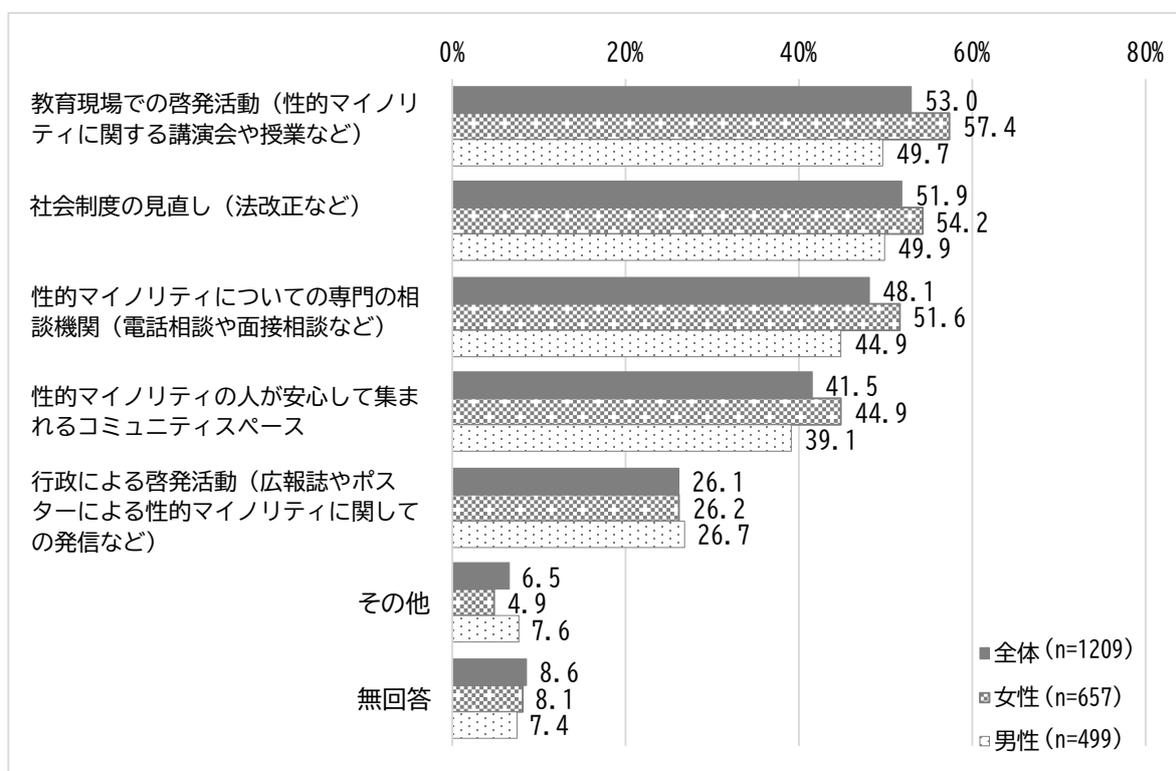
性別では、女性は「特に必要がないと思うから」が50.0%、「今までの関係が変わるのが怖いから」が25.0%で、男性は「今までの関係が変わるのが怖いから」が75.0%、「特に必要がないと思うから」が50.0%となっています。



(8) 多様性社会づくりに必要な取組 [MA]

問 18 LGBTQ (性的マイノリティの総称) の人たちが暮らしやすい社会をつくるためにどのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

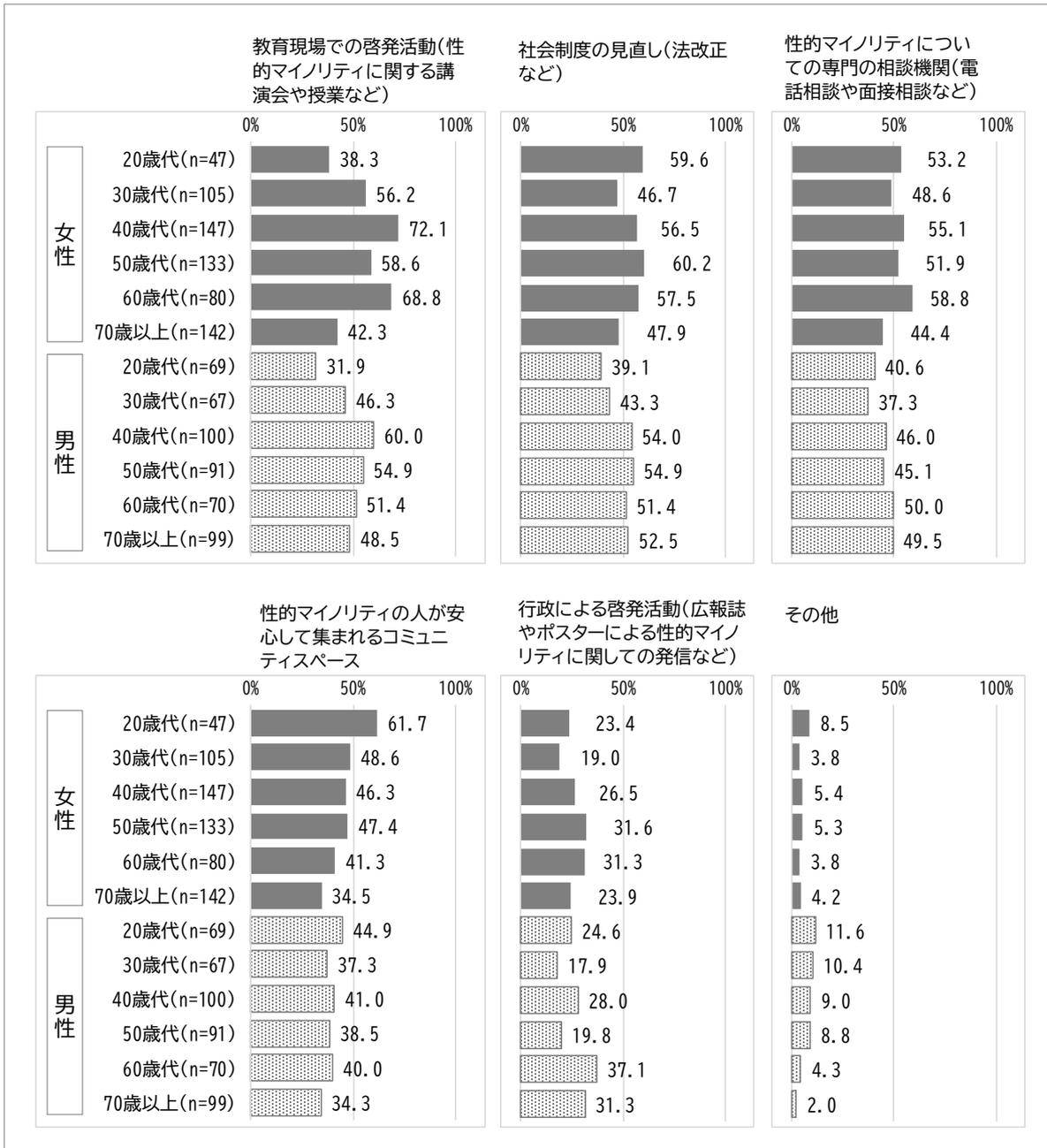
全体では、「教育現場での啓発活動」が53.0%、「社会制度の見直し」が51.9%となっています。
 性別では、女性は「教育現場での啓発活動」が57.4%、「社会制度の見直し」が54.2%、「性的マイノリティについての専門の相談機関」が51.6%となっています。
 男性は「社会制度の見直し」が49.9%、「教育現場での啓発活動」が49.7%、「性的マイノリティについての専門の相談機関」が44.9%となっています。



【性別・年代別比較】

年代別でみると、「教育現場での啓発活動」は、女性では40歳代と60歳代が約70%で、男性では40歳代が60%となっています。「社会制度の見直し」は、女性では20歳代と40～60歳代で50%を超えています。「性的マイノリティについての専門の相談機関」は、20歳代と40～60歳代で50%を超え、男性では60歳代と70歳以上が約50%となっています。

「性的マイノリティの人が安心して集まれるコミュニティスペース」は女性では20歳代が60%を超え、男性では20歳代が44.9%となっています。



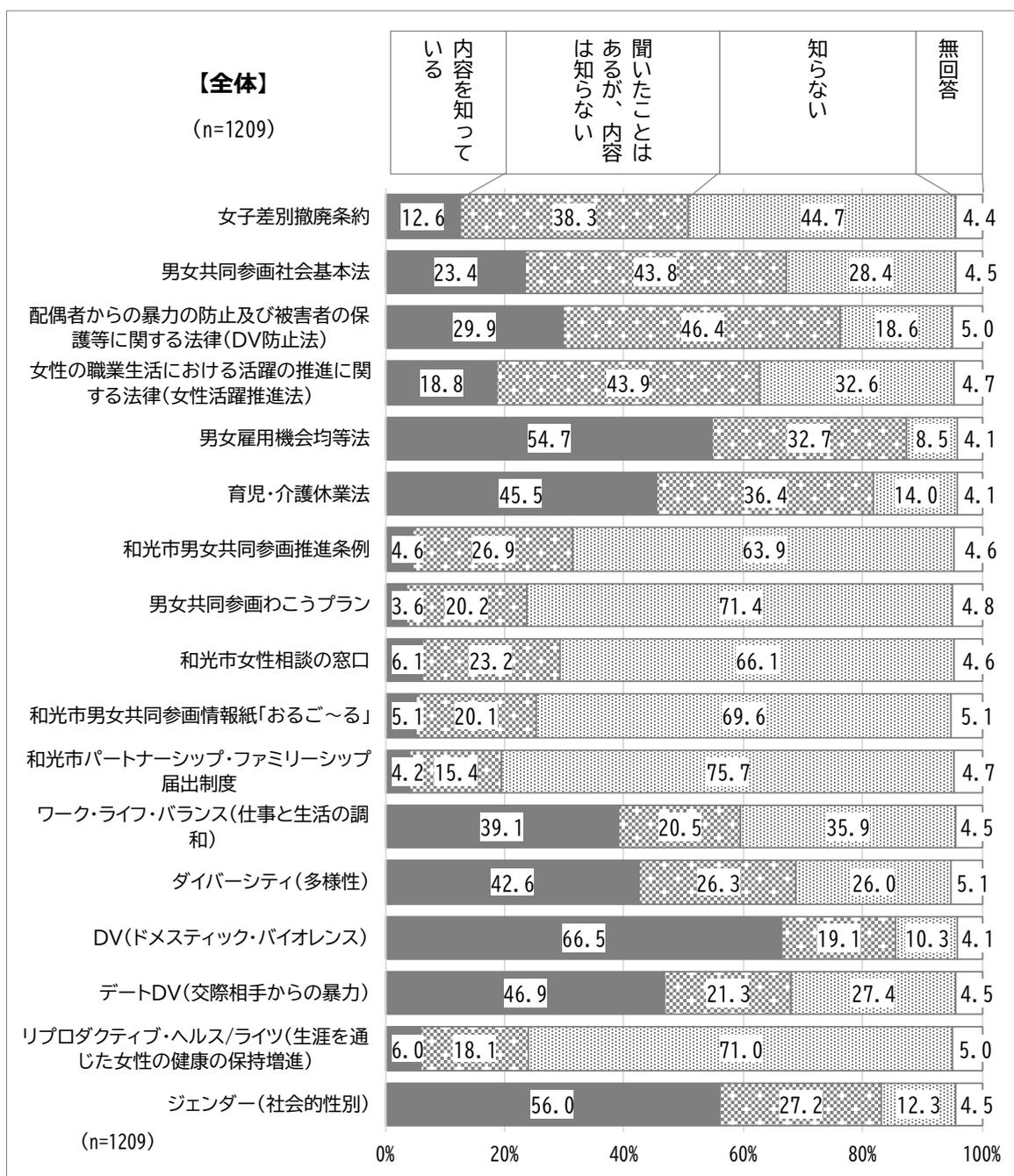
7 男女共同参画の取り組みについて

(1) 男女共同参画に関する社会の動きや言葉の認知度 [S A]

問 19 次にあげる男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

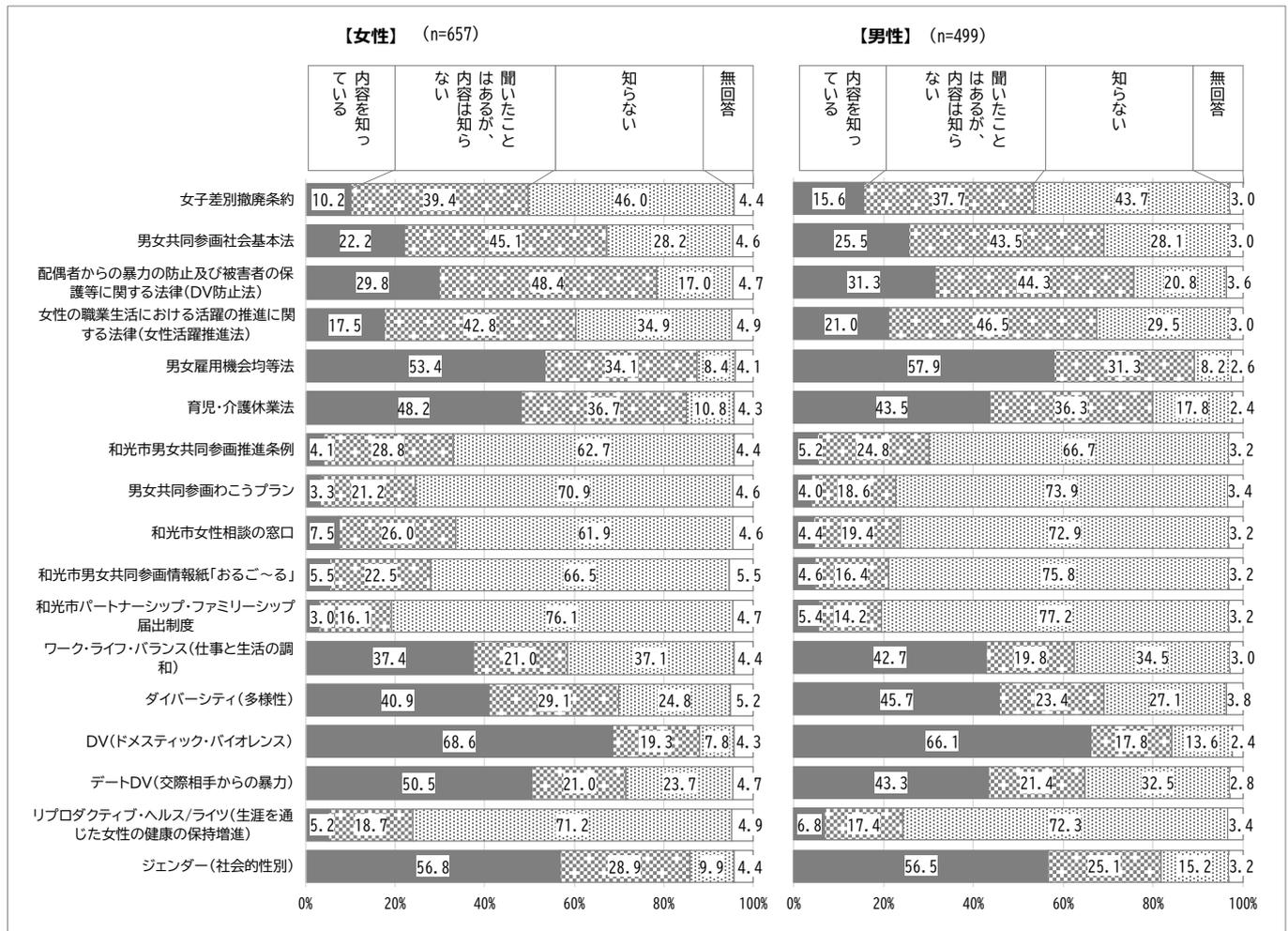
全体でみると、「内容を知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」合わせて認知度が高い項目をみると、「男女雇用機会均等法」が87.4%、「DV」が85.6%、「ジェンダー」が83.2%、「育児・介護休業法」が81.9%となっています。

認知度が低い言葉では、「和光市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度」が19.6%、「男女共同参画わこうプラン」が23.8%、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」が24.1%となっています。



性別でみると、女性は「DV」が87.9%、「男女雇用機会均等法」が87.5%、「ジェンダー」が85.7%となっています。

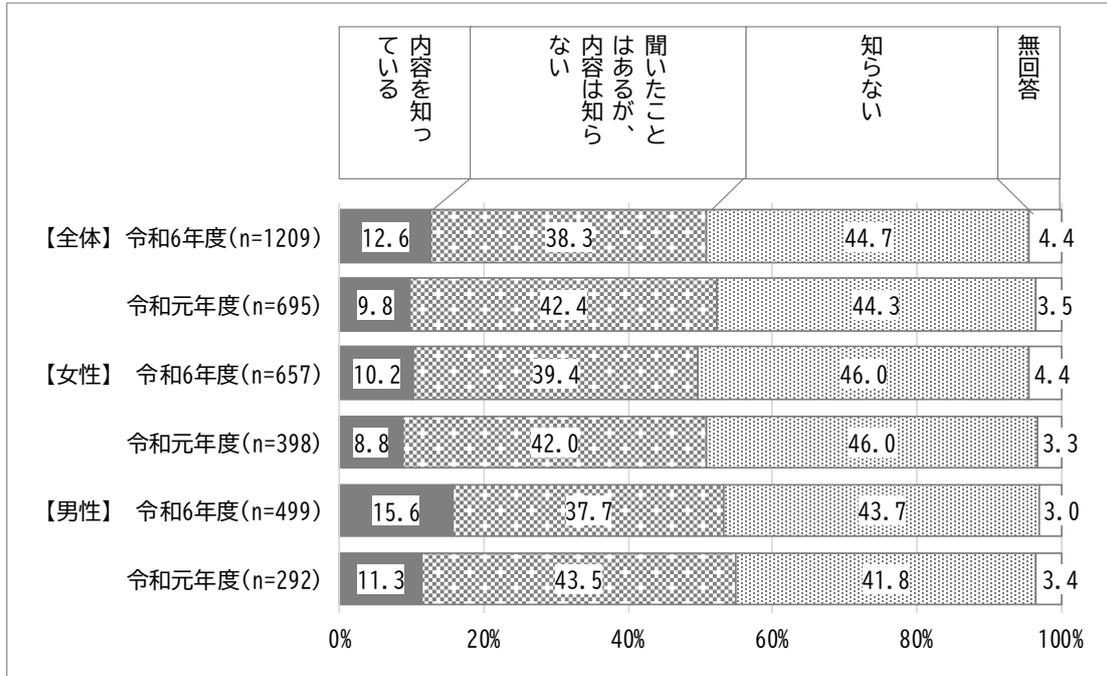
男性は「男女雇用機会均等法」が89.2%、「DV」が83.9%、「ジェンダー」が81.6%となっています。



【前回調査との比較】

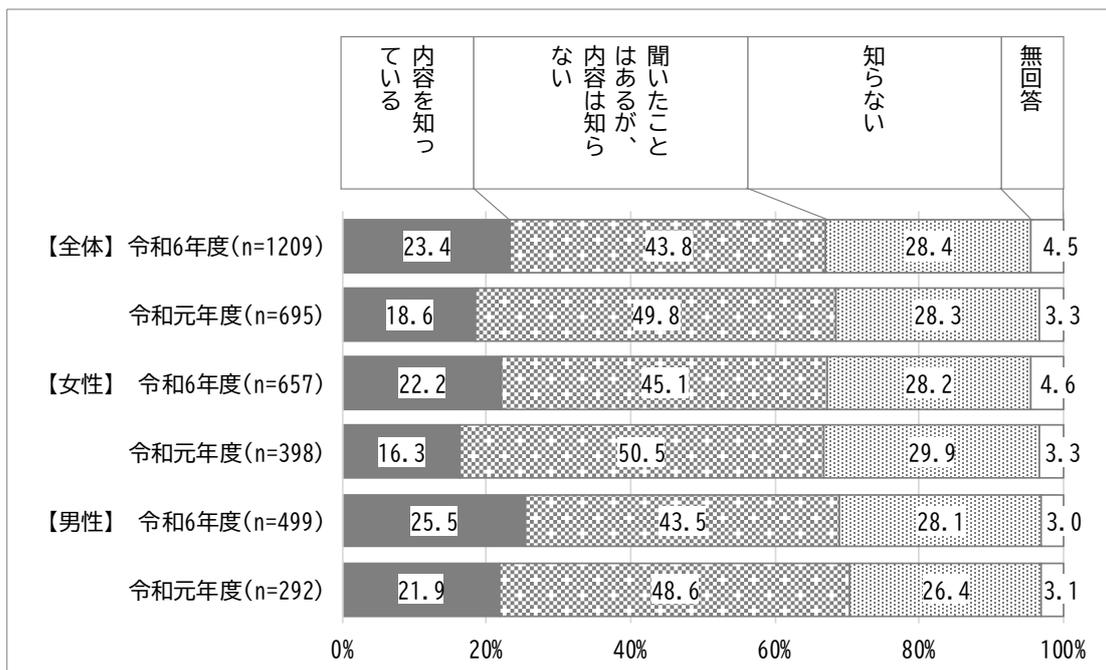
① 女子差別撤廃条約 [S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が9.8%から12.6%にやや増加、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が42.4%から38.3%に減少しています。



② 男女共同参画社会基本法 [S A]

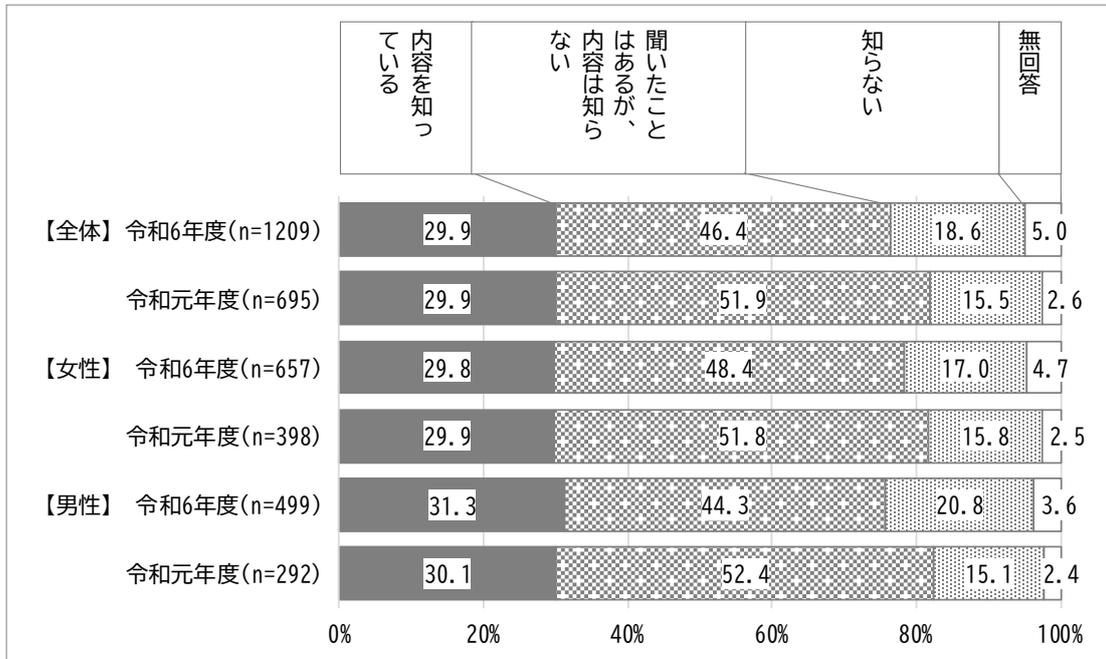
前回調査と比較すると、「内容を知っている」が18.6%から23.4%にやや増加、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が49.8%から43.8%に減少しています。



③ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）[SA]

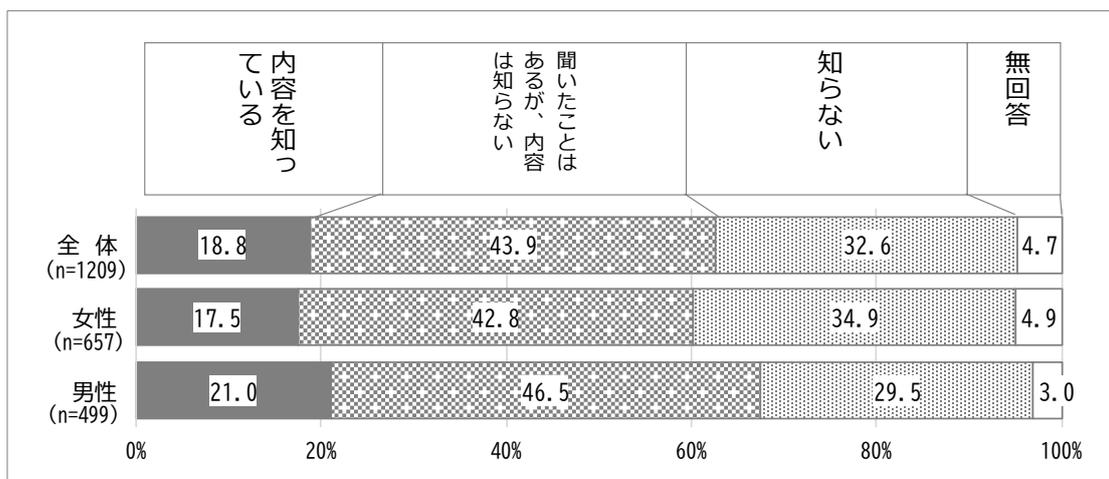
前回調査と比較すると、「内容を知っている」が29.9%で前回と同水準、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は51.9%から46.4%に減少しています。

一方で、「知らない」は15.5%から18.6%に増加しており、内容を含めた認知度はやや低下傾向となっています。



④ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）[SA]

全体では、「内容を知っている」が18.8%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は43.9%となっています。また、「知らない」は32.6%で半数以上は「聞いたことがある」となっています。

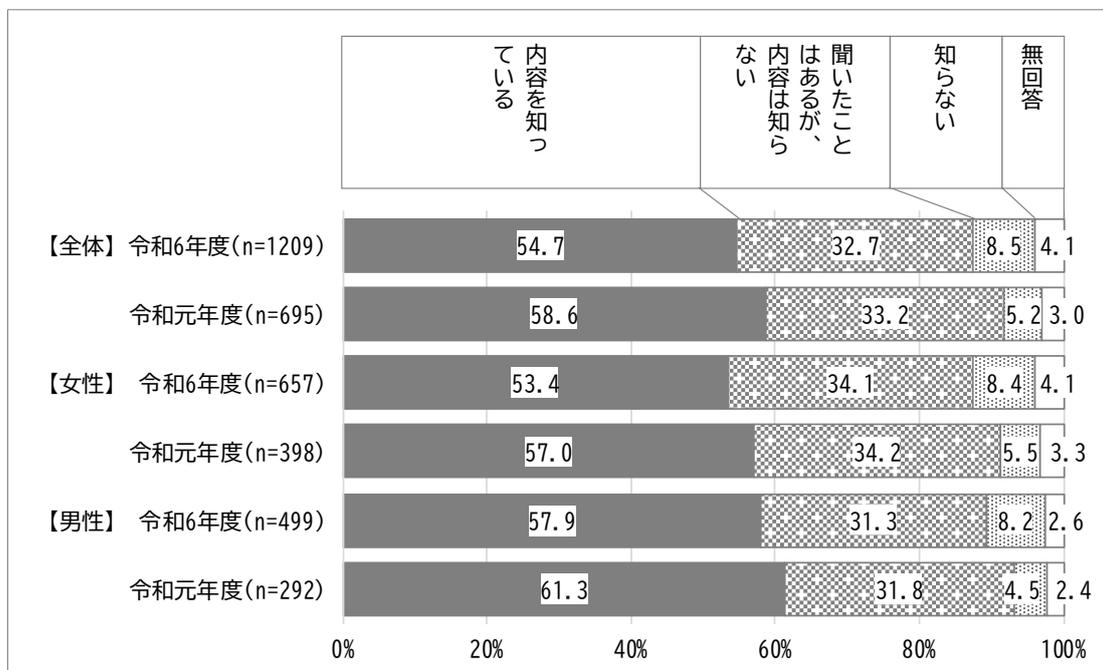


※前回調査なし

⑤ 男女雇用機会均等法 [S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が58.6%から54.7%にやや減少、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が33.2%から32.7%に減少しています。

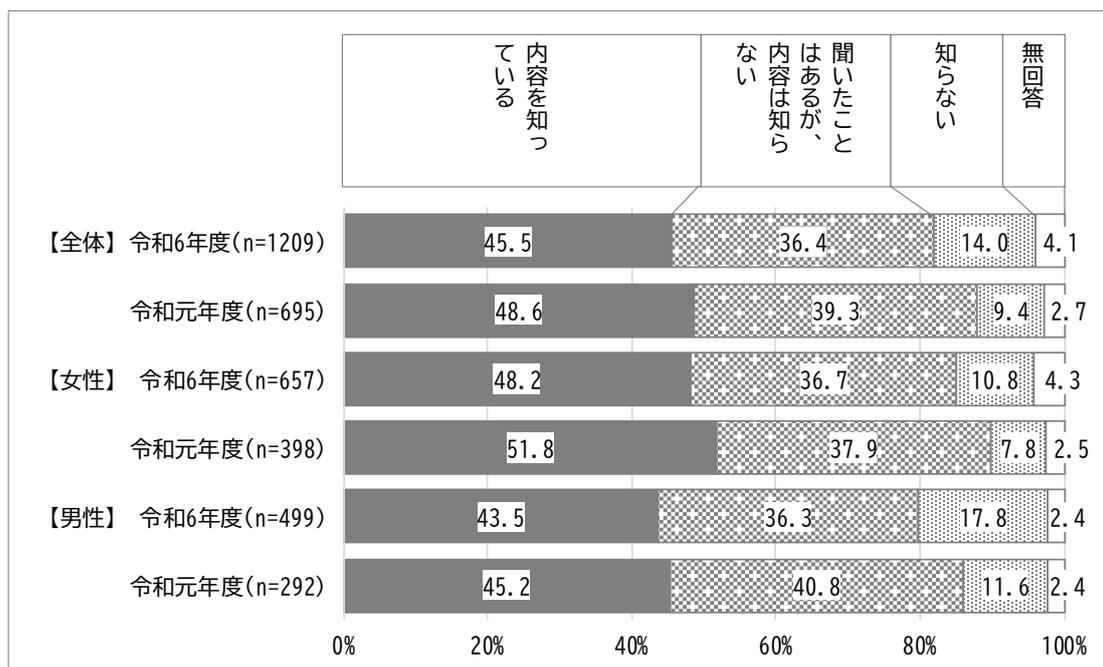
一方、「知らない」が5.2%から8.5%に増えており、認知度はやや低下傾向となっています。



⑥ 育児・介護休業法 [S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は48.6%から45.5%に減少、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が39.3%から36.4%に減少しています。

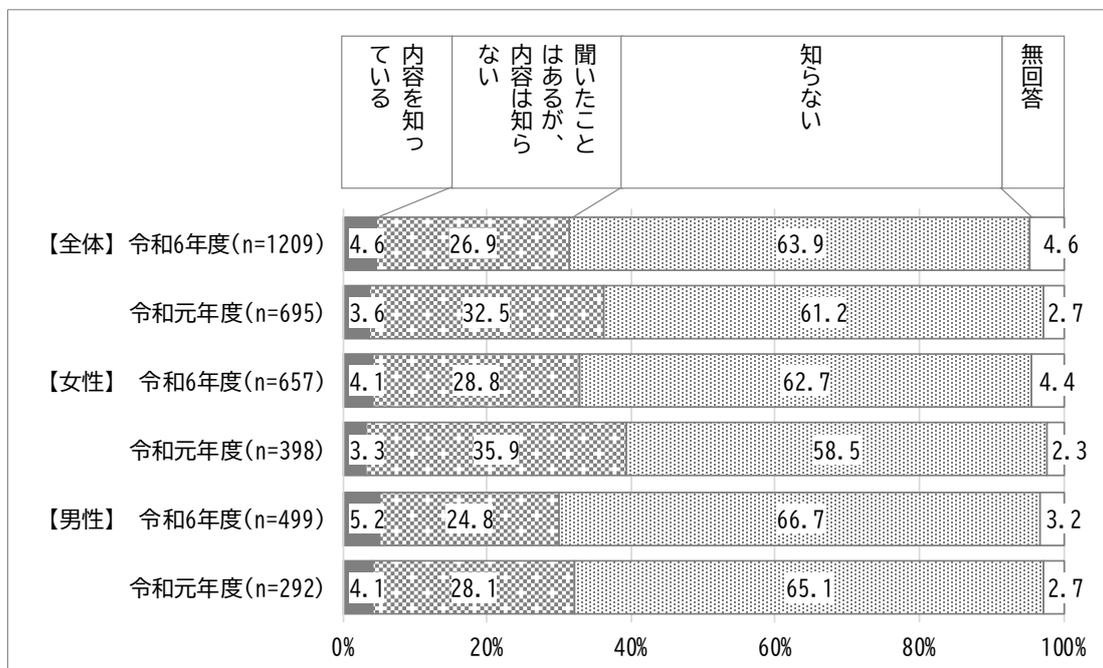
一方、「知らない」は9.4%から14.0%に増えており、認知度はやや低下傾向となっています。



⑦ 和光市男女共同参画推進条例 [S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は3.6%から4.6%に増加していますが、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は32.5%から26.9%に減少しています。

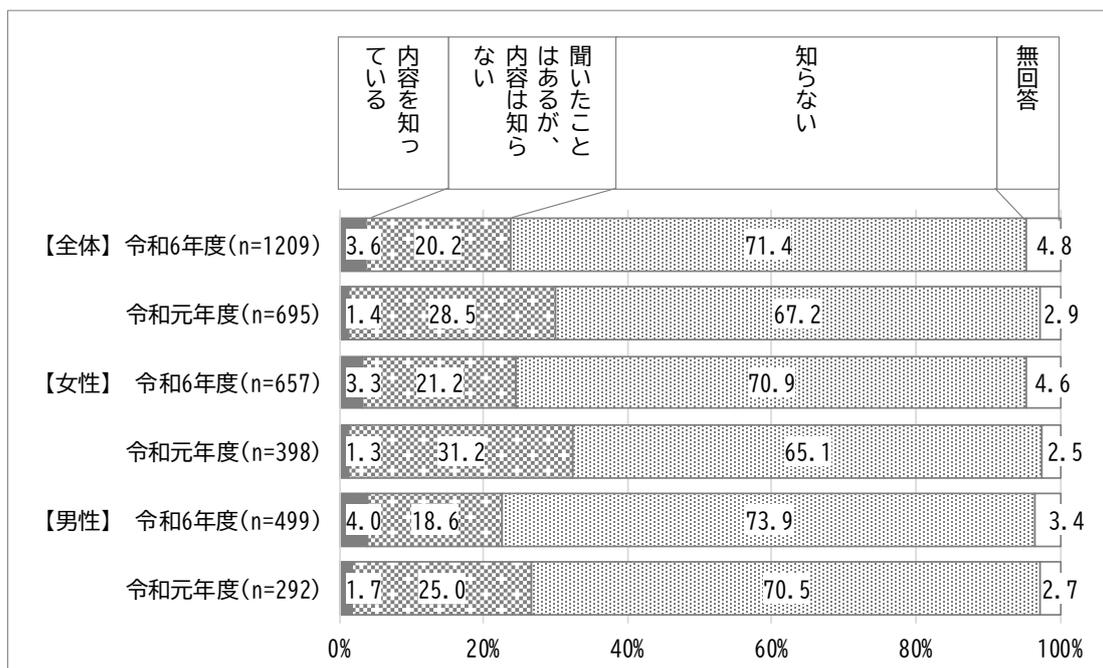
一方、「知らない」は61.2%から63.9%に増えており、認知度は依然として低い傾向です。



⑧ 男女共同参画わこうプラン [S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は1.4%から3.6%に増加していますが、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は28.5%から20.2%に減少しています。

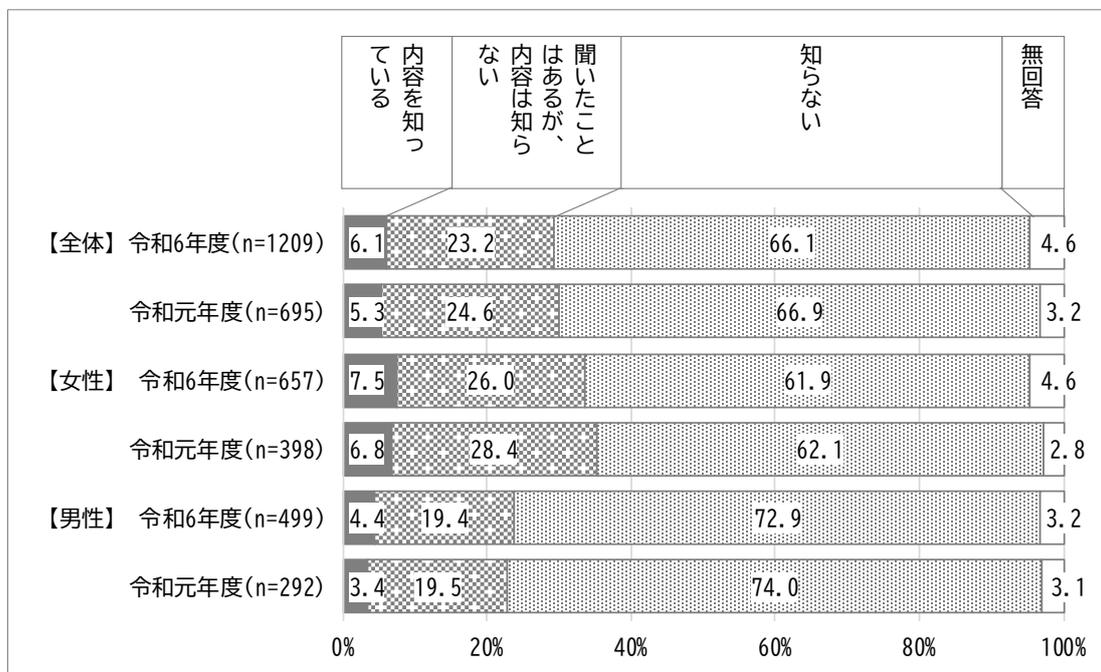
一方、「知らない」は67.2%から71.4%に増えており、認知度は低い傾向です。



⑨ 和光市女性相談の窓口 [S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は5.3%から6.1%に増加していますが、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は24.6%から23.2%に減少しています。

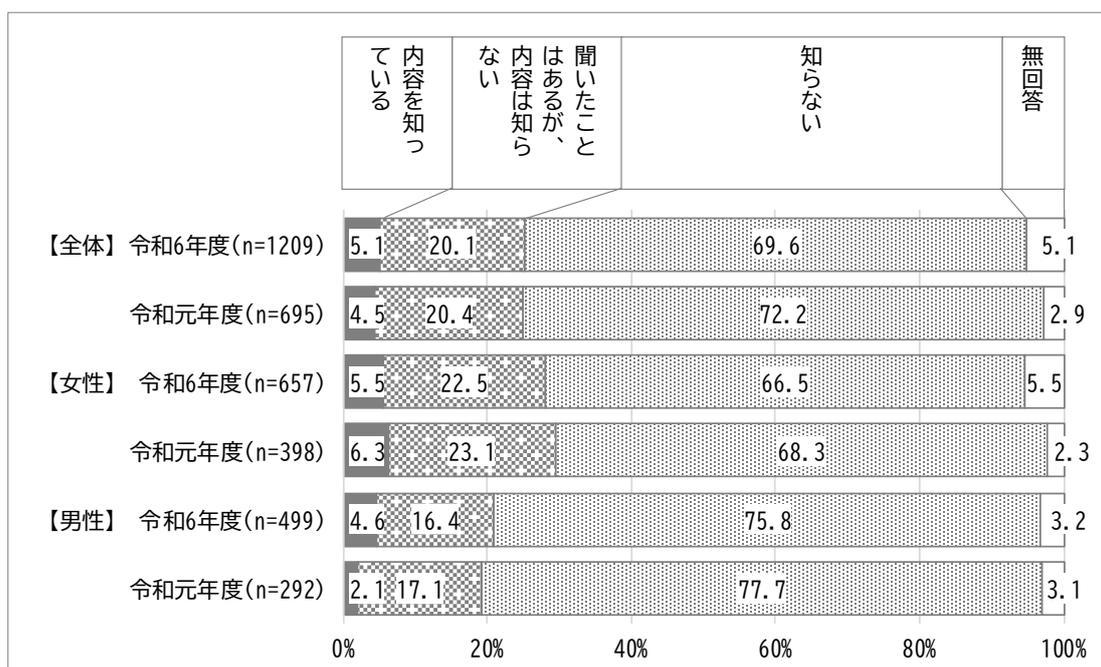
一方、「知らない」は66.9%から66.1%に減少していますが、認知度はやや上昇傾向です。



⑩ 和光市男女共同参画情報紙「おるご〜る」[S A]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は4.5%から5.1%に増加していますが、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は20.4%から20.1%に減少しています。

「内容を知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせてみると、女性の認知度は低下していますが、男性の認知度はやや高くなっています。

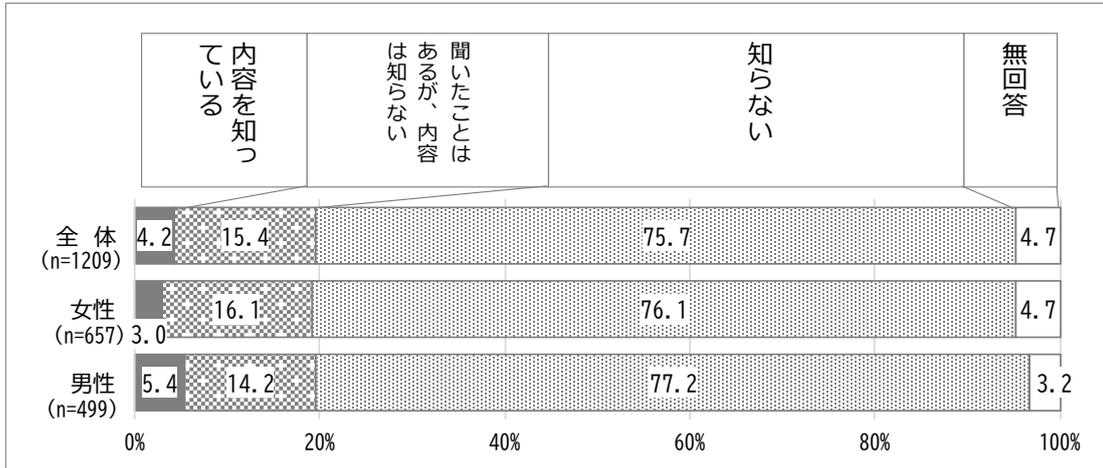


⑪ 和光市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度 [SA]

全体をみると、「内容を知っている」は4.2%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は15.4%となっています。

一方、「知らない」は75.7%で、認知度は低い傾向です。

性別でみると、「内容を知っている」が女性は3.0%、男性は5.4%でやや男性の認知度が高くなっています。

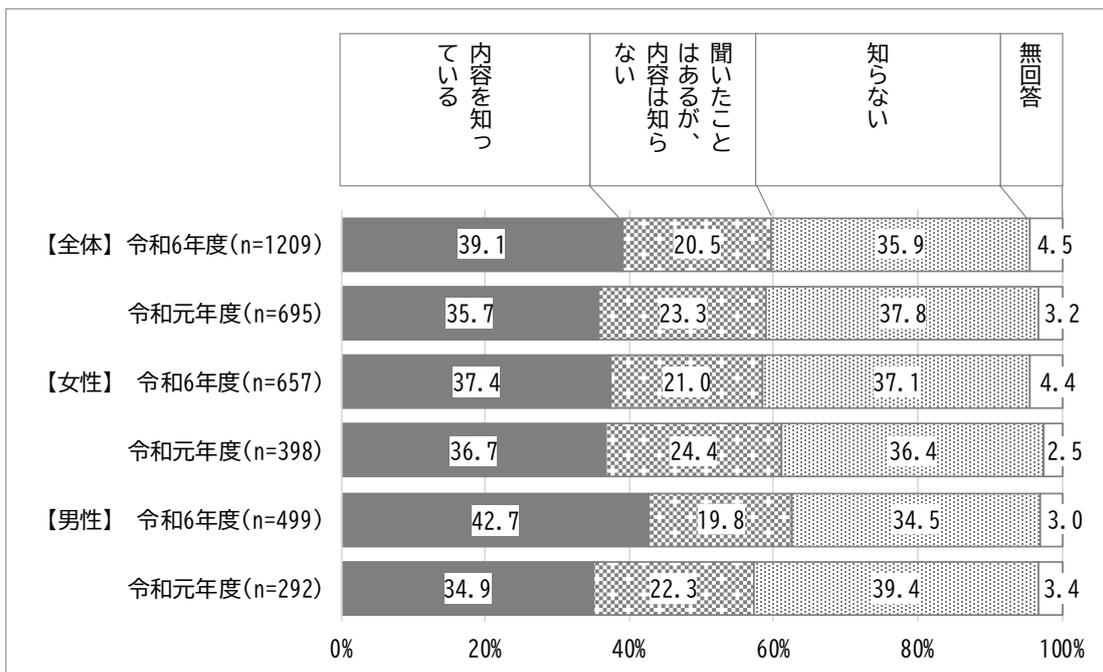


※前回調査なし

⑫ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）[SA]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は35.7%から39.1%に増加、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は23.3%から20.5%に減少しています。

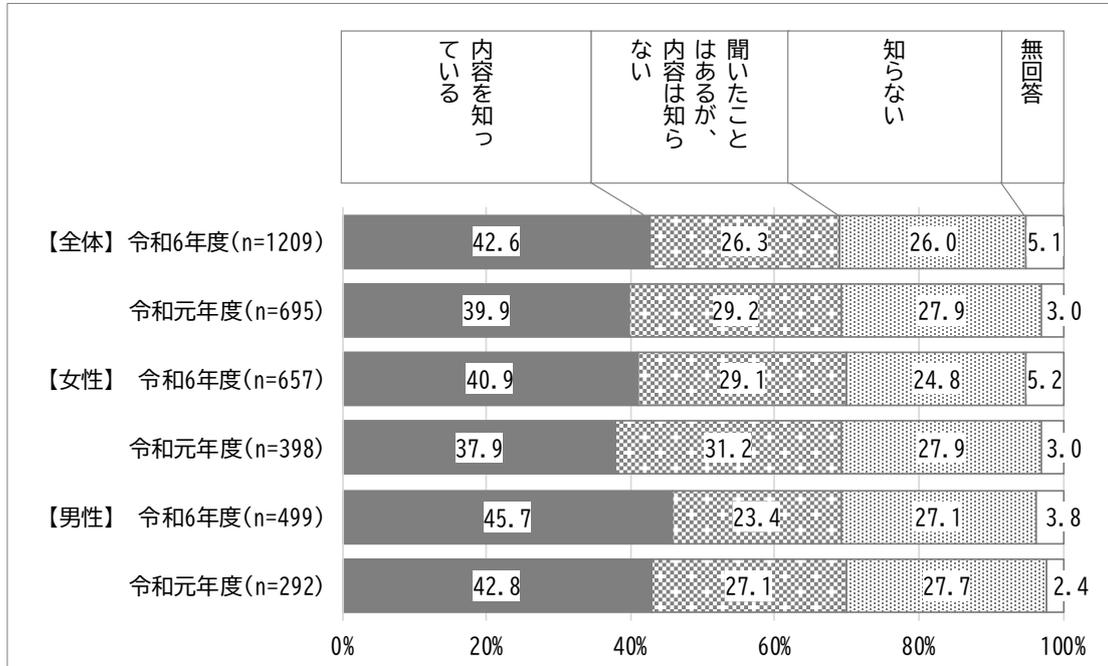
一方、「知らない」は37.8%から35.9%に減少しており、認知度は高くなっています。



⑬ ダイバーシティ（多様性）[SA]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は39.9%から42.6%に増加、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は29.2%から26.3%に減少しています。

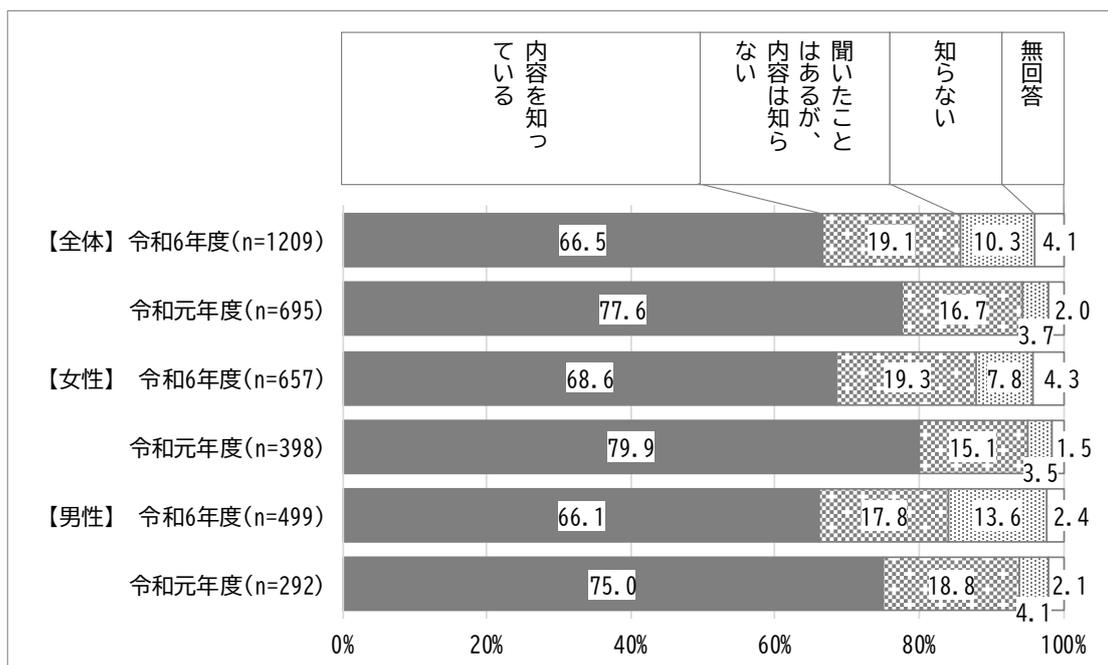
一方、「知らない」は27.9%から26.0%に減少しており、認知度はやや高くなっています。



⑭ DV（ドメスティック・バイオレンス）[SA]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は77.6%から66.5%に減少、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は16.7%から19.1%に増加しています。

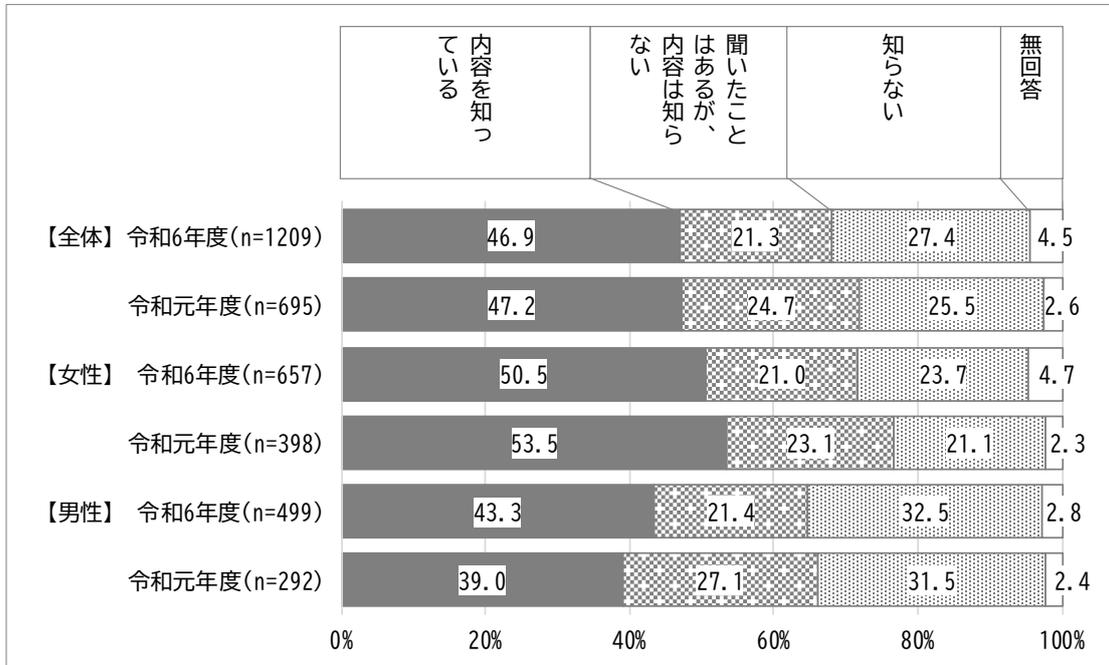
一方、「知らない」は3.7%から10.3%に増加しており、認知度はやや低くなっています。



⑮ デートDV（交際相手からの暴力）[SA]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は47.2%から46.9%に減少、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は24.7%から21.3%に減少しています。

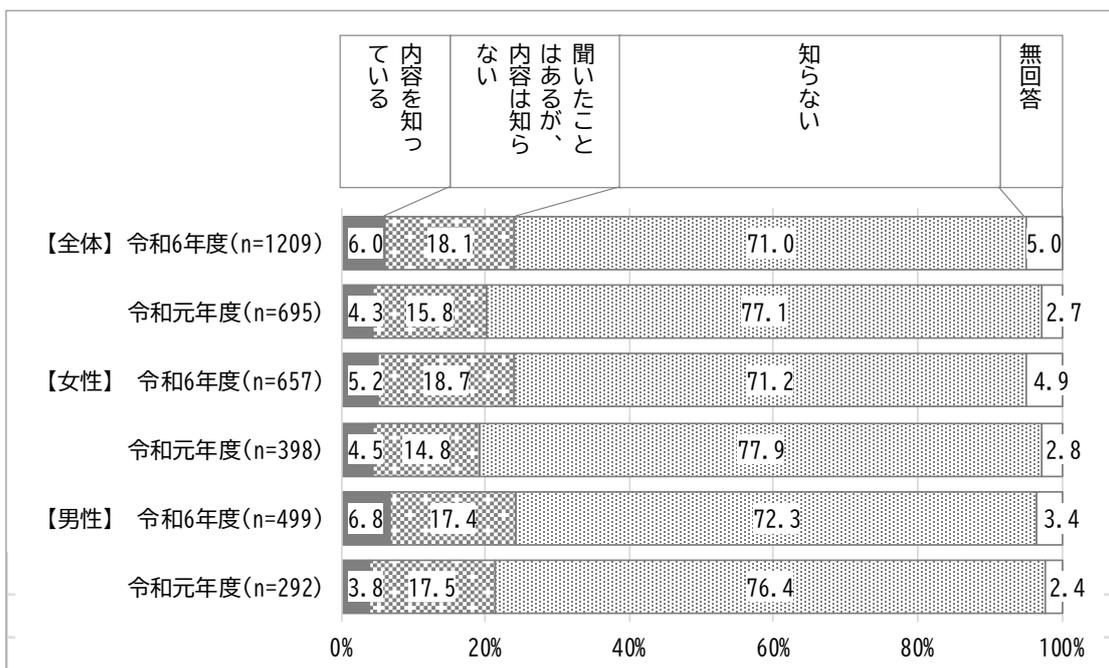
一方、「知らない」は25.5%から27.4%に増加しており、認知度はやや低くなっています。



⑯ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(生涯を通じた女性の健康の保持増進)[SA]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は4.3%から6.0%に増加、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は15.8%から18.1%に増加しています。

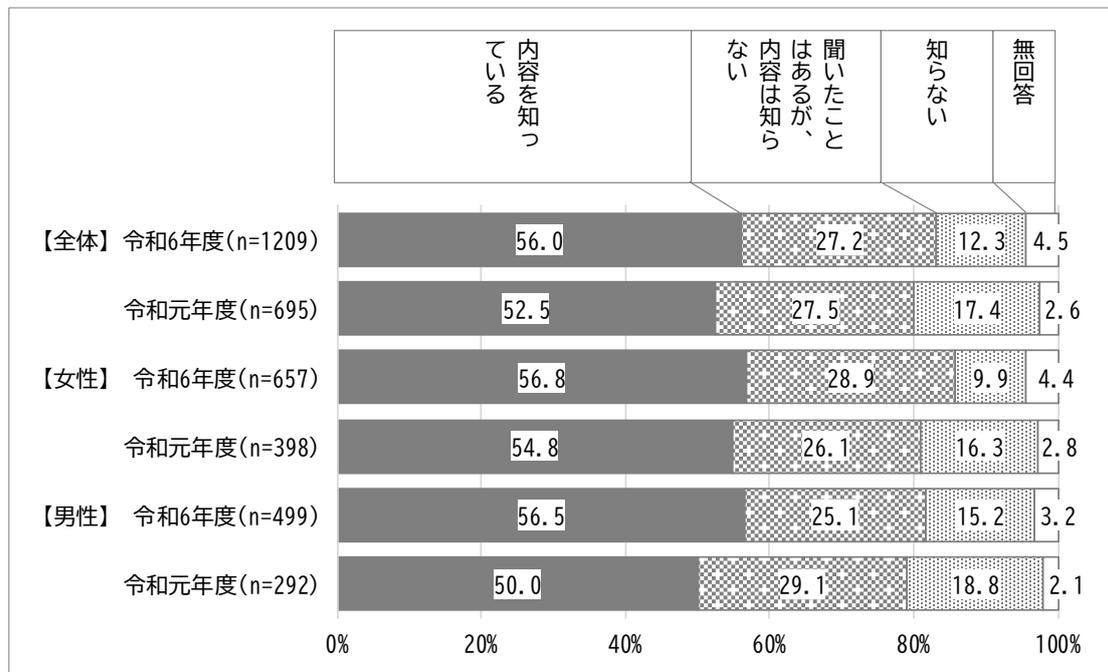
一方、「知らない」は77.1%から71.0%に減少しており、認知度はやや高くなっています。



⑰ ジェンダー（社会的性別）[SA]

前回調査と比較すると、「内容を知っている」は52.5%から56.0%に増加、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は27.5%から27.2%に減少しています。

一方、「知らない」は17.4%から12.3%に減少しており、認知度は高くなっています。



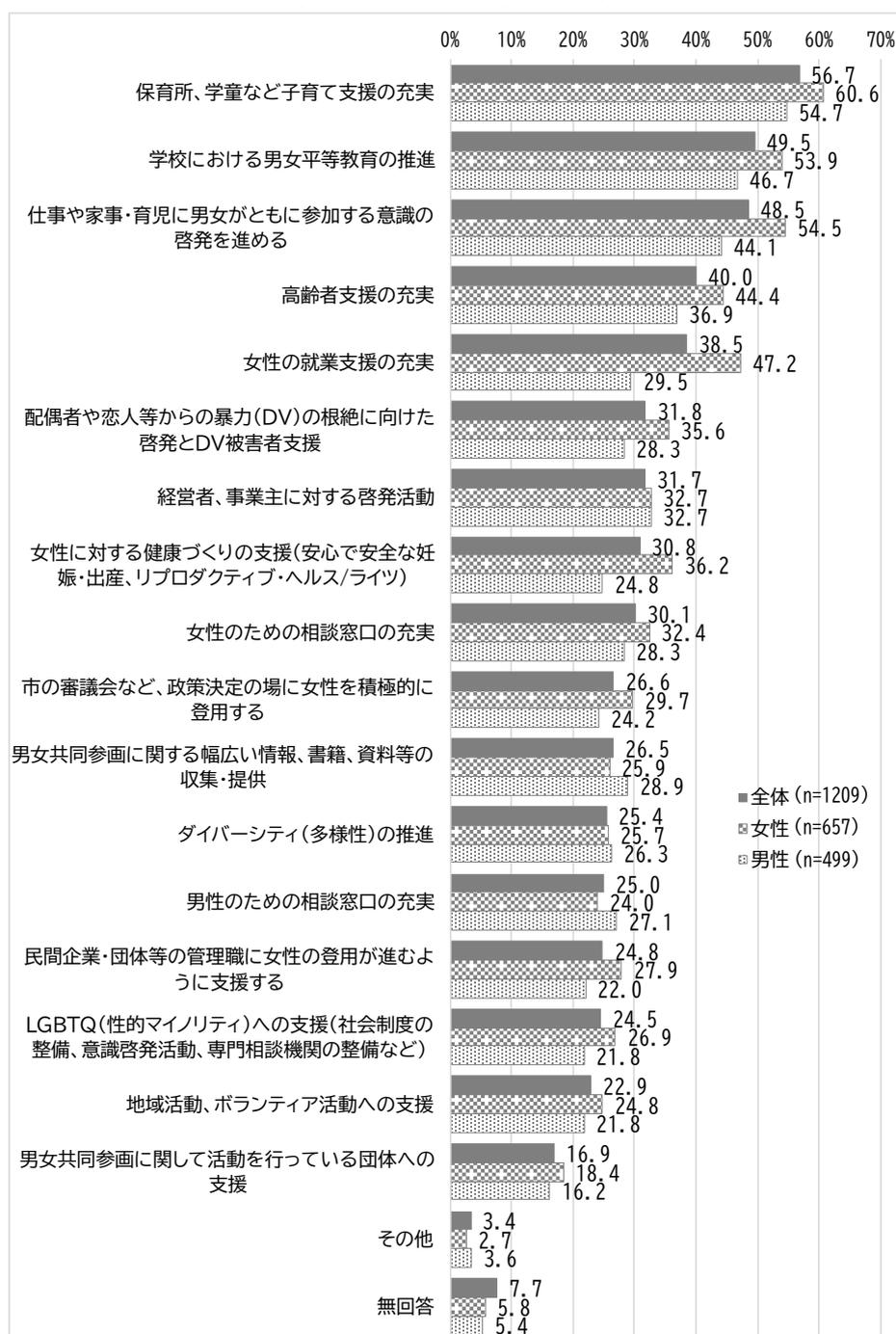
(2) 男女共同参画の推進で市に期待すること [MA]

問 20 男女共同参画を推進する上で、和光市にどのようなことを期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体でみると、「保育所、学童など子育て支援の充実」が56.7%、「学校における男女平等教育の推進」が49.5%、「仕事や家事・育児に男女がともに参加する意識の啓発を進める」が48.5%となっています。

性別では、女性は「保育所、学童など子育て支援の充実」が60.6%、「仕事や家事・育児に男女がともに参加する意識の啓発を進める」が54.5%、「学校における男女平等教育の推進」が53.9%となっています。

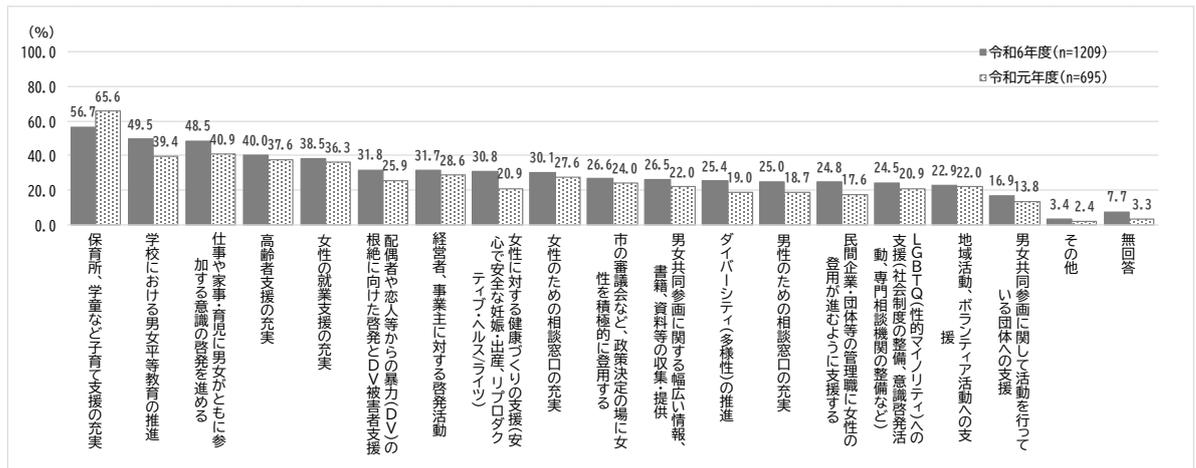
男性は「保育所、学童など子育て支援の充実」が54.7%、「学校における男女平等教育の推進」が46.7%となっています。



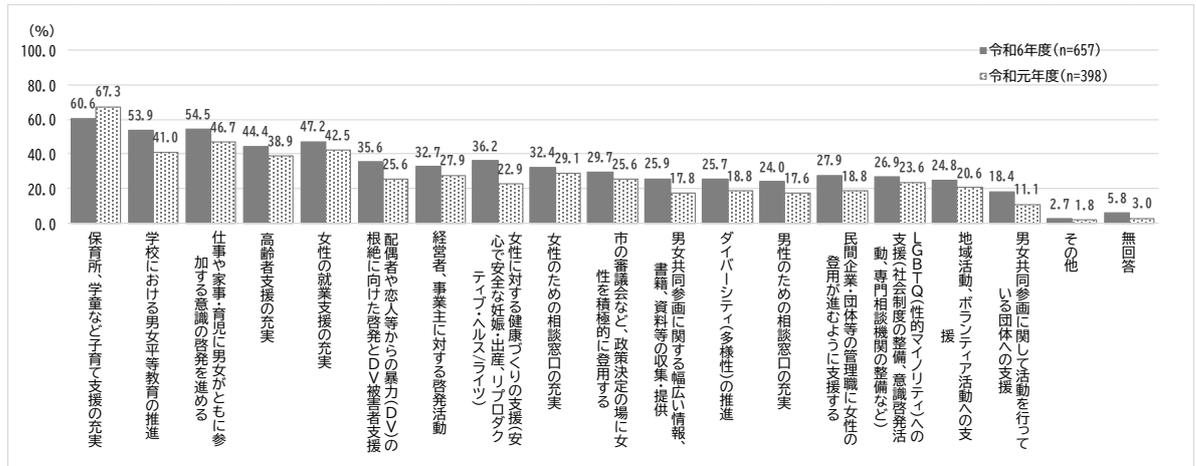
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「保育所、学童など子育て支援の充実」は65.6%から56.7%に減少しています。一方、「学校における男女平等教育の推進」は39.4%から49.5%、「仕事や家事・育児に男女がともに参加する意識の啓発を進める」は40.9%から48.5%、「女性に対する健康づくりの支援」は20.9%から30.8%などが増加しており、学校や家庭等での平等に関わる意識啓発、女性の健康支援などが期待されています。

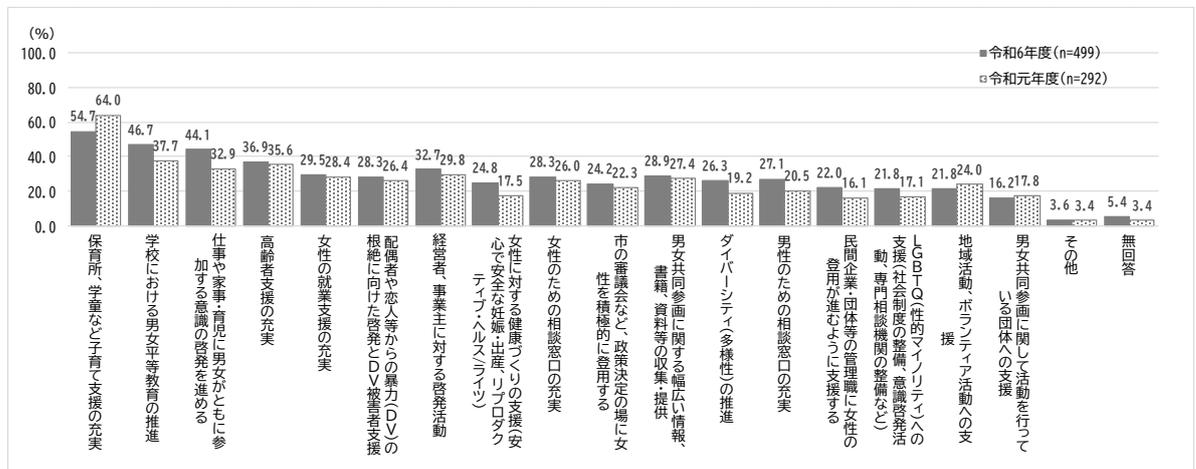
[全体]



[女性]



[男性]



8 自由意見

(1) 市の男女共同参画の取組についての意見

男女共同参画に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

和光市の男女共同参画の取組について意見を自由記述していただいたところ、19人から延べ21件の回答が寄せられました。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、複数回答として、それぞれを各項目に分類しています。

	(件)
総計	21
男女共同参画の取組について	9
男女共同参画に関する意識について	6
暴力について	2
性の多様性について	3

【意見】

男女共同参画の取組について

- 男女共同参画にお金を使う意味がないのでは。予算の都合で箱物を作るのだけはやめてほしい。市役所の内でポストが必要なのか検討して下さい。(属性無回答)
- 市政や家庭・個人生活に関する相談は、相談日を定めて公聴しているが、相談事は突発的で、問題意識も時間的推移があるのが実態であることを考慮すれば市役所の中に相談窓口を常設し、夜間の相談受け(夜10時頃まで)ができる体制があるべき姿ではないかと思います。(男性/60歳代/中央)
- ソフトの立案能力が低い。和光には工場がほとんど無いのだから、女性の在宅勤務を可能とする推進するアイデアを！例えば、1. 駅近に在宅勤務女性向けの託児所付のコワーキングスペースを市営する。2. ソフト開発、設計、企画といった多くは家でできるが、会議や打合せで半日、1日家を出なければならぬ女性が働きやすい街を謳い、その理解のある企業にオフィス開発や、前述のコワーキングスペース利用を働きかける。3. 交通の便の良さを利用するソフトの企画を考えて下さい
(男性/無回答/無回答)
- 近年男女共同参画に関して重要視されて来ましたが、社会全体としてまだまだ男性中心の社会と感じています。女性が問題を感じたり、困難を抱えた時、安心して相談できる専門窓口(常設、LGBTQふくむ)の設置等積極的な施策が必要ではないかと考えます。又、子供の時から教育の中で、家庭の中で自然に学び身につけることが福祉教育とともに重要と考えます。(女性/60歳代/白子)

- 和光市の職員の皆様にはいつも感謝しております。和光市は若い世代も多く男女共同が進めやすいと思いますが無理に数合せで平等とするのではなく、女性の負担が減っていく政策を希望します
(女性/50 歳代/丸山台)
- 男女共同参画について、他市の男女共同参画誌は広報誌の一部ではなく独立した冊子が多いようです。予算との兼ね合いもあるとは思いますが、啓発の重要性という意味では冊子として配ったほうが効果が高いと思います。(女性/60 歳代/新倉)
- わびあが休日はほぼ常に 60 分しか利用できず、子どもの居場所になっていません。運営している方々はとても工夫してくださっていると思いますが、そもそもの許容人数があまりに少なすぎます。
ルールを守って退出した小学生が行き場を無くして、猛暑の中、建物の影や団地の階段などで過ごしている姿を多々目にします。草地のスペースもイベント時にしか活用されておらず、バルコニーに至っては開館以来閉鎖されっぱなしです。自転車置き場が狭く常に溢れている上に屋根はない(自転車で乳幼児を 2 人連れて行って雨が降ってきたら、チャイルドシートに乗せる間に子どもは必ず濡れです)、ベビーカーを置けるスペースがほとんどないなど、以前の児童センターに比べ本当に使い勝手が悪くなりました。
契約の縛りがあるのだとしたら、猛暑日の休日に抜き打ちで視察して、実情をご覧になって欲しいです。面積的に法律上の制約があるならば改装して欲しいです。子どもの遊ばせ方がわからない男性は少なくありません。男女共同参画において、こういった施設が「実質利用できない」ことの妨げは非常に大きいと感じています。
※子どもが幼稚園に入ってから土日は夫婦で 1 日ずつ育児を担当してきましたが、夫は雨の日や猛暑日には、どうせわびあには入れない、入れてもすぐ出なければならぬ、遠くへ行くのは子どもにも負担だと等と主張し動画ばかり見せるので、結局妻の私が図書館、体育館、児童館などに連れ出すこととなります。(女性/40 歳代/広沢)
- 男女共同参画に関しては SNS や新聞など発信力がなければ知らないままで終わってしまうので、発信力の強化は時代的にこれからもっと必須だと思う。本来は国がすべきだが、和光市からも同性愛者の方々の結婚を認めてほしい。(女性/20 歳代/白子)
- 大前提として、うちは共働きですが、奥さんに関しては、働きたくて働いているわけではありません。子供のことを考えると、奥さんは家に居たほうが良いと思いますし、奥さん自身もそう考えています。PTA 役員をしていますが、他の家庭も多くはそう考えている認識です。
男女共同参画という思想自体は否定するものではありませんが、個人としては労働力としての女性の活用と民間企業を使用した収益の分配に見えます。経済成長なしの分配は、現役世代の収入を押し下げる恐れがあり、到底本来の目的を達成できる状態にありません。果たしてそのゴールは未来の子供たちに向いているのでしょうか？
日本という国の未来を作るのは明らかに子供たちです。子供たちが将来の不安なく学び、未来に活躍できるような環境づくりは、安心して親が働いて稼げる社会と人口の増加により生まれると考えます。他国の状況を鑑みても、部分的な成功はあるのですが、完全にうまくいっているケースを知りません。そもそも国の特性がちがうというのがありますが…(男性/40 歳代/白子)

男女共同参画に関する意識について

- 何をもって男女平等と言えるのだろうか？（回答しない/20歳代/南）
- 総合振興計画の問12のところ、具体的にどのような取組をしているのか、全く知らないで回答に困った。（例として具体的な内容が少しでもあれば…）何もわからない知らない自分がこのような調査に回答しても良いのか、とも思った。以前働いている時「女性を管理職に」ということで私自身管理職についていたことが、あります。その頃から感じていたことは、女性に対して管理職になる事等優遇している様な、そんな女性が、とか女性を、とかばかりだと、それこそ差別のような気がして平等ではないのではないかと思ってしまう。男女まったく同じという平等はむずかしい・男の人と女の人とはちがうのだから、むずかしいとは思いますが個々のケースにより違っていきしかないので？わけのわからないこと書いて申し訳ありませんでした。（女性/50歳代/丸山台）
- 男女平等は理解しますが、結局女性優遇になっているだけ本当に平等なら女性専用車両とかいらないのでは？就職も女性の方が良い会社に行きやすい所が見られる男へのケアも必要では？（男性/50歳代/白子）
- 男女共同参画について。男女平等については理解しているが体力等さまざまところで男女は平等にはならない。それを理解したうえで男女の平等な社会の育成が必要と思う。このアンケートこそが女性優位にしていこうという思惑が出ていると感じた。（男性/50歳代/広沢）
- 女性に自己肯定感が低い方が多い気がします。長年の男性優位の影響もあり、世代間での差もあるかと思いますが。
正社員並みの仕事を長年こなして、その人達がいないと回らないのに、ずーっとパートのまま。本人もそれ以上の待遇を求めないし、会社も正社員へ…と声をかけることもない。
こんなに仕事してるのにと不満はありつつ、飲み込んで「パートなんてそんなもんよね」と。「正社員なんて無理無理！」と。そんな話をよく聞きます。（女性/40歳代/白子）
- 男女共同参画の問題は後期高齢者としてはなかなか理解できないことも多い。（女性/70歳以上/白子）

暴力について

- 高校の共学化には反対です。DVを受けた女子が安心して学べる場所をうばわないでいただきたい。（男性/30歳代/白子）
- 子供の虐待も原因は再婚にあります。新しい父親が前のダンナに対する様々な負の要因で憎しみが生まれその子らに無視、性的、差別、e t cの暴力が行われる割に社会的立場のある人（見た目ではわからない）常識のありそうな人ほどひどい、再婚のその後を知られず子供チェックすべきだ、例えば学校に数人定期的に派遣巡回するとか。女の子なんて最悪です、子供の気持ちになり知らない大人（男）が家に来る、住む、そんな誰にも言えない状況を（本当の気持ち）本当の大人が解決してあげないと。和光から始めてください。（回答しない/40歳代/白子）

性の多様性について

- アメリカで行われているような過度なLGBTに関連する表現の発信活動を市民の税金を使って行うことは無駄であり必要ありません。公的資金は市民の必要不可欠なサービスやインフラに使われるべきである。特定のイデオロギーや表現に偏る活動に使われるべきではない。(男性/40歳代/広沢)
- 昨年和光市に引っ越してきて、同性パートナーシップ制度を登録しました。こちらのアンケートに答えている中で「LGBTQについて」の選択欄に「該当者である」という項目がないことに違和感を感じました。また、LGBTQを「性的マイノリティ」という総称で表現されている部分についても、「マイノリティ」という単語にマイナスなイメージを感じるため、少し悲しい気持ちになりました。
(女性/30歳代/丸山台)
- 多様性は重要ですが、何にでも多様性を当てはめる風潮を感じます。多様性は目指すゴールが同じ場合に効果を発揮するものであり、何にでも良い結果をもたらすものではありません。無秩序な多様性は混乱を招き、事故につながります。よって、状況を踏まえた適切な運用をお願いしたいです。巷ではDE&Iが流行っていますが、テレビ以外のニュースを見ると様々な事件が発生していますので、適切な情報収集をお願いしたいです。不法滞在を含め、外国人の増加も色々な問題が発生しています(保険、騒音、水質汚染、土葬、レイプなどなど)。安易に多様性という言葉を使用せずに、脅威分析をしたうえで、安全保障の観点から未然の対策を検討していただきたいです。(男性/40歳代/白子)

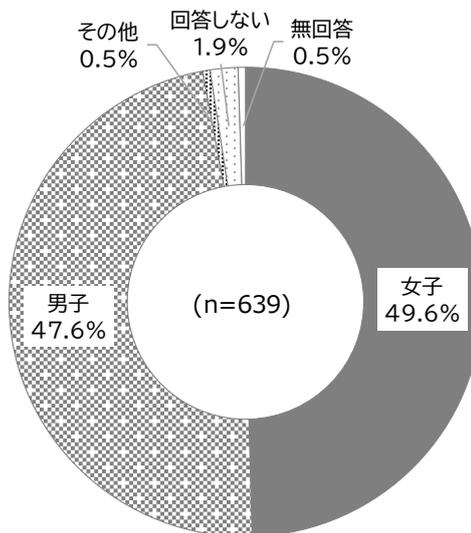
第3章 小学生調査の結果

(1) 回答者の性別 [SA]

問1 あなたの性別はどれですか。あなたの思う性別を選んでください。(○は1つ)

回答者の性別は、女子が49.6%、男子が47.6%で概ね半数ずつとなっています。

性別	回答数	構成比(%)
女子	317	49.6
男子	304	47.6
その他	3	0.5
回答しない	12	1.9
無回答	3	0.5
計	639	100.0

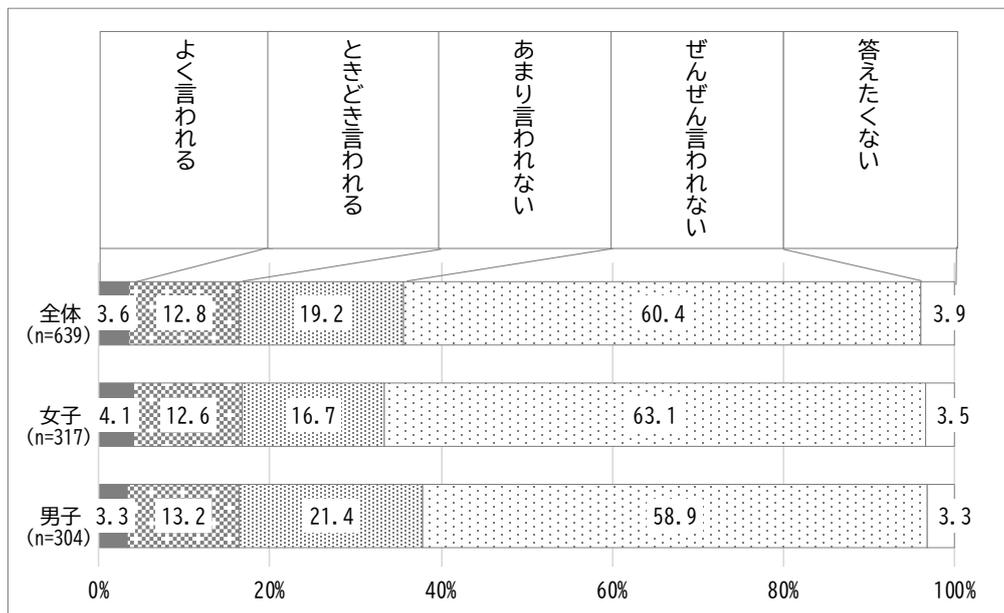


(2) 性別役割について注意された経験 [SA]

問2 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(○は1つ)

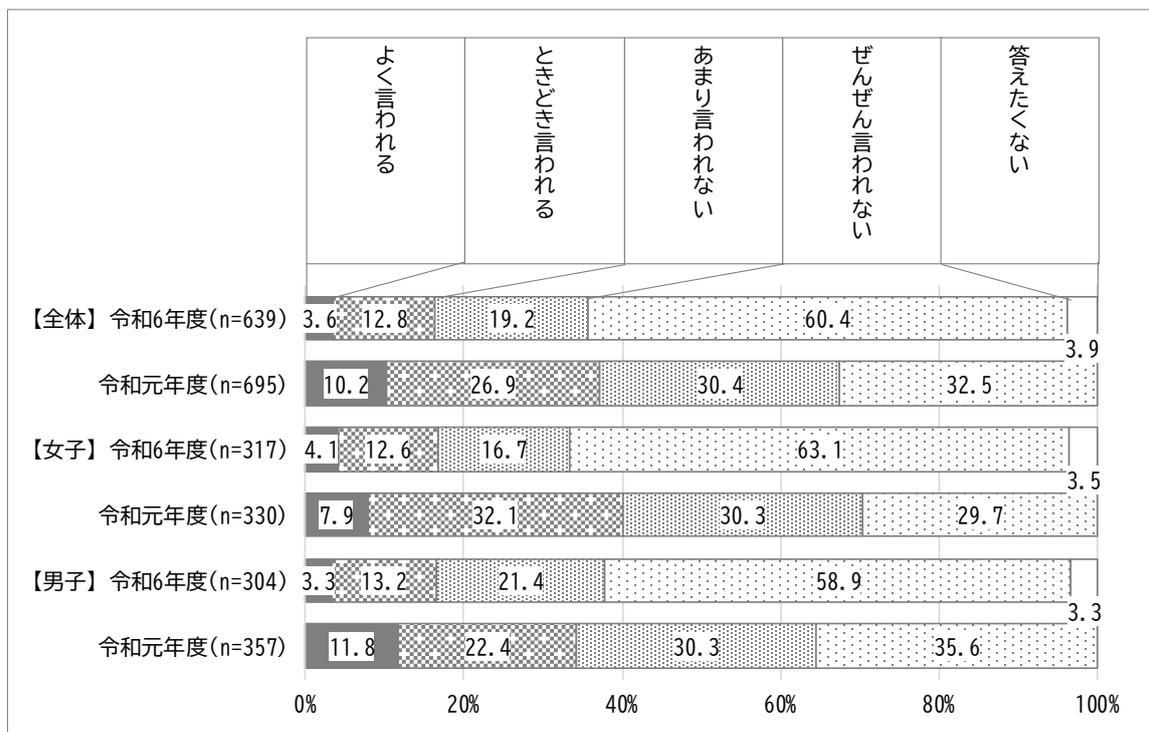
「ぜんぜん言われぬ」と「あまり言われぬ」合わせてみると、全体は79.6%、女子が79.8%、男子が80.3%となっています。

また、「よく言われる」「ときどき言われる」合わせてみると、女子は16.7%、男子は16.5%となっています。



【前回調査結果との比較】

前回調査結果と比較すると、「よく言われる」と「ときどき言われる」合わせてみると、37.1%から16.8%に減少しています。一方、「ぜんぜん言われない」は32.5%から60.4%と増えており、性別役割についての注意の機会が減っている傾向です。



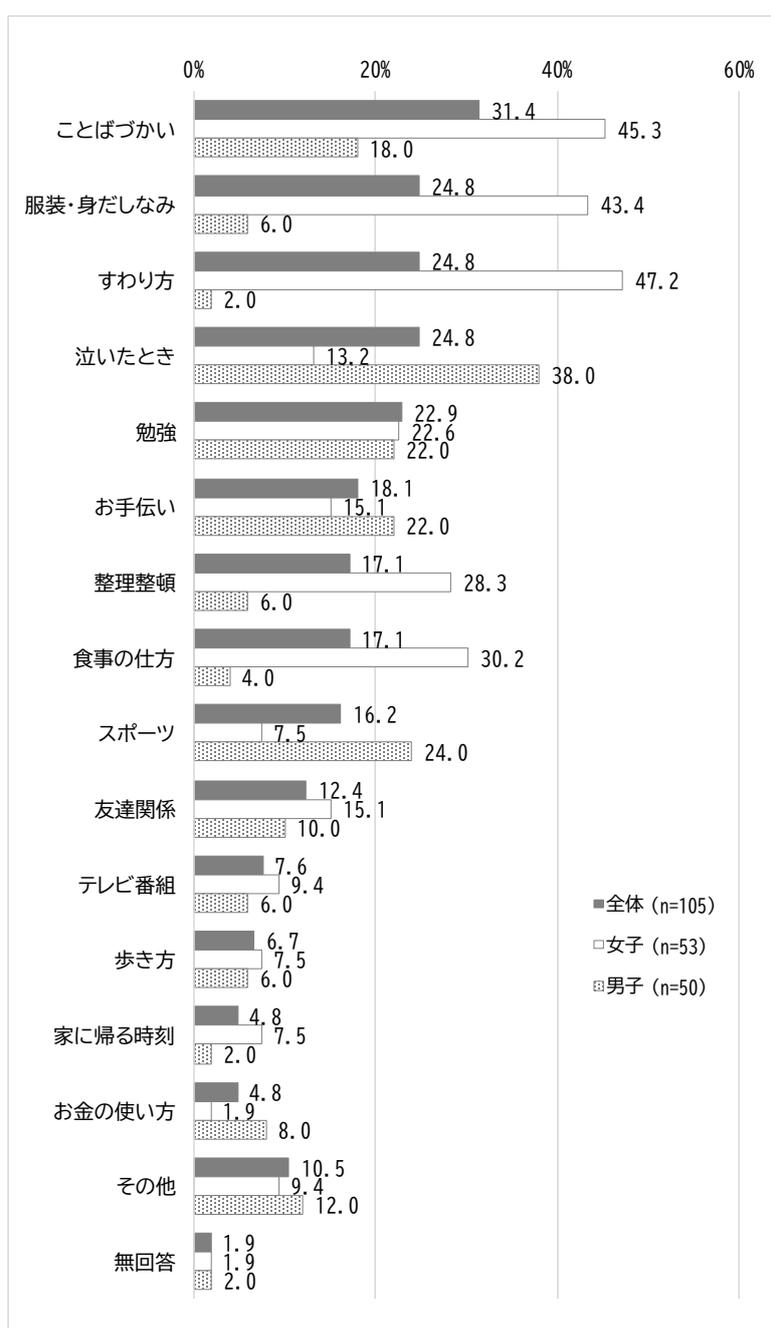
(3) 性別役割について注意されたきっかけ [MA]

問2-1 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
 どんな時に言われましたか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「ことばづかい」が31.4%で最も多く、次いで「服装・見出しなみ」「すわり方」「泣いたとき」がそれぞれ24.8%となっています。

性別で見ると、女子では「すわり方」が47.2%、「ことばづかい」が45.3%、「服装・身だしなみ」が43.4%と高くなっています。

男子では、「泣いたとき」が38.0%、「スポーツ」が24.0%、「お手伝い」と「勉強」が22.0%と高くなっています。



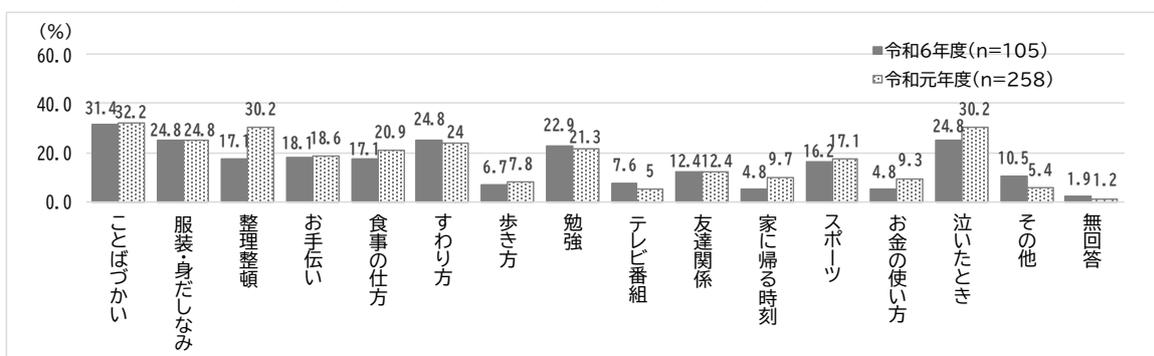
【前回調査結果との比較】

前回調査結果と比較すると「整理整頓」が30.2%から17.1%、「泣いたとき」が30.2%から24.8%などで減少していますが、「テレビ番組」が5.0%から7.6%、「勉強」が21.3%から22.9%などは増加しています。

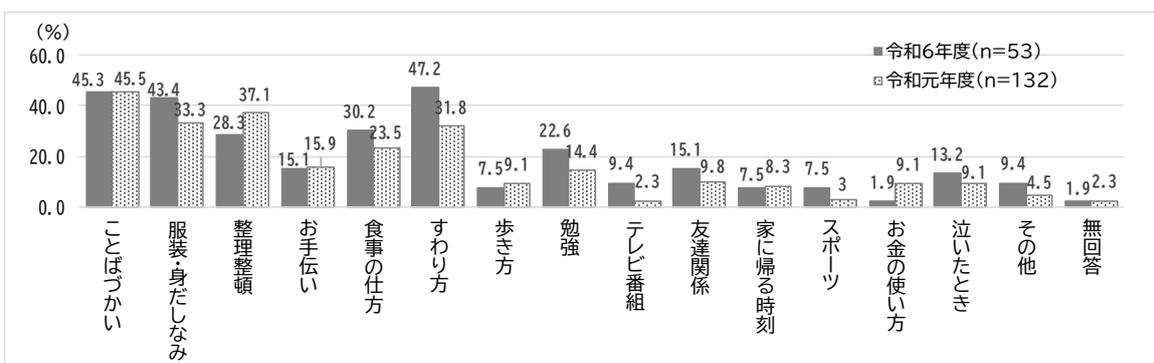
女子では「整理整頓」が37.1%から28.3%、「お金の使い方」が9.1%から1.9%などで減少していますが、「すわり方」が31.8%から47.2%、「勉強」が14.4%から22.6%などは増加しています。

男子では「整理整頓」が22.1%から6.0%、「泣いたとき」が53.3%から38.0%などで減少していますが、「お手伝い」が20.5%から22.0%などで増加しています。

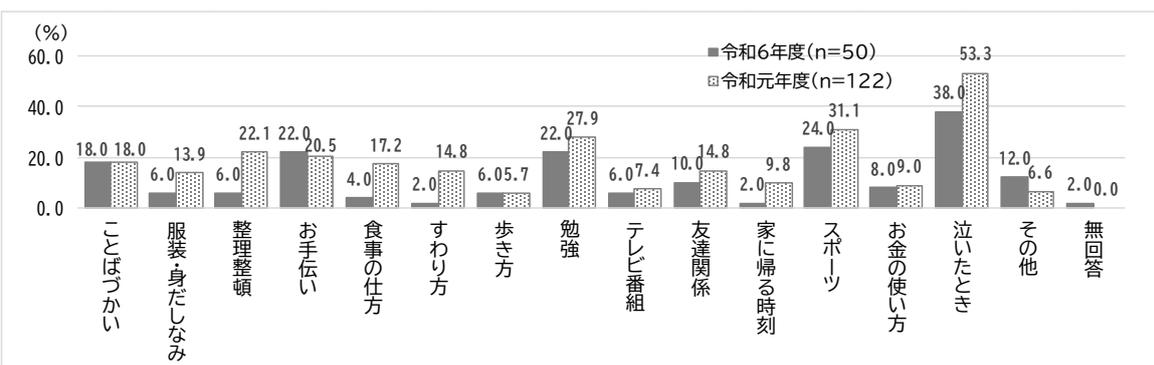
【全体】



【女子】



【男子】

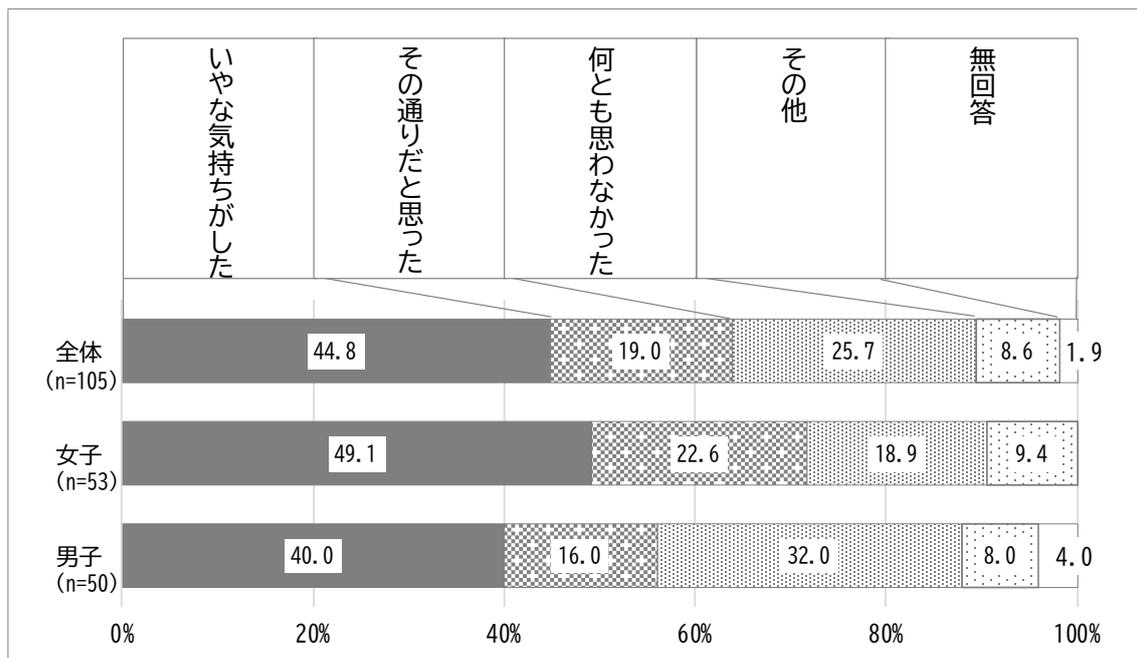


(4) 性別役割について注意されたときの心情 [S A]

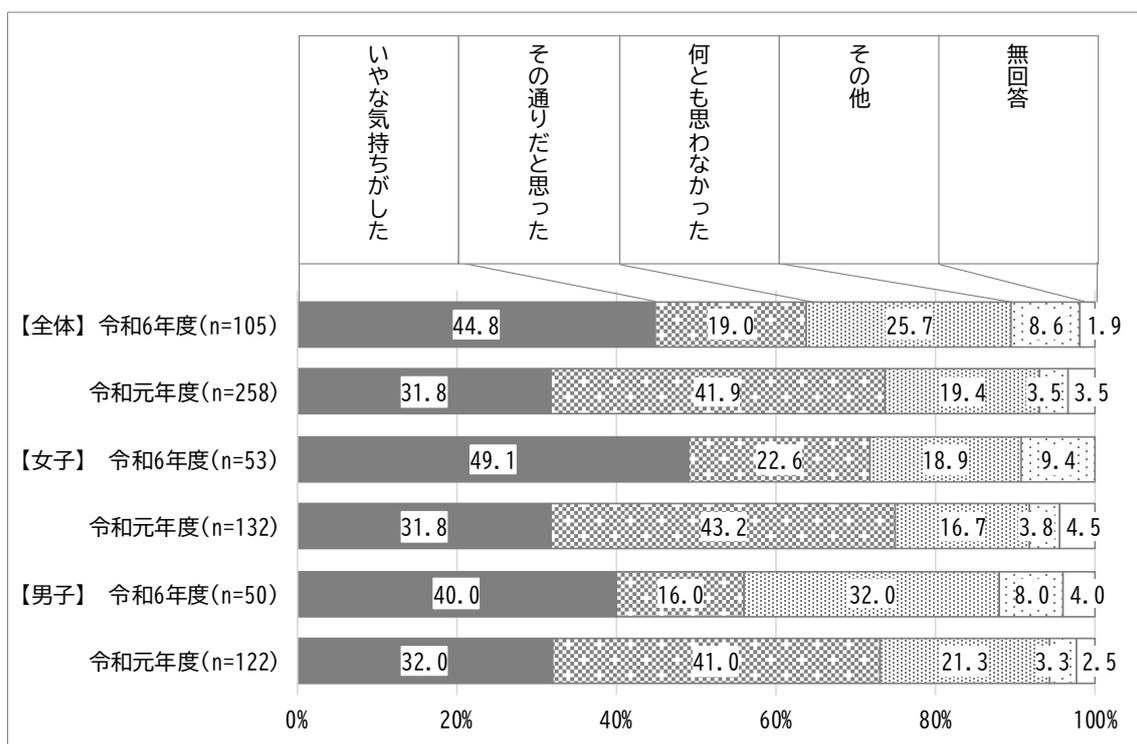
問2-2 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
 あなたはその時どんな気持ちがありましたか。(〇は1つ)

全体では「いやな気持ちでした」が44.8%で最も多く、次いで「何とも思わなかった」が25.7%
 「その通りだと思った」が19.0%となっています。

性別でみても同様の傾向であるが、女子は「いやな気持ちでした」が49.1%で約半数を占め、
 男子は「いやな気持ちでした」が40.0%、「何とも思わなかった」が32.0%となっています。



[前回調査結果との比較]

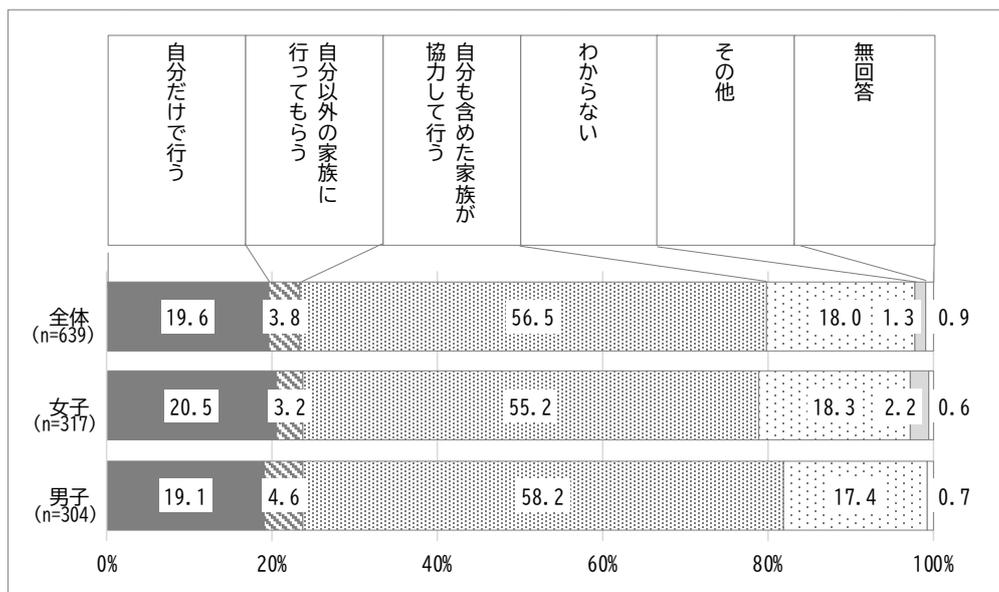


(5) 家事の役割分担 [SA]

問3 あなたは、大人になったときに、家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事をどのように行おうと思いますか。(〇は1つ)

全体では「自分も含めた家族が協力して行う」が56.5%で最も多く、「自分だけで行う」が19.6%「わからない」が18.0%となっています。

性別でも、女子、男子とも同様の傾向となっていますが、男子は「自分以外の家族に行ってもらおう」が4.6%とやや多くなっています。

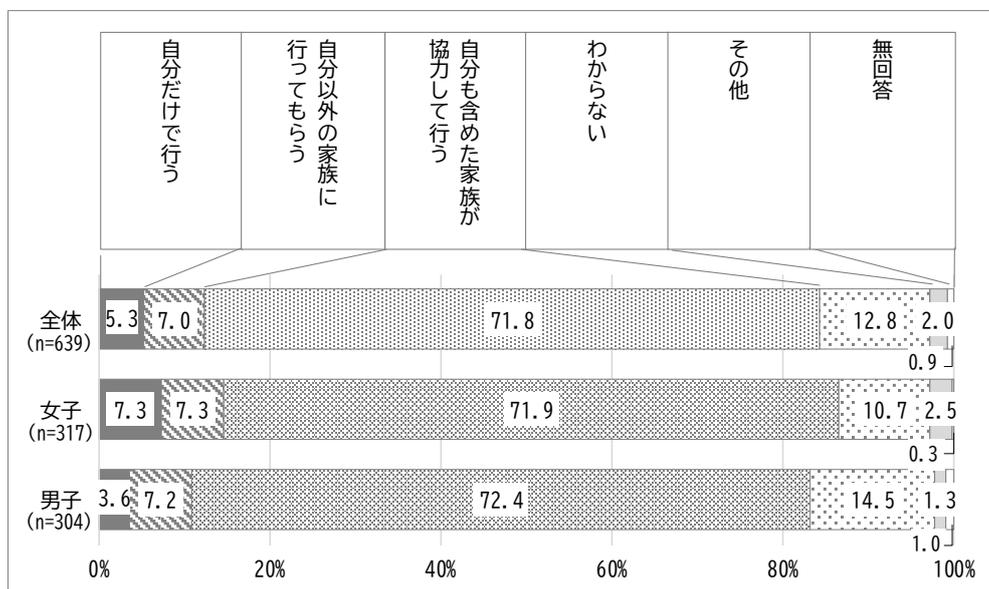


(6) 子育ての役割分担 [SA]

問4 あなたは、大人になり、子どもができたときに、どのように子育てを行おうと思いますか。(〇は1つ)

全体では「自分も含めた家族が協力して行う」が71.8%で最も多く、「自分だけで行う」が5.3%「自分以外の家族に行ってもらおう」が7.0%となっています。

性別で見ると、「自分だけで行う」と「自分以外の家族に行ってもらおう」がともに7.3%、男子は「自分だけで行う」が3.6%「自分以外の家族に行ってもらおう」が7.2%となっています。



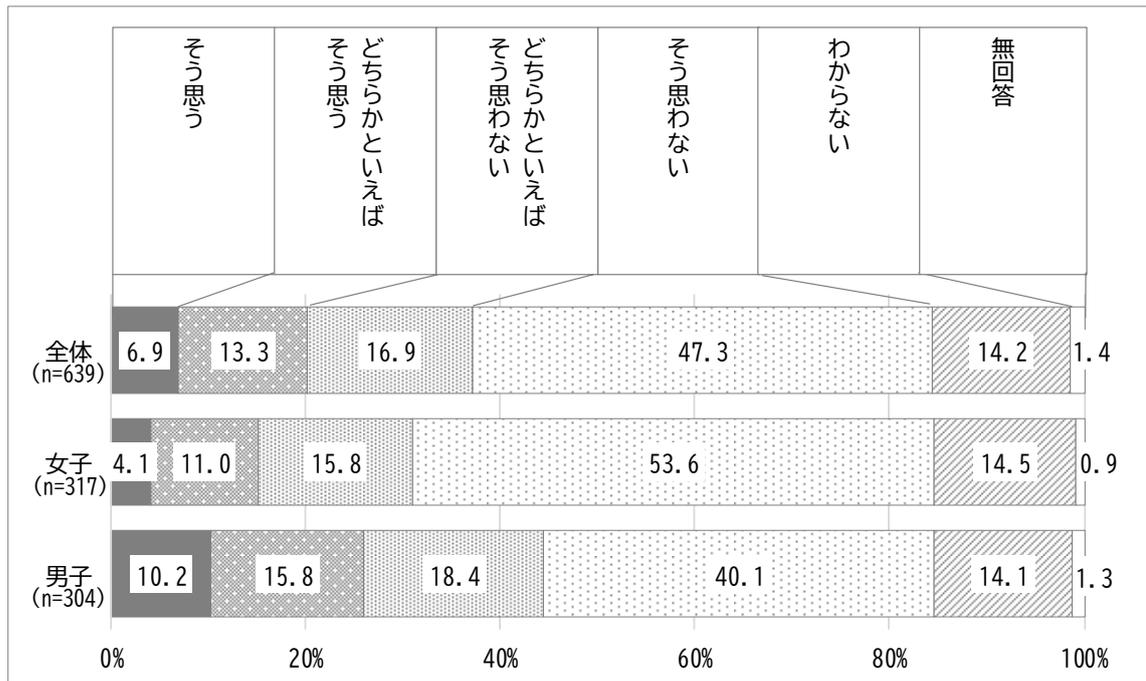
(7) 性別役割分担の意識 [SA]

問5 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」とあなたは思いますか。(○は1つ)

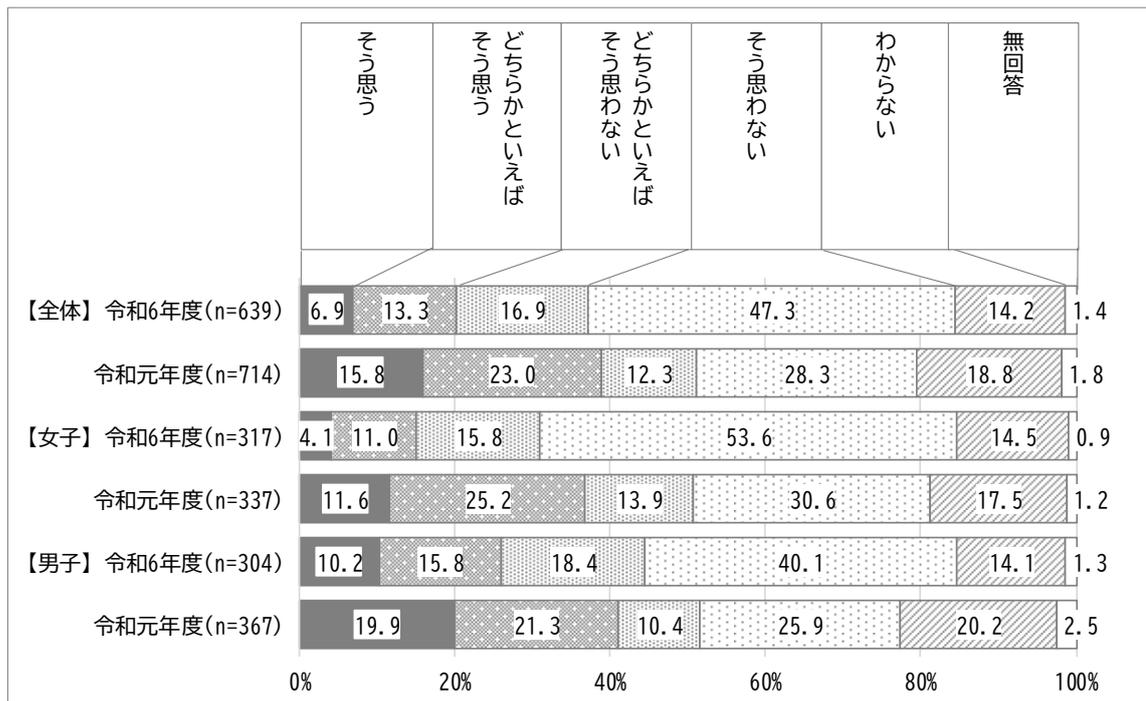
全体では「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」合わせて64.2%で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせて20.2%となっています。

性別で見ると、女子は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせて15.1%ですが、男子は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせて26.0%となっています。

男子は女子と比べて、性別役割分担の意識がやや高い傾向となっています。



[前回調査結果との比較]



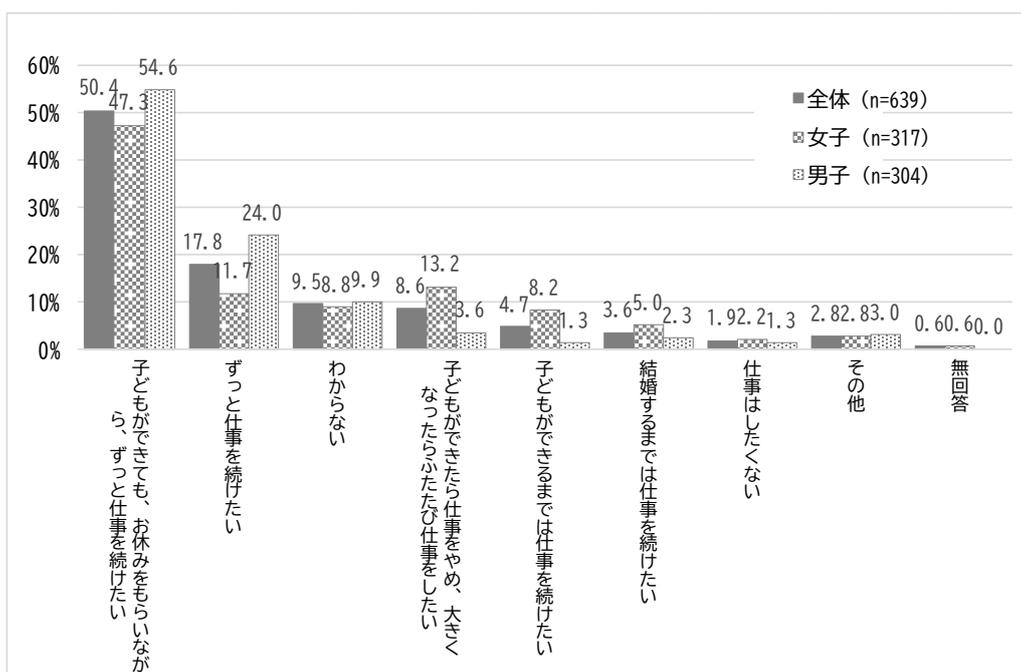
(8) 将来の働き方 [SA]

問6 あなたは、将来どのような働き方をしたいですか。(〇は1つ)

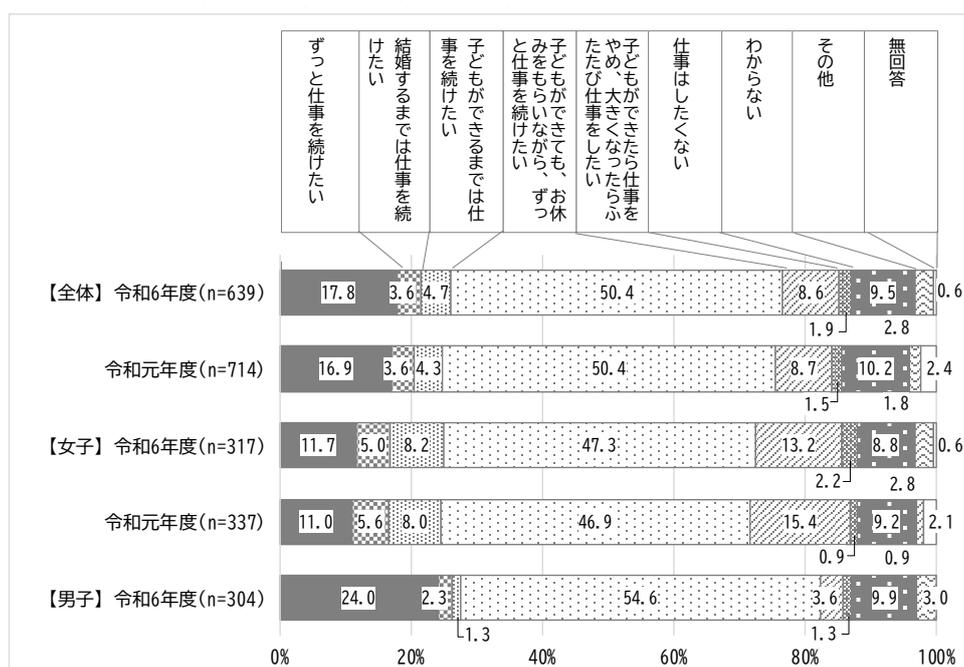
全体では「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が50.4%で約半数を占めています。次いで「ずっと仕事を続けたい」が17.8%となっています。

性別で見ると、女子は「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が47.3%、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったらふたたび仕事をしたい」が13.2%となっています。

男子は「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が54.6%、「ずっと仕事を続けたい」が24.0%となっています。



[前回調査結果との比較]



【女子の希望する職種】

職種	人数	職種	人数	職種	人数
教師	33	図書館の司書	3	内職	1
スイーツ店	30	ハンドメイド店	3	マッサージ師	1
保育士・幼児教諭	25	研究者	3	ウェイター	1
理・美容師	23	ネイリスト	3	キャラデザイナー	1
漫画家	23	ラーメン屋	3	ほごねご活動	1
歌手	22	サーティーワン店員	3	農家	1
YouTuber	19	洋服店	3	裁判官	1
会社員	18	小説家	2	ホテルオーナー	1
イラストレーター	17	女優	2	フラワーデザイナー	1
パン屋	16	介護士	2	スーパーの店員	1
パティシエ	15	本屋	2	寿司屋	1
看護師	14	文房具店	2	水泳コーチ	1
ペットショップ店員	13	おにぎり屋	2	体操選手	1
カフェ店	12	コンビニ店員	2	ヘアメイクアップアーティスト	1
飼育員	12	飴細工職人	2	コーディネーター	1
医者	12	獣医師	2	調理師	1
花屋	11	エンターティナー	2	ショッピングモールの店員	1
ディズニーのキャスト	10	服屋	2	巫女	1
声優	8	絵本作家	2	テレビカメラマン	1
ファッションデザイナー	8	自衛隊員	2	植物園	1
警察官	8	父母の仕事	2	バンド	1
インストラクター	8	清掃員	2	天気予報士	1
トリマー	7	音楽家	2	ミュージカル俳優	1
アナウンサー	7	作家	2	ピアニスト	1
公務員	6	プログラマー	2	ロボット会社	1
画家	6	書店	2	和菓子職人	1
弁護士	6	サンリオスタッフ	2	ダンスインストラクター	1
スポーツ選手	5	助産師	2	ホンダ	1
キャビンアテンダント	5	ガイド	1	肉屋	1
サッカー選手・関係者	5	レジン作家	1	古着屋	1
モデル	5	新聞記者	1	ウェディングスタッフ	1
大工	4	有名人	1	漁師	1
レストラン	4	家庭教師	1	配達員	1
アパレルショップ	4	俳優	1	芸能人	1
薬剤師	4	アーティスト	1	写真店	1
料理人	4	テニス選手	1	病院	1
バレーボール選手	4	スタイリスト	1	雑誌編集者	1
消防士	4	柔道選手	1	車関係	1
ダンサー	3	カメラマン	1	サンプル職人	1
メイクアップアーティスト	3	バスケットボール選手	1	野球選手・関係者	1
バレリーナ	3	水道	1	ゲームセンター	1
飲食店	3	気象予報士	1	マンションの管理人	1
建築士・建築デザイナー	3	ウェディングプランナー	1	おもちゃ屋	1
役者	3	不動産屋	1	店員	1
水泳選手	3	社長	1	ボランティア	1

【男子の希望する職種】

職種	人数	職種	人数	職種	人数
サッカー選手・関係者	61	ペットショップ店員	3	出版社	1
YouTuber	42	バス運転手	3	魚屋	1
会社員	34	弁護士	3	医師	1
野球選手・関係者	20	犬・猫カフェ	3	庭園デザイナー	1
バスケットボール選手	12	生物学者	2	広告関係	1
教師	11	飲食業	2	総理大臣	1
歌手	11	アパレルショップ	2	イラストレーター	1
警察官	11	スイーツ店	2	トランポリン選手	1
飼育員	10	スーパーマーケット	2	ドクトレーナー	1
ゲーム制作会社	9	マッサージ師	2	ピアニスト	1
ゲームクリエイター	9	焼肉店	2	キャラデザイナー	1
学者	9	新幹線運転士	2	ハンドラー	1
自衛隊員	8	将棋棋士	2	陸上選手	1
卓球選手	8	社長	2	食品会社	1
料理人	8	農家	2	造形家	1
水族館関係	7	ソニー	2	エンジニア	1
研究者	7	書店員	2	ゴミ収集員	1
コンビニ店員	7	看護師	2	アスリート	1
店員	7	車関係	2	博物館	1
プロゲーマー	7	居酒屋	2	気象予報士	1
医者	6	獣医師	2	ファッションデザイナー	1
消防士	6	俳優	2	ゲームセンター	1
寿司屋	6	ドライバー	2	保険会社	1
スポーツ選手	6	薬剤師	2	釣具屋	1
鉄道員	5	八百屋	2	音楽家	1
パイロット	5	水泳コーチ	2	飛行場作業員	1
プログラマー	5	レゴクリエイター	2	焼肉屋	1
漫画家	4	IT会社	1	スケボー選手	1
理・美容師	4	日本能率協会コンサルティング	1	ボクサー	1
ラーメン屋	4	発明家	1	レスリング選手	1
飲食店	4	カフェ店	1	飲料品メーカー	1
鉄道運転士	4	英語を使える仕事	1	山岳リレー選手	1
水泳選手	4	爬虫類店	1	スイミング関係	1
芸能人	4	アニメ制作会社	1	福祉関係	1
テニス選手	3	車の仕事	1	服屋	1
宇宙飛行士	3	写真家	1	マラソン選手	1
スポーツ関係	3	米安商店	1	建設関係	1
漁師	3	製菓会社	1	大統領	1
建築士・建築デザイナー	3	競泳関連の仕事	1	営業	1
銀行員	3	役者	1	アルバイト	1
大工	3	インストラクター	1	工場員	1
科学者	3	配達員	1	F1ドライバー	1
体操選手	3	店長	1	スーパーの店員	1
IT関係	3	考古学者	1	バドミントン選手	1
パティシエ	3	獣医	1	空手選手	1
保育士・幼児教諭	3	探検家	1		

(10) 男女共同参画に関する言葉の理解度 [SA]

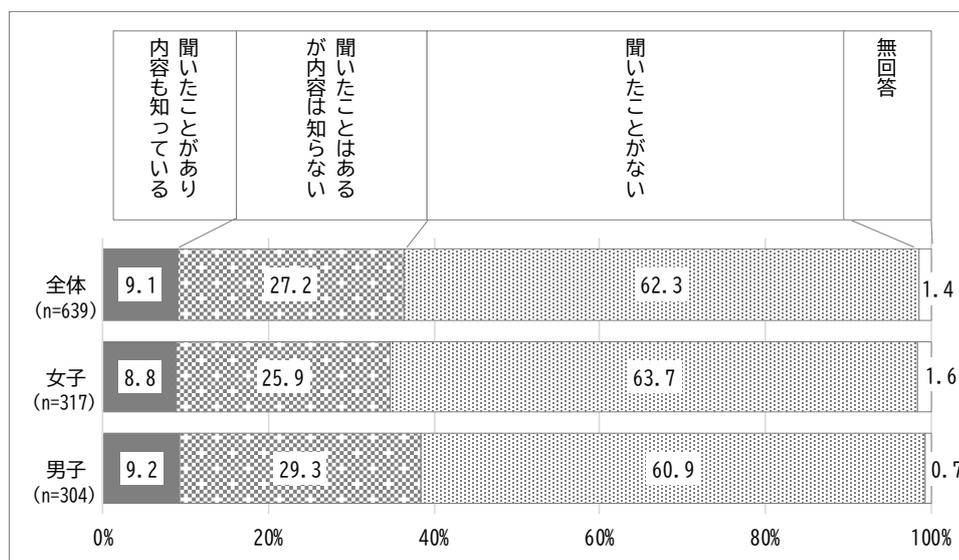
問8 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

① 男女共同参画社会

全体では「聞いたことがない」が62.3%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が27.2%、「聞いたことがあります」が9.1%となっています。

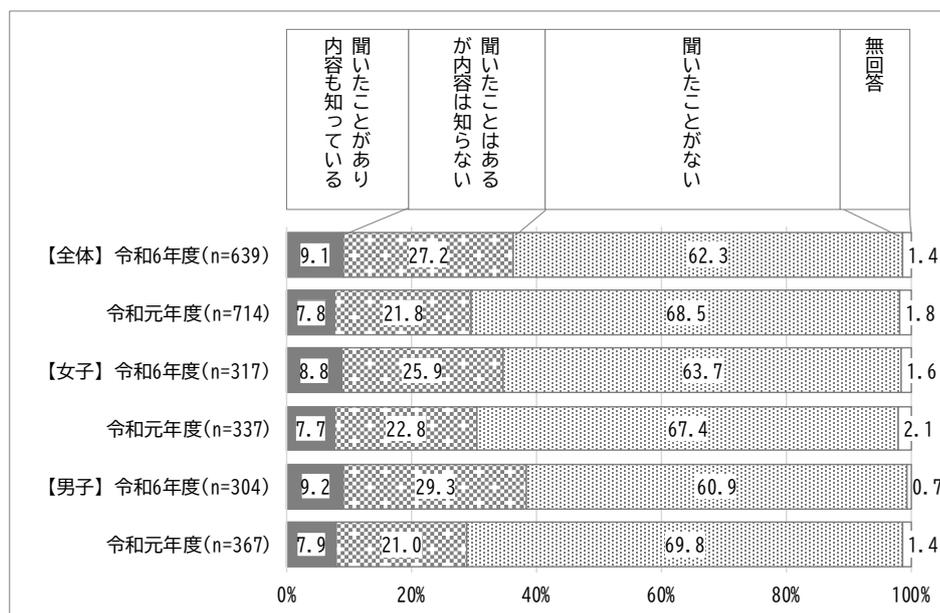
性別で見ると、女子は「聞いたことがない」が63.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が25.9%、「聞いたことがあります」が8.8%となっています。

男子は「聞いたことがない」が60.9%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が29.3%、「聞いたことがあります」が9.2%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、男女ともに「聞いたことがあります」と「聞いたことはあるが内容は知らない」が増加しています。

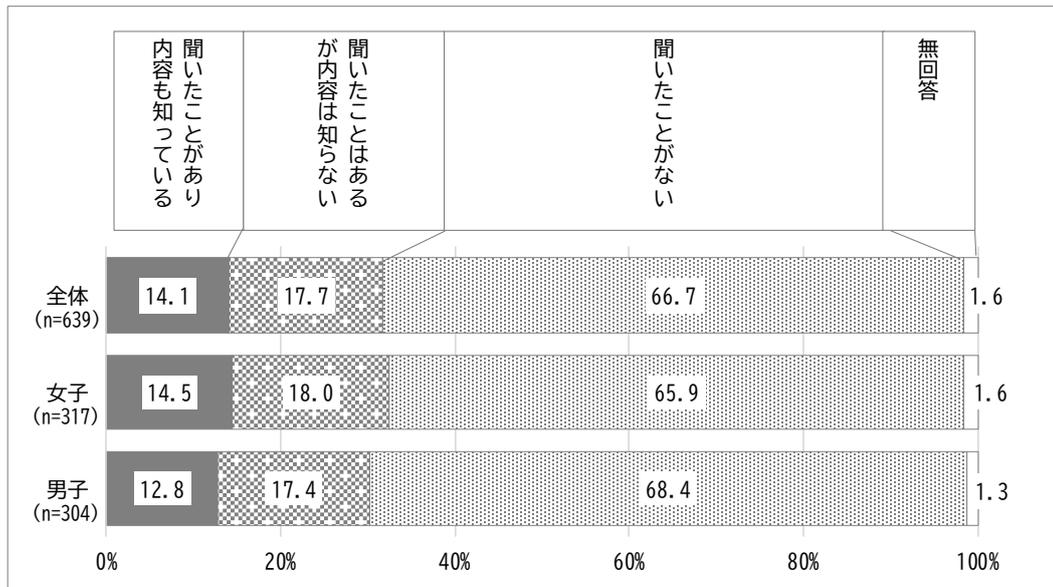


② DV（ドメスティック・バイオレンス）

全体では「聞いたことがない」が66.7%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が17.7%、「聞いたことがあり内容も知っている」が14.1%となっています。

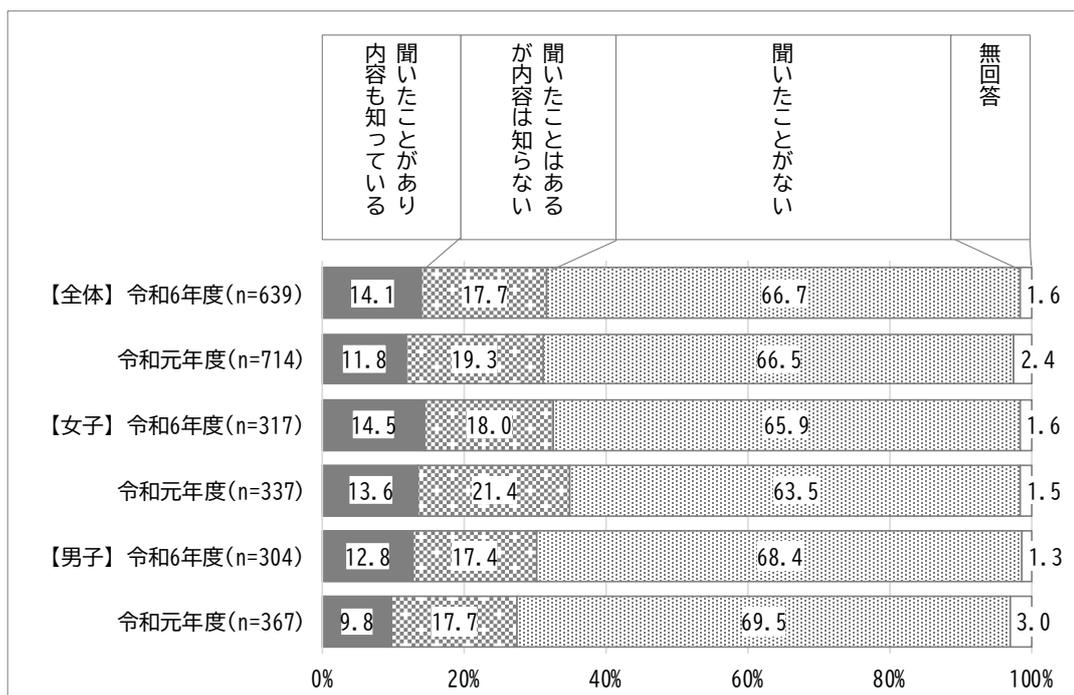
性別で見ると、女子は「聞いたことがない」が65.9%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が18.0%、「聞いたことがあり内容も知っている」が14.5%となっています。

男子は「聞いたことがない」が68.4%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が17.4%、「聞いたことがあり内容も知っている」が12.8%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、全体の認知度は概ね同水準ですが、性別で見ると、女子の意識はやや低下していますが、男子は「聞いたことがあり内容も知っている」が9.8%から12.8%と上昇しています。

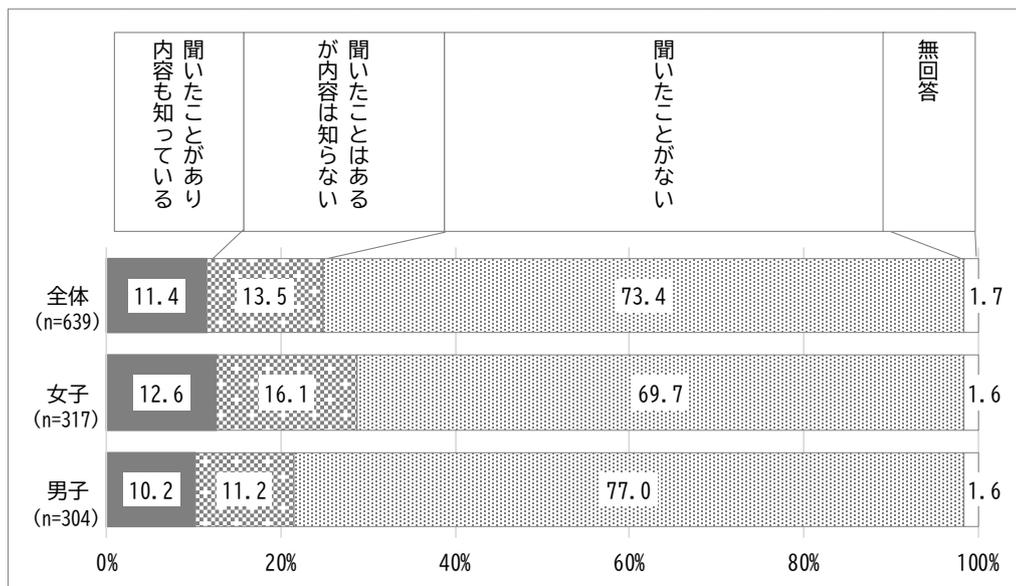


③ デートDV

全体では「聞いたことがない」が73.4%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が13.5%、「聞いたことがあり内容も知っている」が11.4%となっています。

性別で見ると、女子は「聞いたことがない」が69.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が16.1%、「聞いたことがあり内容も知っている」が12.6%となっています。

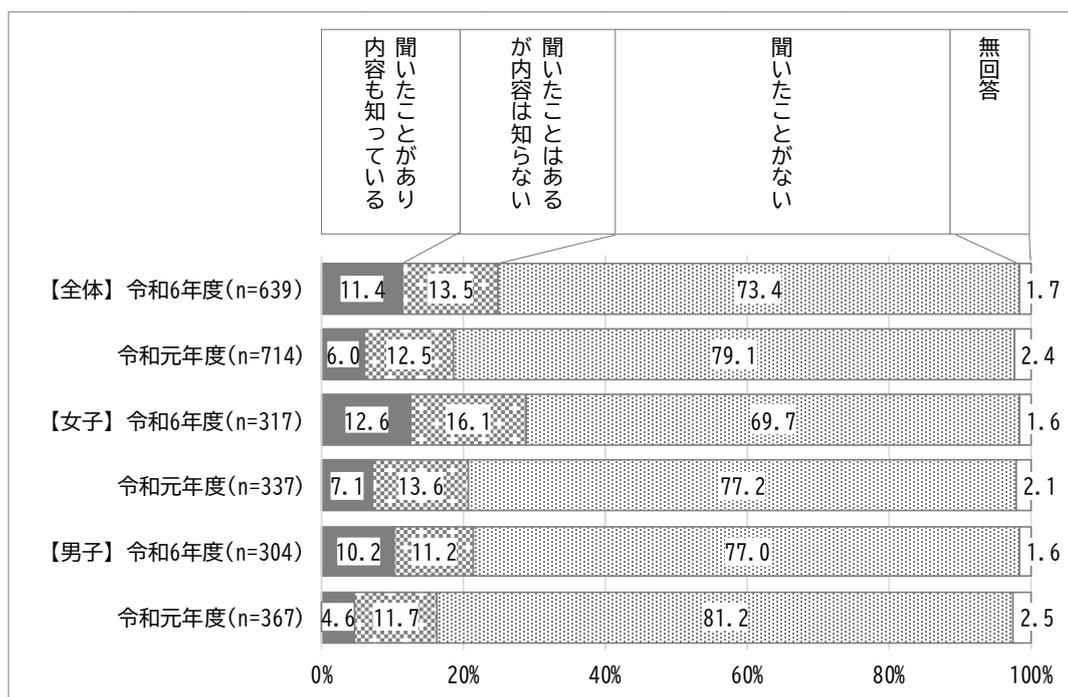
男子は「聞いたことがない」が77.0%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が11.2%、「聞いたことがあり内容も知っている」が10.2%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、男女ともに認知度は高くなっています。「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」を合わせてみると、女子は20.7%から28.7%、男子は16.3%から21.4%と上昇しています。

内容の認知も含めた認識では、女子と比べて男子の割合は低い傾向となっています。

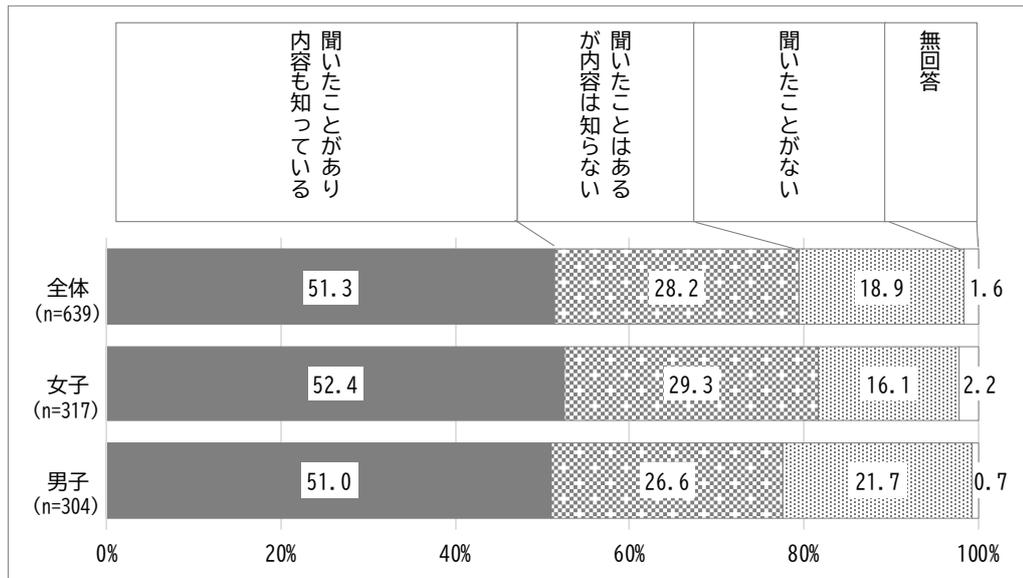


④ セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

全体では「聞いたことがあり内容も知っている」が51.3%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が28.2%、「聞いたことがない」が18.9%となっています。

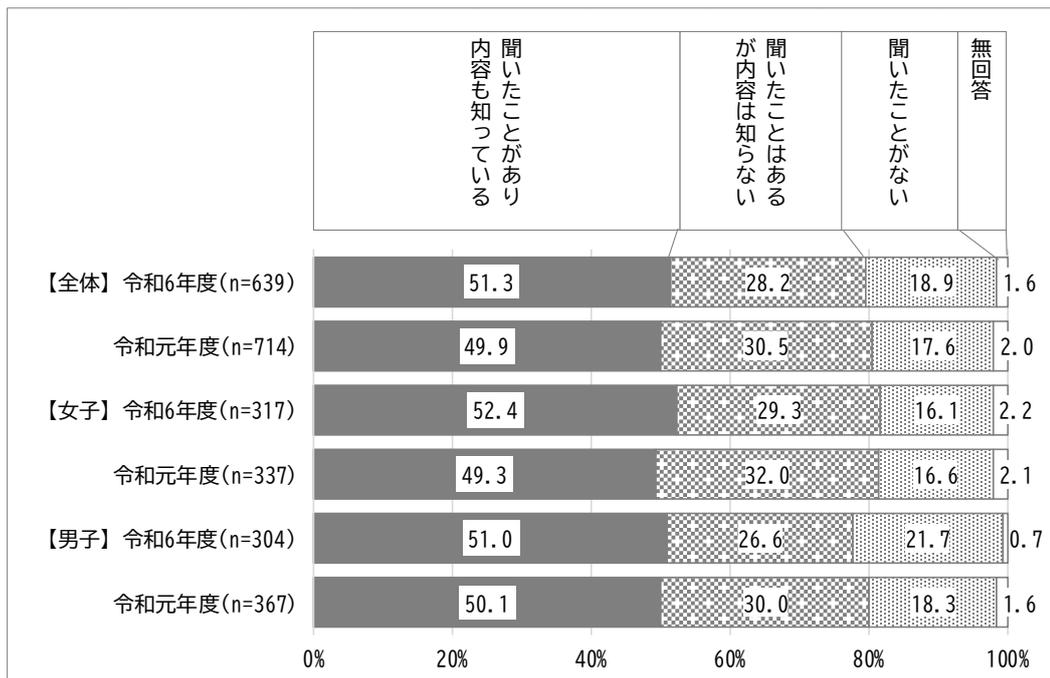
性別でみると、女子は「聞いたことがあり内容も知っている」が52.4%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が29.3%、「聞いたことがない」が16.1%となっています。

男子は「聞いたことがあり内容も知っている」が51.0%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が26.6%、「聞いたことがない」が21.7%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、男女ともに概ね同水準となっています。性別でみると、「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」を合わせてみると、女子は81.3%から81.7%とわずかに増加していますが、男子は80.1%から77.6%と認知度がやや低下しています。

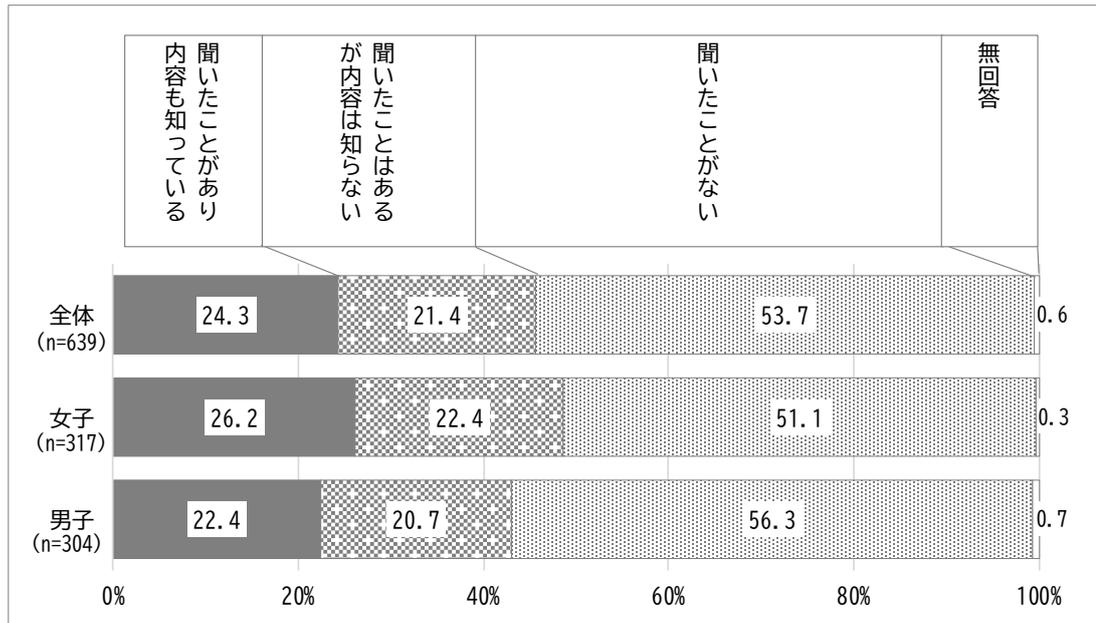


⑤ ジェンダー

全体では「聞いたことがない」が53.7%で最も多く、「聞いたことがあり内容も知っている」が24.3%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が21.4%となっています。

性別で見ると、女子は「聞いたことがない」が51.1%、「聞いたことがあり内容も知っている」が26.2%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が22.4%となっています。

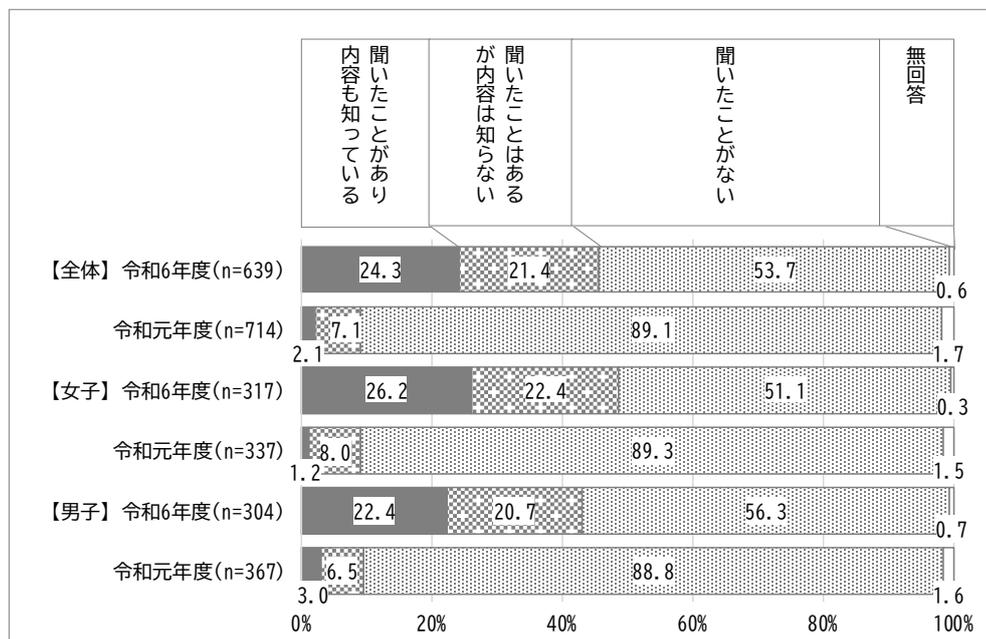
男子は「聞いたことがない」が56.3%、「聞いたことがあり内容も知っている」が22.4%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が20.7%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、男女ともに「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」ともに割合が高くなっています。

性別では、前回同様に女子の意識が男子より高い傾向となっています。



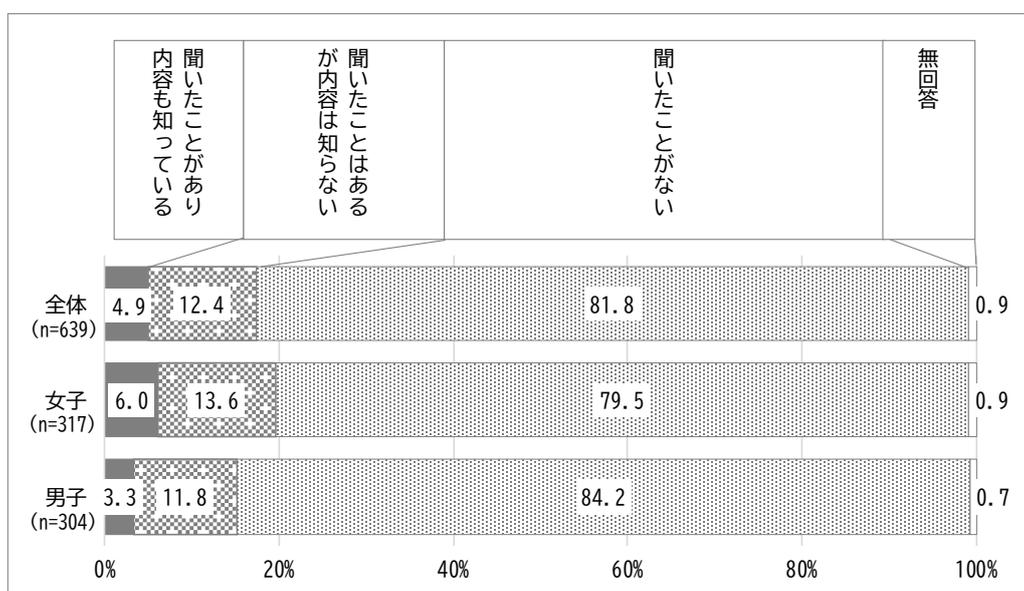
(11) 言葉の認知度 [SA]

問9 あなたは、LGBTQという言葉を知っていますか。(〇は1つ)

全体では「聞いたことがない」が81.8%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が12.4%、「聞いたことがあり内容も知っている」が4.9%となっています。

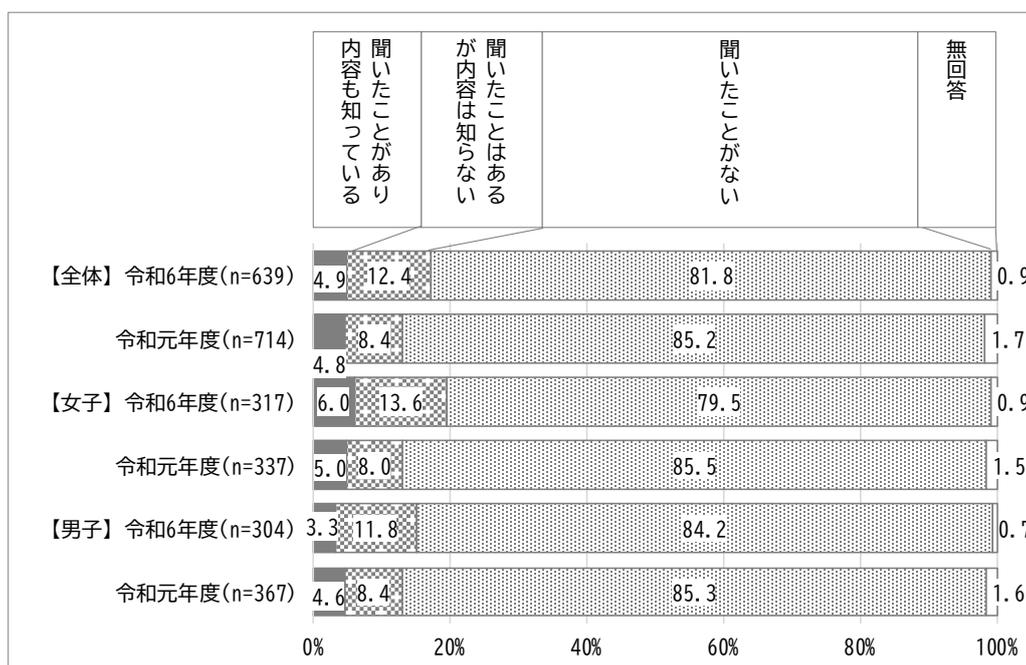
性別で見ると、女子では「聞いたことがない」が79.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が13.6%、「聞いたことがあり内容も知っている」は6.0%となっています。

男子は「聞いたことがない」が84.2%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が11.8%、「聞いたことがあり内容も知っている」は3.3%となっています。



【前回調査との比較】

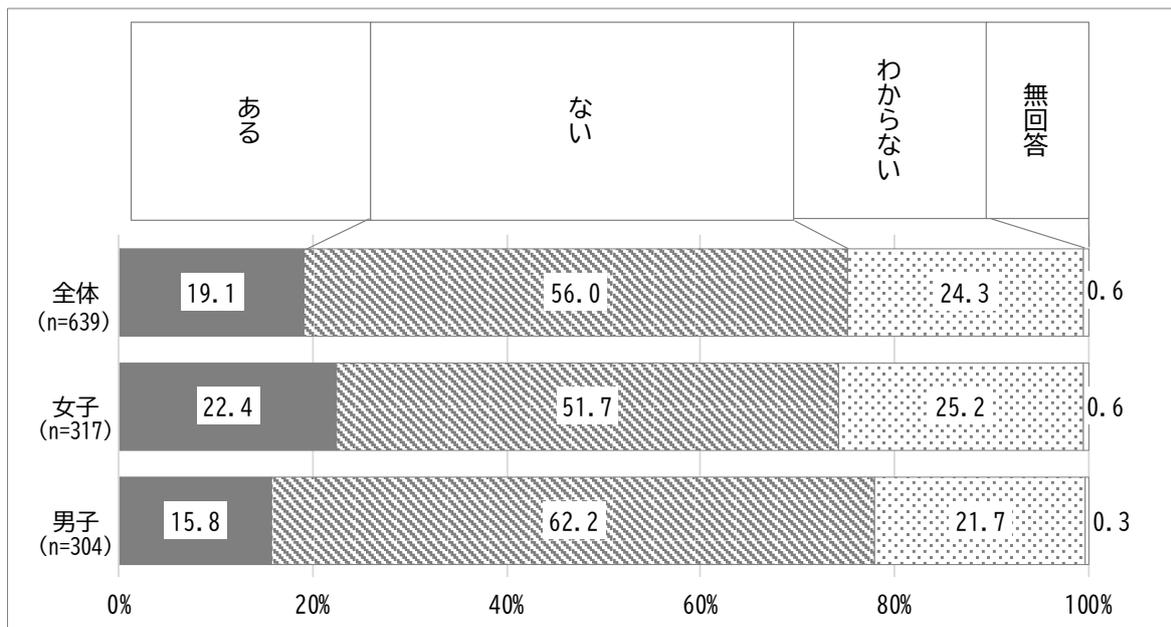
前回調査結果と比較すると、全体では「聞いたことはあるが内容は知らない」がやや増加しています。性別で見ると、男子に比べて女子の意識が高くなっています。



(12) 性自認の悩みの有無 [SA]

問10 あなたは、自分の性について、悩んだことはありますか。(〇は1つ)

全体では「(悩んだことが) ある」が19.1%、「(悩んだことは) ない」が56.0%となっています。
性別で見ると、女子は「(悩んだことが) ある」が22.4%、男子は15.8%で女子の割合が高くなっています。



(13) 自由記述（男女平等について日頃感じていることや疑問に思うこと）

問 11 男女平等について、日ごろ感じていることや疑問に思うことなどを自由に書いてください。

男女平等について、日ごろ感じていることや疑問に思うことなどを自由に記述いただいたところ、148人から回答が寄せられました。

	(件)
総計	145
男女平等の考えについて	72
男女の性差・役割分担について	31
性の多様性について	3
仕事について	4
暴力・嫌がらせについて	6
その他の意見	29

【主な意見】

男女平等の考えについて

- どうして人のことを決めつけて「〇〇ちゃんは女の子だからピンクが好きだよ」って言って勝手に自分とは違う意見を持っている子に自分の意見を相手に押し付けるのかが疑問です。
- 男女関係なく仲良く話していること
- 今は男子と女子のペアがけっこうしゃべっている
- 髪型で性別を決めるような気がするそれはひどいと思う
- 私は青が好きなのですが、友達に『女の子なのにどうして青が好きなの？』と言われたことがあります。私はこんなことを言われて少し悔しかったです…それに言い返さなくて私は『青がスキ』と堂々と言えなくて…『緑が好き』と答えてしまうときがありました。今でも少し怖いです。
- 男子は男子と遊び、女子は女子と遊んでいることが気になる
- 女言葉とは何ですか
- 男女性別関係なく、平和な世界になってほしいという思い
- なぜ男がえらくなってしまうのか不思議
- なぜ女の子は必ず「わたし」と言わなきゃいけないのか。
- 女子だからといって弱いて言われることがあってそうやって、さべつしないでほしい。
- 男性『男の子』だからって決め付けるのは、よくないとおもいます・・・
- 男子と女子は平等でいいと思う
- 学校が男女平等になったらいいと思います。 トイレは別々がいいと思います。
- みんな平等にできていいと思う。

- 女性に対して優しくない男性に、お母さんがいなければ生まれなかったのになんでかな？と思います。
- 昔よりはよくなっていると思う。
- 女子が間違えたら男子は怒るけど男子は男子が間違っただけをしたら怒らない
- 昭和よりもよくなった。
- 不公平なのがよくない
- 思わない
- 男女、関係なく同じように接することが大事だと思う
- 女子が女子優先でとか言ってくるが特に何も思っていない
- けっこう女子優先
- 男女関わらず仲良くして生活したいと感じています。
- 男女関係なく普通に暮らしたい
- なぜ女子が男子に手とかを出したら何ともなんないのに男子が女子に手を出すと最低とかいわれなきゃいけないのか
- 男は青なんてきめんなよ黒がいいんだよ
- 男女平等になっている社会にしてほしい
- 男だから女だからで決めつけるのはよくないと思う。
- けんかしても、仲直りして、一緒に遊んだり、勉強したりして、男女平等に深めること！
- もっと差別のない世の中になってほしいという願い
- 男の子だからとかじゃなくてもいいと思う
- なんでレディファーストなのかわからない
- 男だから女だからと考えないでほしいこと。
- 女から弱いと決めつけていること
- なんで男女平等じゃないといけないの。
- 男女平等は、正しいと思う
- 男の子と女の子が友達でもいいと思う。
- 遊園地乗り物で男子の体重のせいげんが 40 キロぐらいなのに女子だと 50 キロがせいげんでずると思いました
- 男の子の人権がない。時々女子にいやなことをされる。
- 男女経済の格差
- 男性は、〇〇しなさい。など、決めつけては、いけない。
- なぜ男らしさ女らしさがあるのか
- 関係ないかわかりませんが神社にいったときお守りを買うときにパパから「男みたいな色にしなさい」と言われてました。
- 男が青女が赤
- 毎日男女仲良くしているといい気持ちになる
- 友達が「女子にてをだすなんてさいてー！」ていっていること、
↑女子も男子も関係ないと思う
- どうして、女なのに男なのにといわれなきゃいけないのか。自分は男女かん係なくすきなことをしたらいいと思っている

男女の性差・役割分担について

- 男の人はスカートをはいちゃダメ、女の子は短パンをはいちゃダメはおかしいと思います。
- どうして女子トイレは個室があるのに男子トイレは外から見える構造になっているのか。
- 世界はなぜ「レディファースト」なのか
- なぜ男はかっこつけてるのか
- なんで人は、男は〇〇で女は〇〇とというのか
- 女の子だから、男の子だからとか、性別で決めつけたりするなは、よくないと思う。
- なぜだんせいは、ズボン一択なのか
- 女の子だからスカートとかがない
- なぜ女の子が、クラスの中で少ないのか？
- なぜ女の人はおしゃれをするのか
- どうして、男は働くだけでよく女の人の手伝いをしないのか
- どうして学校は、男が多いのか
- 力仕事はすべて男にやらせるのが疑問に思う
- なんで男の子と女の子は体の体しつがちがうのですか
- 男子だからって、力持ちだって思われてる感じがする。女子だからって、頭がいいって思われてる感じがする。
- 体が違うだけなのに、「男の子なのに」や「女の子なんだから」と言うのに疑問に思う。
- なぜ女は子供を育てるというイメージがあるのか
- 男性の方がどうして運動神経がいいと言われるのか。
- 幼稚園の時に「男の子だから泣かないで」といわれて、僕は女の子だから泣いていい、男の子だから泣かない。はれっきとした差別じゃないのかとっていて、男の子だから手伝ってなど、男の子だから我慢して、とかずっと差別だと思う
- なんで男は仕事、女は家事と役割 ができてしまったんだろうか？
- 一緒に家事とか
- 足の速さの違い
- 男子はちからがあり根性があり女子は感情が弱いみたいなことがなぜあるのか
- 女だから、字をきれいにしたり、部屋をきれいにしなきゃダメなのだろうか。
- なんで昔は、戦争などが男の人、家庭は女の人がやることになったのか。
- 男の子だから泣いてはいけない
- 男子は女子を叩いちゃダメって男子かわいそって思う
- 男だから女を守るというのはなぜなのかと思う。
- 男女が平等で楽しく学校生活を送っている

性の多様性について

- みんなが自分らしく生きていけばいいのに
- 男女で恋人にならなければいけないではなく、女の子も男の子も誰を好きになってもいい。女の子が女の子を好きになってもいい、男の子が男の子を好きになってもいい。そう思います。
- 自分たちが好きなように過ごせるようにしたい

仕事について

- 男とか女とかの関係で仕事に就けないということをなくすことが大切だとおもう
- 女の子がやりにくい仕事があるのが嫌だ

暴力・嫌がらせについて

- ニュースで、女性を、狙ったセクハラ行為。
- セクハラを辞めて欲しい
- 男女平等の方がいいと思います理由は男女平等じゃなきゃ暴力とか振られるから
- クラスメイトが暴力している
- 男女平等なら、意地悪をされたくない。
- 女子だからって男子に意地悪される(女子ほぼ全員)

その他の意見

- 人が泣いたり悩んだりすると男の人や女の人性格が変わるのはなぜか？
- 差別をなくしたい
- いつか本当に男女平等になったらいいな。
- 人に害がなければ自由にしていと思う
- 「女の子だから・男の子だから」などの男女差別がなぜあったのか疑問に思いました。
- 女だから遊べない
- 友達に、悪口を、言われているか知りたい。
- 知らない言葉知ってその言葉を使わないようにしようとおもいました。
- かっこいい奴が少し好き
- 男女平等な社会になることを日頃から願っている。
- 日頃、男子がちょっかいを出す。
- 誰かに誰かが決めつけられている。
- 僕の家では、平等にできてると思います。
- お父さんとお母さんがいつも仕事を 頑張ってくれます。
- 男女差別があるのだろう
- 男の子のほうが遊んでいて女の子は教室にいる
- 女の子は女の子と、男の子は男の子と仲良くなってしまうのはなぜでしょうか個人的には僕は、最初の問題のように男なんですけど、女の子とも仲良くなりたいです。
- なぜ同じ性別の子と仲良くしたがるのか
- 赤ちゃんがいるので叩かれたり物を取られたりしてちょっといやだ。だけどあかちゃんがいなくなるのはもっといやだ。
- みんな決めつける行為をしていない
- むかしは女性が選挙出来なかったと聞いて、びっくりしました。

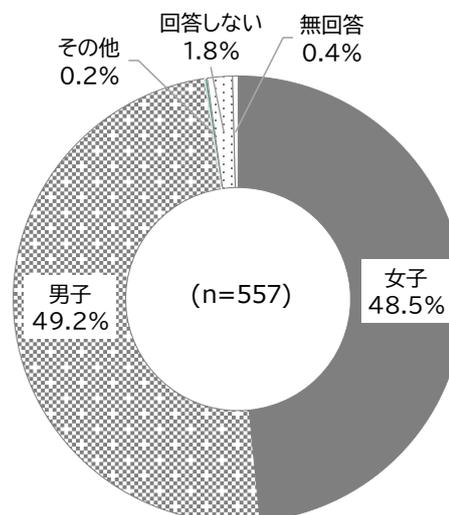
第4章 中学生調査の結果

(1) 回答者の性別 [S A]

問1 あなたの性別はどれですか。自認している性別を選んでください。(○は1つ)

回答者の性別は、女子が49.6%、男子が47.6%で概ね半数ずつとなっています。

	回答数	構成比(%)
女子	270	48.5
男子	274	49.2
その他	1	0.2
回答しない	10	1.8
無回答	2	0.4
計	557	100.0

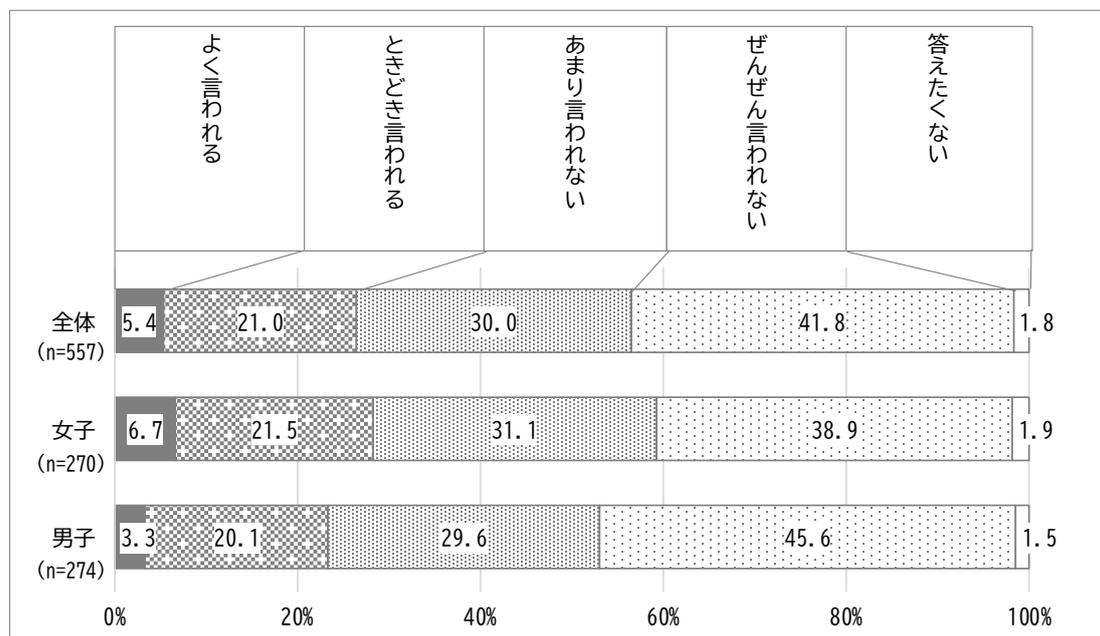


(2) 性別役割について注意された経験 [S A]

問2 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(○は1つ)

「ぜんぜん言われなさい」と「あまり言われなさい」合わせてみると、全体は71.8%、女子が70.0%、男子が75.2%となっています。

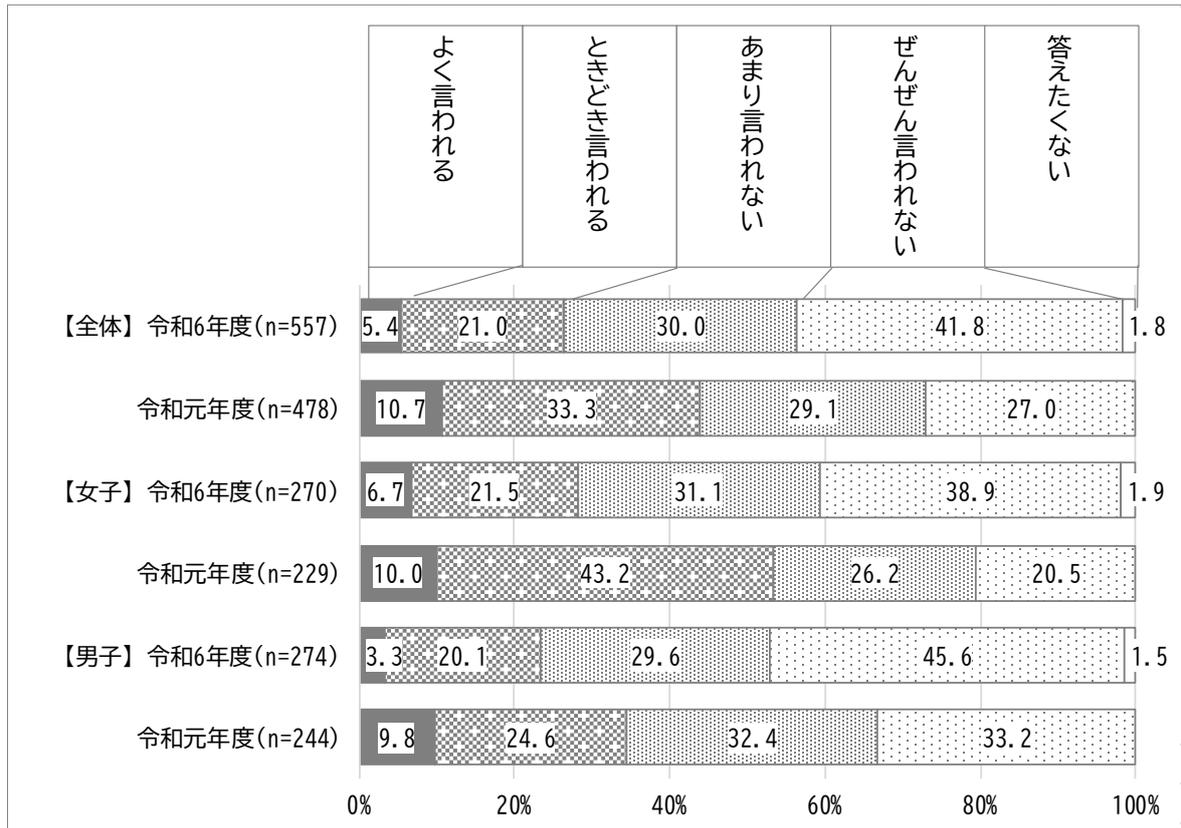
また、「よく言われる」「ときどき言われる」合わせてみると、全体は26.4%、女子は28.2%、男子は23.4%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「よく言われる」「ときどき言われる」合わせてみると、前回結果より減少しています。このため、「ぜんぜん言われぬ」は27.0%から41.8%と増加しています。

性別でみると、男女ともに前回より減少しており、男子は「よく言われる」が9.8%から3.3%に減少しています。



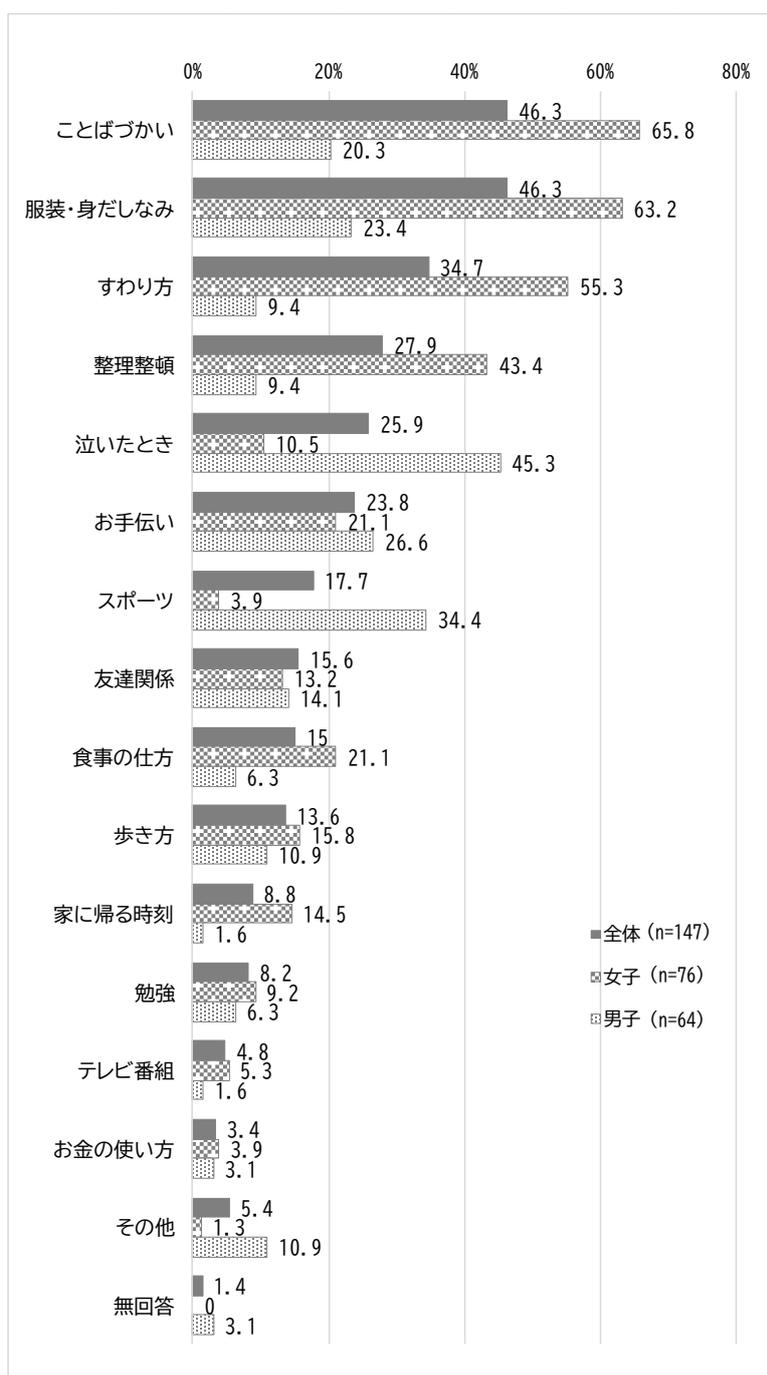
(3) 性別役割について注意されたきっかけ [MA]

問2-1 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
 どんな時に言われましたか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「ことばづかい」と「服装・身だしなみ」がともに46.3%で最も多く、次いで「すわり方」が34.7%、「整理整頓」が27.9%となっています。

性別で見ると、女子では「ことばづかい」が65.8%、「服装・身だしなみ」が63.2%、「すわり方」が55.3%と多くなっています。

男子では、「泣いたとき」が45.3%、「スポーツ」が34.4%、「お手伝い」が26.6%と多くなっています。

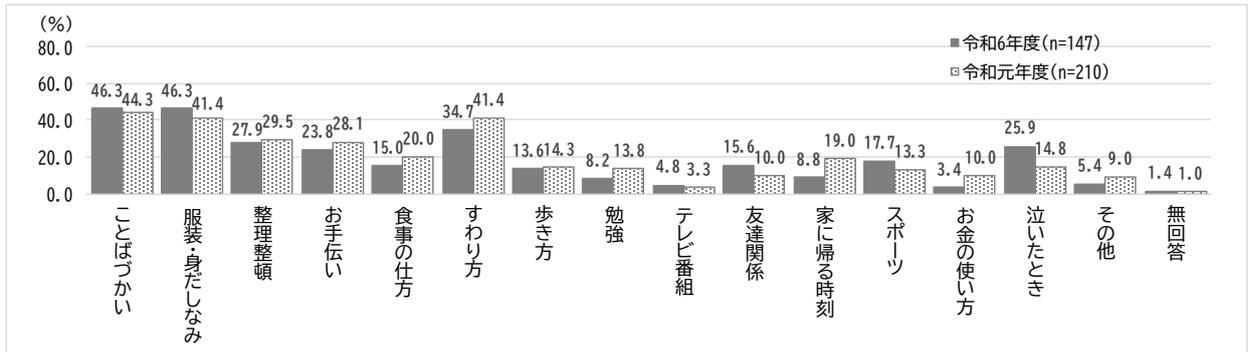


【前回調査との比較】

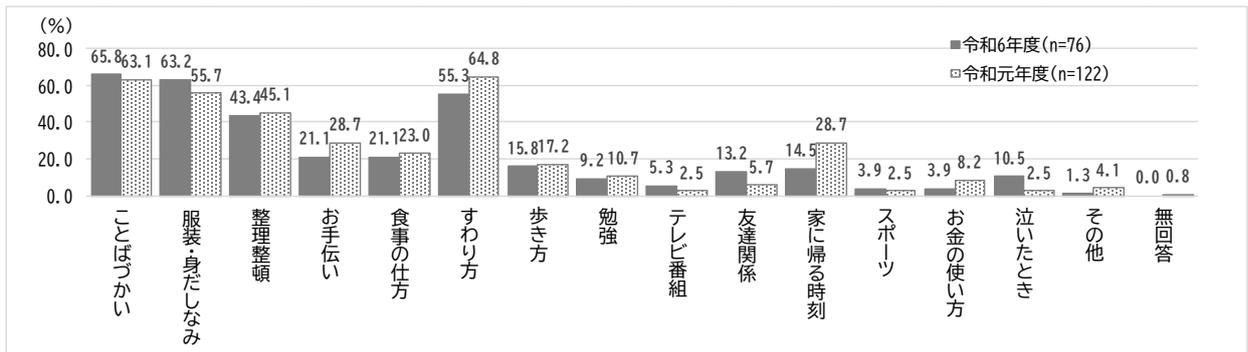
前回調査結果と比較すると、女子は「ことばづかい」や「服装・身だしなみ」など“身だしなみや作法”に関わる項目で高い傾向となっています。

男子は「スポーツ」や「泣いたとき」など技能や精神的な機会での項目が多くなっています。

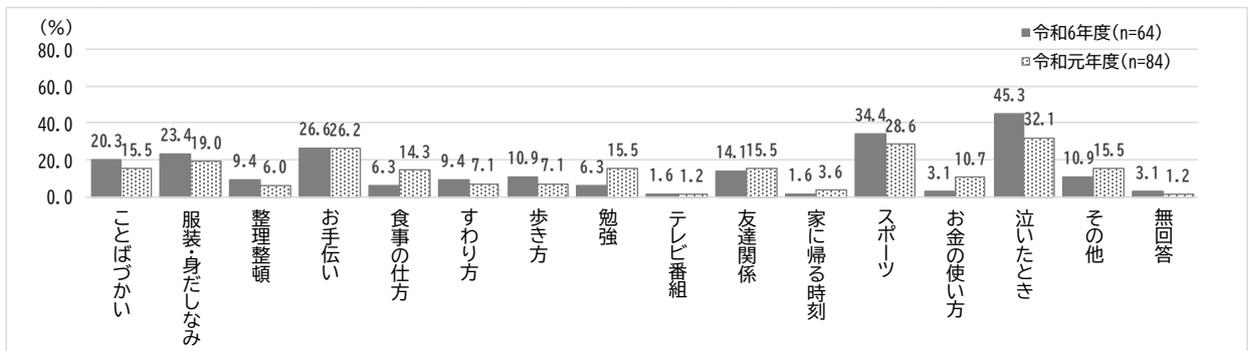
[全体]



[女子]



[男子]

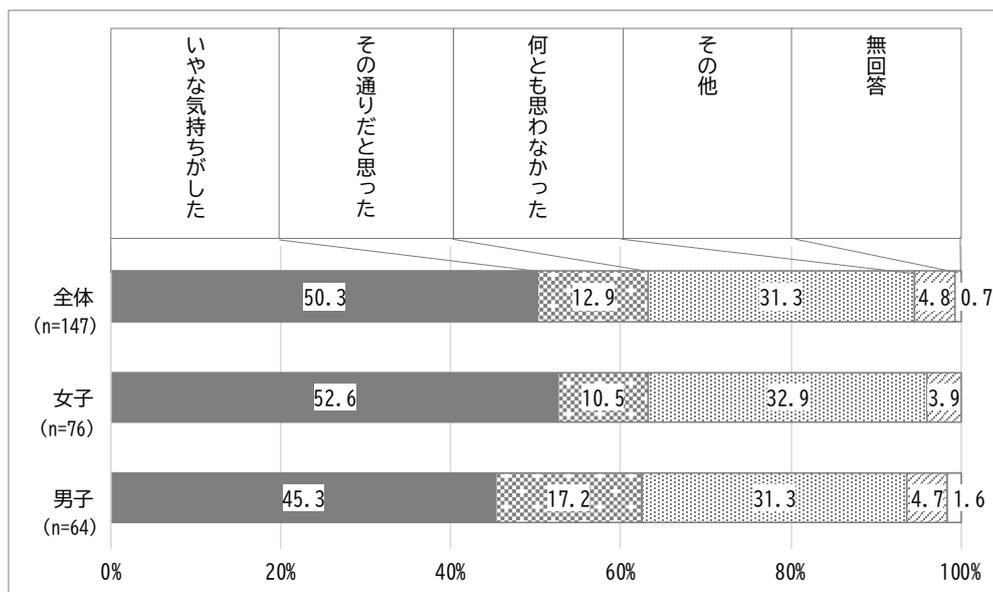


(4) 性別役割について注意されたときの心情 [S A]

問2-2 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(○は1つ)

全体では「いやな気持ちでした」が50.3%で最も多く、次いで「何とも思わなかった」が31.3%、「その通りだと思った」が12.9%となっています。

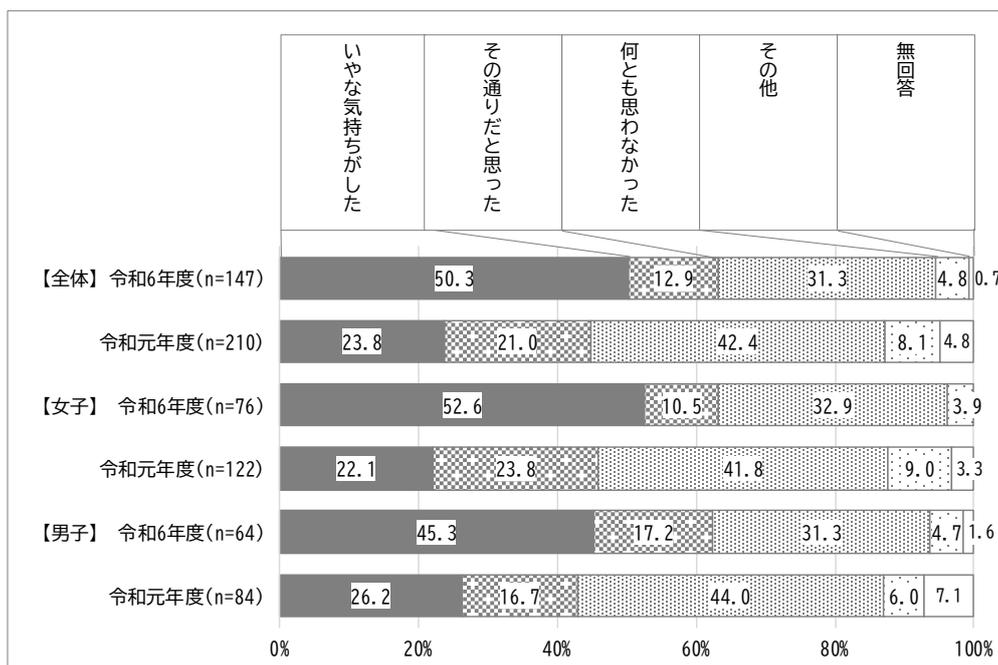
性別でみても同様の傾向であるが、女子は「いやな気持ちでした」が52.6%で約半数を占め、男子は「いやな気持ちでした」が45.3%、「その通りだと思った」が17.2%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「いやな気持ちでした」の割合が女子と男子ともに大きく増加しています。また「その通りだと思った」の割合が女子と男子ともに減少となっています。

男女ともに様々な機会に注意されることに対して理解するより心情が落ち込む傾向が高くなっています。



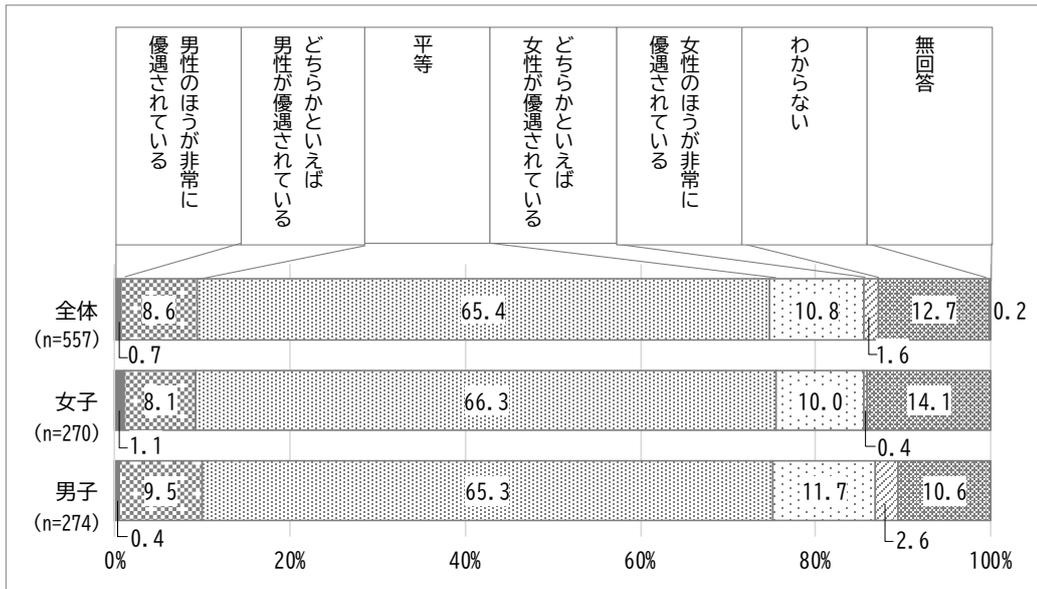
(5) 男女の地位の平等感 [S A]

問3 次の①～③の場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

① 家庭生活の場で

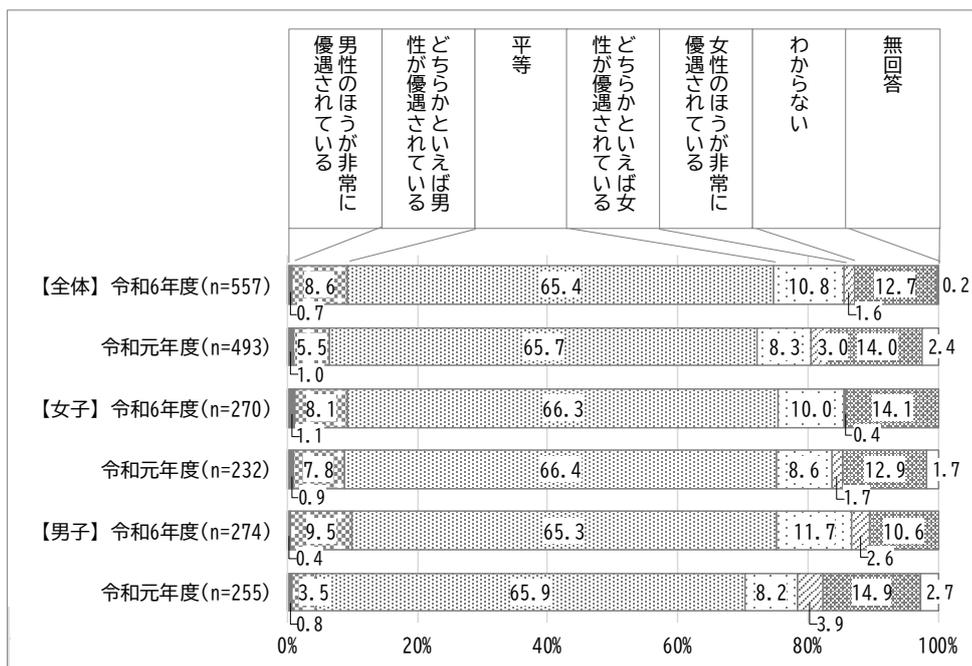
全体及び性別いずれも「平等」が多く、全体では65.4%、女子が66.3%、男子が65.3%となっています。また、「女性が優遇(合計)」は12.4%、「男性が優遇(合計)」は9.3%となっています。

性別でも同様の傾向ですが、「女性が優遇(合計)」の割合が男性よりやや高くなりました。



【前回調査との比較】

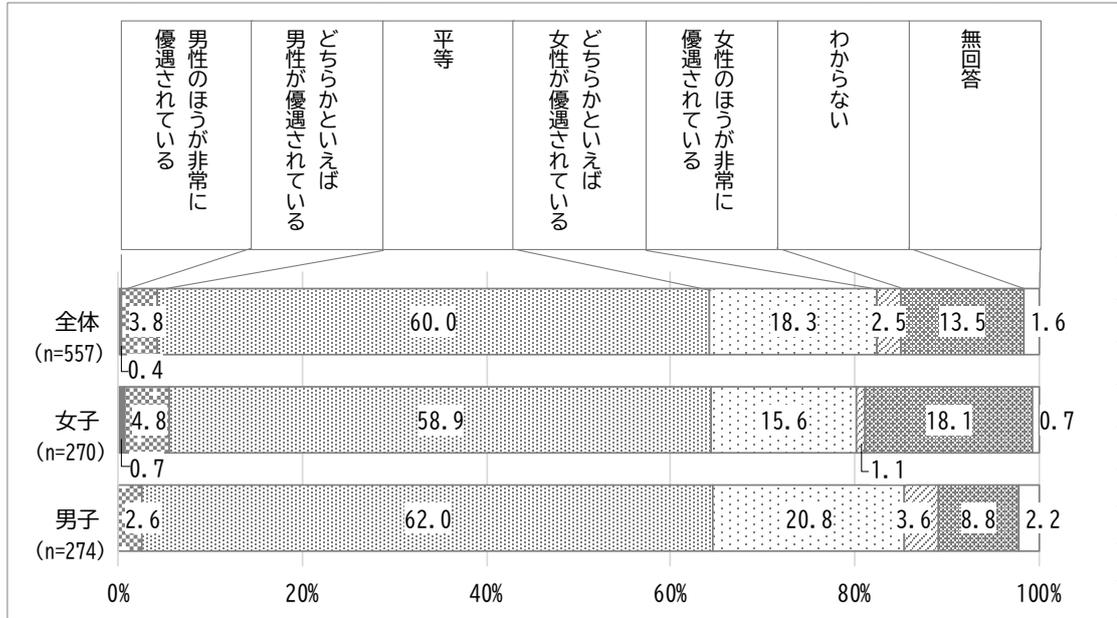
前回調査結果と比較すると、「平等」との意識は前回と同水準ですが、「男性が優遇(合計)」は6.5%から9.3%、「女性が優遇(合計)」は11.3%から12.4%でそれぞれ増加しています。性別で見ると、男子から見た女性優遇の意識が前回同様、高い傾向となっています。



② 学校教育の場で

全体及び性別いずれも「平等」が多く、全体では60.0%、女子が58.9%、男子が62.0%となっています。また、「女性が優遇（合計）」は20.8%、「男性が優遇（合計）」は4.2%となっています。

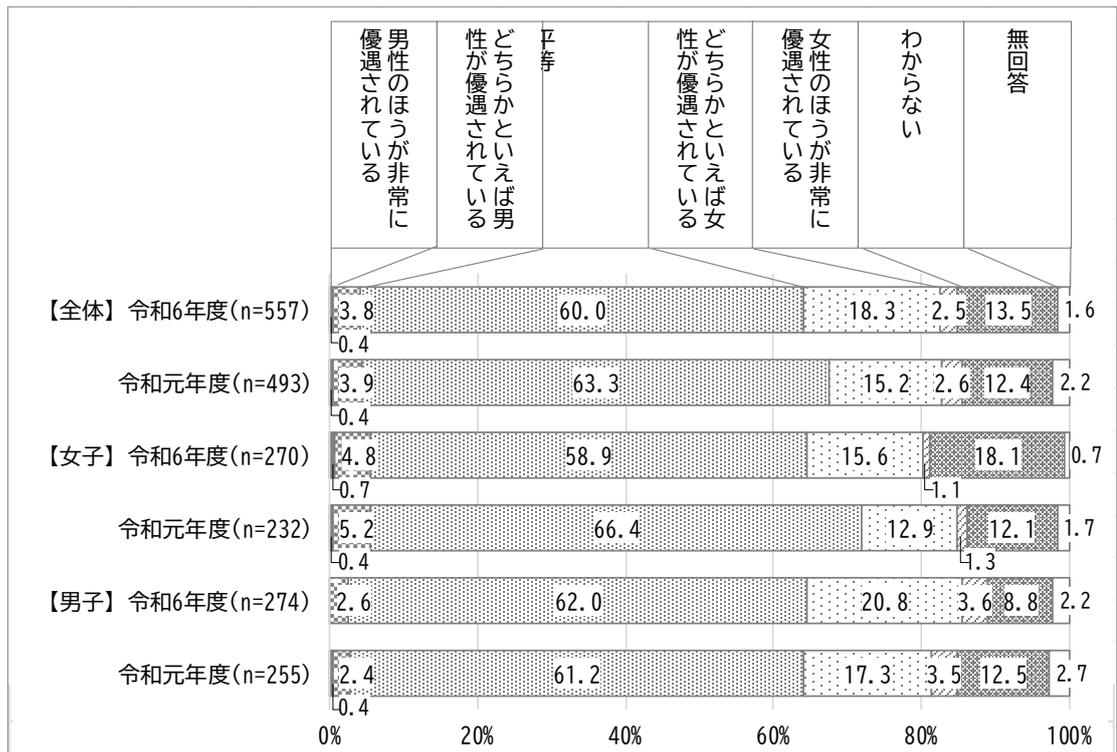
性別でみても同様の傾向ですが、「女性が優遇（合計）」の割合が男性より高くなっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「平等」との意識は前回より減少しています。

性別でみると、「女性が優遇（合計）」の意識が前回より高くなっており、男子の意識が女子より高い傾向となっています。

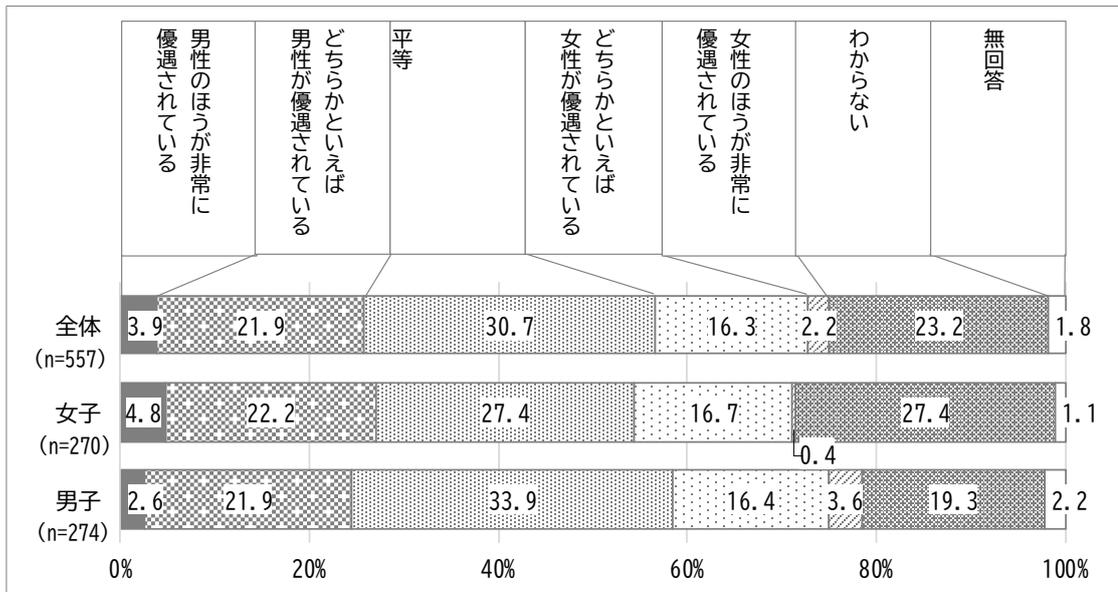


③ 社会全体の場で

全体では、「平等」が30.7%、「男性が優遇（合計）」が25.8%、「女性が優遇（合計）」が18.5%となっています。

性別でみると、女子は「平等」が27.4%、「男性が優遇（合計）」が27.0%、「女性が優遇（合計）」が17.1%となっています。

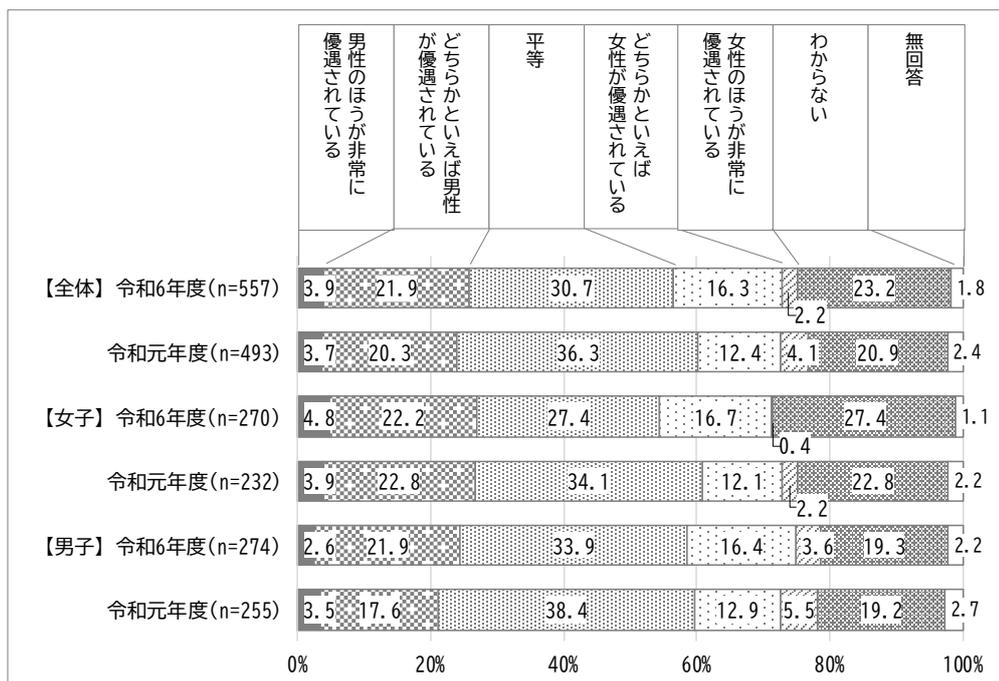
男子は「平等」が33.9%、「男性が優遇（合計）」は24.5%、「女性が優遇（合計）」は20.0%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「平等」との意識は前回より減少し、「男性が優遇（合計）」と「女性が優遇（合計）」の意識がそれぞれ高くなっています。

性別でみると、女子は「女性が優遇（合計）」の意識が前回より高くなっており、男子は「男性が優遇（合計）」と「女性が優遇（合計）」それぞれの意識が前回より高い傾向となっています。

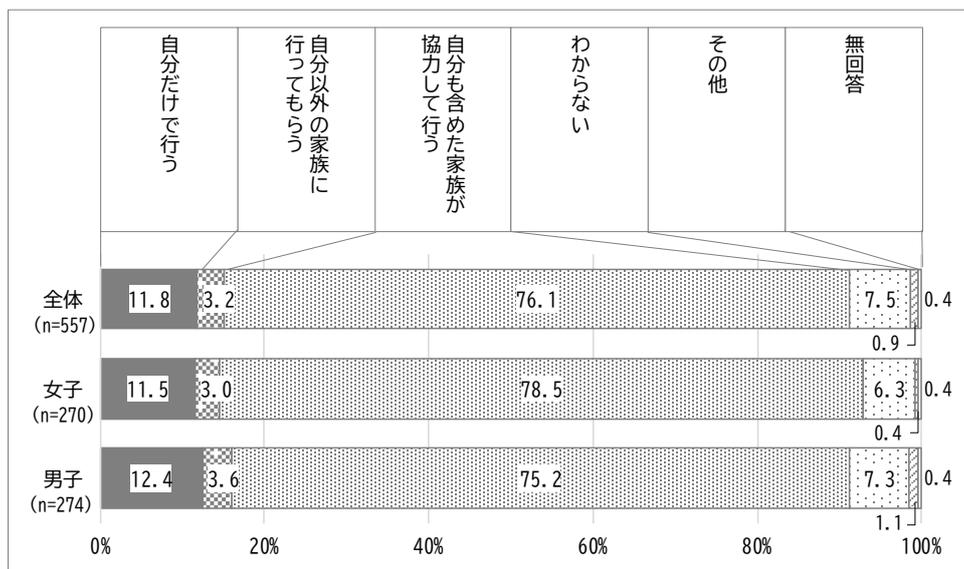


(6) 家事の役割分担 [S A]

問4 あなたは、大人になったときに、家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事をどのように行おうと思いますか。(○は1つ)

全体では「自分も含めた家族が協力して行う」が76.1%で最も多く、「自分だけで行う」が11.8%、「自分以外の家族に行ってもらおう」が3.2%となっています。

性別で見ても、女子、男子とも同様の傾向となっています。

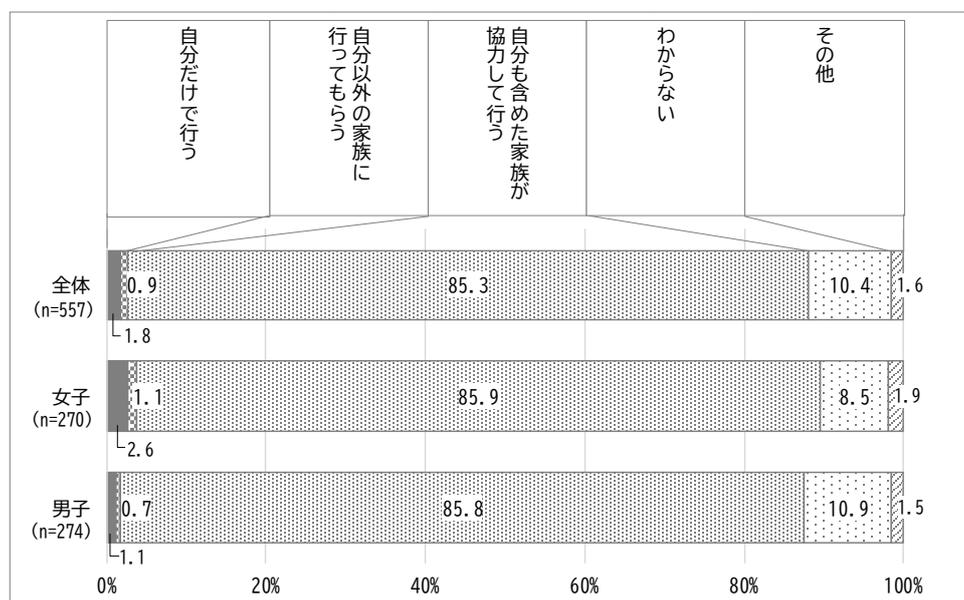


(7) 子育ての役割分担 [S A]

問5 あなたは、大人になり、子どもができたときに、どのように子育てを行おうと思いますか。(○は1つ)

全体では「自分も含めた家族が協力して行う」が85.3%で最も多く、「自分だけで行う」が1.8%、「自分以外の家族に行ってもらおう」が0.9%となっています。

性別で見ると、女子は「自分だけで行う」が2.6%、「自分以外の家族に行ってもらおう」が1.1%、男子は「自分だけで行う」が1.1%、「自分以外の家族に行ってもらおう」が0.7%となっています。

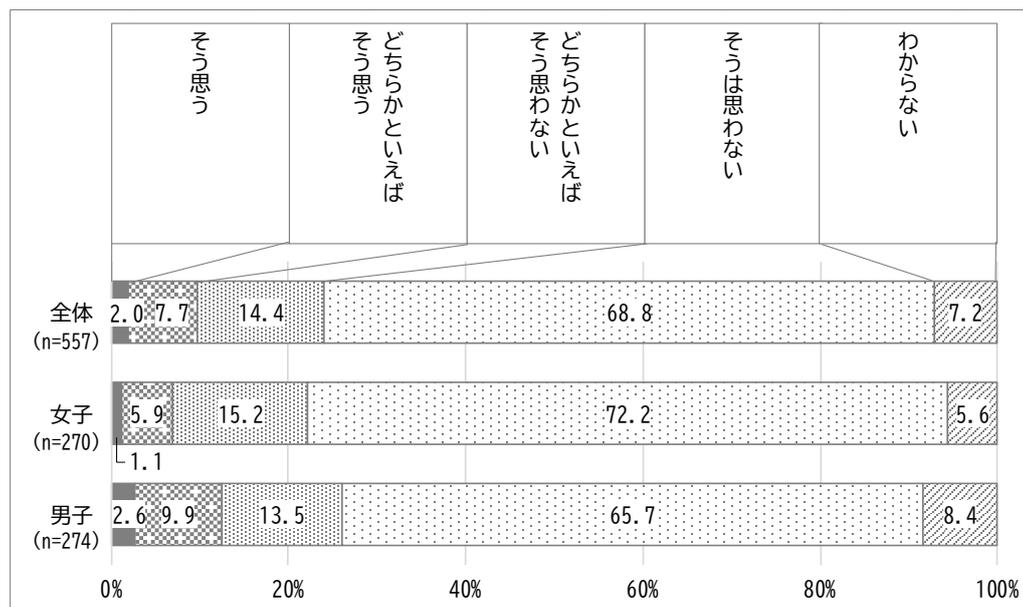


(8) 性別役割分担の意識 [SA]

問6 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」とあなたは思いますか。 (○は1つ)

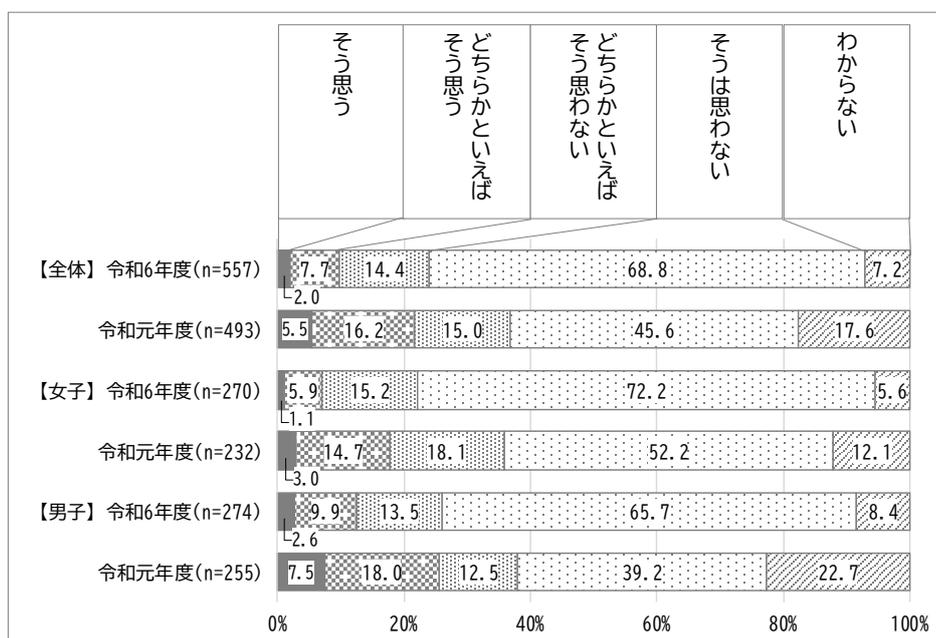
全体では「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」合わせて83.2%で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせて9.7%となっています。

性別で見ると、女子は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせて7.0%ですが、男子は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせて12.5%で男子の意識が少し高い傾向となっています。



【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「そう思わない」の割合が45.6%から68.8%と増加しています。性別で見ると、女子と男子とも「肯定する」割合は大幅に減少しましたが、男子は女子に比べて肯定する割合が高い傾向となっています。



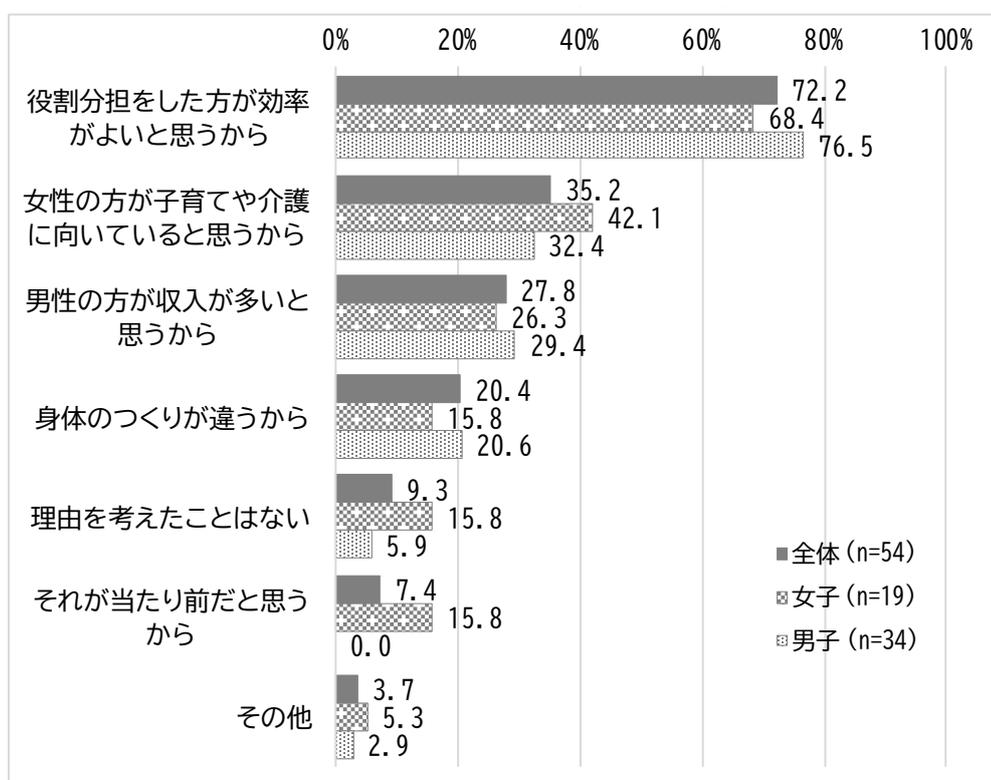
(9) 性別役割分担意識の理由 [MA]

問6-1 その理由をお教えてください。(〇はいくつでも)

① 「そう思う」の理由

全体では「役割分担をした方が効率がよいと思うから」が72.2%で最も多く、次いで「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」が35.2%、「男性の方が収入が多いと思うから」が27.8%となっています。

性別でも、全体と同様の傾向となっていますが、女子と男子とも、「女性の方が子育てや介護に向いていると思うから」が次に多くなっています。

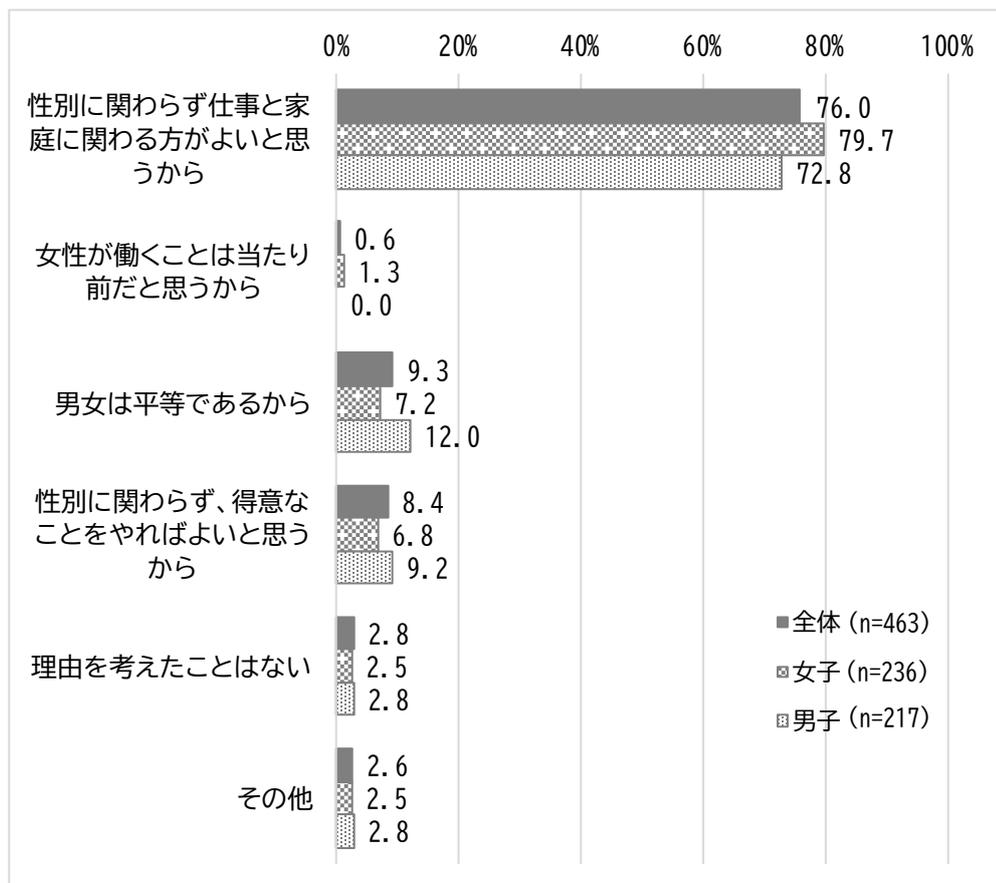


② 「そう思わない」の理由

全体では「性別に関わらず仕事と家庭に関わる方がよいと思うから」が76.0%で最も多くなっています。このほか、「男女は平等であるから」が9.3%、「性別に関わらず、得意なことをやればよいと思うから」が8.4%となっています。

性別でも、全体と同様の傾向となっていますが、女子と男子とも、「性別に関わらず仕事と家庭に関わる方がよいと思うから」が多い回答でした。

男子は、「男女は平等であるから」と「性別に関わらず、得意なことをやればよいと思うから」がやや女子より多い回答でした。



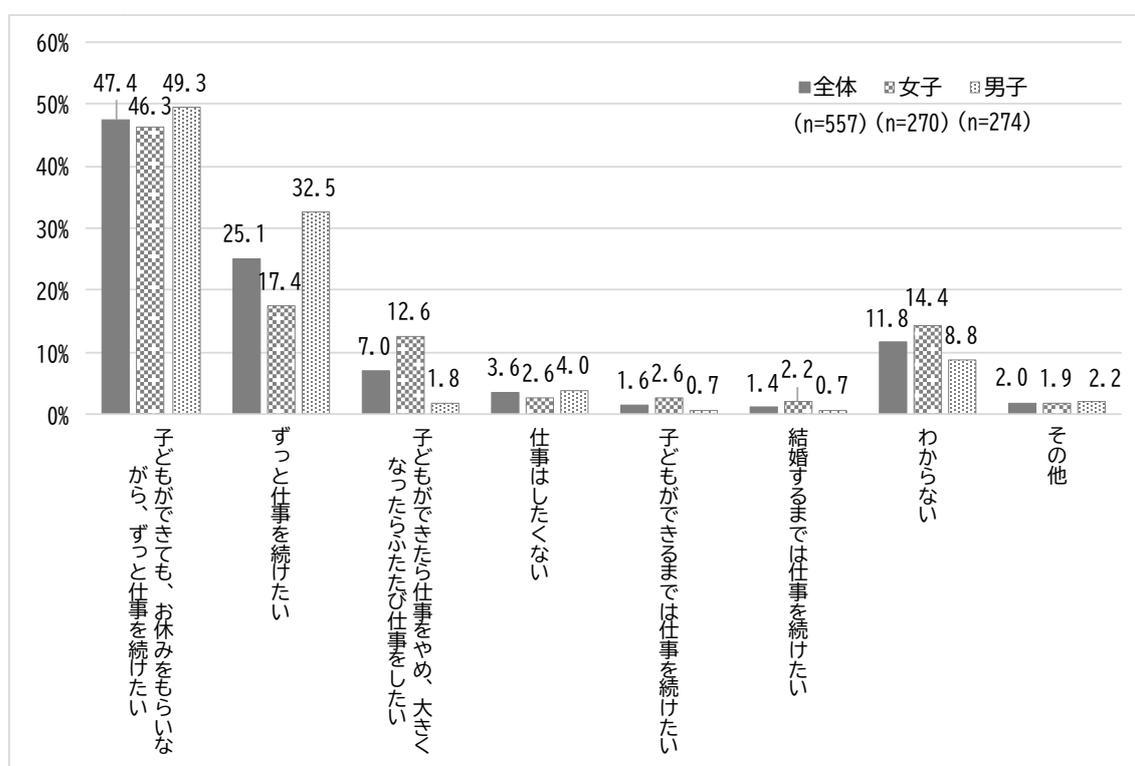
(10) 将来の働き方 [SA]

問7 あなたは、将来どのような働き方をしたいですか。(〇は1つ)

全体では「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が47.4%で約半数を占めています。次いで「ずっと仕事を続けたい」が25.1%となっています。

性別でみると、女子は「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が46.3%、「ずっと仕事を続けたい」が17.4%、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったらふたたび仕事をしたい」が12.6%となっています。

男子は「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が49.3%、「ずっと仕事を続けたい」が32.5%となっています。

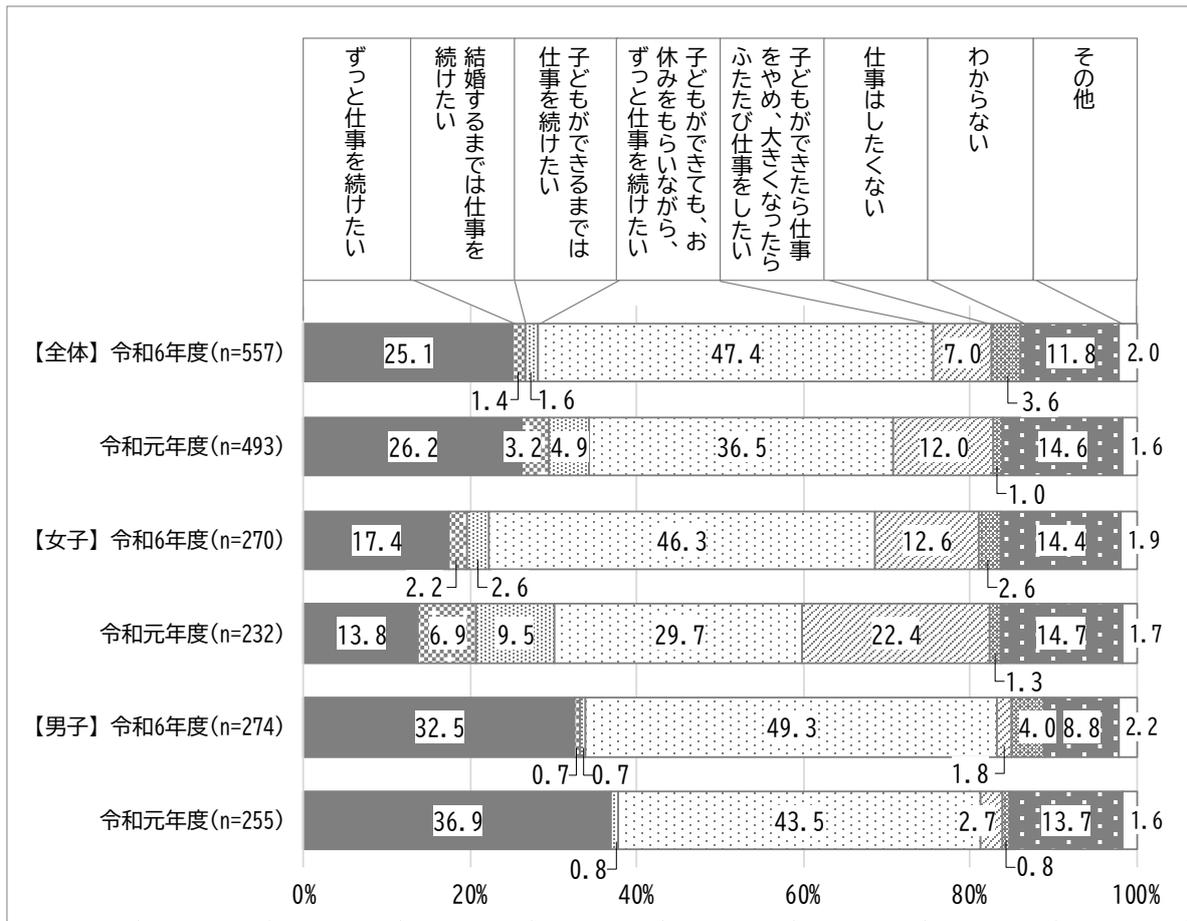


【前回調査との比較】

前回調査結果と比較すると、「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい」が前回結果より高くなっています。

性別でみると、女子は「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったらふたたび仕事を続けたい」が減少しています。

男子も「ずっと仕事を続けたい」が減少しており、「子育てと仕事の両立」を選ぶ傾向となっています。



【女子の希望する職種】

職種	人数	職種	人数	職種	人数
美容師	29	図書館司書	2	歯科衛生士	1
保育士	25	俳優	2	子供と関われる仕事	1
イラストレーター	24	社会福祉士	2	作曲家	1
教師	18	事務職	2	差別がなく平等になっている仕事	1
会社員	17	国際公務員	2	国家公務員	1
医師/医療関係	16	警察官/検察官	2	航空関係	1
看護師	15	銀行員	2	研究者	1
薬剤師	13	外交官	2	検疫探知犬ハンドラー	1
安定した職業	13	バレーボール選手/関係者	2	芸人	1
デザイン関係/デザイナー	13	プログラマー	2	警察犬訓練士	1
声優	9	スタバの店員	2	官僚	1
公務員	8	IT関係の仕事	2	絵関係	1
ペットショップの店員	8	エンジニア	2	画家	1
動物の飼育員	7	インフルエンサー	2	花屋	1
ディズニーキャスト	7	アナウンサー	2	営業	1
ヘアメイクアーティスト	7	陸上選手	1	宇宙関係	1
ダンサー	7	理学療法士	1	ロッテの社員	1
パティシエ	6	野球選手/野球関係者	1	リハビリテーション科	1
ネイリスト	6	本関係	1	ラジオのパーソナリティー	1
幼児教諭	5	舞台関係の仕事	1	テレビ/イベントスタッフ	1
漫画家	5	不動産	1	モノづくりをするところ	1
獣医師	5	俳優/役者	1	マンション管理	1
歌手	5	農業	1	ベビーシッター	1
音楽関係の仕事	5	猫カフェ	1	プリキュア	1
スポーツ選手/関係者	5	日清など	1	ファッションデザイナー	1
服飾関係	4	動物関係	1	ドンキの店員	1
YouTuber	4	動画関係	1	トリマー	1
接客業	4	投資家	1	ダンスに関わる仕事	1
自衛隊	4	建設業	1	タレント/アーティスト	1
建築業/建築士	4	調香師	1	ソフトボール選手	1
介護福祉士	4	男女平等な会社	1	スタッフ	1
飲食店関連	4	大手企業	1	ジュエリーショップ	1
パン屋	4	創作活動関係	1	サンリオのキャスト	1
ウエディングプランナー	4	水泳関係	1	コールセンター	1
アパレル店員	4	吹奏楽に関わる仕事	1	コーチ	1
アニメ関係	4	人のために役立つ事	1	カラーコーディネーター	1
製菓関係	3	新しいことに挑戦する	1	カメラマン	1
学者/研究者	3	障害者関係	1	カメラスタッフ	1
心理カウンセラー	3	証券会社	1	カウンセラー	1
作家	3	照明	1	ガイド	1
助産師	3	出張があるような仕事	1	アイリスト	1
管理栄養士	3	宿泊施設業	1	みんなで協力できる仕事	5
バスケットボール選手/関係者	3	趣味	1	作る仕事	4
ゲーム関係	3	通訳業	1	世界に関わることのできる仕事	3
キャビンアテンダント	3	社長	1	人の役に立つ仕事	3
弁護士	2	写真家	1	未定	40
専業主婦	2	自営業	1		

【男子の希望する職種】

職種	人数	職種	人数	職種	人数
会社員	33	総理大臣	2	健康に関すること	1
公務員	22	食品関係	2	居酒屋	1
教師	20	社長	2	球団職員	1
サッカー選手/関係者	18	国家公務員	2	技術者	1
IT関係の仕事	18	看護師	2	機械系	1
野球選手/関係者	17	音楽関係の仕事	2	楽しい仕事	1
スポーツ関係	16	駅員	2	外交官	1
安定した職業	15	タクシードライバー	2	介護福祉士	1
建築業/建築士	13	スポーツトレーナー	2	家具店	1
ゲーム関係	12	コンビニの店員	2	化石発掘	1
料理人/料理関係	11	タレント/アーティスト	2	化粧品会社	1
自衛隊	11	デザイナー	2	駅の掃除係	1
プログラマー	11	林業	1	映像関係	1
医師/医療関係	10	陸上選手	1	運動関係	1
YouTuber	10	翻訳業	1	運送	1
飼育員/動物関係	9	本関係	1	宇宙飛行士	1
飲食店関連	9	風俗店	1	リモート	1
鉄道運転士	8	建設業	1	ホテルマン	1
警察官/検察官	8	動画関係	1	ペットショップの店員	1
プロスポーツ選手	8	通訳業	1	プロスノーボーダー	1
学者/研究者	7	調理師	1	パティシエ	1
薬剤師	7	地方公務員	1	テレビ/イベントスタッフ	1
鉄道関係	7	大手企業	1	テニス	1
農業	5	設計会社	1	ダンスに関わる仕事	1
投資家	5	正社員	1	ダイバー	1
消防士	5	親の会社	1	ジャーナリスト	1
エンジニア	5	審判	1	サックスプレイヤー	1
デザイン関係/デザイナー	4	出版社員	1	ケーキ屋	1
美容師	4	柔道整体師	1	クレーンオペレーター	1
接客業	4	自然を守る仕事	1	グラウンドキーパー	1
銀行員	4	自営業	1	お坊さん	1
漁師	4	コーチ	1	イラストレーター	1
ディズニーキャスト	4	プロボクサー	1	イベント関係	1
保育士	3	子供と関わる仕事	1	イトーヨーカドーの店員	1
俳優/役者	3	作曲家	1	アパレル店員	1
税務職員	3	裁判官	1	自分に合ってる/好きな仕事	23
車関係	3	世界に関わることのできる仕事	1	稼げる仕事	10
プロゲーマー	3	航空関係	1	人の役に立つ仕事	4
バスケットボール選手/関係者	3	工業系	1	作る仕事	4
ダンサー	3	好きな芸能事務所の社員	1	みんなで協力できる仕事	3
漫画家	2	公務員以外	1	体を動かせる仕事	1
弁護士	2	公務員	1	未定	42
獣医師	2	公認会計士	1		
大統領	2	検察官	1		

(12) 男女共同参画に関する言葉の理解度 [S A]

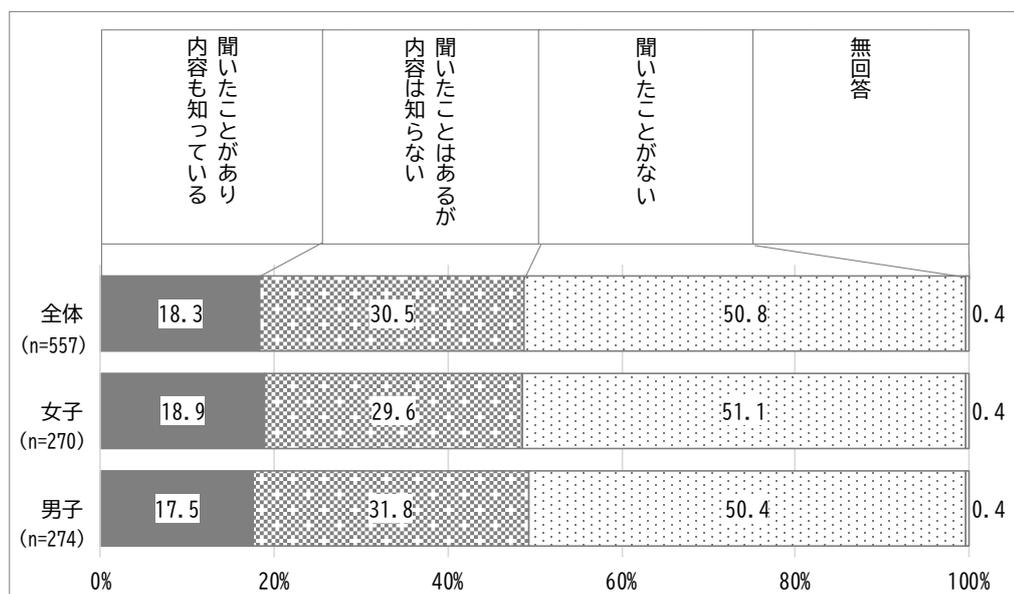
問9 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

① 男女共同参画社会

全体では「聞いたことがない」が50.8%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が30.5%、「聞いたことがあります内容も知っている」が18.3%となっています。

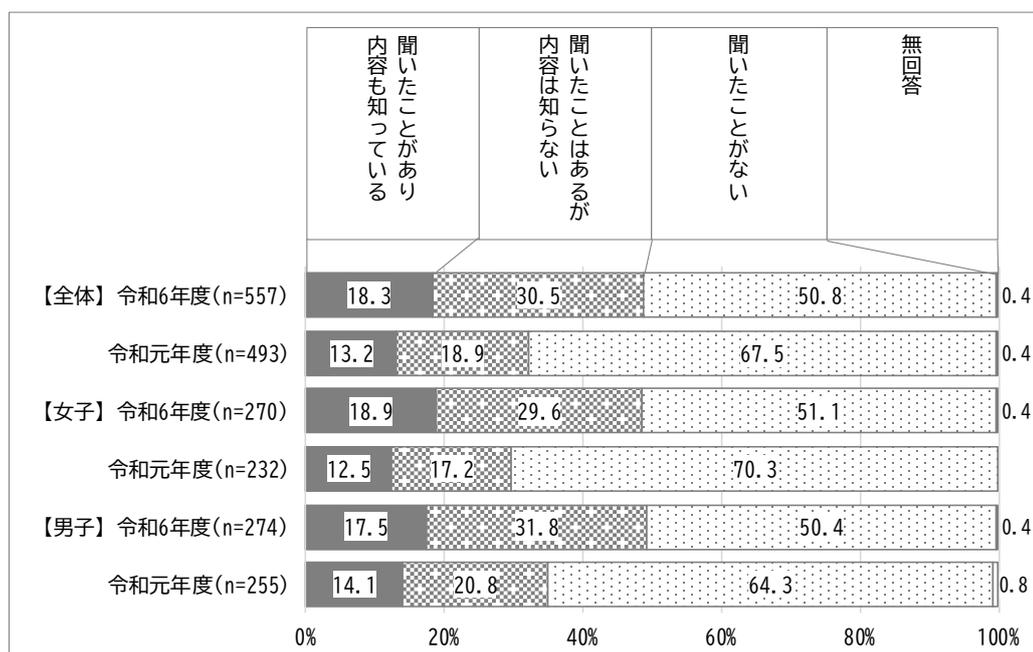
性別でみると、女子は「聞いたことがない」が51.1%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が29.6%、「聞いたことがあります内容も知っている」が18.9%となっています。

男子は「聞いたことがない」が50.4%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が31.8%、「聞いたことがあります内容も知っている」が17.5%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「聞いたことがあります内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」合わせて、32.1%から48.8%と認知度は高くなっています。

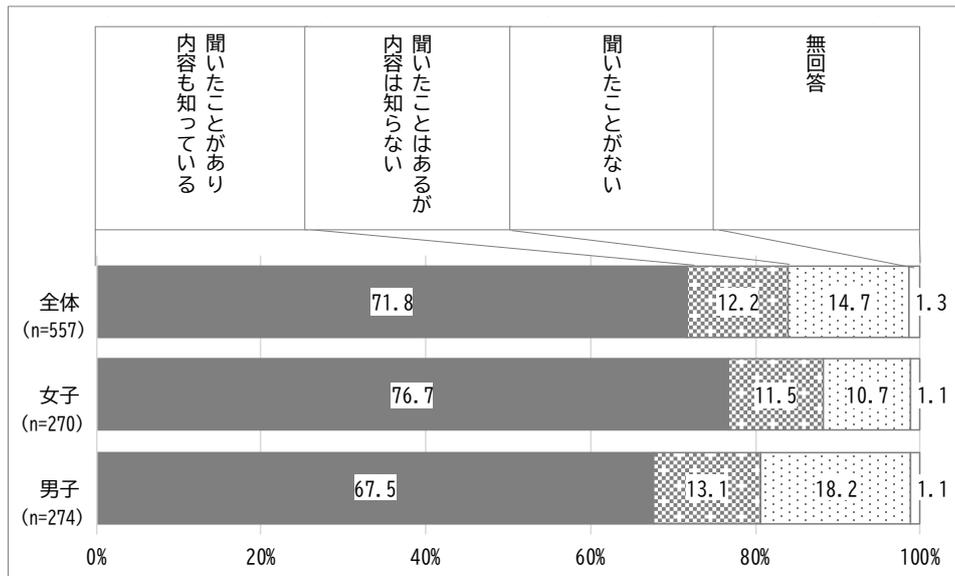


② DV（ドメスティック・バイオレンス）

全体では「聞いたことがあり内容も知っている」が71.8%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が12.2%、「聞いたことがない」は14.7%となっています。

性別で見ると、女子は「聞いたことがあり内容も知っている」が76.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が11.5%、「聞いたことがない」が10.7%となっています。

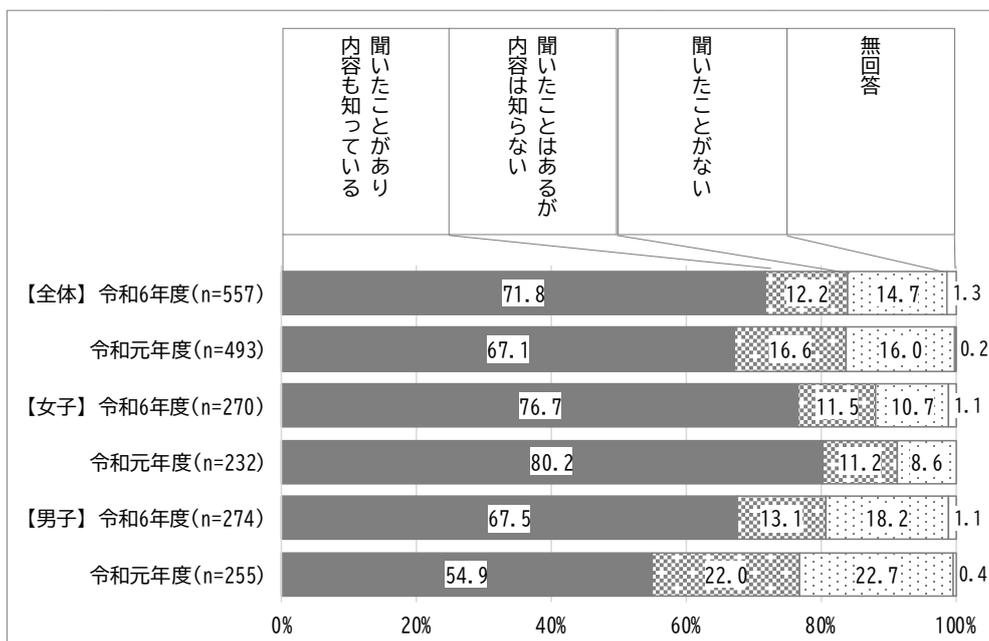
男子は「聞いたことがあり内容も知っている」が67.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が13.1%、「聞いたことがない」は18.2%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」合わせて、67.1%から71.8%と認知度は高くなっています。

性別で見ると、「聞いたことがあり内容も知っている」が女子は減少していますが、男子は上昇しています。

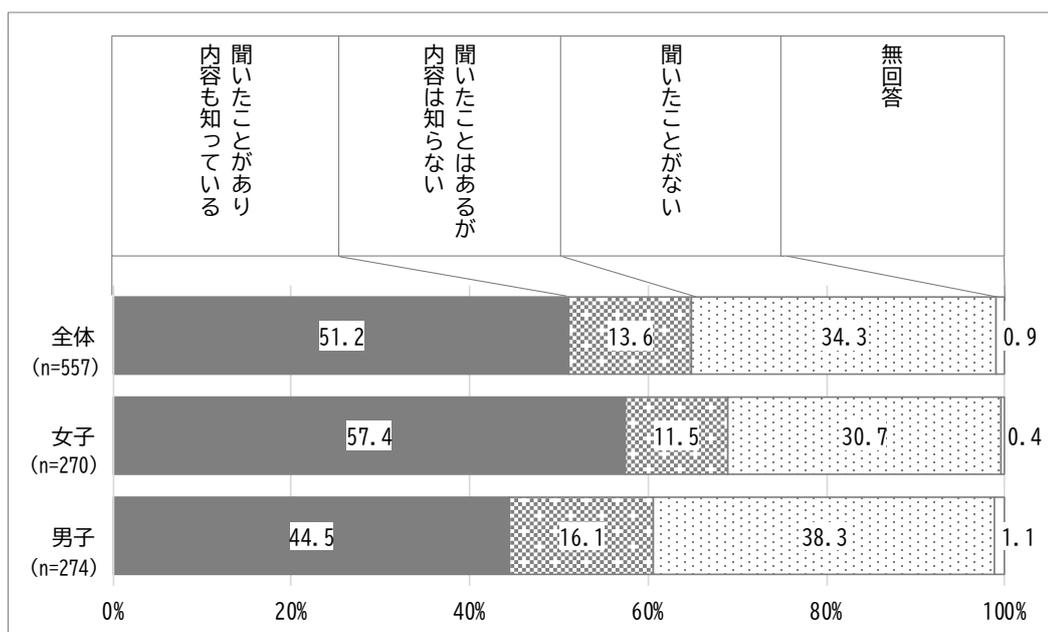


③ デートDV

全体では「聞いたことあり内容も知っている」が51.2%で、「聞いたことはあるが内容は知らない」が13.6%、「聞いたことがない」は34.3%となっています。

性別でみると、女子は「聞いたことがあり内容も知っている」が57.4%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が11.5%、「聞いたことがない」は30.7%となっています。

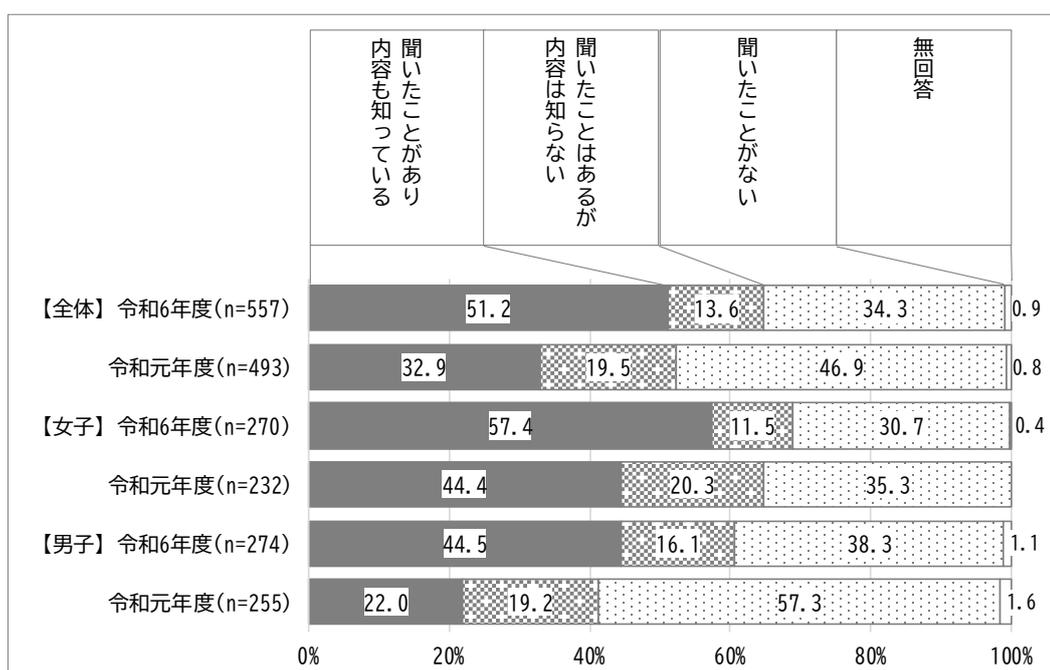
男子は「聞いたことがあり内容も知っている」が44.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が16.1%、「聞いたことがない」は38.3%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」合わせて、52.4%から64.8%と認知度は高くなっています。

性別でみると、「聞いたことがあり内容も知っている」は女子と男子ともに増加しています。



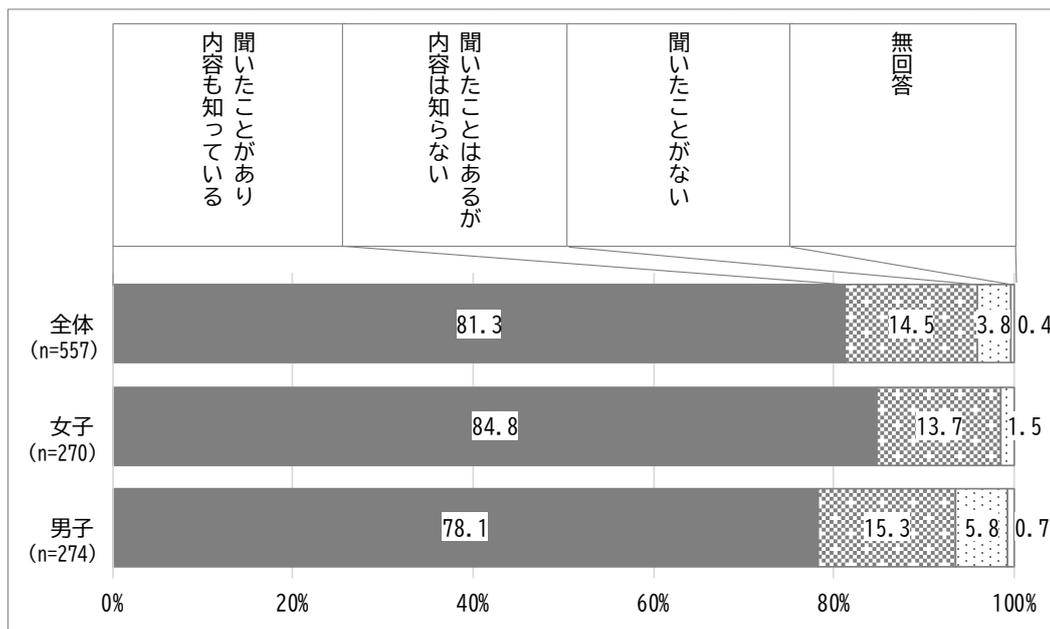
④ セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

全体では「聞いたことがあり内容も知っている」が81.3%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が14.5%、「聞いたことがない」は3.8%となっています。

性別でみると、女子は「聞いたことがあり内容も知っている」が84.8%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が13.7%、「聞いたことがない」は1.5%となっています。

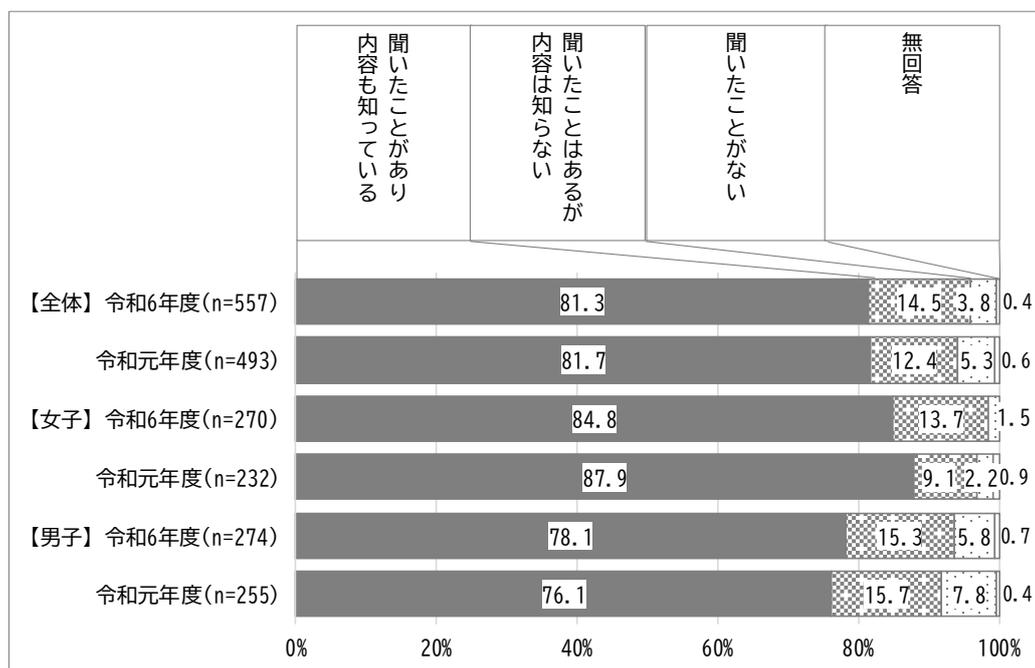
男子は「聞いたことがあり内容も知っている」が78.1%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が15.3%、「聞いたことがない」は5.8%となっています。

女子は認知度が男子より高く、内容も含めて認識されています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」合わせて、94.1%から95.8%と前回同様に認知度が高くなっています。

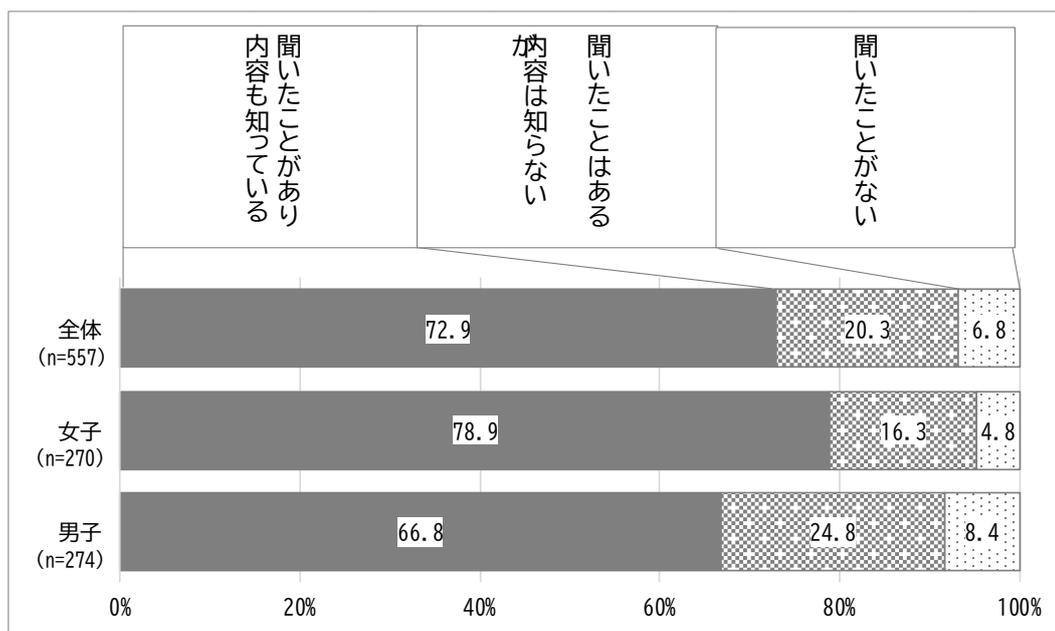


⑤ ジェンダー

全体では「聞いたことがあり内容も知っている」が72.9%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が20.3%、「聞いたことがない」は6.8%となっています。

性別でみると、女子は「聞いたことがあり内容も知っている」が78.9%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が16.3%、「聞いたことがない」は4.8%となっています。

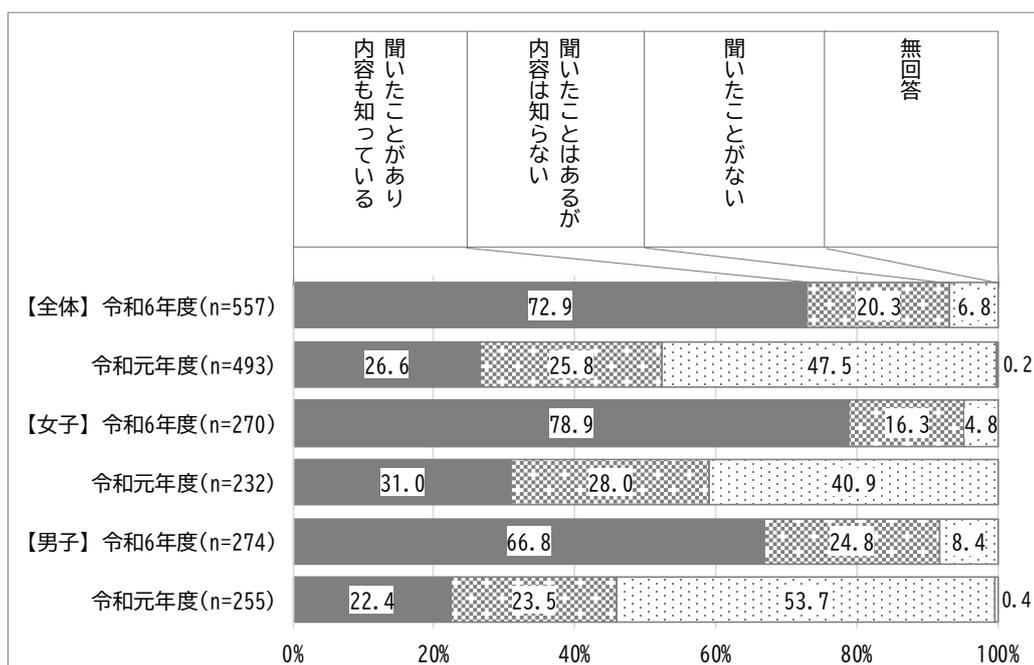
男子は「聞いたことがあり内容も知っている」が66.8%で最も多く、「聞いたことはあるが内容は知らない」が24.8%、「聞いたことがない」は8.4%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「聞いたことがあり内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」合わせて、52.4%から93.2%と大きく増加しています。

性別でも、内容も含めて認知度が前回より上昇しています。



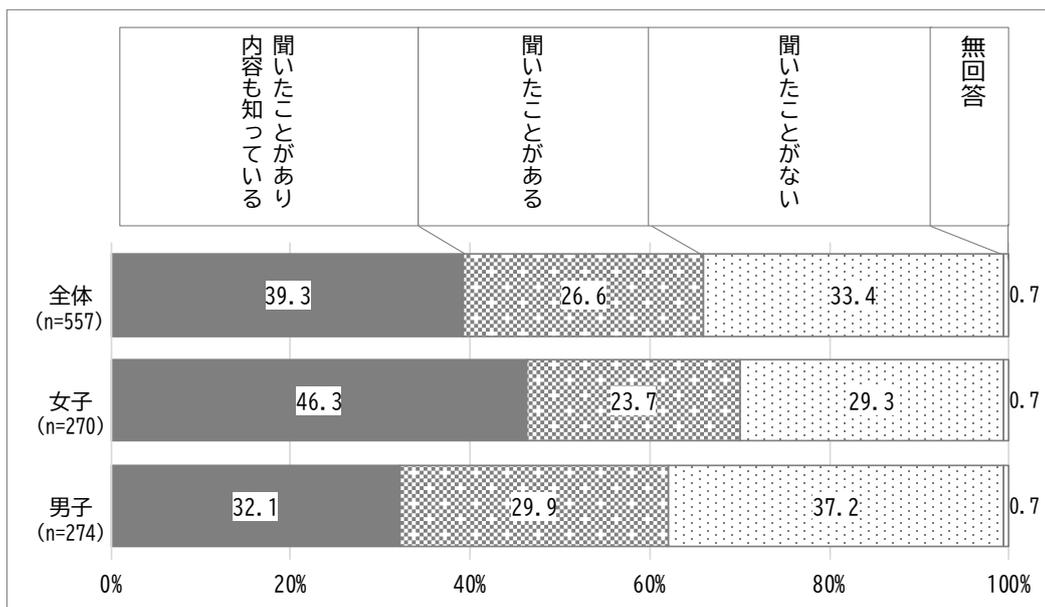
(13) 言葉の認知度 [SA]

問10 あなたは、LGBTQという言葉を知っていますか。(〇は1つ)

全体では「聞いたことがあります内容も知っている」が39.3%、「聞いたことはある」が26.6%、「聞いたことがない」は33.4%となっています。

性別でみると、女子は「聞いたことがあります内容も知っている」が46.3%、「聞いたことがある」が23.7%、「聞いたことがない」は29.3%となっています。

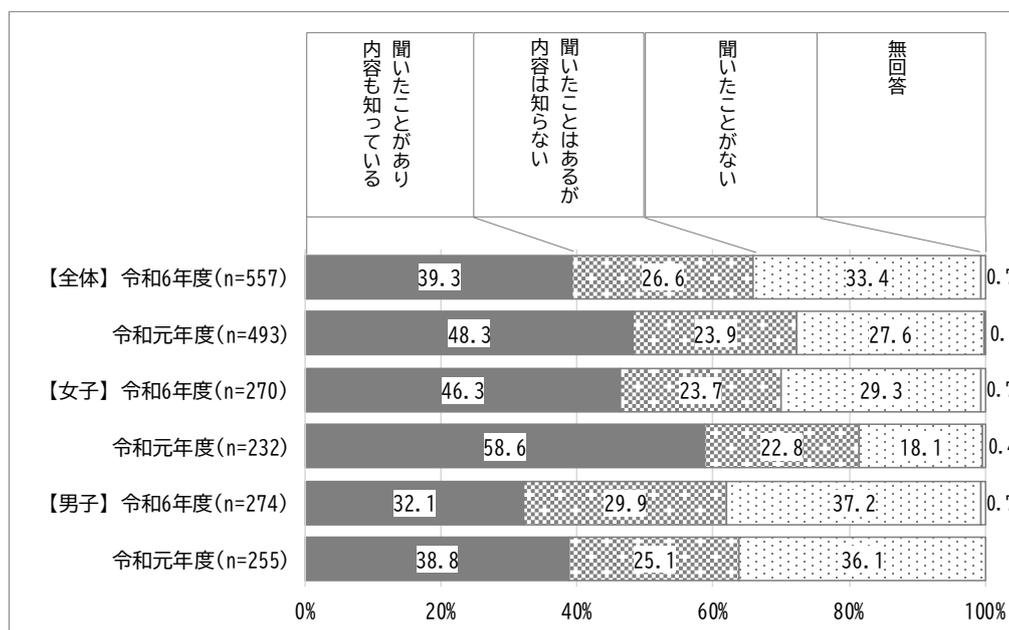
男子は「聞いたことがあります内容も知っている」が32.1%、「聞いたことがある」が29.9%、「聞いたことがない」は37.2%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「聞いたことがあります内容も知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」合わせて、72.2%から65.9%と減少しています。

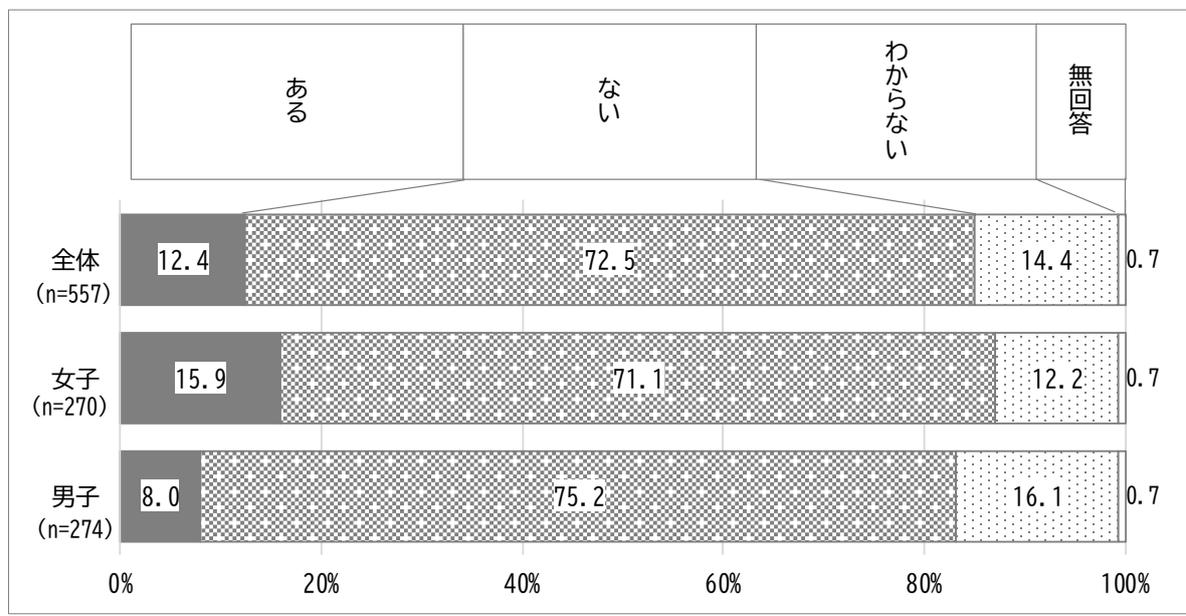
性別でみると、女子と男子ともに認知度が低下していますが、女子は「聞いたことがあります内容も知っている」が58.6%から46.3%と大きく減少しています。



(14) 性自認の悩みの有無 [S A]

問 11 あなたは、自分の性について悩んだことはありますか。(○は1つ)

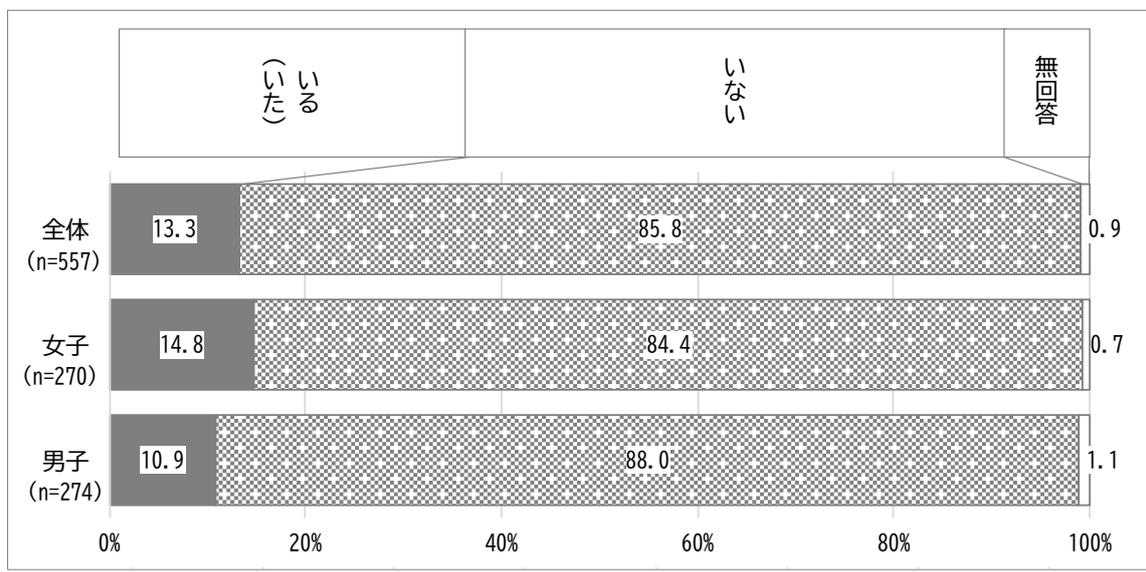
全体では「(悩んだことが) ある」が12.4%、「(悩んだことは) ない」が72.5%となっています。性別で見ると、「(悩んだことが) ある」が女子は15.9%、男子は8.0%で女子の割合がやや高くなっています。



(15) 性自認や性的指向に悩む人の有無 [S A]

問 12 あなたの周りに自分の性自認(自分の性別をどのように認識しているか)や性的指向(どのような性別の人を好きになるのか)について悩んでいる人はいますか。(○は1つ)

全体では「(悩んでいる人が) いる」が13.3%、「(悩んでいる人は) いない」が85.8%となっています。性別で見ると、「(悩んでいる人が) いる」が女子は14.8%、男子は10.9%で女子の割合がやや高くなっています。

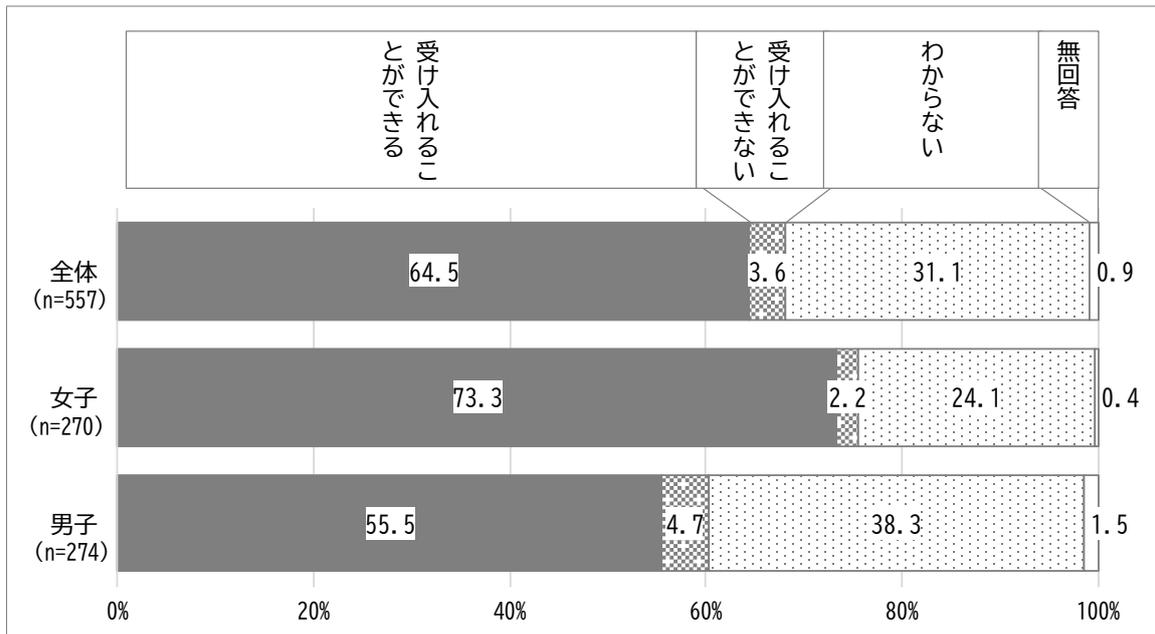


(16) 性自認や性的指向に悩む人への心情 [S A]

問 13 もし悩みを打ち明けられた場合、どのように感じますか。(○は1つ)

全体では「受け入れることができる」が64.5%、「受け入れることができない」が3.6%、「わからない」は31.1%となっています。

性別で見ると、女子は「受け入れることができる」が73.3%、「受け入れることができない」は2.2%で、男子は「受け入れることができる」が55.5%、「受け入れることができない」が4.7%となっています。



(17) 自由記述（男女平等について日頃感じていることや疑問に思うこと）

問 14 男女平等について、日ごろ感じていることや疑問に思うことなどを自由に書いてください。

男女平等について、日ごろ感じていることや疑問に思うことなどを自由に記述いただいたところ、208 人から回答が寄せられました。

	(件)
総計	208
男女平等の考えについて	77
男女の性差・役割分担について	33
教育・学校生活について	11
性の多様性について	20
仕事について	4
暴力・嫌がらせについて	2
家庭生活について	4
その他の意見	57

【主な意見】

男女平等の考えについて

- 男女差別をなくすべきだと騒ぐ割には何もしていないなあ…と思う
- 女のほうが少し優遇されていて平等じゃないと少し思う
- 平等な部分も多いけど、社会では昔問題になっていた女性への差別を気にしすぎている気がする。
- 男子は力が強く女子は器用というイメージになっていること
- 男女平等は大事だけど同じように扱うのは違うかなと思う。スカート＝女子みたいなイメージが強すぎる。
- 男女不平等な一昔前の風潮がなぜ消えないのか
- 女子を優先している。
- 平等にすれば平和だと思う
- 女だからや男だからという考えをなくしていくべき
- なぜ昔は、男は働く、女は家庭をまもる なんて考えがあったんだろう
- 男も女も平等なのにも関わらず、たまに男子にだけ接するのが多いことがある人がいた。
- レディーファーストとは？ そんな言葉使わないほうが良いと思う。
- 人間は全員が人権を持ってみんなが平等であるはずだから「男だから、、」「女だから、、」という風に分けることはいけないなと改めて思いました。
- 平等な社会になってほしい。

- 学校ではそこまで男女差別を感じていないが社会に出ると少しは男女差別がありそうです
- 〇〇だからと言って相手を嫌な思いをさせたりしているのに気づかないのはなぜかわかんない。
- 性別関係なく接する
- 身に着けているものや持っているものに男らしさ女らしさというものがあることに疑問を感じている。
- 性別による固定概念をなくしてほしい
- 以前よりは少なくなったけれど、まだ男女の偏見や差別が残っていると感じる。
- みんな男女問わず仲良くしている
- 男女平等は進めるべきだと思うが、体の面で違うところも多いのでとても難しいと感じている。
明確な内容を、国が国民全体に伝えるべきだと思う
- なぜ世間が認めないのかと思ってしまう
- 日本という国は男女平等を認めていると思うが、国民にはそこまで関心がなかったり、認めている人が少ないと感じている。
- 男女平等を意識しすぎていると感じる。男女ではなく人として平等にしてほしい
また、男女平等を認めない人もいるということも理解すべきだと思う
- 女の人が社会的に守られて過ぎて、更に女には優しくしたり優遇されてなんかいや。他にも調子に乗ってるのがいや
- 男女不平等はなくすべき
- 女子は赤、男子は青
- 男女平等を否定する人の否定する必要性が分かれな
- 平等を求めているはずなのに優位に立とうとしている人
- 男の子だから女の子だからと決めつける理由がわからない
- 補いあうことが大切だと思います
- 性別ではなく人という種族で区別すればいいと思う
- 男女で多少言葉遣いが変わっている気がする
- ある程度のことを守っていれば男女平等だと思う
- 基本的には男女平等だと思うが、一部の人や場所では男性が優遇されていたり、女性が優遇されていると思う。
- ニュースなどでよく言われているけれど、日常生活で、ほとんど男女不平等を感じることはありません。
しかし、誰もが自分の持っている才能、個性を發揮して、生きていける社会になるといいと思います。
- 男子トイレ、女子トイレなどで問題が起きていますが体で判断すればいいと思います。また批判を食らうような発言は避けたいですね。
- 男女の地位の話はあまり聞かなくなりましたが、当たり前のようにそれに似た話を聞きます。
- 男女平等は必ず守らないといけないのですか？
- 差があるのはしょうがない
- もちろん男女平等は大事だが、過剰なものは少しどうかと思う。
- 女性や男性それぞれに対する偏見が定着していると感じている。また、男女平等を目指している社会の中、女もしくは男の方が下と上下関係を決めつけた考えを持っている人を見たことがある。実際、そんな人がいなくなることはないので、男女平等を達成することは不可能なのではないかと思う。
- なんやかんや男女平等の社会ではない気がする
- もっと平等にしたほうがいいと思う、例えば、男子はピンがダメとか意味が分かりません。

- 最近は男女平等が当たり前になってきていると感じている。
- レディーファーストいらなと思います
- なぜ男女平等に接していけないのか？
- なぜ男性はこう、女性はこうという考えが世間に広まったのか疑問に思います。
- 日本はまだまだ平等には遠いのかなと思いました。
- 男子は男子だけ、女子は女子だけみたいなのはなくなってほしい
- 女の子だから、という理由で嫌な気持ちを少ししかしないのは、幸せなことなんだと思うし、女という理由だけで仕事がもらえなかったりした時代にこの気持ちを少ししかしなかった人たちはいなかったんだろうなと今日このアンケートで考えることができた。
- 平等より公平のほうが良いと思う
- 女性専用車両などを聞いたことがあり、男女関係なくすごせたらいいなと思います。
- 痴漢とかで被害を訴える人が多いならもう少し女性専用車両とか作った方が勘違いもされないしいい
- 女性専用車はあるが、男性専用車はないということ
- 電車の女性専用車両の取り組みはとてもいいと思う
- 男性のほうが力などが強いから女性が守られるのは当然だけど、最近の日本は女性よりも男性の立場が低く感じられる。(女性専用車両を作るなら男性専用車両も作ってほしい)
- 女性専用車両は女性の安全を守るためにあるとも言えるけれどそれもジェンダーレスになるのではないかと思います。
- 勝手に昔の人が女性像、男性像を考えてるんだから昔の人と話し合ってください
- よく聞く話で「男だから奢る」や、「女だから上品に」が、なんでそうなんだろう？と思います。
- 男の人は私と言っていいのに、女の人が僕や俺を使うのがおかしいのか。
- 最近女性用〇〇が増えてるなと思う。
- 女性がズボン履くのは普通なのになぜ男性がスカート履くと馬鹿にされるのか
- 最近女子だから〇〇などなくていい社会になってきていると思う
- 男女ともに平等な立ち位置にいられる関係になってほしい。
- うるさいと言ったら男子みたいなイメージがある
- 女子には強く怒らないのなぜですか？
- 服装など
- あなたは何々だからといってすぐに決めつけている

男女の性差・役割分担について

- なんで私っていう男性は礼儀正しいって言われるのに、俺とか僕っていう女性は気持ち悪いって言われるんですか？
- 女子が悪い時があるのに全部男子が悪いようにされること
- 力仕事の時に男子しか呼ばれないとき、身長が小さく細めの男子も含まれることに違和感を感じる時がある。
- 同じ大学でも女性のほうが厳しいのか。社会でどことなく男性が有利な気がする。
また、政治家が年をとった男性が多いため、若い人や女性のためでなく、年のとった男性が生きやすい政治な気がする。女性や若い人の政治にも目をむけられないのかと思う

- 仕事や家事は、男女関係なくやるのがいいと思います。
- 仕事を分担するときに、これは男子、これは女子と決めつけられるときに、少し違和感を覚える
- すべてのことや物を男女共有という形にしてしまったら学校のプールなども一緒になってしまうのですこし気になります。
- 女性だから〇〇した方がいいっていうのがよく分からない
- なんで女性専用車両があるのだろうか
- 女性専用車両はあるのになんで男性専用車両はないのか
- 制服違う
- 接し方
- なぜ男のほうが筋肉があるのか
- 昔に比べて自分の好きな仕事に就けるようになった
- 男子や女子だからといって色々強制するのはよくないと思う {手伝いなど}
- 社会の上のほうに位置する人が男性のほうが多いことが疑問
- ～だからできるなど
- 女性はこういうだとか男性はこういうものだとかだれがきめたんだろう？ どういうつもりで言ったんだろう？
- 男子だから力があるという偏見について
- 男が荷物を持つのは当たり前っていう風潮があるからみんなで持てばいいとは
- 女だけが家事をしない
- 男子は力があるから力仕事とかそういうの一理あるから男女平等とか難しいなと思う
- 同じ内容なのに優遇されることがある。あまり気にしてないけど
- 「男子は力があるから」と学校で教科書を運ばされているのが不平等だと思う
- 女性や男性だからと仕事を断られたりすること
- なぜ女は家事を、男は必ず働かないといけないのか、いまだに謎です。
- 女は家事とか男は仕事とかそんな古臭い決まりは破り捨てたほうがいいと思います。
- それぞれの体に合った仕事をすべき
- 女子という目線からだけで言うと、社会がどうかじゃなくて、生まれた時点でハンデを背負い、毎月地獄を経験しているので、仕事の差は仕方がない側面もあると思った。
- 持久走の距離はなぜ男子のほうが長いのですか
- 男性と女性の体つきや体力などの違い、女性の暴力はそれほどであったとしても男性の暴力は本当に危険で男性が短気を起こさないようになだめたり非難しなければならないほどであること、どうしてそこまで違いが出るのか

教育・学校生活について

- 先生が女子にやさしい
- 学校でも、女子が優先されて考えられていることがあって、なんで女性優先な社会が作られていたのかわからない。
- 僕は女性ではないが、特に塾で、女性ってかわいそうだなと思う時があります。高校受験で、早慶以上のレベルの、女性が受けられる高校は本当に少ないです。お茶の水、慶女、筑附、早実、本庄、、、こんなものです。確かに頭はいいものの、やはり受けれる高校が限られているため、鬼門になります。すると、塾のクラス分けテストの合格点も、おのずと男子より上がります。「男子だったら受かったのに、、、」たまにそんなことを聞きます。特にクラスに落ちた人が、僕は、これは本当にひどいことだと思っています。
- 自分の学校の制服が男性でも女性でも着られる制服に変わり、男女平等というものが身近になってきているなと感じました
- プールの時、女子は7月に入るのに、男子は9月に入るので、寒く感じ、風邪を引いてしまったのでプールに入る期間を変えることができないのかなと思いました。そして、中学1年生の時も女子からだったので変えることはできないかなと思いました。
- 教育の場面で女性が優遇されてきているのでは
- 社会的にもっと男女平等に知るべきだ。
- 中学生になって少し女子とかかわりにくい
- 男女の関わりが高校とかになって共学じゃない場合だと少ないため差別がうまれやすそう
- 母親が、弟に教育する際、「男に二言はない」という言葉を使っているのを聞いたことがある。ただ単に、嘘をついたり自分で言ったことをやらないことは良くないことを教育したかっただけだと思うが、その言葉は社会で使っても良いのか、疑問に思った。日本にもともとこのような言葉は、これから死語になっていくのか、疑問に思った。
- ジェンダー平等なんだから、男女一緒に着替えてもいいんじゃない？

性の多様性について

- 同性愛が認められない理由
- 同性の結婚を認めないこと
- 会社に行っている人が男性だけでなく女性も増えていることに平等な世界になってきていると思いました。だけどたまにまだ昔の考えで同性愛を認められない人などがいてそのような人のことを苦しめているように感じた。
- 海外に比べ、日本はかなり男女平等な世界が成り立っていると思います。男しかできない仕事、女にしかできない仕事なんて思い浮かばないです。ただ、世の中の風潮で、自認の性をどこでも認めてしまうと、女性専用車両や公共のお風呂、スポーツのなどで不快な思いをする場面が増えるのではないかと心配しています。そんな世の中は暮らさずらく苦痛だと思うので、必要に応じて生まれながらのせいで区別するべきところはするべきだと強く感じます
- 男装、女装をわらうのはおかしい
- 男にもなりたい

- 近年はジェンダーを認める、いわゆる多様性の考えが広まっているが、最近疑問に思うのはその考えを押し付けてくる人がいることだ。確かにLGBTの人は悪口や風評にあうこともあるがLGBTの考えが正しいと思って接してくるのはそっちの身勝手なのかなと思っている
 - 周りのことなど気にせず自分の好きなように生きれば良いと思う。
 - 平等、平等という割にはそんなに平等できているか？という疑問。
- そも、男女平等やLGBTQなど名前をつけて、ようやく、受け入れている世の中に疑問
- 性に悩んでいる人にとってはあまり言い過ぎるのもかえっていやな気持ちになると思うので、その人たちの気持ちも考えたほうが良いと思う。
 - LGBTQについてももっと知ってほしいなと思います。また、LGBTQのどれかに当てはまる人を気持ち悪いと思うのではなく、そういう人もいるよねと受け入れる心をたくさんの人に持ってほしいと思います。
 - 異性愛者の方も変に特別扱いせず、全員平等に扱うべき
 - 男性でも女性でも自分の好きなようにいきるべきだし、周りもそれを認めてあげるべきだと思う
 - いち早くlgbtqという変態が得をするほうりつを今すぐにやめてほしい
 - 男の人が『私は女だから女性トイレ行きます』というのが気に食わない。トランスジェンダーをこの世から消すべき。
 - 性別にとらわれすぎ。きもいんだよ決めつけてくるな
 - ジェンダー平等をもっと実現していくといいと思う。
 - lgbtqについて まず、私たちがとやかく言うことじゃないと思う。当事者が自分のしたいことを告白すべき。すべてを同じにするのは不可能だし、同じにしたとしてまた違った格差が生まれると思う。男女平等について 仕事や生活での男女格差では改善すべきだと思う。
 - どうして日本では同性婚が認められていないのかが、いまいまいちわからないです。子供が作れず少子高齢化社会にあまり貢献できないというのもあると思いますが、今は結婚はそもそも子供を産む前提でしているものではないと思います。異性同士で結婚している方々でも子供を産まない方もいると思います。さらに両者の同意で結婚できるのなら、同性婚も認められるはずですが、同性婚のメリットを聞かれると、私は今のところ当事者ではないのでわからないのですが、逆に例えば異性婚で子供を産まない方々は結婚する意味はないのでは、となってしまうと私は思います。日本の政府のこういうことを考える機関の方々は、どのような考えをもって、同性婚を否定しているのでしょうか。

仕事について

- 仕事とかで女性が冷遇されていることがある。男女平等といいながら女子のほうが優先という時がある。
- 政治を行っている人が男性のほうが多いということ
- 政治界で活躍する女性が少ないこと。
- 性別によって、できるできない職があるのか。あるのなら、なぜか。

暴力・嫌がらせについて

- 女子と男子だけで話したりするだけでいろんなことを言われる
- 女子のくせに可愛くないといじりの対象になる

家庭生活について

- 奥さんが妊娠したときの旦那さんの育休が少ない
- 今ではお母さんでも働いている人が結構いるのでこのまま自由に仕事ができるような世の中になるといいと思います。
- 家庭内ではどうしても女性の方が権力を持っている
- 結婚も子育ても大事だから

その他の意見

- なぜ男女差別というものができてしまったのだろうと思いました。
- 男女平等と言っているが、本当に男女平等なのか
- なぜ男女平等にしない人がいるのか
- 正直男女差別とかどうでもいいし何も思っていないし考えてもない
- 時と場合に応じて言葉を使い分ける必要があると思う。
- なんで差別が起きるのか不思議
- 男女関係なく好きなことをすればよいと思います。
- なんでこういった差が生じてしまうのだろう
- 男子と女子は平等なのに男女差別などが起こるのはなぜか？
- 差別をなくしてほしい
- もっと男女平等な世の中になってほしいです。
- みな、同じく平等に接してくれていると思います。ですが、時々差別などをする人はいたと思います。差別がなく自由に好きなことができる世界になったらいいと思います。
- 男子と気まずい 男の人のたいはん苦手
- 良いことだ!!
- 運動してるとき
- 牛角の半額になるやつは男性にもなにかあればいいけどなんもないから批判があったと思う
- なぜ優しくないひとは生きている価値がないといわれるのか
- もともと性別をいうだけでも嫌なのかなと疑問に思うことがある
- なんで日本はそんなに男女平等じゃないんだ
- 一部のを除いて、クラス内で無意識のうちに男女で分かれているように感じる。？
- まだまだこの世に多いことだと思う。
- 人の都合がよい時この言葉を使い都合の悪いときこの言葉を使わない人が出できそう
- 昔までは男女差別があったけど今では少しは改善されたと思います。
しかし、最近はそのことを悪用する人たちもいます。
- 女子にやさしくするな
- 男女平等はいいことだしかなってほしい現実だけど、やっぱりピッタリ平等は難しいし今の現状だと少し難しいのかなと感じます。
- よくテレビなどで男女の平等の番組をやっていることがあるがいつも、なくなればいいの
と思っています。
- 平等なんてできるのか

- 男女平等を悪用しないでほしい
- 昔よりは男女差別がなくなったなど感じる
- 人それぞれだと思います
- 最近はなくってきたが逆に少し厳しすぎだと思う
- 平等とかいってるのに結局平等じゃないが疑問。それなら無理に平等を意識しないほうが一周回っていいと感じる。
- なぜそんなことで争っているのか
- 男女平等を盾にして本来の意味を考えない無責任な人がいる
- 平等が一番良い
- みんなが男女関係なく、過ごしやすい社会になればよいと思った。
- 自分の都合が悪くなったときにその話題を出したりいいように利用している方がいるのは良くないとおもう。
- どのような政策を行っていますか。
- オリンピック・パラリンピックの問題は、改善されないのか。
- 日本は世界全体でみると男女平等はどのくらい進んでいるのか
- 人はなぜ区別したがるのだろうか

第5章 調査票

(1) 市民意識調査

和光市民意識調査

～第五次和光市総合振興計画・第4次和光市行動計画男女共同参画わこうプラン中間見直し～

日ごろから和光市政にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

和光市では、市民のみなさまの意識とお考えを把握するため、18歳以上の市民の方3,000人を無作為に選ばせていただき、「市民意識調査」を実施いたします。

今後の市政運営及び男女共同参画施策をより充実したものとするため、突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

令和6年9月

和光市長 柴崎 光子

■ご回答にあたって

- 1 市民意識調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。（※ 切手は不要です。）
- 2 スマートフォンやタブレットなどからもインターネットを利用してご回答いただけます。
スマートフォンやタブレットなどで回答される場合には、二次元コードからアクセスしてください。
- 3 ご回答期限 令和6年9月20日（金）



■プライバシーの保護について

- 1 調査は満18歳以上（令和6年3月31日現在）の市民のみなさまの中から3,000人の方々を無作為に抽出し、対象となった方に郵送で調査票をお送りしています。
- 2 調査は無記名で回答していただくものであり、個人が特定されることはありません。
また、みなさまからいただきました回答の集計結果は、「市のホームページ」などで公表いたしますが、個人の意見が公表されるものではありません。

■お問合せ先

【和光市企画部企画人権課 企画調整担当、人権文化交流担当】
TEL 048-464-1111（内線2329、2325）
FAX 048-464-8822
E-mail a0200@city.wako.lg.jp

質問は全部で40問（20ページ）です。

スマートフォンやタブレットなどからインターネットを利用してご回答をしていただいた方は本用紙による回答は不要です。

男女共同参画に関する意識について

問1 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

	男性の方が 非常に優遇されて いる	どちらかといえ ば男性の方が優遇 されている	男女の地位は 平等になっている	どちらかといえ ば女性の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇されて いる
ア 家庭で	1	2	3	4	5
イ 地域で	1	2	3	4	5
ウ 職場で	1	2	3	4	5
エ 学校で	1	2	3	4	5
オ 法律や制度で	1	2	3	4	5
カ 社会通念・慣習などで	1	2	3	4	5
キ 社会全体で	1	2	3	4	5

問2 「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識に同感しますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 同感する→問3へ | 3 どちらともいえない→問5へ |
| 2 同感しない→問4へ | 4 わからない→問5へ |

問3 (問2で「1」と回答した方にお聞きします。)

同感する理由は何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 日本の伝統・美德だと思ふから | 4 個人的にそうありたいと思ふから |
| 2 役割分担をした方が効率が良いと思ふから | 5 その他 () |
| 3 子どもの成長にとって良いと思ふから | 6 理由を考えたことはない |

問4 (問2で「2」と回答した方にお聞きします。)

同感しない理由は何ですか。(○は2つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 男女平等に反すると思ふから |
| 2 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思ふから |
| 3 男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思ふから |
| 4 一方的な考えを押しつけるのは良くないと思ふから |
| 5 少子高齢化に伴う労働力の減少に対応するため |
| 6 その他 () |
| 7 理由を考えたことはない |

家庭生活について

問5 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	主として男性	共同して分担	主として女性	その他	該当しない
ア 家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4	5
イ 子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	1	2	3	4	5
ウ 介護（介護の必要な親の世話、病人の介護など）	1	2	3	4	5
エ 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
オ 自治会、PTA活動	1	2	3	4	5
カ 生活費の確保	1	2	3	4	5
キ 家計の管理	1	2	3	4	5
ク 重大事項の決定（高額な商品や土地、家屋の購入など）	1	2	3	4	5

配偶者や恋人からの暴力について

問6 あなたは、次のようなことが配偶者（事実婚、パートナーを含む）や恋人の間で行われた場合、それを暴力であると思いますか。（○はそれぞれの数字に1つつつ）

また、これまでに親密な間柄の人から次のようなことをされたことがありますか。

（○はそれぞれのアルファベットに1つつつ）

	どう思うか			されたことがあるか		
	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	何度もある	1, 2度ある	まったくない
平手でぶつ、足でける	1	2	3	A	B	C
突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1	2	3	A	B	C
打ち身や切り傷などのケガをさせる	1	2	3	A	B	C
骨折させる	1	2	3	A	B	C
ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす	1	2	3	A	B	C
なぐるふりをしておどす	1	2	3	A	B	C
何を言っても、長時間無視し続ける	1	2	3	A	B	C
「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	1	2	3	A	B	C
大声でどなる	1	2	3	A	B	C
生活費を渡さない	1	2	3	A	B	C
仕事をやめさせる	1	2	3	A	B	C
いやがるのに、性的な行為を強要する	1	2	3	A	B	C
見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	A	B	C



問7へ

問7 (問6で「A」または「B」といずれかの項目で回答した方にお聞きします。)

あなたは問6であげたような行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

- 1 相談した→問8へ
- 2 相談できなかった→問9へ
- 3 相談しようとは思わなかった→問9へ

問8 (問7で「1」と回答された方にお聞きします。)

あなたが相談した人(場所)を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 家族・親せき | 8 弁護士・家庭裁判所 |
| 2 友人・知人 | 9 3～8以外の公的機関 |
| 3 警察 | 10 医師・カウンセラー |
| 4 人権擁護委員 | 11 民間の相談機関 |
| 5 役所の相談窓口・電話相談など | 12 学校関係者(教員・スクールカウンセラー) |
| 6 配偶者暴力相談支援センター・婦人相談センター | 13 その他() |
| 7 民生・児童委員 | |

問9 (問7で「2」または「3」と回答された方にお聞きします。)

誰(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから
- 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから
- 7 世間体が悪いから
- 8 他人を巻き込みたくないから
- 9 思い出したくないから
- 10 自分に悪いところがあると思ったから
- 11 相談するほどのことではないと思ったから
- 12 その他()

ワーク・ライフ・バランスについて

問10 男女がともに仕事と家庭の両立をしていくためには、どのような条件が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 給与等の男女格差をなくすこと
- 2 労働時間の短縮を促進
- 3 ハラスメントのない職場環境をつくること
- 4 労働の場での男女平等の推進
- 5 代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること
- 6 育児や介護等のため退職した人の再雇用制度を導入すること
- 7 保育所・学童保育などの保育環境を充実すること
- 8 介護サービス・介護施設などを充実すること
- 9 家族や周囲の理解と協力があること
- 10 男性の家事・育児の分担
- 11 その他 ()
- 12 わからない

性の多様性について

問11 LGBTQ（性的マイノリティの総称）という言葉を知っていますか。（○は1つ）

意味：L：レズ、G：ゲイ、B：バイセクシュアル、T：トランスジェンダー、Q：クエスチョニング、クィアの頭文字をとった言葉。自分が女か男かについての考えや、好きになる相手が女性か男性かは自由で、体の性と合わなくても誰もが自分らしく生きられることが大切です。

- | | | |
|------------------------|------------|------------|
| 1 聞いたことがあり
内容も知っている | 2 聞いたことがある | 3 聞いたことがない |
|------------------------|------------|------------|

問12 あなたの周りに自分の性自認や性的指向について悩んでいる人はいますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|-------|
| 1 いる（いた） | 2 いない |
|----------|-------|

問13 あなたが周りの人から性自認や性的指向について悩みを打ち明けられたら、どのように感じますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1 受け入れることができる | 2 受け入れることができない | 3 わからない |
|---------------|----------------|---------|

問14 あなたは、自分の性別に違和感を覚えたり、恋愛感情が同性に向かうなどで悩んだことはありますか。(○は1つ)

1 ある→問15、問16へ

2 ない→問18へ

問15 (問14で「1」と回答した方にお聞きします。)

最初に悩み始めたのはいつごろからですか。(○は1つ)

1 未就学児

3 中学生

5 19歳以上

2 小学生

4 高校生(その年齢にあたる方を含む)

問16 (問14で「1」と回答した方にお聞きします。)

悩みを誰かに相談する(打ち明ける)ことはできましたか。(○は1つ)

1 相談できた(打ち明けられた)→問18へ

2 相談できなかった(打ち明けられなかった)→問17へ

問17 (問16で「2」と回答した方にお聞きします。)

相談できなかった(打ち明けられなかった)のは、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 今までの関係が変わるのが怖いから

5 嫌がらせ・悪口などがあるかもしれないから

2 相手に気を使わせたくないから

6 特に必要がないと思うから

3 理解してもらえないと思うから

7 その他

4 偏見を持たれたくないから

()

問18 LGBTQ(性的マイノリティの総称)の人たちが暮らしやすい社会をつくるためにどのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 社会制度の見直し(法改正など)

2 教育現場での啓発活動(性的マイノリティに関する講演会や授業など)

3 行政による啓発活動(広報誌やポスターによる性的マイノリティに関しての発信など)

4 性的マイノリティについての専門の相談機関(電話相談や面接相談など)

5 性的マイノリティの人が安心して集まれるコミュニティスペース

6 その他()

男女共同参画の取り組みについて

問19 次にあげる男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	内容を 知っている	聞いたことは あるが、内容は 知らない	知らない
女子差別撤廃条約	1	2	3
男女共同参画社会基本法	1	2	3
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV 防止法)	1	2	3
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)	1	2	3
男女雇用機会均等法	1	2	3
育児・介護休業法	1	2	3
和光市男女共同参画推進条例	1	2	3
男女共同参画わこうプラン	1	2	3
和光市女性相談の窓口	1	2	3
和光市男女共同参画情報紙「おるご〜る」	1	2	3
和光市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度	1	2	3
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
ダイバーシティ (多様性)	1	2	3
DV (ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3
デート DV (交際相手からの暴力)	1	2	3
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(生涯を通じた女性の健康の保持増進)	1	2	3
ジェンダー (社会的性別)	1	2	3

問20 男女共同参画を推進する上で、和光市にどのようなことを期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 男女共同参画に関する幅広い情報、書籍、資料等の収集・提供
- 2 学校における男女平等教育の推進
- 3 仕事や家事・育児に男女がともに参加する意識の啓発を進める
- 4 経営者、事業主に対する啓発活動
- 5 女性の就業支援の充実
- 6 保育所、学童など子育て支援の充実
- 7 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むように支援する
- 8 市の審議会など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 9 配偶者や恋人等からの暴力（DV）の根絶に向けた啓発とDV被害者支援
- 10 女性のための相談窓口の充実
- 11 男性のための相談窓口の充実
- 12 LGBTQ（性的マイノリティ）への支援（社会制度の整備、意識啓発活動、専門相談機関の整備など）
- 13 ダイバーシティ（多様性）の推進
- 14 女性に対する健康づくりの支援（安心して安全な妊娠・出産、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）
- 15 男女共同参画に関して活動を行っている団体への支援
- 16 地域活動、ボランティア活動への支援
- 17 高齢者支援の充実
- 18 その他（)

さいごにあなたご自身のことについて

問1 あなたの性別はどれですか。自認している性別を選んで下さい。(○は1つ)

- 1 女性 2 男性 3 その他 4 回答しない

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 20～24 歳 | 5 40～44 歳 | 9 60～64 歳 |
| 2 25～29 歳 | 6 45～49 歳 | 10 65～69 歳 |
| 3 30～34 歳 | 7 50～54 歳 | 11 70 歳以上 |
| 4 35～39 歳 | 8 55～59 歳 | |

問3 あなたは、和光市のどの地区にお住まいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------|------|---------|--------|
| 1 白子 | 4 新倉 | 7 広沢 | 10 下新倉 |
| 2 南 | 5 本町 | 8 西大和団地 | 11 丸山台 |
| 3 中央 | 6 諏訪 | 9 諏訪原団地 | |

問4 あなたは、和光市に住んでどれぐらいになりますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上5年未満 | 5 20年以上30年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 30年以上 |

問5 あなたは結婚していますか(事実婚、パートナーを含む)。(○は1つ)

- 1 結婚している 2 結婚していない 3 結婚していたが、離・死別した

問6 (問5で「1」と回答した方にお聞きします。)

共働きですか(パートなども含みます)。(○は1つ)

- 1 共働きである 2 共働きではない 3 2人とも働いていない

問7 あなたにはお子さんがいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 いない

問8 (問7で「1」と回答された方にお聞きします。)

一番下のお子さんは現在次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 乳幼児(3歳未満の子ども) | 4 中学生 |
| 2 未就学児(3歳以上小学校入学前の子ども) | 5 高校生(その年齢にあたる方を含む) |
| 3 小学生 | 6 19歳以上の子ども |

(2) 小学生アンケート調査票

和光市男女共同参画に関する小学生意識調査

【お願い】



和光市男女共同参画推進係

4年生のみなさんこんにちは！

これはテストではありません。

この調査は、和光市の4年生のみなさんが、男女平等をどのように考えているのかを知るために行っています。

あなたの名前は書かなくてよいので、あなたがどこに○をつけたか先生や他の人にはわかりません。あなたがいつも思っていることを教えてください。

【答え方】

1. 答えは、問の後のあてはまる番号に○をつけてください。
2. 「その他」に○をした時は、() 中に自分で考えた答えを書いてください。
3. あてはまるものすべてと書かれている時は、思ったところ全部に○をつけてください。
4. 意味のわからない質問や答えたくない質問があったときは、その質問を飛ばして先に進んでください。

和光市 企画部 企画人権課 人権文化交 流担当



: 048-424-9088



学校名 ()

【あなたについて】

問1 あなたの性別はどれですか。あなたの思う性別を選んでください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----|-----|-------|---------|
| 1 女 | 2 男 | 3 その他 | 4 回答しない |
|-----|-----|-------|---------|

【男女平等と性別役割分担意識について】

問2 あなたはおとなの人に「男だから○○しなさい」や「女だから○○しなさい」と言われたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よく言われる | 3 あまり言われない |
| 2 ときどき言われる | 4 ぜんぜん言われない |

▶ 問2-1 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。どんな時に言われましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|---------|------------|
| 1 ことばづかい | 6 すわり方 | 11 家に帰る時刻 |
| 2 服装・身だしなみ | 7 歩き方 | 12 スポーツ |
| 3 整理整頓 | 8 勉強 | 13 お金の使い方 |
| 4 お手伝い | 9 テレビ番組 | 14 泣いたとき |
| 5 食事の仕方 | 10 友達関係 | 15 その他 () |

▶ 問2-2 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 いやな気持ちでした | 3 何とも思わなかった |
| 2 その通りだと思った | 4 その他 () |

問3 あなたは、大人になったときに、家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事をどのように行おうと思いますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1 自分だけで行う |
| 2 自分以外の家族に行ってもらう |
| 3 自分も含めた家族が協力して行う |
| 4 わからない |
| 5 その他 () |

問4 あなたは、大人になり、子どもができたときに、どのように子育てを行おうと思いますか。(〇は1つ)

- 1 自分だけで行う
- 2 自分以外の家族に行ってもらおう
- 3 自分も含めた家族が協力きょうりょくして行おう
- 4 わからない
- 5 その他 ()

問5 「男は仕事おとこ しごとに専念せんねんして、女は家庭おんな かていを守るべき」とあなたは思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1 そう思う <small>おも</small> | 3 どちらかといえばそう思わない <small>おも</small> |
| 2 どちらかといえばそう思う <small>おも</small> | 4 そう思わない <small>おも</small> |
| | 5 わからない |

問6 あなたは、将来しょうらいどのような働き方はたらかたをしたいですか。(〇は1つ)

- 1 ずっと仕事を続けたいしごと つづ
- 2 結婚するまでは仕事を続けたいけっこん しごと つづ
- 3 子どもができるまでは仕事を続けたいこ しごと つづ
- 4 子どもができて、お休みやすをもらいながら、ずっと仕事を続けたいしごと つづ
- 5 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったらふたたび仕事をしたいしごと
- 6 仕事はしたくないしごと
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問7 あなたは将来どのような仕事につきたいと思いますか。つきたいと思う仕事をつぎの () の中に3つ以内で書いてください。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 () | 2 () | 3 () |
|-------|-------|-------|

【用語について】

問8 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

① 男女共同参画社会

意味：女性も男性も、性別にかかわらず一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 聞いたことがあります内容も知っている | 3 聞いたことがない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

② DV (ドメスティック・バイオレンス)

意味：夫婦や恋人など、親しい関係にある(あった)人から振られる暴力のこと。(暴力には、叩くなどの体への暴力以外にも、大きな声で怒鳴るなど精神的な暴力なども含まれます。)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 聞いたことがあります内容も知っている | 3 聞いたことがない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

③ デートDV

意味：恋人からの暴力(暴力には、叩くなどの体への暴力以外にも、大きな声で怒鳴るなど精神的な暴力なども含まれます。)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 聞いたことがあります内容も知っている | 3 聞いたことがない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

④ セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)

意味：相手が望まない性的な言動や、性別による差別的な言動によって相手を傷つけること。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 聞いたことがあります内容も知っている | 3 聞いたことがない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

⑤ ジェンダー

意味：社会によってつくられた「男らしさ」「女らしさ」と決められる性別のこと。例えば、「男の子は青、女の子はピンク」や「お父さんは会社で働いて、お母さんは家で家事をする」など。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 聞いたことがあります内容も知っている | 3 聞いたことがない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

【性の多様性について】

問9 あなたは、^{エルジービーティーキュー} L G B T Q という言葉を知っていますか。

意味：L：レズ、G：ゲイ、B：バイセクシュアル、T：トランスジェンダー、Q：クエスチョニング、
クィアの頭文字をとった言葉。自分が女か男かについての考えや、好きになる相手が女性か
男性かは自由で、体の性と合わなくても誰もが自分らしく生きられることが大切です。

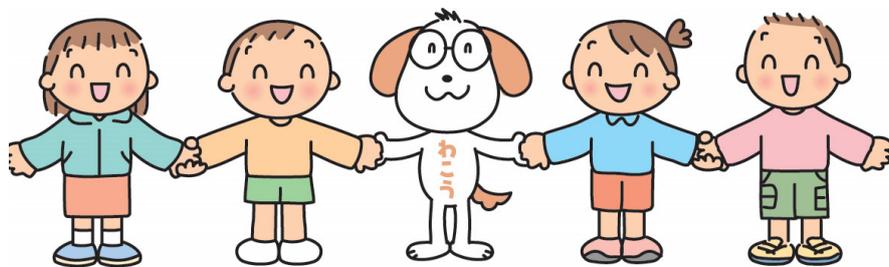
- | | |
|--|-------------------------|
| 1 ^き 聞いたことがあります ^{ないよう} 内容も知っている | 3 ^き 聞いたことがない |
| 2 ^き 聞いたことはあるが ^{ないよう} 内容は知らない | |

問10 あなたは、自分の性について、悩んだことはありますか。

- | | |
|------|---------|
| 1 ある | 3 わからない |
| 2 ない | |

問11 ^{だんじょびやうどう}男女平等について、^ひ日ごろ^{かん}感じていることや^{ぎもん}疑問に^{おも}思うことなどを^{じゆう}自由に^か書いてください。

ご協力ありがとうございました！



(3) 中学生アンケート調査票

和光市男女共同参画に関する中学生意識調査

【お願い】



和光市男女共同参画推進係

中学2年生のみなさんこんにちは！

これはテストではありません。

この調査は、和光市の中学2年生のみなさんが、男女平等をどのように考えているのかを知るために行っています。

あなたの名前は書かなくてよいので、あなたがどこに○をつけたか先生や他の人にはわかりません。あなたがいつも思っていることを答えてください。

【答え方】

1. 答えは、問の後のあてはまる番号に○をつけてください。
2. 「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。
3. あてはまるものすべてと書かれている時は、思ったところ全部に○をつけてください。
4. 意味のわからない質問や答えたくない質問があったときは、その質問を飛ばして先に進んでください。

和光市 企画部 企画人権課 人権文化交流担当



: 048-424-9088



学校名 ()

【あなたについて】

問1 あなたの性別はどれですか。自認している性別を選んでください。(○は1つ)

1 女	2 男	3 その他	4 回答しない
-----	-----	-------	---------

【男女平等と性別役割分担意識について】

問2 あなたはおとなの人に「男だから○○しなさい」や「女だから○○しなさい」と言われたことがありますか。(○は1つ)

1 よく言われる	3 あまり言われない
2 ときどき言われる	4 ぜんぜん言われない

問2-1 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。どんな時に言われましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 ことばづかい	6 すわり方	11 家に帰る時刻
2 服装・身だしなみ	7 歩き方	12 スポーツ
3 整理整頓	8 勉強	13 お金の使い方
4 お手伝い	9 テレビ番組	14 泣いたとき
5 食事の仕方	10 友達関係	15 その他 ()

問2-2 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(○は1つ)

1 いやな気持ちでした	3 何とも思わなかった
2 その通りだと思った	4 その他 ()

問3 次の(1)～(3)の場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	優遇されている 男性のほうが非常に	どちらかといえば男性 が優遇されている	平等	どちらかといえば女性 が優遇されている	優遇されている 女性のほうが非常に	わからない
(1) 家庭生活の場で	1	2	3	4	5	6
(2) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(3) 社会全体の場で	1	2	3	4	5	6

問4 あなたは、大人になったときに、家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事をどのように行おうと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 自分だけで行う |
| 2 | 自分以外の家族に行ってもらおう |
| 3 | 自分も含めた家族が協力して行う |
| 4 | わからない |
| 5 | その他 () |

問5 あなたは、大人になり、子どもができたときに、どのように子育てを行おうと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 自分だけで行う |
| 2 | 自分以外の家族に行ってもらおう |
| 3 | 自分も含めた家族が協力して行う |
| 4 | わからない |
| 5 | その他 () |

問6 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」とあなたは思いますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | そう思う | 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | そうは思わない |
| | | 5 | わからない |

問6-1 その理由をお教えてください。(○はいくつでも)

「そう思う」の理由(「1」か「2」に○)	「そう思わない」の理由(「3」か「4」に○)
1 役割分担をした方が効率が良いと思うから	1 性別に関わらず仕事と家庭に関わる方がよいと思うから
2 男性の方が収入が多いと思うから	2 女性が働くことは当たり前だと思うから
3 女性の方が子育てや介護に向いていると思うから	3 男女は平等であるから
4 それが当たり前だと思うから	4 性別に関わらず、得意なことをやればよいと思うから
5 身体のつくりが違うから	5 その他 ()
6 その他 ()	6 理由を考えたことはない
7 理由を考えたことはない	

問7 あなたは、将来どのような働き方をしたいですか。(○は1つ)

1 ずっと仕事を続けたい	5 子どもができれば仕事をやめ、大きくなったらふたたび仕事をしたい
2 結婚するまでは仕事を続けたい	6 仕事はしたくない
3 子どもができるまでは仕事を続けたい	7 その他()
4 子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続けたい	8 わからない

問8 あなたは将来どのような仕事につきたいと思いますか。つきたいと思う仕事をつぎの()の中に3つ以内で書いてください。

1 ()	2 ()	3 ()
-------	-------	-------

【用語について】

問9 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

	聞いたことがあり 内容も知っている	聞いたことはある が内容は知らない	聞いたことがない
①男女共同参画社会 女性も男性も、性別にかかわらず一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会	1	2	3
②DV(ドメスティック・バイオレンス) 夫婦や恋人など、親しい関係にある(あった)人から振るわれる暴力のこと(暴力には、叩くなどの体への暴力以外にも、大きな声で怒鳴るなど精神的な暴力なども含まれます。)	1	2	3
③デートDV 恋人からの暴力(暴力には、叩くなどの体への暴力以外にも、大きな声で怒鳴るなど精神的な暴力なども含まれます。)	1	2	3
④セクシュアル・ハラスメント(セクハラ) 相手が望まない性的な言動や、性別による差別的な言動によって相手を傷つけること	1	2	3
⑤ジェンダー 社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」によって決められる性別のこと	1	2	3

【性の多様性について】

問10 あなたは、LGBTQという言葉を知っていますか。(○は1つ)

意味：L：レズ、G：ゲイ、B：バイセクシュアル、T：トランスジェンダー、Q：クエスチョニング、
グ、かしらもじクィアの頭文字をとった言葉。ことば自分が女か男かについての考えや、好きになる相手あいてが女性か男性かは自由で、からだ体の性と合わなくても誰もだれが自分らしく生きられることが大切です。

- 1 聞いたことがあり内容も知っている
- 2 聞いたことがある
- 3 聞いたことがない

問11 あなたは、自分の性について悩んだことはありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問12 あなたの周りに自分の性自認（自分の性別をどのように認識しているか）や性的指向（どのような性別の人を好きになるのか）について悩んでいる人はいますか。

- 1 いる（いた）
- 2 いない

問13 もし悩みを打ち明けられた場合、どのように感じますか。(○は1つ)

- 1 受け入れることができる
- 2 受け入れることができない
- 3 わからない

問14 男女平等について、日ごろ感じていることや疑問に思うことなどを自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました！

